

Panasonic[®]

LUMIX

S1

取扱説明書

デジタルカメラ

DC-S1

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

- 追加および変更した機能については、「ファームウェアアップデート」のページをお読みください。

[→](#) クリックすると、「ファームウェアアップデート」に移動します。

DVQP1868ZG
F0319HN6071

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(18～23ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします。詳しくは、468ページをご覧ください。

保証書別添付

取扱説明書について

- 本書はメニューの設定内容が初期設定になっていることを前提に説明しています。
- 本書では交換レンズ(S-R24105)を用いて説明しています。

❖ 本書で使用する記号について

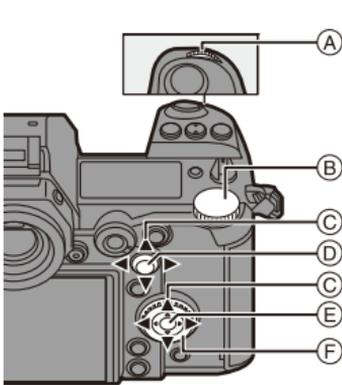
使用できる撮影モード、写真・動画の記号

本書では、機能説明の冒頭のアイコン(撮影モード、写真・動画)で、その機能が使用できる条件を示しています。黒いアイコンは使用可能な条件、グレーのアイコンは使用不可能な条件を表します。

例: **iA P A S M**   

操作記号

本書では、カメラの操作部を以下の記号を使って説明しています。



(A)		前ダイヤル
(B)		後ダイヤル
(C)		カーソルボタンの上下左右 または ジョイスティックの上下左右
(D)		ジョイスティックの中央押し
(E)		[MENU/SET] ボタン
(F)		コントロールダイヤル

- 操作部の操作方法については、62ページをお読みください。
- その他、カメラの画面に表示されるアイコンなどを説明に使用しています。
- 本書では、メニュー項目を選ぶ手順を次のように説明しています。

例) 写真メニュー(画質)の[写真画質]を[STD.]に設定する

 →  →  → [写真画質] → [STD.]を選ぶ

メニューの操作方法については、71ページをお読みください。

お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。

	機能を使う前にご確認いただきたいこと
	上手に使うためのヒントや撮影のポイント
	仕様に関するお知らせや補足事項
	関連の深い情報とページ番号

章目次

安全上のご注意	18
1. はじめに	24
2. 準備	38
3. 基本操作	58
4. かんたん撮影	74
5. 画像の記録	79
6. フォーカス／ズーム	85
7. ドライブ／シャッター	116
8. 測光／露出／ISO感度	160
9. ホワイトバランス／画質	176
10. フラッシュ	195
11. 動画撮影	207
12. 画像の再生／編集	232
13. カメラのカスタマイズ	247
14. メニューガイド	271
15. Wi-Fi／Bluetooth	330
16. 他機器との接続	380
17. 資料	396

目次

 「安全上のご注意」を必ずお読みください(18～23ページ)

取扱説明書について	3
章目次	5
機能別目次	15

1. はじめに 24

ご使用の前に	24
同梱品	26
使用できるレンズ	28
使用できるメモリーカード	29
各部の名前	31
カメラ	31
同梱レンズ	35
ファインダー／モニターの表示	36
ステータスLCDの表示	37

2. 準備 38

ショルダーストラップの取り付け	38
バッテリーの充電	39
チャージャーを使った充電	39
バッテリーの挿入	41
カメラ本体を使った充電	43
カメラを使いながら充電する	45
充電／給電についてのお知らせ	46
エコモード	48
カード(別売)の挿入	50
カードのフォーマット(初期化)	52
レンズの取り付け	53
レンズフードの取り付け	54
時計の設定(初めて電源を入れるとき)	56

3. 基本操作 58

撮影の基本操作	58
カメラの構え方	58
モニター角度の調整	59
写真の撮影	60
動画の撮影	61
撮影モードの選択	61
カメラの設定操作	62
表示の設定	65
ファインダーの設定	65
モニターとファインダーの切り換え	66
情報表示の切り換え	67
ステータスLCDバックライトの点灯	69
クイックメニュー	70
メニューの操作方法	71
設定リセット	73

4. かんたん撮影 74

インテリジェントオートモード	74
タッチ撮影	77
タッチシャッター	77
タッチAE	78

5. 画像の記録 79

画像横縦比	79
画像サイズ	80
写真画質	81
ダブルスロット機能	82
フォルダー/ファイル設定	83
ファイル番号リセット	84

6. フォーカス／ズーム 85

フォーカスモードの選択.....	85
AFを使う.....	86
AFカスタム設定(写真).....	89
AFモードの選択.....	91
自動認識(顔・瞳・人体・動物).....	92
追尾.....	95
225点.....	96
ゾーン(縦・横)／ゾーン(四角)／ゾーン(楕円).....	97
1点+補助／1点.....	99
ピンポイント.....	101
カスタム1～3.....	102
AFエリアの移動操作.....	104
タッチでのAFエリアの移動操作.....	105
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作.....	107
縦/横位置フォーカス切換.....	108
MFで撮る.....	109
ズームを使って撮る.....	113
EXテレコン(写真).....	114

7. ドライブ／シャッター 116

ドライブモードの選択.....	116
連写する.....	117
6K/4Kフォト撮影.....	120
6K/4Kフォトについてのお知らせ.....	124
6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ.....	126
撮影後に写真を補正する(ポストリファイン).....	127
写真を選ぶときの操作.....	128
インターバル撮影.....	132
コマ撮りアニメ撮影.....	135
インターバル／コマ撮りアニメの動画.....	138
セルフタイマー撮影.....	139
ブラケット撮影.....	141

フォーカスセレクト撮影.....	146
ピント位置を選んで写真を保存する	149
フォーカス合成	150
サイレントモード	152
シャッター方式	153
手ブレ補正	155
手ブレ補正の設定	157

8. 測光／露出／ISO感度 **160**

測光モード	160
プログラムAEモード.....	161
絞り優先AEモード.....	163
シャッター優先AEモード.....	165
マニュアル露出モード.....	167
レビューモード.....	170
露出補正	171
ピントや露出の固定(AF／AEロック)	173
ISO感度の設定.....	174

9. ホワイトバランス／画質 **176**

ホワイトバランス(WB)の設定	176
ホワイトバランスの調整	178
フォトスタイル	180
フィルター設定	184
フィルターなし同時記録	189
ハイレゾモード	190
HLGフォト	193

10. フラッシュ 195

外部フラッシュ(別売)を使う	195
ホットシューカバーの取り外し	195
フラッシュ機能の設定	197
発光モード、マニュアル発光量設定	197
フラッシュモード	198
フラッシュシンクロ	200
フラッシュ発光量調整	201
露出補正連動	202
デジタル赤目補正	202
ワイヤレスフラッシュ撮影	203

11. 動画撮影 207

動画を撮る	207
動画の設定	209
記録ファイル方式	209
動画画質	210
動画撮影範囲	213
AF連続動作	214
AFカスタム設定(動画)	215
輝度レベル設定	216
白飛びを抑えて撮影する(二一)	216
録音レベルの表示/設定	218
クリエイティブ動画モード	219
クリエイティブ動画の設定値	221
ハイスピード動画	222
HLG動画を撮影する	223
外部機器と接続して動画を撮る	224
外部モニター/外部レコーダー(撮影時HDMI出力)	224
外部マイク(別売)	228
XLRマイクロホンアダプター(別売)	230
ヘッドホン	231

12. 画像の再生／編集 232

写真の再生	232
動画の再生	234
写真の切り出し	236
表示方法の切り換え	237
拡大表示	237
サムネイル表示	238
カレンダー表示	239
グループ画像	240
画像の消去	241
RAW 現像	242
動画分割	246

13. カメラのカスタマイズ 247

Fn ボタン	248
Fn ボタンへの機能の登録	249
Fn ボタンを使う	255
Fn レバー	256
Fn レバーへの機能の登録	256
Fn レバーを使う	257
ダイヤル動作切換	258
ダイヤルへの機能の登録	258
ダイヤルの動作を一時的に変更する	259
クイックメニューのカスタマイズ	260
クイックメニューへの登録	260
カスタムモード	264
カスタムモードへの登録	264
カスタムモードを使う	266
設定内容の呼び出し	267
マイメニュー	268
マイメニューへの登録	268
マイメニューの編集	269
カメラ設定の保存／読み込み	270

14. メニューガイド 271

写真メニュー	272
動画メニュー	284
カスタムメニュー	290
セットアップメニュー	310
再生メニュー	321
文字の入力	329

15. Wi-Fi / Bluetooth 330

Wi-Fi / Bluetooth機能について	330
スマートフォンと接続する	332
「LUMIX Sync」のインストール	333
スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)	334
スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続)	338
Wi-Fi接続を終了する	342
スマートフォンでカメラを操作する	343
リモート撮影	344
シャッターリモコン	345
撮影画像の転送	346
撮影画像の自動転送	348
位置情報の記録	350
カメラの電源操作	351
自動時刻合わせ	352
設定情報の保存	352
カメラから画像を送る	353
スマートフォン	356
パソコン	359
プリンター	361
Webサービス	363
クラウド同期サービス	365
Wi-Fi接続	367
ネットワーク経由	367
直接接続	370
以前と同じ設定でWi-Fi接続する	371

送信設定、画像の選択	373
画像の送信設定	373
画像の選択	374
Wi-Fi設定メニュー	375
LUMIX CLUB (PicMate)	376

16. 他機器との接続 380

テレビで見る	380
パソコンに画像を取り込む	383
ソフトウェアのインストール	383
パソコンに画像をコピーする	386
レコーダーにダビングする	389
テザー撮影	390
ソフトウェアのインストール	390
パソコンからカメラを操作する	391
プリントする	392

17. 資料 396

別売品のご紹介	396
別売品を使う	398
バッテリーグリップ(別売)	398
シャッターリモコン(別売)	399
ACアダプター(別売)／DCカプラー(別売)	399
海外旅行先で使う	400
モニター／ファインダーの表示	402
撮影画面	402
再生画面	407
メッセージ表示	410
Q&A 故障かな?と思ったら	413
使用上のお願い	423
無線LAN使用上のお願い	432
使用時間、撮影枚数	434
記録可能枚数、記録可能時間	436

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧.....	438
各撮影モードで設定できる機能一覧.....	448
仕様.....	452
商標、ライセンス.....	459
さくいん.....	462
CLUB Panasonic でお愛用者登録のご案内.....	468
保証とアフターサービス.....	469

機能別目次

電源

- 充電 →39
- 充電エラー →41
- 44
- バッテリー残量 →46
- 給電 →45
- バッテリー情報 →316
- 省電力機能 →48
- 使用時間、撮影枚数 →434

カード

- 使用できるカード →29
- フォーマット →52
- ダブルスロット機能 →82
- 記録先スロット →82
- 再生カード切り換え →233
- 238
- フォルダー構造 →388
- フォルダー/ファイル設定 →83
- ファイル番号リセット →84
- 文字入力 →329
- 記録可能枚数、記録可能時間 →436

レンズ

- 取り付け →53
- 手ブレ補正 →155

基本設定

- 時計設定 →56
- タイムゾーン →319
- 電子音 →314
- 著作権情報 →311
- 設定リセット →73

ファインダー

- 視度調整 →65
- 表示倍率 →65
- アイセンサー →66
- アイセンサーAF →296

表示

- 撮影画面 →402
- 再生画面 →407
- ファインダー →36
- ステータスLCD →37
- コントロールパネル →405
- 表示切り換え →67
- モニター/ファインダー調整 →313
- モニター/ファインダー輝度 →313
- 表示速度 →312
- 水準器 →302
- グリッドライン →303
- ヒストグラム →302
- オーバーレイ表示 →308
- 白飛び確認 →307
- HLGビューアシスト →308

AF/MF

- フォーカスモード →85
- AFモードの選択 →91
- 295
- 顔・瞳・人体認識 →92
- 動物認識 →93
- 動物追尾 →95
- AF ON →87
- AFエリアの移動 →104
- 拡大表示 →88
- 111
- AF感度設定 →89
- AF/AEロック →173
- タッチAF →106
- タッチパッドAF →107
- AF補助光 →276
- MF →109
- MFガイド →294
- MFアシスト →294
- ピーキング →277

ドライブ

ドライブモード	→116
連写	→117
6K/4Kフォト	→120
インターバル撮影	→132
コマ撮りアニメ撮影	→135
セルフタイマー	→139
フォーカスセレクト	→146

画質

画像サイズ	→80
写真画質	→81
RAW	→81
JPEG	→81
アスペクト比	→79
ホワイトバランス	→176
フォトスタイル	→180
フィルター設定	→184
色空間	→292
6K/4Kフォトノイズ低減	→128
フリッカー軽減(写真)	→281
長秒ノイズ除去	→274
iダイナミックレンジ	→275
周辺光量補正	→275
回折補正	→276

写真撮影

撮影モード	→61
クイックメニュー	→70
ズーム	→113
EXテレコン(写真)	→114
手ブレ補正	→155
ブラケット撮影	→141
バルブ撮影	→169
ハイレゾモード	→190
多重露出	→282
HLGフォト	→193
シャッター方式	→153
サイレントモード	→152
リモコン撮影	→399
画面表示	→402

露出

露出補正	→171
プログラムシフト	→162
プレビューモード	→170
測光モード	→160
AEロック	→173
ワンプッシュAE	→253
タッチAE	→78
ISO感度	→174
拡張ISO感度	→291

動画撮影

動画撮影	→207
クリエイティブ動画モード*	→219
記録ファイル方式	→209
AVCHD	→209
MP4	→209
MP4 HEVC	→209
動画画質	→210
解像度	→210
フレームレート	→210
ビットレート	→210
画角	→213
露出設定	→208
	→221
AF感度設定	→215
AF連続動作	→214
ハイスピード動画	→222
2100ライク(HLG)	→223
輝度レベル	→216
二一	→216
録音	→218
ヘッドホン	→231
音声モニタリング	→231
ウインドカット	→288
アッテネーター	→218
フリッカー軽減(動画)	→285
HDMI出力	→224
出力ビット数(HDMI)	→227
外部マイク	→228
XLRマイクロホン	→230
アダプター	
リモコン撮影	→399

フラッシュ

- 外部フラッシュ →195
- 発光モード →197
- フラッシュモード →198
- フラッシュ発光量調整 →201
- フラッシュシンクロ →200
- ワイヤレスフラッシュ設定 →203

再生

- オートレビュー →301
- 写真の再生 →232
- 動画の再生 →234
- サムネイル表示 →238
- カレンダー表示 →239
- 拡大表示 →237
- グループ画像 →240
- 6K/4Kフォト保存 →126
- テレビで見る →380
- 消去 →241
- 画面表示 →407

画像編集

- RAW現像 →242
- プロテクト →325
- レーティング →325
- リサイズ →326
- 回転 →326
- 動画分割 →246
- コピー →327

カスタマイズ

- カスタムメニュー →290
- ファンクションボタン →248
- ファンクションレバー →256
- カスタム撮影モード →264
- マイメニュー →268
- クイックメニュー →260
- ダイヤル動作 →258
- カメラ設定の保存 →270

他機器接続

- パソコン →383
- プリンター →392
- テレビ →380
- HDMI出力 →382
- デザイナ撮影 →390
- ケーブルホルダー →225

Wi-Fi / Bluetooth

- Bluetooth接続 →334
- Wi-Fi接続 →338
- Wi-Fi設定 →375
- スマートフォンアプリ「LUMIX Sync」 →332
- リモート撮影 →344
- 位置情報 →350
- 画像送信(スマートフォン) →346
- 画像送信(パソコン) →359
- 画像送信(プリンター) →361
- 画像送信(Webサービス) →363
- 画像送信(クラウド同期サービス) →365
- カメラ設定の保存 →352
- LUMIX CLUB →376

ソフトウェア

- PHOTOfunSTUDIO →383
- SILKYPIX →384
- LUMIX Tether →390

メンテナンス

- センサークリーニング →319
- ピクセルリフレッシュ →319

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



危険



バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない

(*以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ・ 指定外のものは使わない
- ・ 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオープンなどで)しない
- ・ 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ・ 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- ・ 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- ・ 落下や衝撃を与えない
- ・ バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

危険



バッテリーチャージャー*は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
(*以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーの充電は、本機専用のチャージャーまたは本体を使用する
指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを
起こし、けがをする原因になります。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャー、ACアダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ACアダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、ACアダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。



電源コードは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 無理に曲げない・ねじらない・引っ張らない
- 束ねたりしない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



警告



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



指定したACアダプター、電源コード、USB接続ケーブルを使用する

指定以外のACアダプター、電源コード、USB接続ケーブルを使用すると発熱により、火災・感電・やけどの原因になります。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャー、ACアダプターには、金属部があります。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



警告



運転者などに向けて外部フラッシュを発光しない
事故の誘発につながります。



メモリーカード、ホットシューカバー、バッテリーグリップ接点
カバー、フラッシュシンクロ端子キャップは乳幼児の手の届く
ところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

• 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるお
それがあります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

• 首に掛けての使用はしない



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*
の原因になります。

• 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けてい
る)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



航空機内ではBluetooth機能を停止させる

航空機内では電源を切る*

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

• Bluetooth機能は、電源を切っても機能が動く場合があります。

Bluetooth機能を停止させるためには、次の順で選択してください。

① セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]を選ぶ

② Bluetoothメニューから[Bluetooth]を選ぶ

③ ▲▼で[OFF]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

* やむをえずこのような環境でカメラ本体を使用するときは、無線LAN機能
を使用しないでください。ただし、航空機の離着陸時など、カメラ本体の使
用が禁止されている場合もありますので注意してください。



警告



満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合がありますので、電源を切る
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から15 cm以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所では電源を切る
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



注意



外部フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない
誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



外部フラッシュを人の目に近づけて発光しない
視力障害などの原因になることがあります。

• 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。

注意



外部フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがないやけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す

通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



ACアダプターの放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 本棚やラックの中など狭い空間に設置しない
- 新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどで覆って放熱を妨げない



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を痛める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



低温下で長時間、直接触れて使用しない

寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。

- 長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。

1. はじめに

ご使用の前に

❖ カメラ／レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。より快適な撮影のために、カメラ／レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- カメラ／レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。(→ 320)
- 本書はカメラのファームウェアバージョンが1.0の状態の説明しています。

❖ カメラの取り扱いについて

カメラに、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。故障や、破損の原因になります。

- 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- レンズ部やモニターを強く押さえつけないでください。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

低温(−10℃～0℃)で使用する場合

- 推奨使用温度が−10℃までに対応した当社製レンズを取り付けてお使いください。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF時にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

❖ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部、端子キャップ、接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

❖ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

❖ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

❖ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

❖ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

❖ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(→ 423)

同梱品

デジタルカメラボディ

(本書ではカメラと表記します)



付属品をご確認ください。

- 記載の品番は2019年1月 現在のものです。変更されることがあります。

バッテリーパック

DMW-BLJ31

(本書ではバッテリーと表記します)

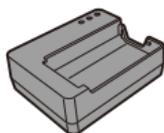
- 充電してからお使いください。



バッテリーチャージャー*1

DMW-BTC14

(本書ではチャージャーと表記します)



ACアダプター

DVLV1001Z

- 充電や電力の供給に使用します。



電源コード

K2CA2YY00247



USB接続ケーブル(C-C)

K1HY24YY0022



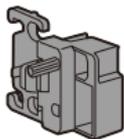
USB接続ケーブル(A-C)

K1HY24YY0021



*1 DMW-BTC14(バッテリーチャージャー)は、ACアダプター、電源コードおよびUSB接続ケーブル(C-C)を含む別売品としてお買い求めいただけます。バッテリーチャージャー単品をお買い求めの場合は、DVLV1004Zの品番でご注文ください。

- ケーブルホルダー
1QB1MC891Z



- ショルダーストラップ
DVPW1018Z



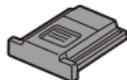
- ボディキャップ*2
1HE1MC891Z



- アイカップ*2
7YE1MC891Z



- ホットシュー
カバー*2
DVYE1121Z



- バッテリーグリップ
接点カバー*2
DVKK1054Z



- フラッシュシンクロ
端子キャップ*2
VKF5108



*2 お買い上げ時はカメラに装着されています。

DC-S1M(レンズキット商品)に同梱

- 35 mmフルサイズ用交換レンズ
S-R24105

- このレンズは防じん防滴に対応しています。



- レンズフード
1ZE4SR24105Z



- レンズキャップ*3
1GE1Z276Z



- レンズリアキャップ*3
RGE1Z276Z



*3 お買い上げ時はレンズに装着されています。

- メモリーカードは別売です。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

使用できるレンズ

本機のレンズマウントはライカカメラ社 L-Mount 規格に準拠しています。同規格の 35 mm フルサイズ用交換レンズおよび APS-C サイズ用交換レンズを使用できます。

- 本書では、ライカカメラ社 L-Mount 規格に準拠した 35 mm フルサイズ用交換レンズを**フルサイズ用レンズ**、APS-C サイズ用交換レンズを**APS-C 用レンズ**と表記します。フルサイズ用レンズと APS-C 用レンズを区別しないときは、**レンズ**と表記します。

❖ APS-C 用レンズ使用時のお知らせ

APS-C 用レンズを使用したときは、撮影範囲など一部の機能が使用できない、または動作が異なります。(→79、80、114、120、146、153、184、190、193、213、282)

- 本機に対応するレンズの最新情報は、カタログ／ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>



- APS-C 用レンズで撮影するときの画角は、35 mm フィルムカメラの焦点距離に換算すると、1.5 倍の焦点距離の画角に相当します。(50 mm レンズを使用した場合は、75 mm レンズ相当の画角になります)

使用できるメモリーカード

本機は、XQDメモリーカード、およびSDメモリーカードを使用できます。

- 本書では、XQDメモリーカードを**XQDカード**と表記します。SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの総称を**SDカード**と表記します。XQDカードとSDカードを区別しないときは、**カード**と表記します。

XQDカード

XQDメモリーカード (32 GB～256 GB)	<ul style="list-style-type: none">• 本機はソニー製XQDカードGシリーズ／Mシリーズで動作確認済みです。(2019年1月現在)
<ul style="list-style-type: none">• XQDカードでは、AVCHD動画を撮影できません。	

SDカード

SDメモリーカード (512 MB～2 GB)	<ul style="list-style-type: none">• 本機はUHS-I／UHS-II UHS Speed Class 3規格のSDHC／SDXCメモリーカードに対応しています。• 本機はUHS-II Video Speed Class 90規格のSDHC／SDXCメモリーカードに対応しています。• 左記の当社製カードで動作確認済みです。
SDHCメモリーカード (4 GB～32 GB)	
SDXCメモリーカード (48 GB～128 GB)	



- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>



❖ 本機で安定して使用できるSDカード

以下の撮影機能を安定して使用するためには、対応したSDスピードクラス、UHSスピードクラス、Videoスピードクラスのカードを使用してください。

- スピードクラスとは、連続的な書き込みのために必要な最低速度を保証するSDカードの規格です。
- XQDカードをお使いの場合は、カードの種類に関係なく機能を使用できません。

撮影機能	スピードクラス	表示の例
MP4 HEVCの動画	Class 10 UHS Speed Class 1以上 Video Speed Class 10以上	CLASS 10 10 U1 V10
4K動画 ハイスピード動画 6K/4Kフォト フォーカスセレクト	UHS Speed Class 3 Video Speed Class 30以上	U3 V30

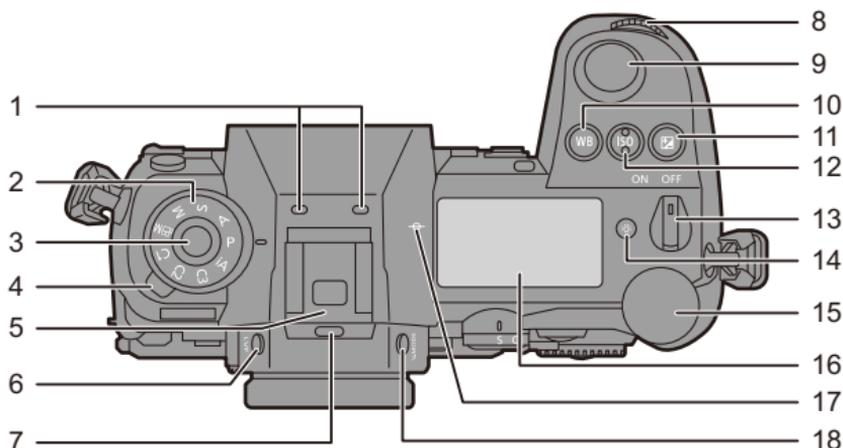


- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示ができない場合があります。
- 電磁波、静電気、カメラやカードの故障により、カードに記録されたデータが破損することがあります。大切なデータはバックアップを取ることをお勧めします。

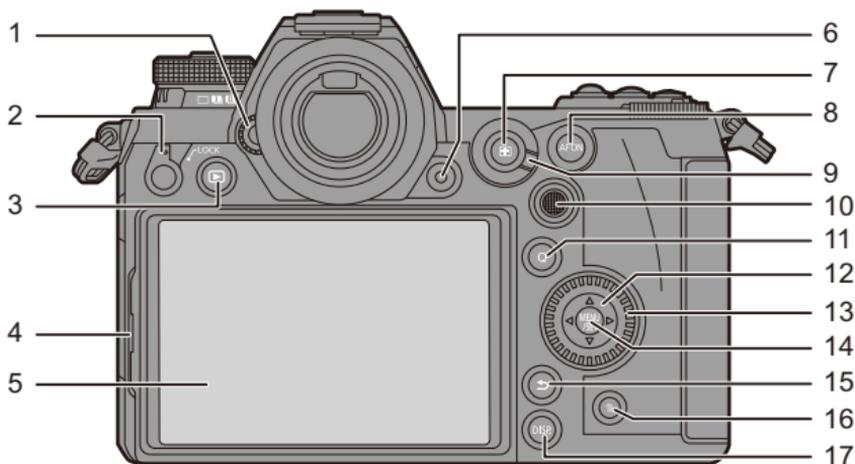


各部の名前

カメラ



1	ステレオマイク(→ 218) • マイクを指で塞がないようお気をつけください。音声記録されにくくなります。	9	シャッターボタン(→ 60)
2	モードダイヤル(→ 61)	10	[WB](ホワイトバランス)ボタン(→ 176)
3	モードダイヤルロックボタン(→ 61)	11	[](露出補正)ボタン(→ 171)
4	ドライブモードダイヤル(→ 116)	12	[ISO](ISO感度)ボタン(→ 174)
5	ホットシュー(ホットシューカバー)(→ 195)	13	電源スイッチ(→ 56)
6	[LVF]ボタン(→ 66)	14	[](ステータスLCDバックライト)ボタン(→ 69, 313)
7	スピーカー(→ 314)	15	後ダイヤル(→ 62)
8	前ダイヤル(→ 62)	16	ステータスLCD(→ 37, 313)
		17	[](撮影距離基準マーク)(→ 112)
		18	[V.MODE]ボタン(→ 65)

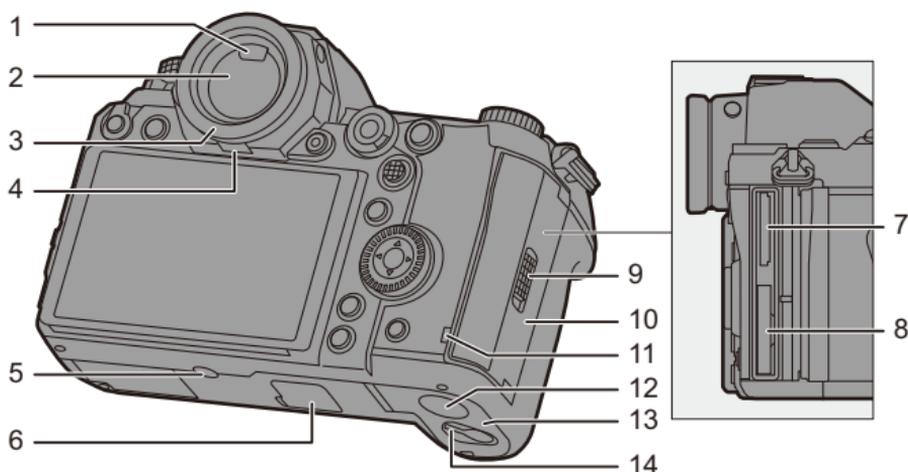


1	視度調整ダイヤル(→ 65)
2	操作ロックレバー(→ 64)
3	[▶] (再生) ボタン(→ 232)
4	モニターロックレバー(→ 59)
5	モニター(→ 402) / タッチパネル(→ 64)
6	動画ボタン(→ 207)
7	[AF-ON] (AFモード) ボタン(→ 86)
8	[AF ON] ボタン(→ 87)
9	フォーカスモードレバー (→ 86、109)

10	ジョイスティック(→ 63) / Fnボタン(→ 248) 中央: Fn8、▲: Fn9、▶: Fn10、 ▼: Fn11、◀: Fn12
11	[Q] ボタン(→ 70)
12	カーソルボタン(→ 63) / Fnボタン(→ 248) ▲: Fn13、▶: Fn14、▼: Fn15、 ◀: Fn16
13	コントロールダイヤル(→ 63)
14	[MENU/SET] ボタン(→ 63、71)
15	[↶] (戻る) ボタン(→ 72)
16	[🗑️] (消去) ボタン(→ 241)
17	[DISP.] ボタン(→ 67)

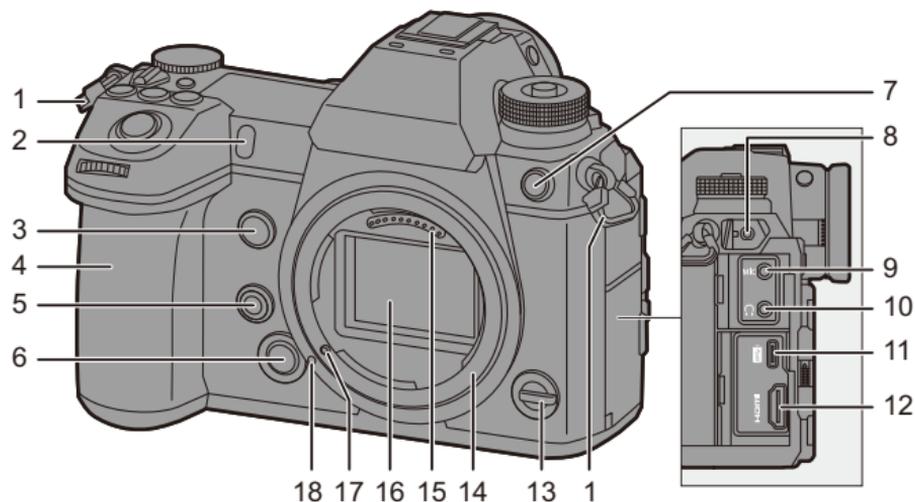


• [Fn] ボタンを押すと以下のボタンが点灯します。点灯するタイミングは、カスタムメニュー(操作)の[ボタンイルミネーション]で変更できます。(→ 300)
- [▶] ボタン / [Q] ボタン / [↶] ボタン / [🗑️] ボタン / [DISP.] ボタン



1	アイセンサー(→ 66)
2	ファインダー(→ 66)
3	アイカップ(→ 425)
4	アイカップロックレバー(→ 425)
5	三脚取り付け部(→ 430) • ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、カメラを傷つける場合があります。
6	バッテリーグリップ接点 (バッテリーグリップ接点カバー) (→ 398)
7	カードスロット2(→ 50)

8	カードスロット1(→ 50)
9	カード扉ロックレバー(→ 50)
10	カード扉(→ 50)
11	カードアクセスランプ(→ 51)
12	DCカプラー扉(→ 399) • ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC16)を使用してください。
13	バッテリー扉(→ 41)
14	バッテリー扉開閉レバー(→ 41)

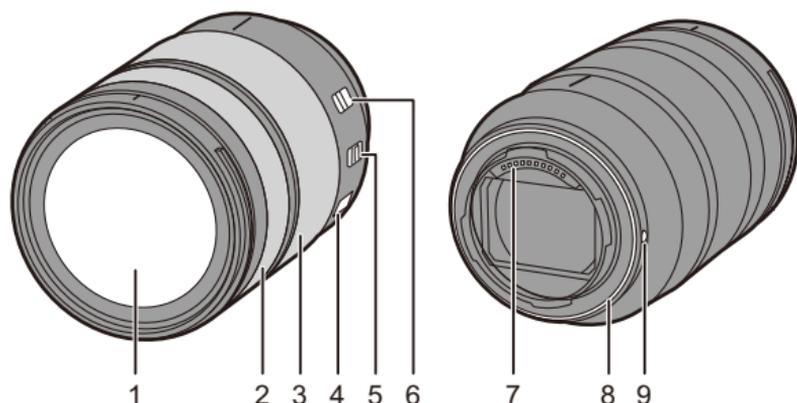


1	ショルダーストラップ取り付け部 (→ 38)
2	セルフタイマーランプ(→ 139) / AF補助光ランプ(→ 276)
3	Fnボタン(Fn1)(→ 248)
4	グリップ
5	プレビューボタン(→ 170) / Fnボタン(Fn2)(→ 248)
6	レンズ取り外しボタン(→ 54)
7	フラッシュシンクロ端子(フラッシュシンクロ端子キャップ) (→ 196)

8	[REMOTE]端子(→ 399)
9	[MIC]端子(→ 228)
10	ヘッドホン端子(→ 231)
11	USB端子(→ 386、392)
12	[HDMI]端子(→ 380)
13	Fnレバー(→ 256)
14	マウント
15	接点
16	センサー
17	レンズロックピン
18	レンズ取り付けマーク(→ 53)

同梱レンズ

S-R24105



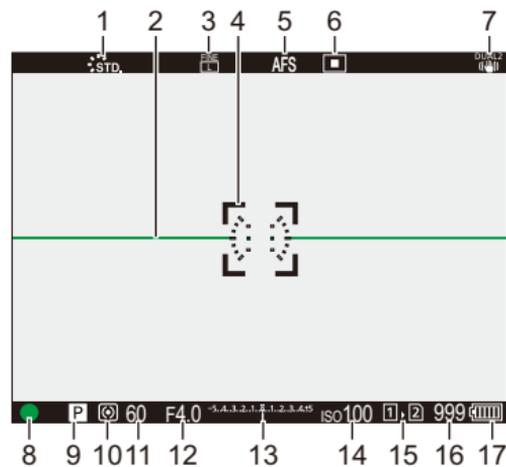
1	レンズ面
2	フォーカスリング(→ 110)
3	ズームリング(→ 113)
4	O.I.S.スイッチ(→ 155)
5	AF / MFスイッチ(→ 86, 109) • AFとMFを切り換えます。レンズ側か、カメラ側のどちらかが[MF]になっていれば、MF動作になります。

6	ズームロックスイッチ • 焦点距離を24 mmにして、スイッチを[LOCK]側にすると、ズームリングがロックされます。
7	接点
8	レンズマウントラバー(→ 426)
9	レンズ取り付けマーク(→ 53)

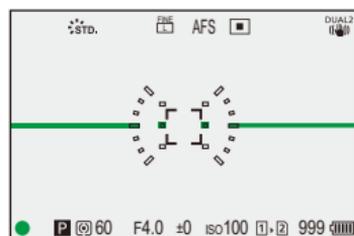
ファインダー／モニターの表示

お買い上げ時、ファインダー／モニターには以下のアイコンが表示されます。ここに記載している以外のアイコンについては、402ページをお読みください。

ファインダー



モニター



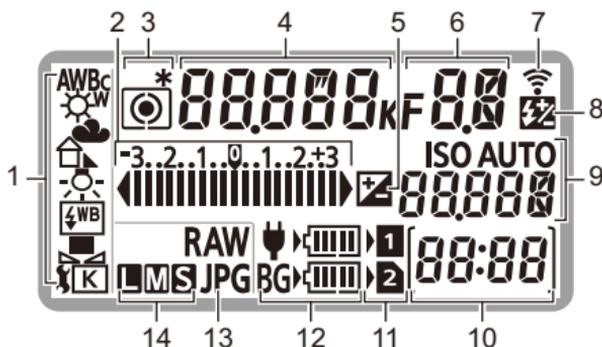
1	フォトスタイル(→ 180)	10	測光モード(→ 160)
2	水準器(→ 302)	11	シャッタースピード(→ 60)
3	写真画質(→ 81)／ 画像サイズ(→ 80)	12	絞り値(→ 60)
4	AFエリア(→ 104)	13	露出補正值(→ 171)／ マニュアル露出アシスト(→ 168)
5	フォーカスモード(→ 85、109)	14	ISO感度(→ 174)
6	AFモード(→ 91)	15	カードスロット(→ 50)／ ダブルスロット機能(→ 82)
7	手ブレ補正(→ 155)	16	記録可能枚数(→ 436)／ 連続撮影可能枚数(→ 118)／ 記録可能時間(→ 437)
8	フォーカス(緑点灯)(→ 60)／ 記録動作表示(赤点灯)(→ 191、207)	17	バッテリー残量(→ 46)
9	撮影モード(→ 61)		



・ [] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。

ステータスLCDの表示

カメラの撮影設定を表示します。



1	ホワイトバランス(→ 176)	8	フラッシュ光量調整(→ 201)
2	露出補正值(→ 171) / 露出ブラケット(→ 143)	9	ISO感度(→ 174) / 露出補正值(→ 171)
3	測光モード(→ 160)	10	記録可能枚数(→ 436) / 連続撮影可能枚数(→ 118) / 記録可能時間(→ 437)
4	シャッタースピード(→ 60) / ホワイトバランス(色温度)(→ 177)	11	カードスロット(→ 50)
5	露出補正(→ 171)	12	バッテリー残量(→ 46) / 給電(→ 45)
6	絞り値(→ 60)	13	写真画質(→ 81)
7	Wireless (Wi-Fi / Bluetooth) 接続状態(→ 330)	14	画像サイズ(→ 80)

 • 再生中やメニュー操作中は、ステータスLCDに撮影情報は表示されません。

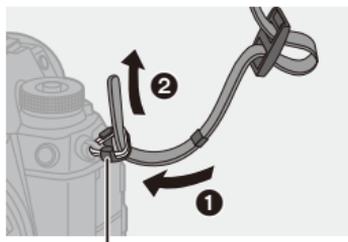
 • ステータスLCDバックライトの点灯方法(→ 69)

2. 準備

ショルダーストラップの取り付け

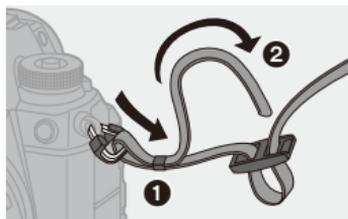
落下防止のため、以下の手順でショルダーストラップを取り付けてください。

- 1 ショルダーストラップ取り付け部に、ショルダーストラップを通す

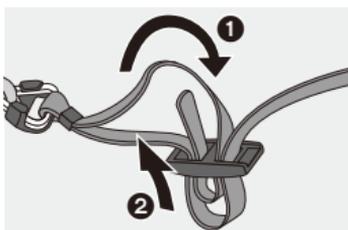


ショルダーストラップ取り付け部

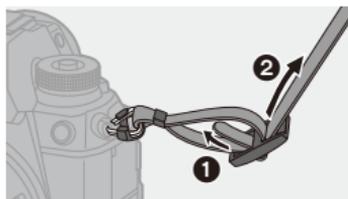
- 2 ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す



- 3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する
• 反対側も、同じ手順で取り付けてください。



バッテリーの充電

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給(給電)しながら充電することもできます。電源コンセントの代わりに、USB PD(USB Power Delivery)対応機器に接続することも可能です。

- 本機で使えるバッテリーはDMW-BLJ31です。(2019年1月現在)

- ✎ お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

チャージャーを使った充電

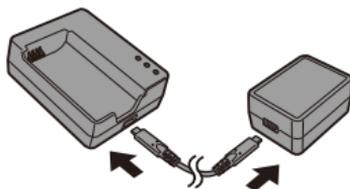
充電時間	約130分
------	-------

- 付属のチャージャーおよびACアダプターを使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

- ✎ 充電には本機の付属品をお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

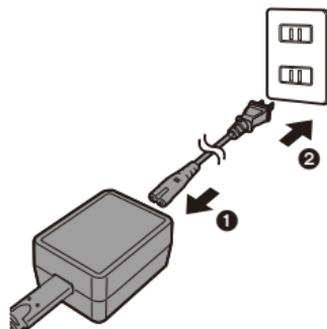
1 チャージャーとACアダプターをUSB接続ケーブル(C-C)でつなぐ

- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)



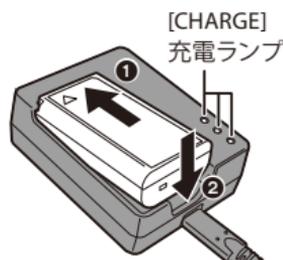
2 電源コードをACアダプターにつなぎ、電源コンセントに差し込む

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。



3 バッテリーを差し込む

- バッテリーの端子部を奥にして、しっかりと押し込んでください。
- 充電ランプが点滅し、充電が始まります。



- 付属のUSB接続ケーブル(C-C)以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。

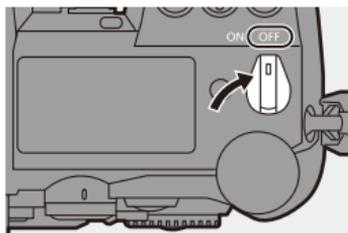
❖ 充電ランプの表示

充電状態	0%～49%	50%～79%	80%～99%	100%
充電ランプ	点滅 CHARGE 50% 80% 100%	点灯 点滅 CHARGE 50% 80% 100%	点灯 点滅 CHARGE 50% 80% 100%	消灯 CHARGE 50% 80% 100%

- 充電完了後は、電源との接続を解除して、バッテリーを取り外してください。
- [50%]のランプが速く点滅するときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電してください。
 - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。電源との接続を解除してから、汚れを乾いた布でふき取ってください。

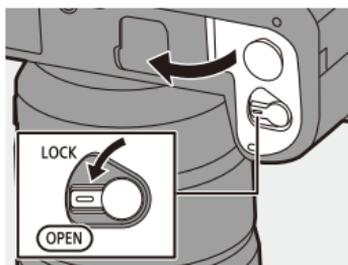
バッテリーの挿入

1 カメラの電源を切る



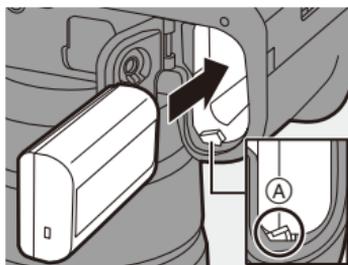
2 バッテリー扉を開く

- バッテリー扉開閉レバーをOPEN側にスライドします。



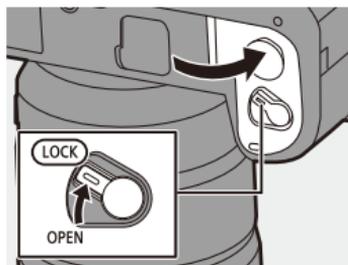
3 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を奥にして、ロック音がするまでしっかりと押し込んでください。
- バッテリーにⒶのレバーがかかっていることを確認してください。



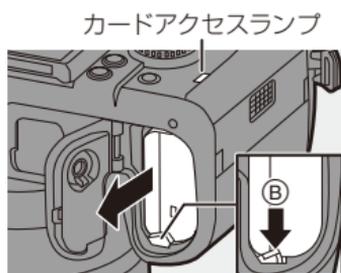
4 バッテリー扉を閉じる

- バッテリー扉を閉じて、バッテリー扉開閉レバーを LOCK 側にスライドします。



❖ バッテリーの取り出し

- ① カメラの電源を切る
- ② バッテリー扉を開く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、バッテリー扉を開いてください。
- ③ ㊸のレバーを矢印の方向に押して、バッテリーを取り出す



- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(カメラ内に挿入したまま長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後のバッテリーは、温かくなります。また使用中はカメラも温かくなりますが、異常ではありません。
- 電源を切り、カードアクセスランプの消灯を確認してからバッテリーを取り出してください。(カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります)
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出すためお気をつけください。

カメラ本体を使った充電

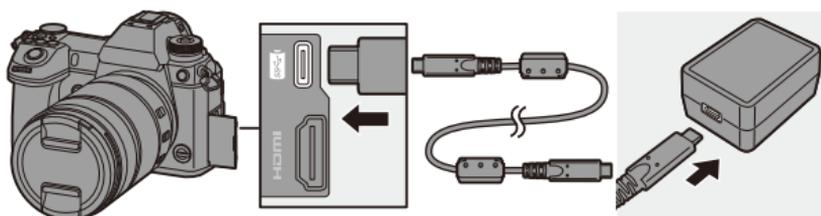
充電時間

約140分

- カメラ本体と付属のACアダプターを使用。カメラの電源がオフの状態。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

 • 充電には本機の付属品をお使いください。

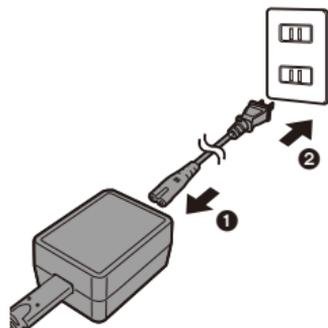
- 1 カメラの電源を切る
- 2 カメラにバッテリーを入れる
- 3 カメラのUSB端子とACアダプターをUSB接続ケーブル(C-C)でつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)

- 4 電源コードをACアダプターにつなぎ、電源コンセントに差し込む

- ステータスLCDのバッテリー表示が点滅し、充電が始まります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。





- USB機器(パソコンなど)とカメラをUSB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でつないで充電することもできます。この場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 別売のバッテリーグリップ(DMW-BGS1)を使用しているときは、バッテリーグリップに入れたバッテリーも充電できます。



- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

❖ ステータスLCDの表示

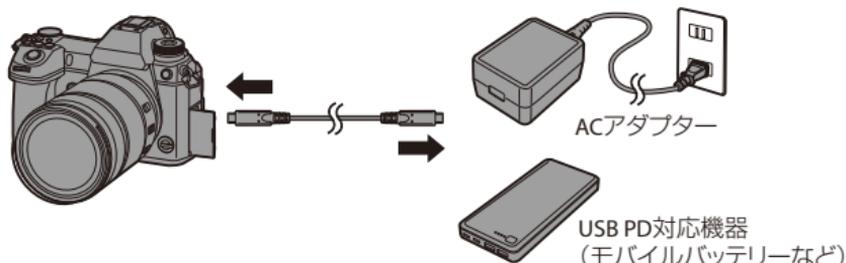
充電状態	充電中	充電完了	充電エラー時
表示	CHARGE	FULL	Err



- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- エラーが表示されたときは、充電できていません。
 - バッテリーや周囲の温度が高すぎる、または低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところまで再度充電してください。

カメラを使いながら充電する

カメラ本体と付属のACアダプターで充電しているとき(→ 43)に電源をオンにすると、電力を供給(給電)しながら充電できます。撮影と同時に充電が可能です。USB PD(USB Power Delivery)対応機器とカメラを接続しても同じことができます。



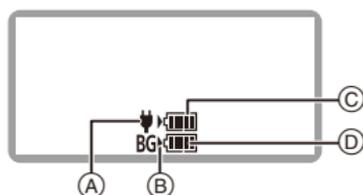
- カメラにバッテリーを挿入してください。
- 付属のUSB接続ケーブル(C-C)で接続してください。
- USB PD対応機器(モバイルバッテリーなど)は、出力9V / 3A(27W以上)のものを使用してください。
- 電源オン中の充電は、電源オフ中よりも充電時間が長くなります。

-  • USB PD対応のすべての機器との動作を保証するものではありません。
- USB PDに非対応の機器(パソコンなど)と接続してカメラの電源をオンにした場合は、給電だけが行われます。
- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、充電が停止する場合があります。さらに温度が上昇すると、が表示され給電が停止します。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
- 充電/給電中に連続で動画などを撮影する
 - 周囲の温度が高い
- 電源プラグを抜き差しする場合は、先にカメラの電源を切ってください。
- 使用状況によっては、バッテリー残量が減る場合があります。残量がなくなると、電源が切れます。
- 接続する機器の給電能力によっては、給電できない場合があります。

充電／給電についてのお知らせ

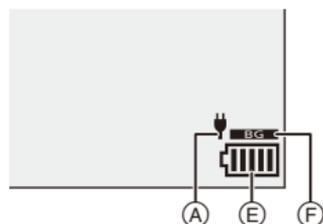
❖ 電源に関する表示

ステータスLCD表示



- Ⓐ USB接続ケーブルから電源供給中
- Ⓑ 電源の供給元
- Ⓒ カメラ本体のバッテリー残量

モニター表示



- Ⓓ バッテリーグリップのバッテリー残量
- Ⓔ バッテリー残量
- Ⓕ バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中

	80%以上
	79%～60%
	59%～40%
	39%～20%
	19%以下
	残量不足 ・バッテリーを充電または交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。
- 充電中は、ⒸまたはⒹの残量のいちばん大きな目盛りが点滅します。
- 充電エラー時は、ステータスLCD表示のⒶのアイコンが点滅します。



- パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- ACアダプター、電源コード、およびUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)は、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- USB延長ケーブルや、USB変換アダプターは使用しないでください。
- ACアダプターは海外でも使用できます。(→ 400)
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電/給電が中止されることがあります。



- モニターのバッテリー残量表示を数値(%)に変更できます：

[] → [] → [バッテリー残量表示](→ 313)

- バッテリーの劣化度を確認できます：

[] → [] → [バッテリー情報](→ 316)

エコモード

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー／モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

 →  →  → [エコモード]を選ぶ

スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。	
スリープモード (Wi-Fi)	Wi-Fi切断後、15分でスリープするように設定します。	
LVF/モニター自動 OFF	ファインダー／モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファイン ダー撮影	ファインダー／モニター自動切換で、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。 • [スリープするまでの時間]を[OFF]に設定すると、[省電力ファインダー撮影]は働きません。	
	スリープする までの時間	スリープするまでの時間を設定します。
	動作する条件	スリープが働く画面を設定します。 [コントロールパネルのみ]: コントロールパネル(→ 67)を表示しているときだけスリープします。 [撮影待機中]: 撮影待機中はどの画面のときでもスリープします。

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。



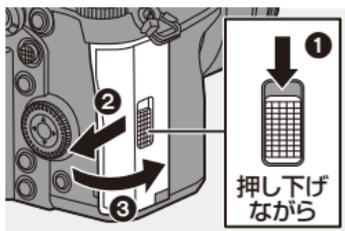
- 以下の操作中は、[エコモード]が働きません。
 - パソコンまたはプリンター接続
 - 動画撮影/動画再生
 - [6K/4Kプリ連写]撮影
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [多重露出]撮影
 - HDMI出力して撮影中
- ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時は、以下の設定になります。
 - [スリープモード],[スリープモード(Wi-Fi)],[省電力ファインダー撮影]:無効
 - [LVF/モニター自動OFF]:[5分]

カード(別売)の挿入

本機は、XQDカードとSDカードを使うことができます。(→ 29)

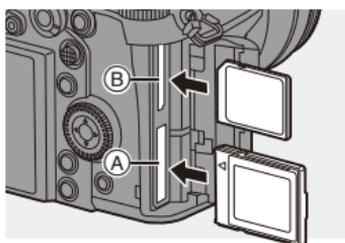
1 カード扉を開く

- カード扉ロックレバーを押し下げながら、カード扉を矢印の方向にスライドします。



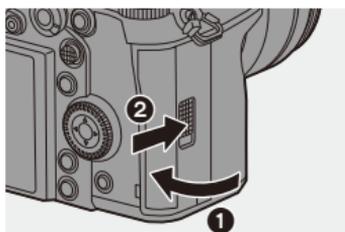
2 カードを入れる

- ① カードスロット1: XQDカード
- ② カードスロット2: SDカード
- カードの向きを図に合わせて、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。
- SDカードの接続端子部には触れないでください。



3 カード扉を閉じる

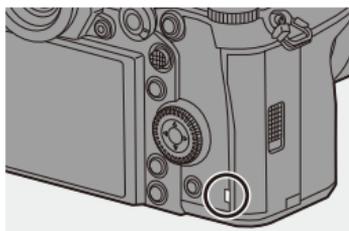
- カード扉を閉じて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで確実に扉をスライドします。
- ステータスLCDにカードが表示されます。



- ● カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定できます：
[設定] → [カード] → [ダブルスロット機能](→ 82)

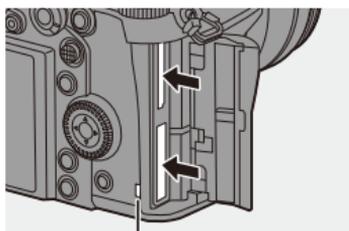
❖ カードアクセス中の表示

カードアクセス中は、カードアクセスランプが点灯します。



❖ カードの取り出し

- 1 カード扉を開く
 - カードアクセスランプの消灯を確認してから、カード扉を開いてください。
- 2 「カチッ」と音がするまでカードを押し、まっすぐ引き抜く



カードアクセスランプ



- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はお気をつけください。
- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える

カードのフォーマット(初期化)

カードの性能を最大限に発揮するために、使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。



- フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータのバックアップを取ってからフォーマットしてください。



⇒ [] ⇒ [] ⇒ [フォーマット]を選ぶ

設定: [スロット1(XQD)]/[スロット2(SD)]



- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 購入後一度もフォーマットしていないカードは、本機でフォーマットしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

レンズの取り付け

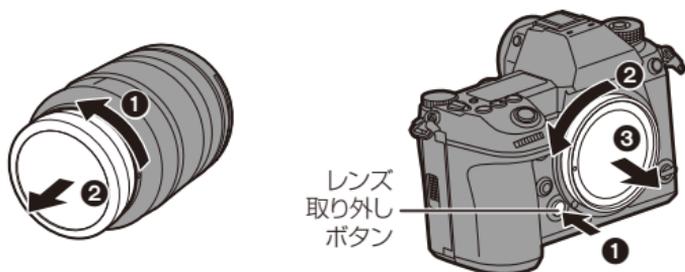
本機は、ライカカメラ社L-Mount規格レンズを取り付けることができます。
使用できるレンズについて詳しくは、28ページをお読みください。

- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみやほこりが付着した場合は、424ページをお読みください。
- レンズの交換は、レンズキャップを取り付けた状態で行ってください。

1 カメラの電源を切る

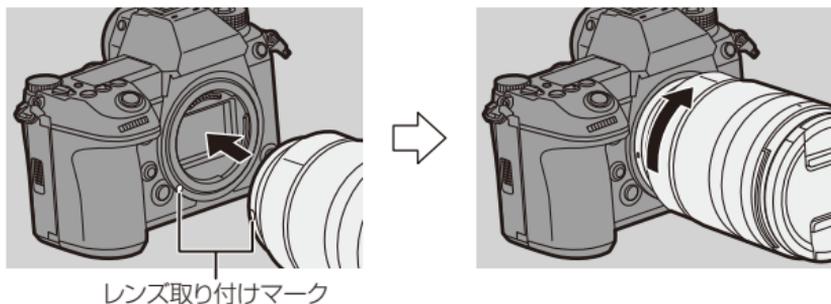
2 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す

- ボディキャップを外すときは、レンズ取り外しボタンを押しながら回してください。



3 レンズとカメラのレンズ取り付けマークを合わせ、レンズを矢印の方向に回す

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。

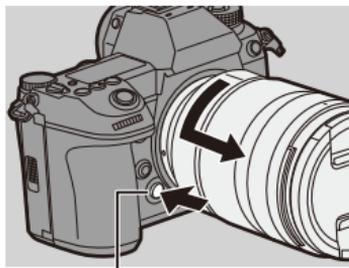




- レンズはまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込んで取り付けようとすると、カメラのレンズ取り付け部を傷つけるおそれがあります。

❖ レンズの取り外し

- ① カメラの電源を切る
- ② レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



レンズ取り外しボタン



- レンズを取り外したあとは、ボディキャップとレンズリアキャップを必ず取り付けてください。

レンズフードの取り付け

強い逆光下の撮影で、レンズ内部で光の乱反射が生じて光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

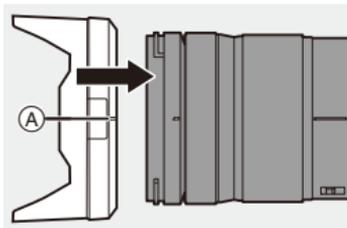
交換レンズ(S-R24105)に付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合

図のように、指を添えてレンズフードを持ってください

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

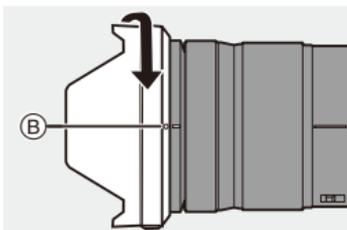


- 1** レンズフードの指標 **Ⓐ**(□) と、レンズ先端の指標を合わせる



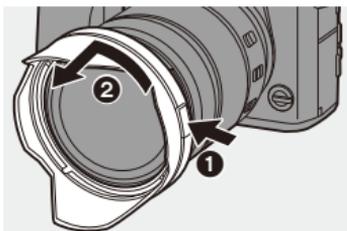
- 2** レンズフードを矢印の方向に回し、レンズフードの指標 **Ⓑ**(○) と、レンズ先端の指標を合わせる

- 「カチッ」と音がするまで回して取り付けてください。



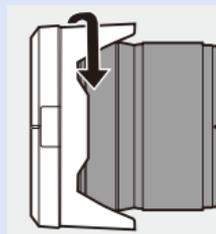
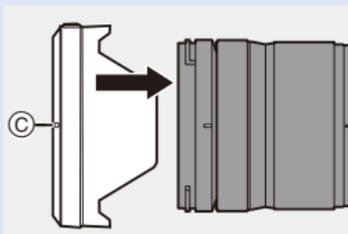
❖ レンズフードの取り外し

レンズフードのボタンを押しながら、矢印の方向に回して取り外す



• 持ち運ぶときに、レンズフードを逆向きに取り付けることができます。

- 1 レンズフードを取り外す
- 2 レンズフードの指標 **Ⓒ**(○) と、レンズ先端の指標を合わせる
- 3 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して取り付ける

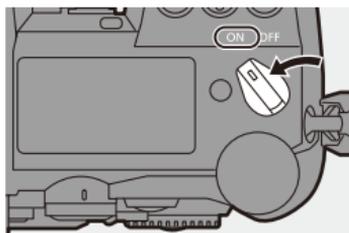


時計の設定 (初めて電源を入れるとき)

初めて電源を入れたときは、タイムゾーンと時計を設定する画面が表示されます。

正しい日時の情報を記録するために、ご使用の前に必ず設定してください。

1 電源スイッチを[ON]にする



2 [タイムゾーンを設定してください]と表示されたら、 または を押す

3 タイムゾーンを設定する

- ◀▶ でタイムゾーンを選び、 または  を押します。
- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。



GMT(グリニッジ標準時)との時差

4 [時計を設定してください]と表示されたら、 または を押す

5 時計を設定する

- ◀▶: 項目(年・月・日・時・分・秒)の選択
- ▲▼: 数値の選択



表示順・時刻表示形式を設定する場合

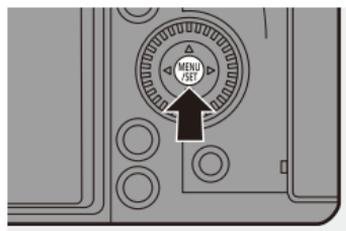
- [表示形式]を選び、**MENU/SET** または を押し、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示順 時刻表示形式

6 決定する

- **MENU/SET** または を押します。



7 [時計を設定しました]と表示されたら、**MENU/SET** または を押す

- 時計の設定をしなくてカメラを使うと、2019年1月1日 0:00:00に設定されます。
 - バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーをカメラに約24時間入れたままにしてください)
- [タイムゾーン]、[時計設定]はメニューから変更できます：
 - **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [タイムゾーン] (→ 319)
 - **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [時計設定]

3. 基本操作

撮影の基本操作

カメラの構え方

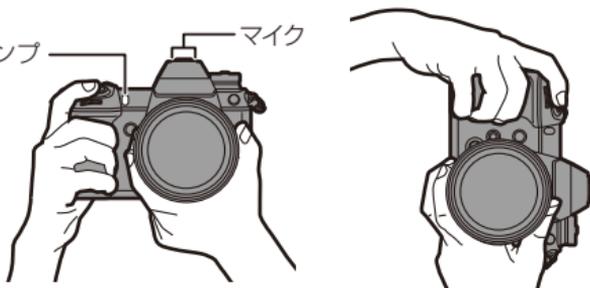
手ブレを抑えるため、カメラが動かないように構えて撮影します。

両手でカメラを持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- 右手でカメラのグリップを包むようにしっかりと持ってください。
- 左手でレンズを下から支えてください。
- AF補助光ランプ、マイクを指などで塞がないでください。

AF補助光ランプ

マイク



❖ 縦位置検出機能

縦に構えて撮影したことを検出する機能です。初期設定では、写真を自動で縦向きにして再生します。

- [縦位置自動回転]を[OFF]にすると、写真を回転せずに再生します。(→ 323)

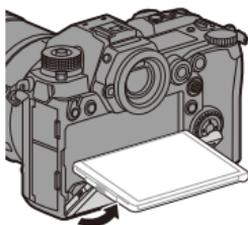
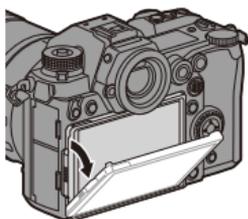


- カメラを大きく上や下に向けると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、縦向きに表示できません。
- 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]

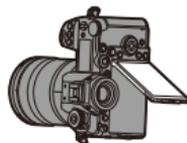
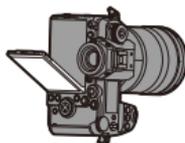
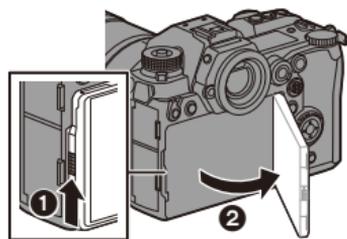
モニター角度の調整

本機のモニターは3軸チルト式です。撮影状況に合わせてモニターの角度を調整できます。ハイアングル、ローアングルでの撮影に便利です。

- ハイアングル撮影(横位置)
- ローアングル撮影(横位置)



- ハイアングル撮影/ローアングル撮影(縦位置)



- モニターロックレバーを押し上げながら、モニターを開いてください。

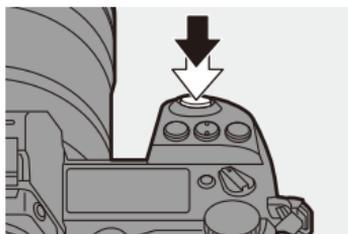


- モニターに指を挟まないようにお気をつけください。
- モニターに無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。
- カメラを使用しないときは、モニターを元の位置に戻して完全に閉じてください。
- 三脚に取り付けるときは、モニターを元の位置に戻して閉じてください。
- お使いの三脚によっては、モニターの角度が制限される場合があります。

写真の撮影

1 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押し(軽く押し)します。
- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(適正な露出が得られないときは、赤く点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- [AF ON] ボタンを押しても同じ操作ができます。



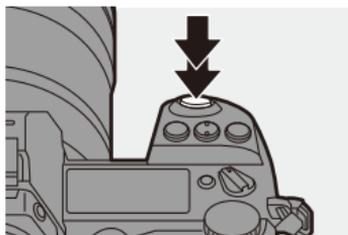
シャッタースピード



フォーカス表示 絞り値

2 撮影する

- シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)します。



● カスタムメニュー(モニター/表示)の[オートレビュー]を設定すると、撮影した写真を自動で表示できます。写真を表示する時間もお好みで変更できます。(→ 301)



● 初期設定では、ピントが合うまで撮影できません。カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[フォーカス/リリース優先]を[バランス]または[リリース]にすると、ピントが合っていないでも撮影できます。(→ 293)

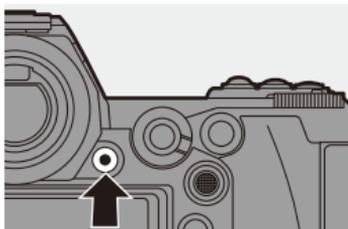
動画の撮影

1 撮影を開始する

- 動画ボタンを押します。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

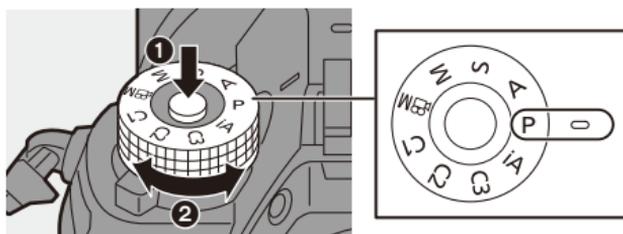
2 撮影を終了する

- もう一度、動画ボタンを押します。



撮影モードの選択

モードダイヤルロックボタンを押しながら(①)、
モードダイヤルを回す(②)

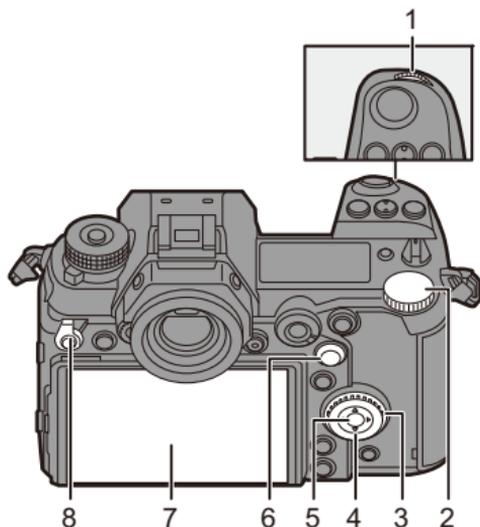


iA	インテリジェントオートモード(→74)
P	プログラムAEモード(→161)
A	絞り優先AEモード(→163)
S	シャッター優先AEモード(→165)
M	マニュアル露出モード(→167)
CM	クリエイティブ動画モード(→219)
C1 / C2 / C3	カスタムモード(→264)

カメラの設定操作

カメラの設定を変更するときは、以下の操作部を使って操作します。
誤操作を防ぐために、操作ロックレバーで操作を無効にできます。

1	前ダイヤル(→ 62)
2	後ダイヤル(→ 62)
3	コントロールダイヤル(→ 63)
4	カーソルボタン(→ 63)
5	[MENU/SET]ボタン(→ 63)
6	ジョイスティック(→ 63)
7	タッチパネル(→ 64)
8	操作ロックレバー(→ 64)



❖ 前ダイヤル(☀️)／後ダイヤル(☂️)

回す: 項目や数値を選択します。

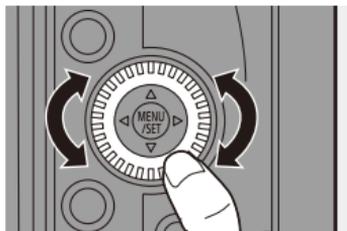
- P/A/S/Mモードで撮影しているときは、絞りやシャッタースピードなどを設定します。
[ダイヤル設定]で操作方法を変更できます。
(→ 299)



❖ コントロールダイヤル()

回す：項目や数値を選択します。

- 撮影時は、ヘッドホンの音量を調整します。
[ダイヤル設定]の[コントロールダイヤルの割当]で機能を変更できます。(→ 299)



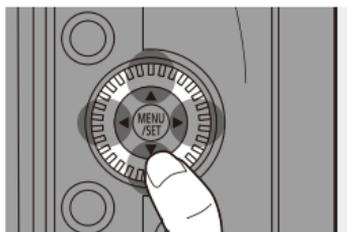
❖ カーソルボタン(▲▼◀▶)

押す：項目や数値を選択します。

❖ [MENU/SET]ボタン()

押す：設定内容の決定をします。

- 撮影時と再生時は、メニューを表示します。



❖ ジョイスティック(▲▼◀▶ /)

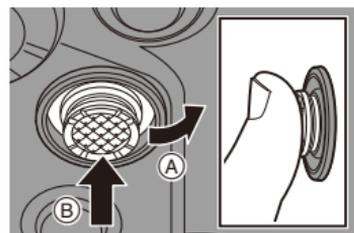
ジョイスティックは、上下左右斜めに傾ける8方向操作と、中央部分を押し込む操作ができます。

① 傾ける：項目、数値の選択や、位置の移動をします。

- ジョイスティックの中央に指を当てて傾けます。
側面から押すと正しく動作しない場合があります。

② 押す：設定内容の決定をします。

- 撮影時は、AFエリアやMFアシストを移動します。
撮影時のジョイスティックの機能は、[ジョイスティック設定]で変更できます。(→ 300)



❖ タッチパネル

画面に表示されるアイコンやスライダー、メニューなどを指で触れて操作できます。

① タッチする

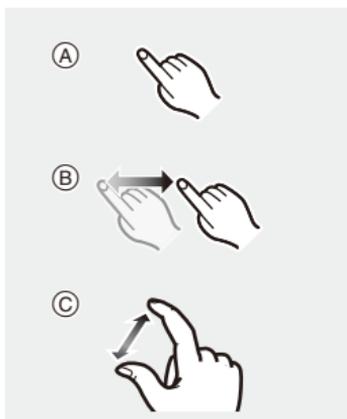
タッチパネルに触れて離す動作です。

② ドラッグする

タッチパネルに触れたまま指を動かす動作です。

③ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で触れたまま、広げる(ピンチアウト)動作と縮める(ピンチイン)動作です。



- タッチパネルは、清潔で乾燥した指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)
- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 手袋を着用している
 - タッチパネルがぬれている

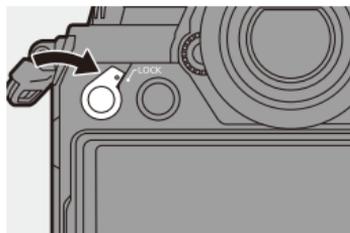


- タッチ操作を無効にできます：
[設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [タッチ設定] (→ 297)

❖ 操作ロックレバー

操作ロックレバーを[LOCK]に合わせると、以下の操作部を無効にできます。無効にする操作部は、カスタムメニュー(操作)の[操作ロックレバー設定]で設定できます。(→ 297)

- カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、ジョイスティック、タッチパネル、前ダイヤル、後ダイヤル、コントロールダイヤル、[DISP.]ボタン



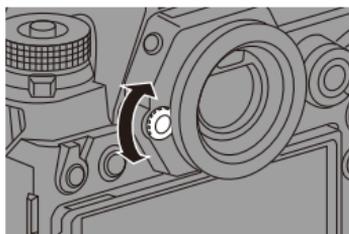
表示の設定

ファインダーの設定

❖ ファインダーの視度の調整

ファインダーをのぞきながら、視度調整ダイヤルを回す

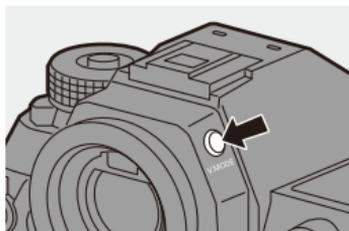
- 文字がはっきり見えるまで調整してください。



❖ ファインダー表示倍率の切り換え

[V.MODE] ボタンを押す

- ファインダーの表示倍率が3段階に切り換わります。

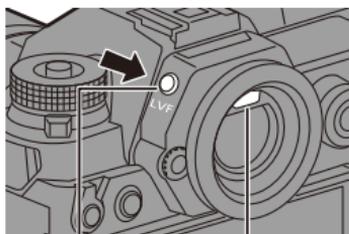


モニターとファインダーの切り換え

初期設定では、ファインダー／モニター自動切換が設定されています。ファインダーをのぞくとアイセンサーが働き、モニター表示からファインダー表示に切り換わります。

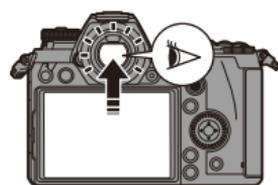
[LVF]ボタンで、ファインダー表示またはモニター表示に切り換えることができます。

[LVF]ボタンを押す

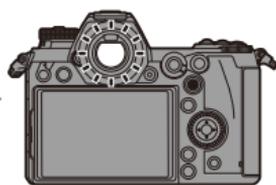


[LVF]ボタン アイセンサー

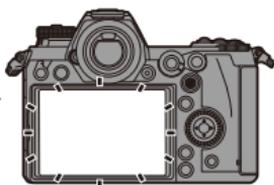
ファインダー／モニター
自動切換



ファインダー表示



モニター表示



- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中は、ファインダー／モニター自動切換が働きません。
- モニターを開いているときは、アイセンサーは働きません。



- ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます：

[設定] ⇒ [AF] ⇒ [アイセンサーAF] (→ 296)

- アイセンサーの感度を変更できます：

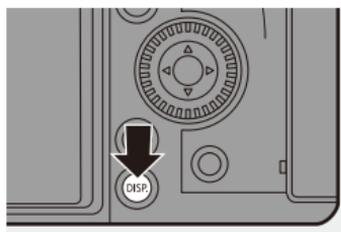
[設定] ⇒ [カメラ] ⇒ [アイセンサー] (→ 314)

情報表示の切り換え

撮影画面や再生画面の撮影情報(アイコン)を非表示にできます。背面のモニターは、撮影情報だけを表示したり、消灯したりすることもできます。

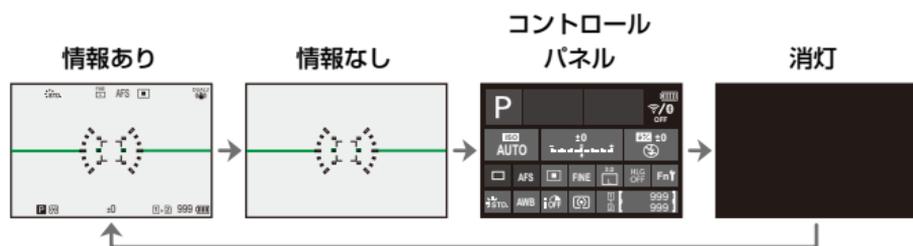
[DISP.]ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。

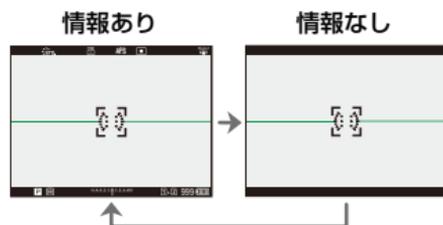


❖ 撮影画面

モニター



ファインダー



- [] ボタンを押すと、水準器の表示／非表示を切り換えることができます。
[水準器表示](→ 302)でも設定できます。

コントロールパネルの操作

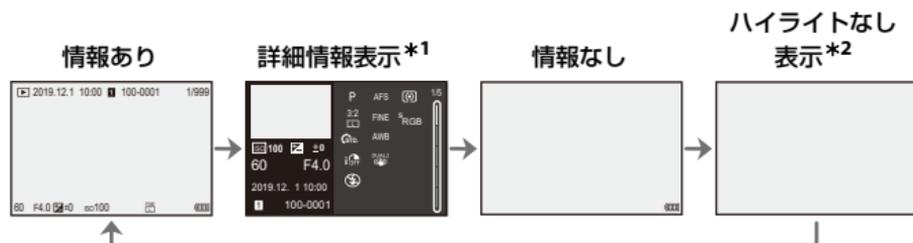
コントロールパネルの各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。また、以下の操作でも変更できます。

- 1 カーソルボタンのいずれかを押して、項目を選択可能な状態にする
 - 選択中の項目が黄色で表示されます。
- 2 [] または [] を回して項目を選ぶ
 - [▲▼◀▶] を押しても選択できます。
- 3 [] を回して設定値を変更する



- ➡ モニターに表示する画面の種類を制限できます：
[] ➡ [] ➡ [撮影画面の遷移(モニター)](→ 306)
- ライブビューと情報表示が重ならないように表示を変更できます：
[] ➡ [] ➡ [LVF/モニター表示設定](→ 305)

❖ 再生画面



*1 ▲▼を押すと、表示内容が切り換わります。

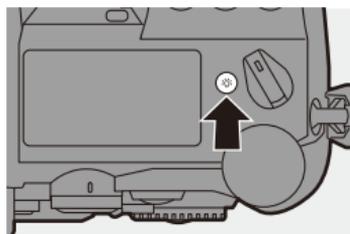
- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

*2 カスタムメニュー(モニター/表示)の[ハイライト表示]を[ON]にすると表示される、ハイライト表示のない画面です。この画面以外では、白飛びの起こっている部分が点滅表示されます。(→ 307)

ステータスLCDバックライトの点灯

[]ボタンを押す

- バックライトが点灯します。
- 約5秒間カメラを何も操作しないとバックライトは消灯します。
- 初期設定では、イルミネーションボタンも点灯します。
- もう一度[]ボタンを押す、またはシャッターボタンを全押しすると、バックライトは消灯します。
- 以下の機能を使用中は点灯しません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - 連写撮影中
 - 再生
 - メニュー
 - クイックメニュー



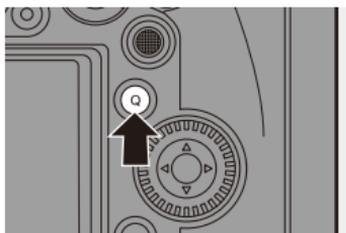
-  • ステータスLCDバックライトの点灯方法を変更できます：
[] → [] → [ステータスLCD] (→ 313)

クイックメニュー

撮影中によく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。クイックメニューの表示方法や、表示する項目を変更することもできます。

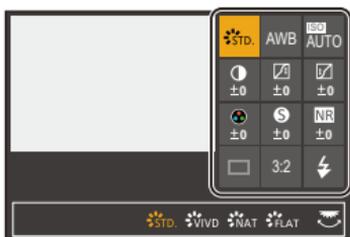
1 クイックメニューを表示する

- [Q] ボタンを押します。



2 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼◀▶ を押します。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。
- 回転ダイヤルを回しても選択できます。
- メニュー項目をタッチしても選択できます。



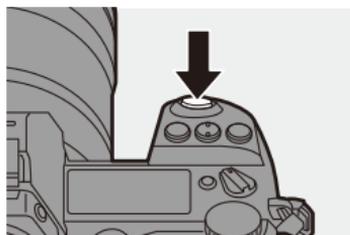
3 設定項目を選ぶ

- 太陽アイコン または 雲アイコン を回します。
- 設定項目をタッチしても選択できます。



4 クイックメニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [Q] ボタンを押しても終了できます。



 ● 撮影モードやカメラの設定によっては、設定できない項目があります。

 ● クイックメニューのカスタマイズができます：
[設定アイコン] → [太陽/雲アイコン] → [Q.MENU 設定] (→ 260)

メニューの操作方法

本機では、さまざまな機能の設定や、カメラのカスタマイズをメニューから行います。

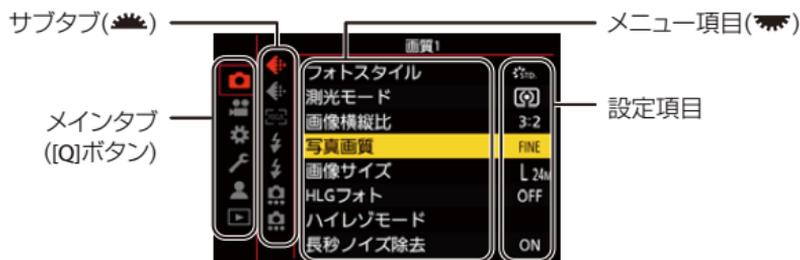
メニューの操作はカーソル、ジョイスティック、ダイヤル、タッチのどれでも操作が可能です。

メニューの構成と操作部

メニュー画面を◀▶で移動することで、メニューを操作できます。

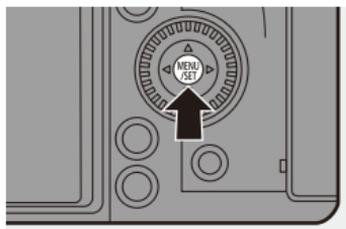
また、メインタブ、サブタブ、メニュー項目は、下図で示した操作部を使うと、メニューの各階層に移動しなくても操作できます。

- メインタブ、サブタブのアイコンや、メニュー項目、設定項目をタッチしても操作できます。



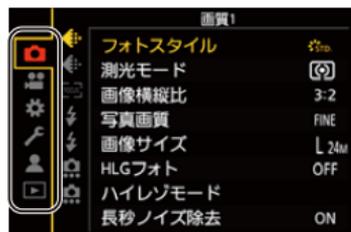
1 メニューを表示する

- を押します。



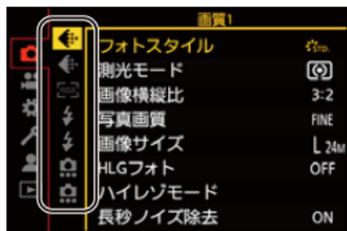
2 メインタブを選ぶ

- ▲▼でメインタブを選び、▶を押します。
- を回してメインタブを選び、 または を押しても同じ操作ができます。



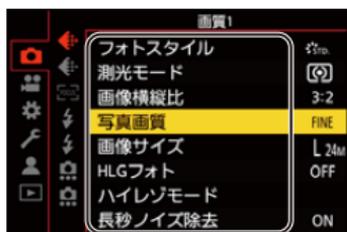
3 サブタブを選ぶ

- ▲▼でサブタブを選び、▶を押します。
- を回してサブタブを選び、またはを押しても同じ操作ができます。



4 メニュー項目を選ぶ

- ▲▼でメニュー項目を選び、▶を押します。
- を回してメニュー項目を選び、またはを押しても同じ操作ができます。



5 設定項目を選び決定する

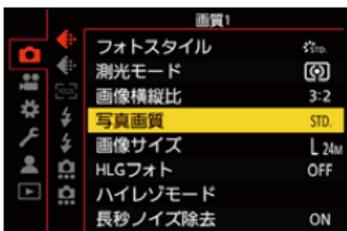
- ▲▼で設定項目を選び、またはを押します。
- を回して設定項目を選び、またはを押しても同じ操作ができます。



- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。

6 メニューを終了する

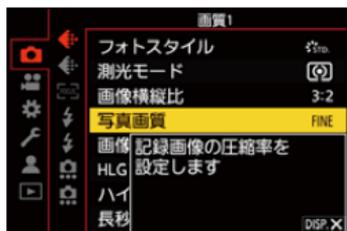
- シャッターボタンを半押しします。
- ボタンを数回押ししても終了できます。



 ● メニュー項目の詳細については、メニューガイドをお読みください。(→ 271)

❖ メニュー項目や設定内容の説明を表示する

メニュー項目や設定項目を選択中に[DISP.]ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。

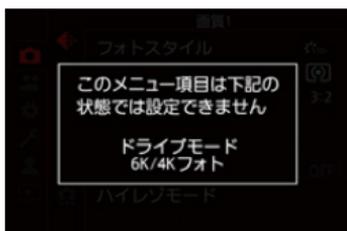


❖ グレーで表示されるメニュー項目

設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。

グレーのメニュー項目を選択中に  または  を押すと、設定できない理由が表示されます。

- メニュー項目によっては、設定できない理由は表示されません。



設定リセット

以下のそれぞれの設定を、初期設定に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([Wi-Fi設定]、[Bluetooth] の設定内容)
- セットアップ/カスタム設定 ([Wi-Fi設定]、[Bluetooth] 以外)

 →  →  → [設定リセット] を選ぶ

- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
 - 再生メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[AF 位置から拡大]、[HLG ビューアシスト(モニター)]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダー番号、時計はリセットされません。

 • 初期設定の一覧 (→ 438)

4. かんたん撮影

インテリジェントオートモード

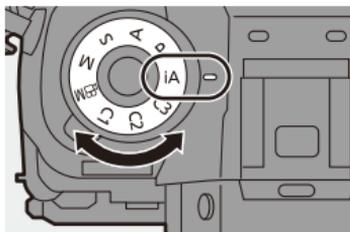
iA P A S M



[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。

被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる



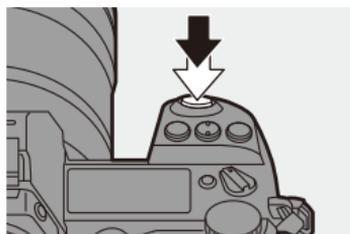
2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラがシーンを判別すると、撮影モードのアイコンが変化します。(自動シーン判別)



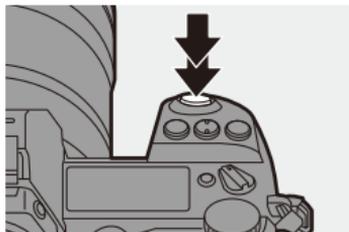
3 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)
- AFモードの[AF-ON]が動き、人物や動物に合わせてAFエリアが表示されます。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



- 逆光時に被写体が暗く写らないように、逆光補正が自動で働きます。

❖ 自動シーン判別の種類

📷: 写真撮影時に判別されるシーン

📹: 動画撮影時に判別されるシーン



📷📹: i人物 & 動物



📷📹: i人物*1



📷📹: i風景



📷📹: iマクロ



📷📹: i夜景 & 人物*2



📷📹: i夜景



📷📹: i料理



📷📹: i夕焼け



📷📹: iローライト



📷📹: iA

*1 動物認識を無効にしているときに判別されます。

*2 外部フラッシュ使用時に判別されます。



- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA](標準的な設定)で撮影します。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

❖ AFモード

AFモードを切り換える

- [AF-ON] ボタンを押すごとに、AFモードが切り換わります。

<p> 自動認識 (顔・瞳・人 体・動物)</p>	<p>人の顔、目、体(全身または上半身)、動物の体を認識してピントを合わせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を押すごとに、ピントを合わせる人や動物、目が切り換わります。タッチして切り換えることはできません。 • 動物認識の有効/無効は、[iA]モード以外で行った設定を引き継ぎます。 	
<p> (追尾)</p>	<p>フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。</p> <p>被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにする</p> <ul style="list-style-type: none"> • シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。 	

-  • AFモードについて詳しくは、92、95ページをお読みください。

❖ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、撮影状況に適したフラッシュモードに切り換わります。スローシンクロ([iA], [iA])のときは、シャッタースピードが遅くなるため、手ブレにお気をつけください。

- [iA], [iA]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- 外部フラッシュについては、195ページをお読みください。

タッチ撮影

タッチシャッター

iA P A S M 



タッチした位置にピントを合わせてシャッターを切ります。

-  初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 297)

1  をタッチする

2  をタッチする

- アイコンが  に変わり、タッチシャッター撮影が可能な状態になります。



3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- AFが働き撮影します。



❖ タッチシャッターの解除方法

 をタッチする

- アイコンが  に変わります。

-  ピント合わせに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯します。

タッチAE

iA P A S M



タッチした位置に明るさを合わせます。
人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくできます。

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 297)

1 []をタッチする

2 [AE]をタッチする

- タッチAEの設定画面が表示されます。



3 明るさを合わせたい被写体を
タッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。

4 [決定]をタッチする



❖ タッチAEの解除方法

[OFF AE]をタッチする

- タッチ位置に、ピントと明るさを合わせることもできます(このとき、タッチAEは使用できません):
[設定] → [タッチ設定] → [タッチAF] → [AF+AE](→ 105)

5. 画像の記録

画像横縦比

iA P A S M 



画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [画像横縦比]を選ぶ

4:3	4:3モニターの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	16:9テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比
65:24	パノラマ撮影の横縦比
2:1	



- 以下の機能を使用中は、[16:9]と[1:1]は使用できません。
 - 6Kフォト
 - [フォーカスセレクト]([6K 18M]設定時)
- 以下の機能を使用中は、[65:24]と[2:1]は使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [HLGフォト]
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
 - [多重露出]
- APS-C用レンズ使用時は、[65:24]と[2:1]は使用できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [画像横縦比](→ 248)

画像サイズ

iA P A S M 



写真の画像サイズを設定します。[画像横縦比]や使用するレンズによって、画像サイズは変わります。

APS-C用レンズを使用しているときは、撮影範囲がAPS-C用に切り換わり、画角が狭くなります。

 →  →  → [画像サイズ]を選ぶ

画像横縦比	画像サイズ			
	フルサイズ用レンズ使用時		APS-C用レンズ使用時	
4:3	L(21.5M)	5328×4000	L(9.5M)	3536×2656
	M(10.5M)	3792×2848	M(5M)	2560×1920
	S(5.5M)	2688×2016	S(2.5M)	1840×1376
3:2	L(24M)	6000×4000	L(10.5M)	3984×2656
	M(12M)	4272×2848	M(5.5M)	2880×1920
	S(6M)	3024×2016	S(3M)	2064×1376
16:9	L(20M)	6000×3368	L(9M)	3984×2240
	M(10M)	4272×2400	M(4.5M)	2880×1624
	S(5M)	3024×1704	S(2M)	1920×1080
1:1	L(16M)	4000×4000	L(7M)	2656×2656
	M(8M)	2848×2848	M(3.5M)	1920×1920
	S(4M)	2016×2016	S(2M)	1376×1376
65:24	L(13M)	6000×2208	—	
2:1	L(18M)	6000×3000	—	

• [EXテレコン(写真)]設定時は、[M]、[S]の画像サイズに[EX]が表示されます。



- 以下の機能を使用中は、[画像サイズ]は設定できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]
 - [写真画質]の[RAW]
 - [多重露出]



• Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [画像サイズ](→ 248)

写真画質

iA P A S M 



写真を保存するときの圧縮率を設定します。

 →  →  → [写真画質] を選ぶ

設定	ファイル形式	設定内容
FINE	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
STD.		標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合に便利です。
RAW+FINE	RAW+JPEG	RAW画像とJPEG画像([FINE]または[STD.])を同時に記録します。
RAW+STD.		
RAW	RAW	RAW画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- カメラでRAW画像を現像できます。(→ 242)
- パソコンでRAWファイルの現像・編集をする場合は、ソフトウェア(市川ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(→ 383)
- [RAW]で撮影した写真は、再生時に最大倍率まで拡大表示できません。撮影後にカメラでピントを確認するときは、[RAW+FINE]または[RAW+STD.]で撮影してください。



- RAW画像は常に画像横縦比[3:2]の[L]サイズで記録されます。
- [RAW+FINE]、[RAW+STD.]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- 以下の機能を使用中は、[写真画質]は設定できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]
 - [多重露出]



- Fnボタンに機能を登録できます：
[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [写真画質](→ 248)

ダブルスロット機能

カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。

 →  →  → [ダブルスロット機能]を選ぶ

記録方法	 (リレー記録)	優先して記録するカードスロットを選択します。 【記録先スロット】: [1→2] / [2→1] カードの容量がいっぱいになったら、もう一方のカードスロットのカードに続けて記録します。
	 (バックアップ記録)	2枚のカードに同じ画像を記録します。
	 (振り分け記録)	画像の種類ごとに、記録するカードスロットを指定できます。 【JPEG/HLG フォト記録先】 / 【RAW 記録先】 / 【6K/4K フォト記録先】 / 【動画記録先】

 • AVCHD動画はカードスロット1(XQDカード)に記録できないため、ダブルスロット機能は使用できません。

バックアップ記録について

- 容量が同じカードを使用することをお勧めします。
- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]の撮影ができません。
 - SDXCメモリーカードと32 GB以下のXQDカード
 - SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードと、32 GBを超えるXQDカード

 • Fnボタンに[記録先スロット]のカード切り換えを登録できます：
[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [記録先スロット](→ 248)

フォルダー/ファイル設定

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名	ファイル名
100ABCDE 	PABC0001.JPG 
① フォルダー番号(3桁、100～999)	③ 色空間([P]:sRGB、[_]:AdobeRGB)
② 任意の5桁	④ 任意の3桁
	⑤ ファイル番号(4桁、0001～9999)
	⑥ 拡張子

 ⇒  ⇒  ⇒ [フォルダー/ファイル設定]を選ぶ

フォルダー 選択 *	画像を保存するフォルダーを選択します。 • フォルダー名と、記録可能なファイル数が表示されます。			
新規フォルダー 作成	フォルダー番号を繰り返して、新規フォルダーを作成します。 • カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。			
	<table border="1"><tbody><tr><td>OK</td><td>任意の5桁(上記②)は変更せずに、フォルダー番号を繰り返します。</td></tr><tr><td>フォルダー 名変更</td><td>任意の5桁(上記②)を変更します。フォルダー番号も繰り返されます。</td></tr></tbody></table>	OK	任意の5桁(上記②)は変更せずに、フォルダー番号を繰り返します。	フォルダー 名変更
OK	任意の5桁(上記②)は変更せずに、フォルダー番号を繰り返します。			
フォルダー 名変更	任意の5桁(上記②)を変更します。フォルダー番号も繰り返されます。			
ファイル名設定	フォルダー 番号連動	任意の3桁(上記④)をフォルダー番号(上記①)にします。		
	ユーザー 設定	任意の3桁(上記④)を変更します。		

* [ダブルスロット機能]を[振り分け記録]に設定しているときは、[フォルダー選択(スロット1(XQD))]&[フォルダー選択(スロット2(SD))]が表示されます。

- 文字の入力画面が表示されたら、329ページの手順に従って文字入力してください。
設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_]



- 1つのフォルダーに**1000**ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に**0001**～**9999**の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内のファイル数が**1000**に達したとき
 - ファイル番号が**9999**に達したとき
- フォルダー番号が**100**～**999**のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- [ダブルスロット機能]の[バックアップ記録]を使用中は、[フォルダー選択]を設定できません。

ファイル番号リセット

次に撮影する画像のファイル番号を**0001**にします。



⇒ [🔧] ⇒ [⏪] ⇒ [ファイル番号リセット]を選ぶ

設定: [スロット1(XQD)] / [スロット2(SD)]



- リセット後に撮影すると、フォルダー番号が更新され、ファイル番号が**0001**から始まります。
- フォルダー番号は**100**～**999**まで作成されます。フォルダー番号が**999**になるとファイル番号リセットができなくなります。データのバックアップを取り、カードをフォーマットすることをお勧めします。
- **フォルダー番号を100にリセットするには:**
 - ① [フォーマット]を実行し、カードを初期化する
 - ② [ファイル番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
 - ③ フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

6. フォーカス／ズーム

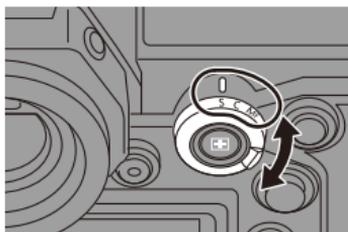
フォーカスモードの選択

iA P A S M 



被写体の動きに合わせて、ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択できます。

フォーカスモードレバーを合わせる



[S] (AFS)	静止している被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンを半押しすると、1回だけピントを合わせます。 シャッターボタンを半押ししている間はピントが固定されます。
[C] (AFC)	動いている被写体の撮影に適しています。 シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせます。 • 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。(動体予測)
[MF]	手動でピントを合わせます。ピントを固定したい場合や、AFを働かせたくない場合に使います。(→ 109)



- 以下の場合、[AFC]は[AFS]と同じ動作をします。
 - [M]モード
 - 低照度時
- 以下の機能を使用中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [ハイレゾモード]
- [ハイスピード動画]使用中は、[AFS]、[AFC]は[MF]に切り換わります。
- フォーカスセレクト撮影では設定できません。

AFを使う

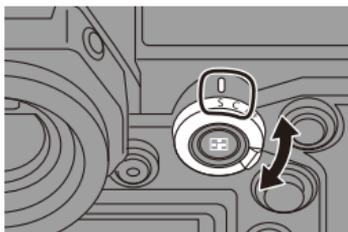
iA P A S M



AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードを[S]または[C]にする

- フォーカスモードレバーを合わせます。(→ 85)



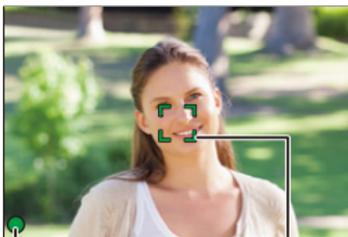
2 AFモードを選ぶ

- []ボタンを押してAFモードの選択画面を表示し、またはで決定します。(→ 91)
- [iA]モードでは、[]を押すごとに[]と[]が切り換わります。(→ 76)



3 シャッターボタンを半押しする

- AFが動きます。
- [AFC]で動画撮影中にピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。



フォーカスアイコン AFエリア

	ピント	
	合っている	合っていない
フォーカスアイコン	点灯	点滅
AFエリア	緑	赤
合焦音	ピピッ	—

低照度AF

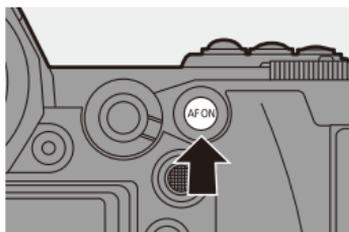
- 暗い環境では低照度AFが自動で働き、フォーカスアイコンが[**LOW**]と表示されます。
- 通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

星空AF

- 低照度AFと判定したあとに夜空の星を検知した場合は、星空AFが働きます。ピントが合うとフォーカスアイコンが[**STAR**]と表示され、ピントが合った場所にAFエリアが表示されます。
- 画面の端では、星空AFの検知ができません。

❖ [AF ON]ボタン

[AF ON]ボタンを押してもAFが働きます。



💡 AFでピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい被写体
- 濃淡のない被写体
- ガラス越しにある被写体
- 光るものの近くにある被写体
- 非常に暗い場所にある被写体
- 遠くと近くの被写体を同時に撮るとき

- 🔊 [AFC]で撮影中に、W端からT端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えたりした場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。

- ➡ 合焦音の音量や音色を変更できます：
[🔧] → [📶] → [電子音] → [合焦音音量] / [合焦音音色] (→ 314)

❖ AFエリアの位置を拡大表示する(AFポイントスコープ)

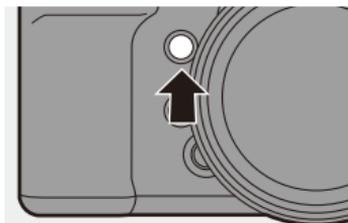
AFモードが[☒]、[■]、[+]のときに、ピント位置を拡大表示します。(それ以外のAFモードでは、画面中央が拡大表示されます)

被写体を拡大表示してピントを確認したり、望遠鏡のように被写体を観察したりできます。

- [AFポイントスコープ]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Fn1]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、248ページをお読みください。

撮影画面で[Fn1]ボタンを押したままにする

- [Fn1]ボタンを押している間、画面の一部を拡大表示します。
- 拡大表示中にシャッターボタンを半押しすると、中央の小さなAFエリアでピントを合わせ直します。
- 拡大表示中に  または  を回して、拡大倍率を調整できます。
 を使うとより細かく調整できます。



- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、 が表示されAFポイントスコープが使用できなくなる場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - AFポイントスコープを連続で使用
 - 周囲の温度が高い
- 拡大表示中は、[AFC]は[AFS]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、AFポイントスコープは使用できません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [フィルター設定]の[ジオラマ]
 - [多重露出]



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[⚙️] → [AF] → [AFポイントスコープ設定] (→ 295)

AFカスタム設定(写真)

iA P A S M



[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。

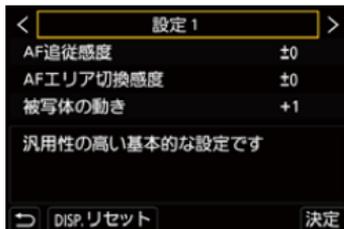
各特性は、さらに詳細なカスタマイズができます。

1 フォーカスモードをAFCにする (→ 85)

2 [AFカスタム設定(写真)]を設定する

● → → →

[AFカスタム設定(写真)]



設定 1	汎用性の高い基本的な設定
設定 2	被写体が一定方向に等速で進むシーンに適した設定
設定 3	被写体が前後左右に動き、障害物が入りやすいシーンに適した設定
設定 4	被写体の速度変化が大きいシーンに適した設定



- 以下の機能を使用中は、[AFカスタム設定(写真)]は使用できません。
- 6K/4Kフォト



- Fn ボタンに機能を登録できます:

→ → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [AFカスタム設定(写真)]
(→ 248)

❖ AFカスタム設定の調整

- ① ◀▶ でAFカスタム設定の種類を選ぶ
- ② ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する
 - 初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ③  または  を押す

AF追従感度	被写体の動きに追従する感度を設定します。	
	+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
	-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合でも、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。
AFエリア 切替感度	被写体の動きに合わせてAFエリアを切り換える感度を設定します。 (225点のAFエリアを利用したAFモードのとき)	
	+	被写体がAFエリアから外れたとき、すぐにAFエリアを切り換え、ピントを合わせ続けます。
	-	AFエリアを緩やかに切り換えます。被写体の僅かな動きやカメラの前の障害物からの影響を受けにくくします。
被写体の動き	被写体の動きの速度変化に対して、動体予測が働くレベルを設定します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • 設定値を大きくするほど、急な被写体の動きでも、ピントを合わせようとします。ただし、僅かな動きの影響を受けやすく、ピントが不安定になることがあります。 	
	0	速度変化の少ない被写体に適しています。
	+1 +2	被写体の速度が変化する被写体に適しています。

AFモードの選択

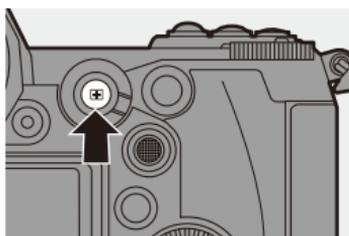
iA P A S M



被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 [MENU]ボタンを押す

- AFモードの選択画面が表示されます。



2 AFモードを選ぶ

- ◀▶で項目を選び、**MENU/SET** または を押します。



	自動認識(顔・瞳・人 体・動物)	→92
	追尾	→95
	225点	→96
	ゾーン(縦・横)	→97
	ゾーン(四角)*	→97
	ゾーン(楕円)	→97
	1点+補助	→99
	1点	→99
	ピンポイント	→101
	カスタム1～ カスタム3*	→102

- * 初期設定では表示されません。[AFモード表示の制限]で選択画面に表示する項目を設定できます。(→295)



- インターバル撮影では[]は使用できません。
- フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[+]は使用できません。
- 以下の機能を使用しているときは、AFモードは[]に固定されます。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [フィルター設定]の[ジオラマ]
- フォーカスセレクト使用中は、AFモードを設定できません。

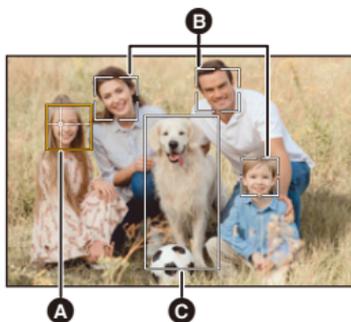
自動認識(顔・瞳・人体・動物)

人の顔、目、人の体(全身または上半身)を認識してピントを合わせます。また、初期設定では動物認識が働き、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)の動物なども認識できます。

カメラが人の顔(A、B)や体、動物の体(C)を認識すると、AFエリアが表示されます。

黄色	ピントを合わせる対象のAFエリアです。カメラが自動で選びます。
白色	複数の被写体を認識すると表示されます。

- 瞳認識は黄色の枠内の目(A)に対して働きます。



- 人の目を認識した場合、カメラに近い側の目にピントを合わせます。露出は顔に合わせます。([測光モード]を[])に設定時)
- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。
- カメラが認識できる人の体および動物の体は、合わせて最大3つまでです。
- 人や動物を認識できない場合は、[]の動作になります。

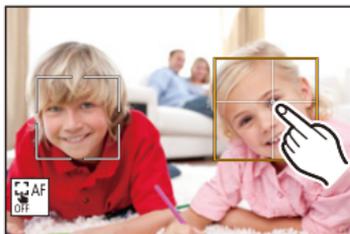
❖ ピントを合わせる人や動物、目の指定

ピントを合わせたい人や動物に白色のAFエリアが表示されているときに、黄色のAFエリアに変えることができます。

● タッチ操作

白色のAFエリアが表示されている人や動物、目をタッチする

- AFエリアが黄色に変わります。
- AFエリア以外をタッチすると、AFエリアの設定画面が表示されます。[決定]をタッチすると、タッチした位置に[■]のAFエリアが設定されます。
- 指定を解除するには、[AF OFF]をタッチしてください。



● ボタン操作

 を押す

-  を押すごとに、ピントを合わせる人や動物、目が切り換わります。
- 指定を解除するには、 を押してください。

❖ 動物認識の有効／無効

① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

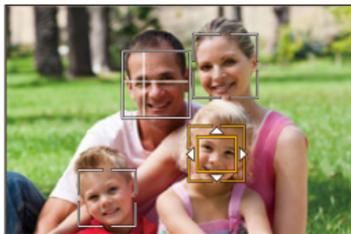
② [] を選び、▲ を押す

- 動物認識が無効になり、アイコンが[] になります。
- もう一度▲を押すと、動物認識が有効になります。

❖ 黄色いAFエリアの移動と大きさの変更

黄色のAFエリアを、白色のAFエリアの位置に移動して、入れ替えることができます。AFエリア以外の位置に移動した場合は、[■]のAFエリアが設定されます。

- 1 [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2 [] を選び、▼を押す
- 3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
- 4 ☀ または ☂ を回してAFエリアの大きさを変更する
- 5  を押す
 - 撮影画面で  を押す、または [] をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。



AFエリアの移動画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AFエリアの移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
☀	ピンチアウト/ ピンチイン	AFエリアを細かく拡大／縮小
☂	—	AFエリアを拡大／縮小
[DISP.]	[リセット]	1回目: AFエリアの位置を中央に戻す 2回目: AFエリアの大きさを初期設定に戻す

追尾

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、AFエリアが被写体の動きを追いかけて、ピントを合わせ続けます。

追尾を開始する

- AFエリアに被写体を入れて、シャッターボタンを半押しします。シャッターボタンを半押しまたは全押ししている間、被写体を追尾します。
- 追尾に失敗したときは、AFエリアが赤色になります。
- フォーカスモードを[AFS]にしているときは、AFエリアの位置でピントを合わせます。追尾は動きません。



- [AFM]モード時、動画撮影中、および[6K/4K連写(S/S)]撮影中は、シャッターボタンを離しても追尾を維持します。追尾を解除するには、 または  を押し、または  をタッチしてください。また、[AFS]でも追尾できます。



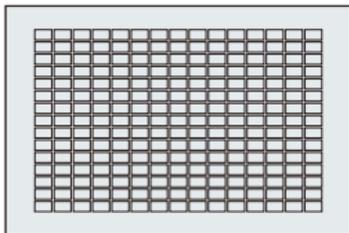
- [測光モード]を[☉]にすると、露出も合わせ続けます。
- 以下の場合、 は  の動作になります。
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]／[L.モノクローム]／[L.モノクロームD]／[モノクローム(HLG)]
 - [フィルター設定]の[セピア]／[モノクローム]／[ダイナミックモノクローム]／[ラフモノクローム]／[シルキーモノクローム]／[ソフトフォーカス]／[クロスフィルター]／[サンシャイン]
 - 被写体が小さいとき

❖ AFエリアの移動

- 1  ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2  を選び、▼を押す
- 3 ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。
- 4  を押す

225点

225点からカメラが最適なAFエリアを選んでピントを合わせます。複数のAFエリアが選ばれるときは、選ばれたすべてのAFエリアでピントが合います。フォーカスモードを[AFC]にしているときは、225点のエリア内に被写体を入れて撮影すると、被写体にピントを合わせ続けることができます。



❖ [AFC]の開始位置を指定する

フォーカスモードを[AFC]にしているとき、どのエリアで[AFC]を開始するかを指定できます。

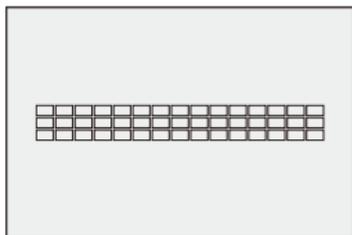
- ① フォーカスモードをAFCにする(→ 85)
- ② [AFCの開始位置指定(225点AF)]を[ON]に設定する
 -  ⇒  ⇒ [] ⇒ [AFCの開始位置指定(225点AF)] ⇒ [ON]
- ③ [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ④ [] を選び、▼を押す
 - 手順①、②を行ったあとは、アイコンが[]から[]に変わります。
- ⑤ ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - 位置を中央に戻すには[DISP.]ボタンを押してください。
- ⑥  を押す

☰ ゾーン(縦・横) / ☒ ゾーン(四角) / ⊕ ゾーン(楕円)

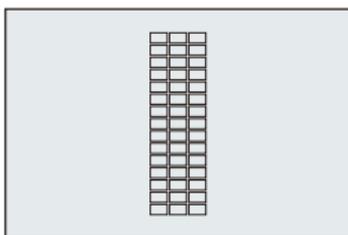
☰ ゾーン(縦・横)

225点のAFエリアのうち、縦方向と横方向のゾーンでピント合わせができます。

横方向

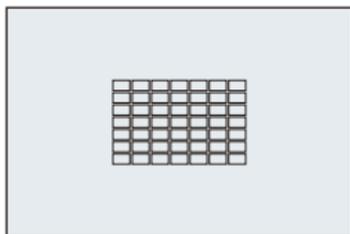


縦方向



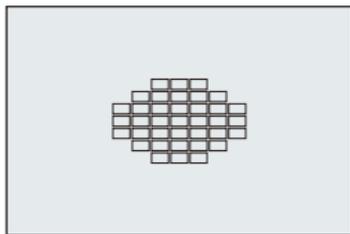
☒ ゾーン(四角)

225点のAFエリアのうち、中央の四角いゾーンでピント合わせができます。



⊕ ゾーン(楕円)

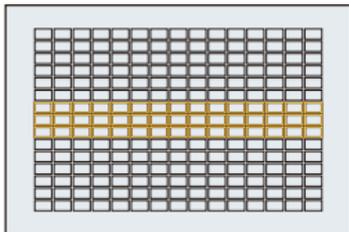
225点のAFエリアのうち、中央の楕円形ゾーンでピント合わせができます。



- [☒]は初期設定では表示されません。[AFモード表示の制限]で[ゾーン(四角)]を[ON]に設定してください。(→ 295)

❖ AFエリアの移動と大きさの変更

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② [], [] または [] を選び、▼を押す
- ③ ▲▼◀▶でAFエリアを移動する
 - タッチしてもAFエリアを移動できます。
 - [] 選択中
 - ▲▼を押すと、横方向のAFエリアに切り換わります。
 - ▶を押し、縦方向のAFエリアに切り換わります。
 - [] / [] 選択中
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- ④  または  を回してAFエリアの大きさを変更する
 - AFエリアをピンチアウト／ピンチインしても大きさを変更できます。
 - [DISP]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- ⑤  を押す



- 225点を利用したAFエリアの表示方法を変更できます：

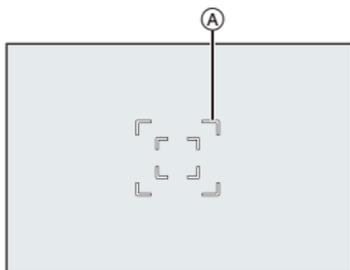
[] → [] → [AFエリア表示] (→ 303)

☑ 1点+補助 / ■ 1点

☑ 1点+補助

1点のAFエリア内で重点的にピントを合わせます。1点のAFエリアから被写体が外れた場合も、補助AFエリア①内でピントを合わせます。

- [■]では追従が難しい、動きのある被写体を撮影するときには有効です。



■ 1点

ピント位置を指定します。



❖ AFエリアの移動と大きさの変更

- 1 [☑] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2 [☑] または [■] を選び、▼を押す
- 3 ▲▼◀▶ でAFエリアを移動する
- 4 ☀ または ☂ を回してAFエリアの大きさを変更する
- 5 MENU/SET を押す



AFエリアの移動画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	AFエリアの移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト/ ピンチイン	AFエリアを細かく拡大/縮小
	—	AFエリアを拡大/縮小
[DISP.]	[リセット]	1回目: AFエリアの位置を中央に戻す 2回目: AFエリアの大きさを初期設定に戻す

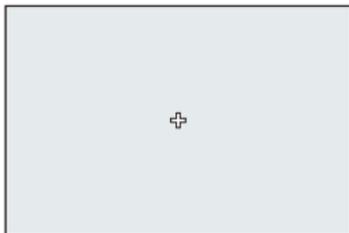


• 1点のAFエリアの移動速度を変更できます:

[カメラアイコン] ⇒ [FOCUS] ⇒ [1点AF枠の移動速度] (→ 278)

[+] ピンポイント

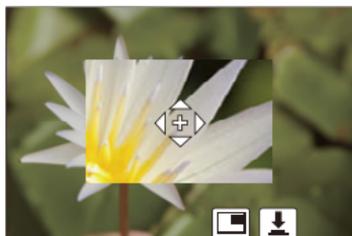
小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。



• フォーカスモードを[AFC]に設定しているときは、[+]は使用できません。

❖ AFエリアの移動

- ① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- ② [+] を選び、▼ を押す
- ③ ▲▼◀▶ で [+] の位置を決め、 または  を押す
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 選んだ位置が拡大表示されます。
 - 画面の端にはAFエリアを移動できません。
- ④ ▲▼◀▶ で [+] の位置を微調整する
- ⑤  または  を押す



拡大画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	[+]の移動 • ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え (画面の一部／画面全体)
[DISP.]	[リセット]	1回目: 手順③の画面に戻す 2回目: AFエリアの位置を中央に戻す

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大できます。
- をタッチしても写真を撮影できます。



- 以下の機能を使用中は、[+]が[■]に切り換わります。
– 動画撮影、6K/4Kフォト



- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [ピンポイントAF設定](→ 295)

C1 C2 C3 カスタム1～3

225点のAFエリアから、AFエリアの形状を自由に設定できます。設定したAFエリアを[C1]～[C3]に登録できます。設定した形状のまま、AFエリアを移動することもできます。



- 初期設定では表示されません。[AFモード表示の制限]で[カスタム1]～[カスタム3]を[ON]に設定してください。(→ 295)

❖ AFエリアの形状の登録

① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

② [] ~ [] のいずれかを選び、▲を押す

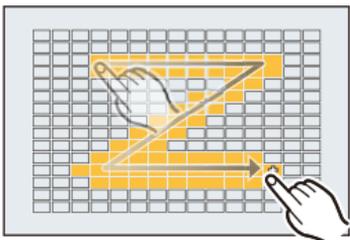


③ AFエリアを選ぶ

● タッチ操作

AFエリアにする部分をタッチする

- 連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。
- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度タッチしてください。



● ボタン操作

▲▼◀▶でAFエリアを選び、 または  で設定する(繰り返す)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度  または  を押してください。
- すべての選択を解除するには、[DISP.]ボタンを押してください。

④ [Q] ボタンを押す

❖ AFエリアの移動

① [] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する

② 形状を登録済みのAFモード([] ~ [])を選び、▼を押す

③ ▲▼◀▶でAFエリアを移動し、 を押す

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、[+]の位置を中央に戻します。

AFエリアの移動操作

iA P A S M



初期設定では撮影時にジョイスティックで直接AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 AFエリアを移動する

- 撮影画面でジョイスティックを傾けます。

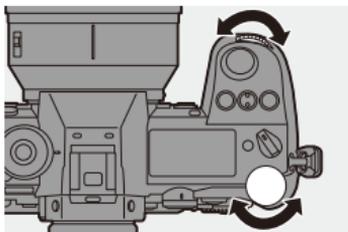


- を押すと、AFエリアの位置を初期設定の位置と設定した位置で交互に切り換えます。
[]では、ピントを合わせる人や動物、目を切り換えます。
[]では、拡大画面を表示します。



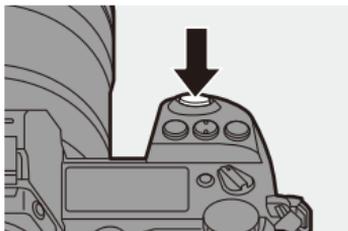
2 AFエリアの大きさを変更する

- または を回します。
- を使うとより細かく調整できます。
- [DISP.] ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。
- 撮影画面に戻ります。
- [MENU]では、撮影画面で [MENU] を押しと、AFエリアの設定が解除されます。



- [測光モード]が[☐]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。
 - [AF-ON], [AF-ON], [+], [C1]～[C3]では、AFエリアの大きさは変更できません。
 - [AF-ON]では、AFエリアの移動と大きさの変更はできません。
- ➡ AFエリアのループ移動を設定できます：
[設定] ➡ [AF] ➡ [フォーカス枠のループ移動](→ 296)

タッチでのAFエリアの移動操作

モニターをタッチした位置にAFエリアを移動できます。AFエリアの大きさを変更することもできます。

[MENU] ➡ [設定] ➡ [タッチ設定] ➡

[タッチ設定] ➡ [タッチAF]を選ぶ

AF	タッチした被写体にピントを合わせます。
AF+AE	タッチした被写体にピントと明るさを合わせます。
OFF	—



❖ タッチした位置にピントを合わせる([AF])

- 被写体をタッチする
 - タッチした位置にAFエリアが移動します。
- ピンチイン/ピンチアウトしてAFエリアの大きさを変更する
 - [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- [決定]をタッチする
 - [+]では、[終了]をタッチしてください。
 - [設定]では、撮影画面で[]をタッチすると、AFエリアの設定が解除されます。

❖ タッチした位置にピントと明るさを合わせる([AF+AE])

- 明るさを合わせたい被写体をタッチする
 - タッチした場所に[]と同じ働きのAFエリアが表示されます。AFエリアの中央には明るさを合わせる点が配置されます。
- ピンチイン/ピンチアウトしてAFエリアの大きさを変更する
 - [リセット]をタッチすると、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。
- [決定]をタッチする
 - 撮影画面で[]([]、[]設定時は[])をタッチすると、[AF+AE]の設定が解除されます。



タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

ファインダー表示中にモニターをタッチして、AFエリアの移動と大きさの変更ができます。

1 [タッチパッドAF]を設定する

-  →  →  →
[タッチ設定] → [タッチパッドAF] →
[絶対位置] / [相対位置]



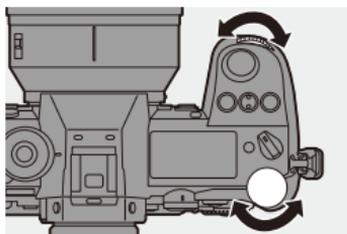
2 AFエリアを移動する

- ファインダー表示中にモニターをタッチします。



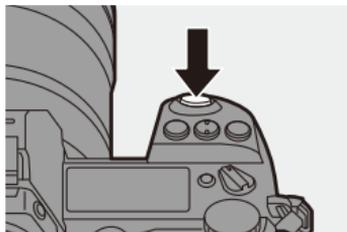
3 AFエリアの大きさを変更する

-  または  を回します。
-  を使うとより細かく調整できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、1回目はAFエリアの位置を中央に戻します。2回目はAFエリアの大きさを初期設定に戻します。

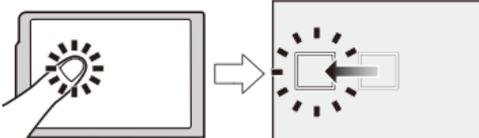
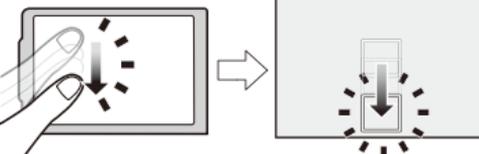


4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。
- [L/MF]では、撮影画面で  を押すと、AFエリアの設定が解除されます。



❖ 設定項目(タッチパッドAF)

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。	
OFF	—	—

縦/横位置フォーカス切換

カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。縦位置は左右の2種類を記憶します。



 →  → [AF] → [縦/横位置フォーカス切換] を選ぶ

ON	縦位置と横位置を別々に記憶します。
OFF	縦位置と横位置を同じ設定にします。



- MF時は、MFアシストの表示位置を記憶します。
- []、[C1]～[C3]では動きません。

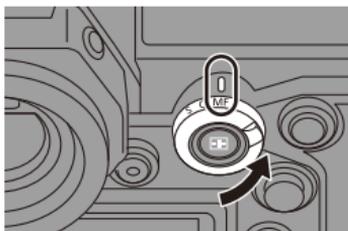
MFで撮る

iA P A S M



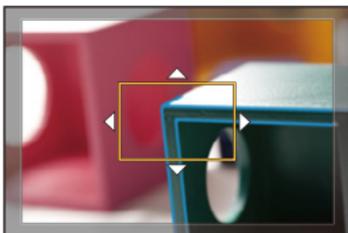
MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

1 フォーカスモードレバーを[MF]に合わせる



2 ピント位置を選ぶ

- ジョイスティックを傾けてピント位置を選びます。
- [AF-ON] ボタンを押しても、ピント位置の移動画面を表示できます。
- ピント位置を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。



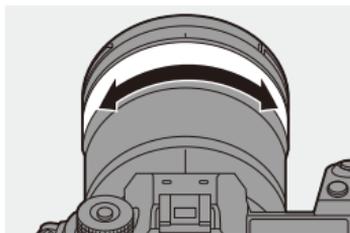
3 決定する

- [OK] を押します。
- MFアシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。



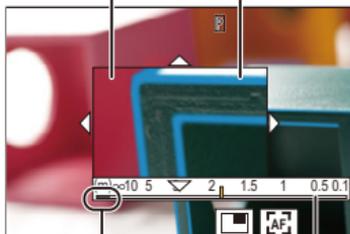
4 ピントを合わせる

- フォーカスリングを回します。
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 撮影距離の目安が表示されます。(MFガイド)



MFアシスト
(拡大画面)

ピーキング



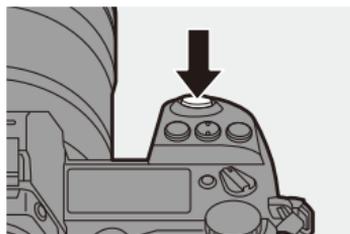
∞(無限)を示す目安 MFガイド

5 MFアシスト画面を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- を押しても同じ操作ができます。

6 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



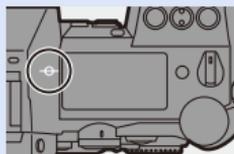
❖ MFアシスト画面での操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 <ul style="list-style-type: none"> ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	—	画面を拡大／縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部／画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	1回目:MFアシストの位置を中央に戻す 2回目:MFアシストの大きさを初期設定に戻す
[AF ON]		AFが働きます。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～20倍に拡大できます。



- 撮影画面でフォーカスリングを回しても、MFアシスト画面を表示できます。フォーカスリングを回して拡大表示した場合は、操作をやめると約10秒後にアシスト画面を終了します。
- MF時に[AF ON]ボタンを押すと、AFが動きます。
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。MFや接写の目安にしてください。



- ピーキングの感度や表示方法を変更できます：
[📷] ⇒ [FOCUS] ⇒ [ピーキング](→ 277)
- MFアシストの位置を縦位置と横位置で別々に記憶できます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [縦/横位置フォーカス切替](→ 108)
- 拡大画面の表示方法を変更できます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [MFアシスト](→ 294)
- MFガイドの表示方法を変更できます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [MFガイド](→ 294)
- フォーカスリングの操作を無効にできます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [フォーカスリングロック](→ 294)
- MFアシストのループ移動を設定できます：
[⚙️] ⇒ [AF] ⇒ [フォーカス枠のループ移動](→ 296)
- 電源を切ったときのピント位置を記憶します：
[⚙️] ⇒ [🔘] ⇒ [レンズ位置メモリー](→ 309)
- ピントの移動量を設定できます：
[⚙️] ⇒ [🔘] ⇒ [フォーカスリング制御](→ 309)

ズームを使って撮る

iA P A S M



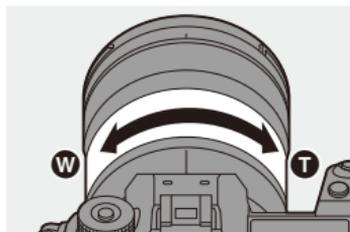
レンズの光学ズームを使って、望遠または広角にズームリングします。写真撮影時は、[EXテレコン(写真)]を使って、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。動画撮影時は、[動画撮影範囲]を使うと[EXテレコン(写真)]と同様の望遠効果を得ることができます。

• [動画撮影範囲]について詳しくは、213ページをお読みください。

ズームリングを回す

T側：望遠

W側：広角



- ズームリングを回すと、焦点距離が撮影画面に表示されます。



• 焦点距離を非表示にできます：

[] → [] → [焦点距離] (→ 306)

EXテレコン(写真)

iA P A S M



[EXテレコン(写真)]を使うと、画質を劣化させることなく光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。

- [EXテレコン(写真)]の最大倍率は、写真メニュー(画質)の[画像サイズ]によって異なります。
 - [EXM]に設定: 1.4倍
 - [EXS]に設定: 2.0倍(APS-C用レンズ使用時は、1.9倍)

1 [画像サイズ]を[M]または[S]に設定する

- → → → [画像サイズ] → [M]または[S]

2 [EXテレコン(写真)]を設定する

- → → → [EXテレコン(写真)]

ZOOM	ズーム倍率を変更できます。
TELE CONV.	ズーム倍率を最大に固定します。
OFF	—

❖ ズーム倍率を変更する

ボタン操作

- 1 [EXテレコン(写真)]を[ZOOM]にする
 - → → → [EXテレコン(写真)] → [ZOOM]
- 2 Fnボタンに[ズーム操作]を設定する(→ 248)
- 3 Fnボタンを押す
- 4 カーソルボタンでズーム操作する
 - ▲▶: T側(望遠)
 - ◀▼: W側(広角)
 - もう一度Fnボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。
 - 表示されるズーム倍率は目安です。



ズーム倍率

タッチ操作

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 297)

① [EXテレコン(写真)]を[ZOOM]にする

- MENU/SET → [カメラ] → [EXテレコン(写真)] → [ZOOM]

② [ZOOM]をタッチする

③ [ズーム]をタッチする



④ スライダーをドラッグして、ズーム操作する

T側: 望遠

W側: 広角

- タッチズーム操作を終了するには、もう一度[ZOOM]をタッチしてください。



- Fnボタンに機能を登録できます:

[設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [EXテレコン(写真)](→ 248)

- Fnボタンで[EXテレコン(写真)]の設定画面を表示しているときに、[DISP]ボタンを押すと[画像サイズ]の設定を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、[EXテレコン(写真)]は使用できません。
 - 6K/4Kフォト
 - [フィルター設定]の[トイフォト]/[トイポップ]
 - [画像横縦比]の[65:24]/[2:1]
 - [写真画質]の[RAW]
 - [フォーカスセレクト]
 - [HLG フォト]
 - [多重露出]
 - [ハイレゾモード]

7. ドライブ／シャッター

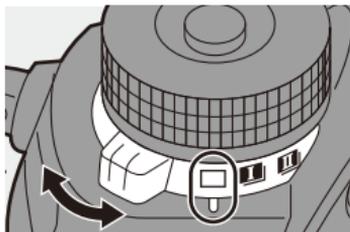
ドライブモードの選択

iA P A S M 



撮影状況に合わせて、ドライブモードを単写、連写などに切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



	単写	シャッターを押すごとに1枚ずつ撮影します。
	連写 (→117、120)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。 6K/4Kフォトの撮影もできます。
	インターバル/ コマ撮り撮影 (→132、135)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。
	セルフタイマー (→139)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。



• Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [ドライブモード](→ 248)

連写する

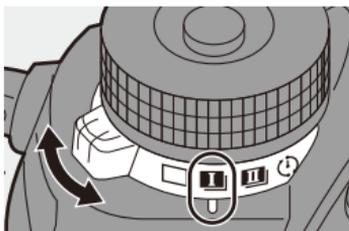
iA P A S M



シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
高画質の連写ができる[H]、[M]、[L]と、高速連写ができる[6K]（6K/4K フォト）から、撮影状況に合わせて連写設定を選択できます。

1 ドライブモードダイヤルを[I]（連写1）または[II]（連写2）に合わせる

- [I]と[II]のそれぞれに連写設定を行うことができます。



2 連写速度を選ぶ

- MENU SET → [カメラ] → [設定] → [連写1設定] / [連写2設定]
- 初期設定では[I]に[H]が、[II]に[6K]が設定されています。



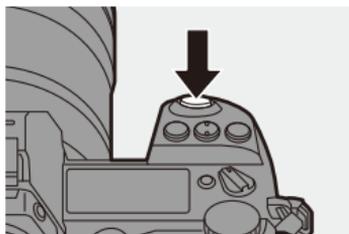
	6K/4K フォト撮影については、「6K/4K フォト撮影」をお読みください。(→ 120)
H	高速で連写します。
M	中速で連写します。
L	低速で連写します。

3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連写します。



❖ 連写速度

	メカシャッター 電子先幕	電子シャッター	連写中の ライブビュー
[H](高速)	9コマ/秒(AFS、MF) 6コマ/秒(AFC)	9コマ/秒(AFS、MF) 5コマ/秒(AFC)	なし(AFS、MF) あり(AFC)
[M](中速)	5コマ/秒	5コマ/秒	あり
[L](低速)	2コマ/秒	2コマ/秒	あり

- [画像サイズ]やフォーカスモードなど、撮影時の設定によって、連写速度は低下する場合があります。

❖ 連写コマ数

	写真画質		
	[FINE]、[STD.]	[RAW+FINE]、 [RAW+STD.]	[RAW]
[H](高速)	999コマ以上	70コマ以上	90コマ以上
[M](中速)			
[L](低速)			

- 当社測定条件による撮影時。
撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。
- 途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

❖ 連続撮影可能枚数

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が撮影画面やステータスLCDに表示されます。

例) 20枚のとき: [r20]

- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
[r0]と表示されると、連写速度が低下します。
- 撮影画面に[r99+]と表示されているときは、100枚以上の連写ができます。



❖ 連写時のピント

フォーカスモード	フォーカス/ リリース優先	[H]	[M] / [L]
AFS	フォーカス	1コマ目のピントに固定	
	バランス		
	リリース		
AFC	フォーカス	予測ピント	常時ピント
	バランス	予測ピント	
	リリース		
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

- [AFC]で被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
- 予測ピント時は、連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
- 常時ピント時は、連写速度が遅くなることがあります。

❖ 連写時の露出

フォーカスモード	[H]	[M] / [L]
AFS	1コマ目の露出に固定	1コマごとに露出を調整
AFC	1コマごとに露出を調整	
MF	1コマ目の露出に固定	



- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- シャッターボタンを押したまま連写するときは、シャッターリモコン(別売: DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- 以下の機能を使用中は、連写は動きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ジオラマ] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

6K/4Kフォト撮影

iA P A S M



6Kフォトでは30コマ/秒の高速連写を行い、連写ファイルから約1800万画素の写真を選び出し、保存できます。

4Kフォトでは60コマ/秒の高速連写を行い、約800万画素の写真を保存できます。

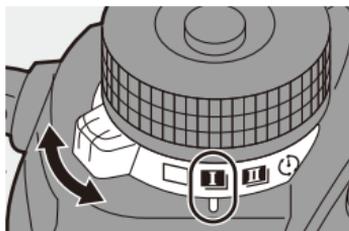
- 「6K PHOTO (6K フォト)」は、6Kサイズ(横6,000×縦3,000前後)の映像が有する画素数(約18メガ)と同程度の有効画素数を持つ4:3、3:2の写真用横縦比の映像から、写真を選び出し、保存する高速連写機能です。



- SDカードで本機能を使用する場合は、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。

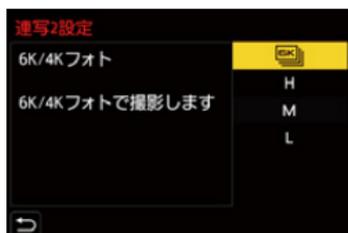
1 ドライブモードダイヤルを[I] (連写1)または[II] (連写2)に合わせる

- [I]と[II]のそれぞれに連写設定を行うことができます。



2 [6K/4Kフォト]を選ぶ

- MENU/SET → [カメラ] → [設定] → [連写1設定] / [連写2設定] → [6K]
- 初期設定では[II]に[6K]が設定されています。



3 [画像サイズ/連写速度]を選ぶ

- MENU/SET → [カメラ] → [設定] → [6K/4Kフォト] → [画像サイズ/連写速度]

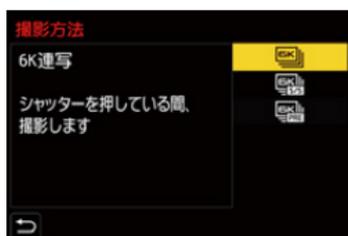


	画像サイズ	連写速度
6K 18M *1	[4:3]: 4992×3744	30 コマ/秒
	[3:2]: 5184×3456	
4K H 8M *2	[4:3]: 3328×2496	60 コマ/秒
	[3:2]: 3504×2336	
4K 8M *2	[16:9]: 3840×2160	30 コマ/秒
	[1:1]: 2880×2880	

*1 6Kフォト

*2 4Kフォト

4 [撮影方法]を選ぶ



   6K/4K連写	<p>動きの速い被写体のベストな瞬間をとらえたいとき シャッターボタンを押している間、連写します。</p> <p>音声記録: なし</p>
   6K/4K連写(S/S) S/Sとは 「Start / Stop」の略 を表します。	<p>いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき シャッターボタンを押すと連写を開始します。もう一度押すと、連写を終了します。開始音、終了音が鳴ります。</p> <p>音声記録: あり*</p>
   6K/4Kプリ連写	<p>シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき シャッターボタンを押した瞬間の前後約1秒を連写します。シャッター音が1回だけ鳴ります。</p> <p>記録時間: 約2秒</p> <p>音声記録: なし</p>

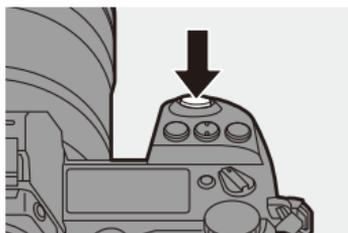
* カメラで再生する場合、音声は再生されません。

5 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

6 撮影する

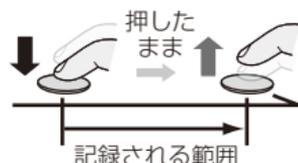
- AFで撮影中は[AF連続動作]が働き、ピントを合わせ続けます。



[6K/4K連写]

- 1 シャッターボタンを半押しする
- 2 撮影する間、シャッターボタンを全押ししたままにする

- 全押しから約0.5秒後に撮影が開始されるため、早めに全押ししてください。
- 撮影開始後にすぐにシャッターボタンを離しても、最大約1.5秒後まで記録される場合があります。



[6K/4K連写(S/S)]

- 1 シャッターボタンを全押しし、撮影を開始する
- 2 もう一度、シャッターボタンを全押しし、撮影を終了する

- 撮影中に[Q]ボタンを押すと、マーカを付けることができます。(1回の撮影に最大40個まで)6K/4K連写ファイルから写真を選ぶときに、マーカを付けた位置へスキップできます。



[6K/4Kプリ連写]

シャッターボタンを全押しする

- 撮影画面を表示中は、AFが常に動きピントを合わせ続けます。[M]モード以外では、露出も合わせ続けます。
- 被写体が中央にないときに、ピントと露出を固定したい場合は、AF / AEロックをお使いください。(→ 173)



- 連写を行い、[記録ファイル方式]が[MP4]の6K/4K連写ファイルとして保存します。
- 初期設定ではオートレビューが働き、連写ファイルから写真を選ぶ画面が表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ってください。
撮影した6K/4K連写ファイルから写真を選び保存する方法については、[126ページ](#)をお読みください。



- [画像サイズ/連写速度]の設定によって、連続記録できる時間が異なります。
 - [6K 18M]: 10分
 - [4K H 8M] / [4K 8M]: 15分
- カードの種類によって、ファイルの保存方法が異なります。
 - SDHCメモリーカード、32 GB以下のXQDカード:
ファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
 - SDXCメモリーカード、32 GBを超えるXQDカード:
ファイルが分割保存されることはありません。
- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、[△]が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 6K/4Kフォトを連続で撮影中
 - [6K/4Kプリ連写]使用中
 - [プリ記録]使用中
 - 周囲の温度が高い
- [6K/4Kプリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなり、カメラの温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。

❖ プリ記録 (6K/4K連写、6K/4K連写(S/S))

シャッターボタンを全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンス
を逃すことを防ぎます。



➡ [📷] ➡ [🔦] ➡ [6K/4Kフォト] ➡ [プリ記録] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 撮影画面に[PRE]が表示されます。
- AF動作や機能の制限は[6K/4Kプリ連写]と同じになります。

6K/4Kフォトについてのお知らせ

❖ 撮影中のシャッター音について

6K/4Kフォトは電子シャッターを使用するため、セットアップメニュー (IN/OUT)の[電子音]でシャッター音や電子音を設定できます。(→ 314)
 ・[サイレントモード]と組み合わせて撮影すると、静かに高速連写ができます。(→ 152)

❖ 苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。

❖ 6K/4Kフォトのカメラの設定について

6K/4Kフォト撮影では、自動で最適な設定に切り換わります。

- 以下の写真メニューは固定されます。

画像サイズ*	[6K](18 M)	写真画質	[FINE]
	[4K](8 M)	シャッター方式	[電子シャッター]

- 6K/4K連写ファイルは以下の設定で撮影されます。
 動画メニューの設定は、6K/4K連写ファイルに反映されません。

記録ファイル方式	[MP4]	AF連続動作	[ON]
動画画質*	[6K/200M/30p] [4K/150M/60p] [4K/100M/30p]	輝度レベル設定	[0-1023] (6Kフォト撮影時) [0-255] (4Kフォト撮影時)

* [画像サイズ/連写速度]の設定に合わせて切り換わります。

- 6K/4Kフォト撮影では、以下の機能を設定できる範囲が写真撮影時と異なります。
 - シャッタースピード: 1/30 ([4K H 8M] 設定時は 1/60) ~ 1/8000
 - [下限シャッター速度]: [1/500] ~ [1/30] ([4K H 8M] 設定時は [1/60])
 - 露出補正: ± 3 EV
- 6K/4Kフォト撮影では、以下の機能は使用できません。
 - フラッシュ
 - ブラケット撮影
 - プログラムシフト
 - AFモード ([+])
 - MFアシスト ([6K/4K プリ連写] のみ)



- 6K/4Kフォトで撮影中は、以下の機能は使用できません。
 - HDMI出力
- HDMI出力すると、次のようになります。
 - [6K/4Kプリ連写]は[6K/4K連写]に切り換わります。
 - [プリ記録]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、6K/4Kフォトは働きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]
- APS-C用レンズ使用時は、6Kフォトは使用できません。

6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ

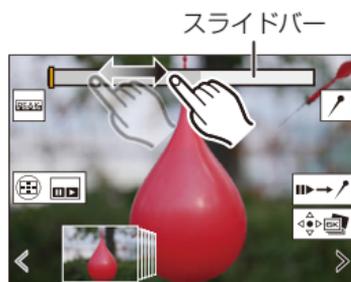
1 再生画面で6K/4K連写ファイルを選ぶ(→ 232)

- [▲] または [▲] アイコンが付いた画像を選び、▲ を押します。
- アイコン [▲]、[▲] をタッチしても同じ操作ができます。
- [6K/4Kプリ連写]で撮影した場合は、手順3へ進んでください。



2 おおまかにシーンを選ぶ

- スライドバーをドラッグします。
- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、128ページをお読みください。
- [6K/4K連写]または[6K/4K連写(S/S)]で撮影した場合は、[] をタッチすると、6K/4K連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(→ 130)



スライドフォトセレクト画面

3 保存するコマを選ぶ

- スライドフォトセレクトをドラッグします。
- ◀▶ を押しても、同じ操作ができます。
- 連続してコマ戻し/コマ送りするには、[<]/[>] をタッチし続けてください。



スライドフォトセレクト

4 写真を保存する

- [] または [] をタッチします。
- 確認画面が表示されます。



- 写真はJPEG形式で保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報 (Exif情報) が記録されます。

撮影後に写真を補正する (ポストリファイン)

❖ 写真のゆがみの補正 (ローリングシャッター低減)

写真を保存するとき、電子シャッターによるゆがみ (ローリングシャッター) を補正します。

- 1 127ページ手順4の保存の確認画面で、[ローリングシャッター低減] をタッチする
 - 補正をしても効果がない場合は、確認画面に戻ります。
- 2 補正効果を確認し、[保存] をタッチする
 - 補正あり/補正なしの写真を確認するには、[設定/解除] をタッチしてください。

- 補正すると画角が狭くなる場合があります。
- 被写体の動きによっては、補正結果が不自然になる場合があります。
- 本機以外で撮影した画像は、補正できない場合があります。

❖ 高感度によるノイズの低減(6K/4Kフォトノイズ低減)

写真を保存するときに、高いISO感度によって発生したノイズを低減します。

MENU/SET ⇒ **[▶]** ⇒ **[🔧]** ⇒ [6K/4Kフォトノイズ低減]を選ぶ

設定: [AUTO] / [OFF]

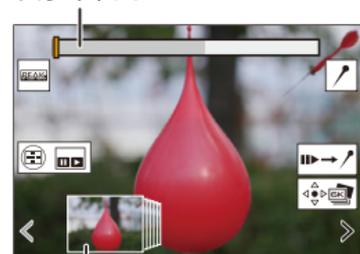


- [6K/4Kフォト一括保存]で保存する写真には反映されません。
- 本機以外で撮影した画像は、低減できない場合があります。

写真を選ぶときの操作

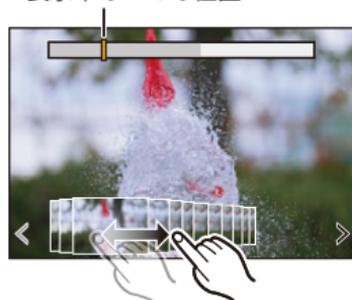
❖ スライドフォトセレクト画面での操作

スライドバー



スライドフォトセレクト

表示中のコマの位置



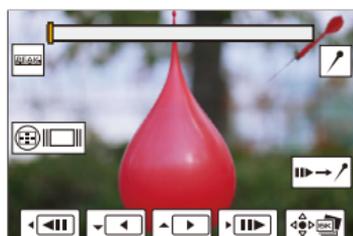
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀▶ / ⚙️	ドラッグ / < >	コマの選択 • スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<]または[>]をタッチしてください。
◀▶ 長押し	< > タッチし続ける	連続してコマ戻し / コマ送り
—	 タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択

	ピンチアウト/ ピンチイン	表示の拡大／縮小
	—	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
		6K/4K連写再生画面を表示
—		マーカー操作への切り換え
—		マーカーの追加／削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) • [OFF]→[ON]の順に切り換わります。
 / 	 / 	写真の保存

- マーカー操作中は、設定したマーカーや6K/4K連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。[]をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		次のマーカーへ移動
		前のマーカーへ移動

❖ 6K/4K連写再生画面での操作



一時停止中



連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ /	連続再生 / 一時停止 (連続再生中)
▼	◀ /	連続戻し再生 / 一時停止 (連続戻し再生中)
▶ / ⚙	▶▶ / ▶▶	早送り再生 / コマ送り (一時停止中)
◀ / ⚙	◀◀ / ◀	早戻し再生 / コマ戻し (一時停止中)
—	スライダー タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択 (一時停止中)
🔍	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小 (一時停止中)
🔍	—	拡大したままコマを選択 (拡大表示中)
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
[📷]		スライドフォトセレクト画面を表示 (一時停止中)
—	▶▶ / ▶	マーカー操作への切り換え
—	📍 / ✂	マーカーの追加 / 削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) • [OFF] → [ON] の順に切り換わります。
MENU / SET / 🔄	📷 / 📷	写真の保存 (一時停止中)



- パソコンで6K/4K連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」では6K/4K連写ファイルを動画として編集できません。
- 6K連写ファイルをパソコンで再生・編集するには、高性能なパソコン環境が必要です。カメラで写真を選び保存することをお勧めします。

❖ テレビ画面で写真を選び保存する

- 6K連写ファイルを、HDMI接続してテレビに表示する場合、[4K]の解像度で出力されます。
- セットアップメニュー(IN/OUT)の[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]または[4K]の解像度の設定にしてください。(→ 317)
4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。
- テレビに表示されるのは、6K/4K連写再生画面だけです。

❖ 6K/4Kフォト一括保存

6K/4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。

① [6K/4Kフォト一括保存]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [6K/4Kフォト一括保存]

② ◀▶ で6K/4K連写ファイルを選び、 または を押す

- 連写時間が5秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

③ 一括保存する最初のコマを選び、 または を押す

- 選択方法は、6K/4K連写ファイルから写真を選ぶ操作と同じです。
- 写真はJPEG形式で、1つの連写グループとして保存されます。



- Fnボタンに機能を登録できます：

 ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [再生時設定] ⇒ [6K/4Kフォト一括保存]
(→ 248)

インターバル撮影

iA P A S M 

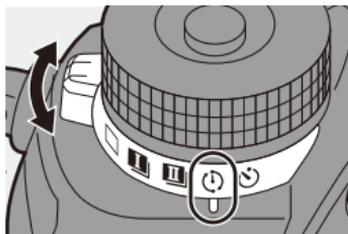


設定した撮影間隔で自動的に撮影します。時間経過を追って動植物などの被写体を撮影するのに適しています。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、グループ画像を動画にすることもできます。



- 時計が正しく設定されているか確認してください。(→ 56)
- 撮影間隔が長いときは、カスタムメニュー(レンズ/その他)の[レンズ位置メモリー]を[ON]に設定することをお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる



2 [撮影方法]を[インターバル撮影]に設定する

-  → [] → [] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [インターバル撮影]

インターバル/コマ撮り撮影	
撮影方法	インターバル撮影
撮影間隔設定	ON
開始時刻	即時開始
撮影枚数	1
撮影間隔	1m00s
露出平滑化	OFF
 終了予定	2019.12.1 10:00

3 撮影の設定をする

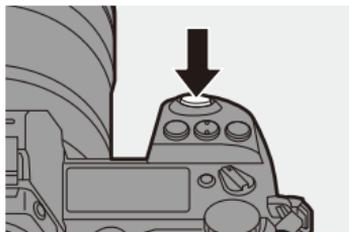
撮影方法	インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。	
撮影間隔設定	ON	次の撮影までの間隔を設定できます。
	OFF	撮影間隔を空けずに連続で撮影します。
開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影が始まります。
	開始時刻設定	設定した時刻から、撮影が始まります。
撮影枚数 撮影間隔	撮影枚数と撮影間隔を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [撮影間隔設定]が[OFF]のときは、[撮影間隔]が表示されません。 	
露出平滑化	連続するコマで大きく明るさが変化しないように、自動で露出を調整します。	

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

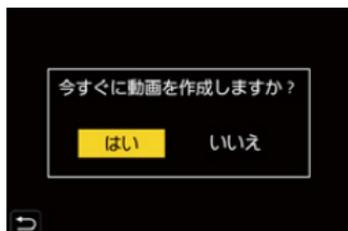
5 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- [開始時刻設定]を設定したときは、開始時刻までスリープ状態になります。
- 撮影待機中に一定時間何も操作しないと、スリープ状態になります。
- 撮影は自動で終了します。



6 動画を作成する(→ 138)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。
[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[インターバル動画作成]で、動画を作成できます。(→ 324)



❖ インターバル撮影中の動作

スリープ状態でシャッターボタンを半押しすると、電源が入ります。

- インターバル撮影中に[Q]ボタンを押すと、以下の操作ができます。

継続	撮影に戻ります。(撮影中のみ)
一時停止	撮影を中断します。(撮影中のみ)
再開	撮影を再開します。(一時停止中のみ) • シャッターボタンを押しても再開できます。
終了	インターバル撮影を終了します。



- 複数のカードに記録すると、1つの動画にできません。
- [HLGフォト]で撮影した写真を含むグループ画像は、動画にできません。
- 適正露出を優先するため、設定どおりの撮影間隔や撮影枚数で撮影されない場合があります。また、画面に表示される終了予定時刻どおりに終わらない場合があります。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
電源スイッチを[OFF]にして、バッテリーやカードを交換できます。電源スイッチを[ON]にして、シャッターボタンを全押しすると、撮影が再開されます。(ただし、カードを交換したあとに撮影した画像は、別のグループ画像として保存されます)
- [M]モードでISO感度を[AUTO]以外に設定しているときは、[露出平滑化]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[インターバル撮影]は使用できません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

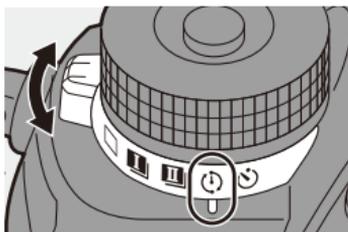
コマ撮りアニメ撮影

iA P A S M



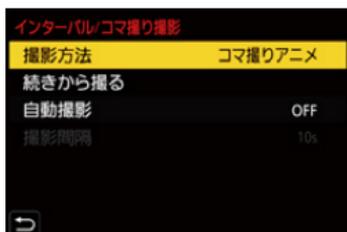
被写体を少しずつ動かしながら写真を撮影します。撮影した写真は1つのグループ画像として保存され、ストップモーション動画を作成できます。

1 ドライブモードダイヤルを[📷]に合わせる



2 [撮影方法]を[コマ撮りアニメ]に設定する

- **MENU/SET** ➔ **[📷]** ➔ **[📷]** ➔
[インターバル/コマ撮り撮影] ➔
[撮影方法] ➔ [コマ撮りアニメ]



3 撮影の設定をする

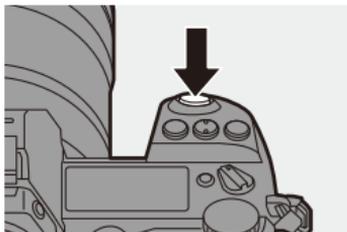
撮影方法	インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えます。	
続きから撮る	撮影済みのコマ撮り画像に、続けて撮影できます。 ● 画像を選択したあと、手順 5 へ進んでください。	
自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	[自動撮影]の撮影間隔を設定します。	

4 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

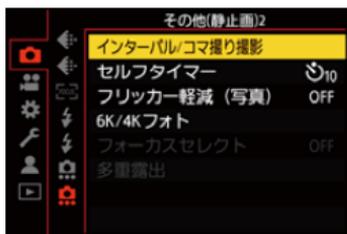
5 撮影を開始する

- シャッターボタンを全押しします。
- 被写体を少しずつ動かしながら、撮影を繰り返してください。
- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影中に[▶]ボタンを押すと、コマ撮りした画像を再生できます。不要な画像は[🗑️]ボタンを押して消去してください。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。



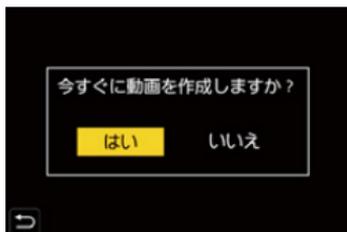
6 撮影を終了する

- [MENU/SET] を押し、写真メニューから [インターバル/コマ撮り撮影] を選んで終了します。



7 動画を作成する(→ 138)

- 撮影終了後、続けて動画を作成するには、確認画面で[はい]を選んでください。[いいえ]を選んだときは、再生メニュー(画像の加工)の[コマ撮りアニメ作成]で、動画を作成できます。(→ 324)





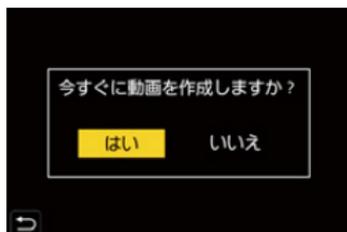
- [HLGフォト]で撮影した写真を含むグループ画像は、動画にできません。
- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 適正露出を優先するため、フラッシュ撮影したときなどは、設定どおりの撮影間隔で自動撮影されない場合があります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。
- 以下の機能を使用中は、[コマ撮りアニメ]は使用できません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]
 - [多重露出]

インターバル／コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

- 撮影については、以下をお読みください。
 - インターバル撮影：→132
 - コマ撮り撮影：→135
- 動画の作成は、再生メニューの[インターバル動画作成](→324)、[コマ撮りアニメ作成](→324)からでも可能です。

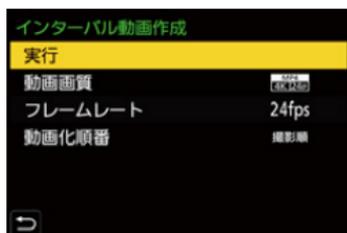
1 撮影後に表示される確認画面で、 [はい]を選ぶ



2 動画の作成方法を設定する

3 [実行]を選ぶ

- [MP4]の記録ファイル方式で動画が作成されます。



実行	動画を作成します。	
動画画質	動画の画質を設定します。	
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。 数字が大きいほど滑らかな動画になります。	
動画化順番	撮影順	撮影した順番で画像をつなげます。
	逆順	撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

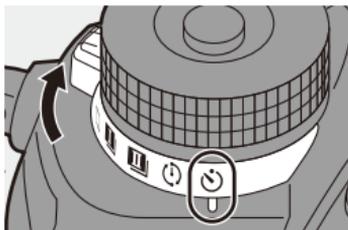
- 記録時間が29分59秒を超える動画は作成できません。
- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカードまたは32 GB以下のXQDカードを使用し、[動画画質]のサイズを[4K]に設定
 - [動画画質]のサイズを[FHD]に設定

セルフタイマー撮影

iA P A S M



- 1** ドライブモードダイヤルを[]に合わせる



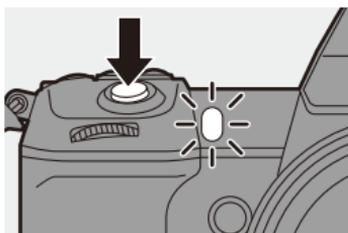
- 2** 構図を決め、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- 3** 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- セルフタイマーランプが点滅後、シャッターが切れます。



❖ セルフタイマーの時間を設定する

 →  →  → [セルフタイマー]を選ぶ

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。



• セルフタイマー撮影をするときは、三脚の使用をお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、は使用できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]
 - ブラケット撮影
 - [多重露出]
- 以下の機能を使用中は、セルフタイマーは動きません。
 - [ハイレゾモード]
 - [フォーカスセレクト]

ブラケット撮影

iA P A S M 



シャッターボタンを押すと、露出、絞り、フォーカス、またはホワイトバランス(調整値または色温度)の設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。



- 絞りブラケットは以下の場合に選択できます。
 - [A]モード
 - [M]モード(ISO感度を[AUTO]に設定したとき)
- ホワイトバランス(色温度)ブラケットは、ホワイトバランスを[K1]、[K2]、[K3]、[K4]に設定したときに選択できます。

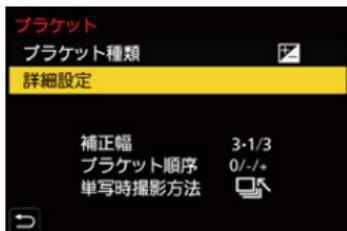
1 [ブラケット種類]を設定する

-  →  →  →
[ブラケット] → [ブラケット種類]



2 [詳細設定]を設定する

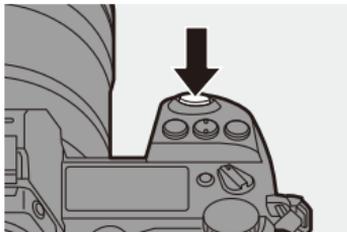
- [詳細設定]については、各ブラケットのページをお読みください。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 ピントを合わせて撮影する



❖ 設定項目(ブラケット種類)

 露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(→ 143)
 絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(→ 143)
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(→ 144)
WB  ホワイトバランス ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ 145)
WB  ホワイトバランス (色温度)ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの色温度を変えた画像を自動で3枚撮影します。(→ 145)
OFF	—

❖ ブラケットの解除方法

手順1で[OFF]に設定する。



- [画像横縦比]を[65:24]または[2:1]に設定しているときに使用できるのは、露出ブラケットだけです。
- 以下の機能を使用中は、ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケットは使用できません。
 - [iA]モード
 - 連写
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [HLGフォト]
 - [フィルター設定]
- 以下の機能を使用中は、ブラケット撮影は使用できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [多重露出]



- Fnボタンに機能を登録できます：
 [設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [ブラケット](→ 248)

❖ 詳細設定(露出ブラケット)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3](3枚撮影・1/3 EV幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法	<p>[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 [📷]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連写されます。

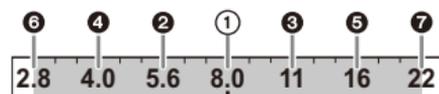


- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

❖ 詳細設定(絞りブラケット)

撮影枚数	<p>[3] / [5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]: すべての絞り値で撮影。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連写されます。
------	--

開始位置をF8.0に設定しているときの例

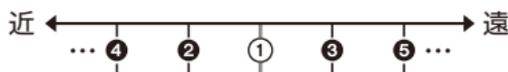


① 1枚目、② 2枚目、③ 3枚目・・・⑦ 7枚目

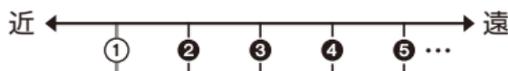
❖ 詳細設定(フォーカスブラケット)

補正幅	<p>ピント合わせの幅を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数	<p>撮影枚数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連写されます。
ブラケット順序	<p>[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。</p> <p>[0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。</p>

[ブラケット順序]: [0/-/+] 設定時の例



[ブラケット順序]: [0/+] 設定時の例



① 1 枚目、② 2 枚目…⑤ 5 枚目…



• フォーカスブラケット撮影した写真は、1つのグループ画像として表示されます。

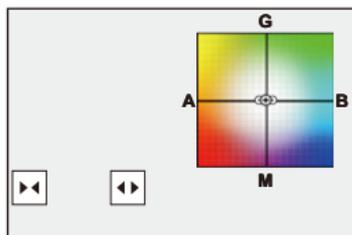
❖ 詳細設定(ホワイトバランスブラケット)

☞、☞ または ☞ を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または ☺ を押す

右回し:横方向([A]~[B])

左回し:縦方向([G]~[M])

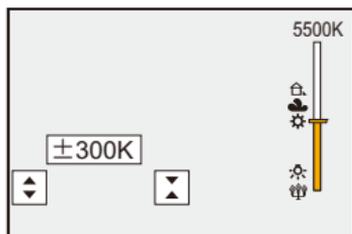
- [☞] / [☞] / [☞] / [☞] をタッチしても補正幅を設定できます。



❖ 詳細設定(ホワイトバランス(色温度)ブラケット)

☞、☞ または ☞ を回して補正幅を設定し、**MENU/SET** または ☺ を押す

- [☞] / [☞] をタッチしても補正幅を設定できます。



フォーカスセレクト撮影

iA P A S M



自動でピント位置を変化させながら、6K/4Kフォトと同じ画質の連写をします。撮影後にピント位置を選んで写真を保存できます。フォーカス合成で、複数のピント位置を合成することもできます。

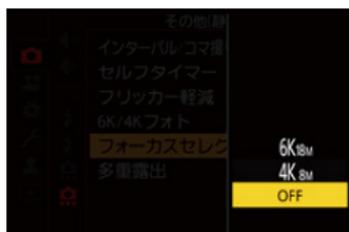
動きのない被写体に適した機能です。



- SDカードで本機能を使用する場合は、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
- 撮影時に画角が狭くなります。
- 撮影後にフォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

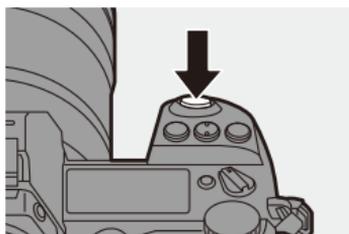
1 [フォーカスセレクト]の画質を設定する

- MENU/SET → [カメラ] → [フォーカスセレクト] → [フォーカスセレクト] → [6K 18M] / [4K 8M]



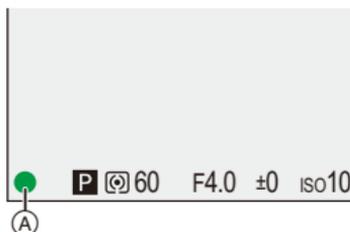
2 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。



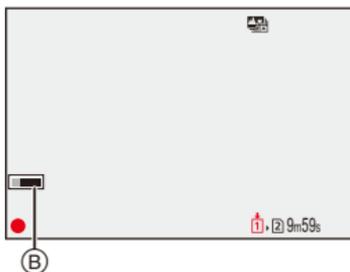
3 構図を決めて、ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押しします。
- AFが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示(A)が点滅し、撮影できません。
- 撮影が終わるまで、被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押しします。
- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。アイコン(B)が消えると、撮影は自動で終了します。
- [記録ファイル方式]が[MP4]の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- 初期設定ではオートレビューが働き、ピント位置を選ぶ画面が表示されます。(→ 149)



❖ フォーカスセレクト撮影の制限事項

- 6K/4Kフォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニューに制限があります。詳しくは、124ページの「6K/4Kフォトのカメラの設定について」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影では、6K/4Kフォトの制限事項に加え、フォーカスに関する設定ができません。



• 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。

- フォーカスセレクトを連続で撮影中
- 周囲の温度が高い

• APS-C用レンズ使用時は、[6K 18M]は使用できません。

• 以下の機能を使用中は、[フォーカスセレクト]は使用できません。

- インターバル撮影
- コマ撮りアニメ
- [ハイレゾモード]
- [フィルター設定]の[ラフモノクローム]／[シルキーモノクローム]／[ジオラマ]／[ソフトフォーカス]／[クロスフィルター]／[サンシャイン]
- [多重露出]



• Fn ボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [フォーカスセレクト]
(→ 248)

ピント位置を選んで写真を保存する

1 再生画面でフォーカスセレクト画像を選ぶ(→ 232)

- [▲📷]アイコンが付いた画像を選び、▲を押します。
- アイコン[▲📷]をタッチしても同じ操作ができます。



2 ピント位置をタッチする

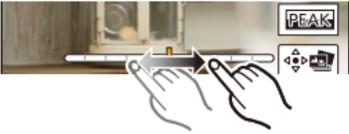
- ピントが合うと緑色の枠が表示されます。
- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真は保存できません。
- 画面の端は選べません。



3 写真を保存する

- [📷]をタッチします。
- 写真はJPEG形式で保存されます。

❖ ピント位置選択中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶ / 🌞 / 🌀	タッチ	ピントの位置の選択 • 拡大表示中は選択できません。
🌞	📷	表示の拡大 • 拡大表示中は、スライダーをドラッグし、ピントを微調整できます。(◀▶でも同じ操作ができます) 

		表示の縮小(拡大表示中)
[]		フォーカス合成操作への切り換え(→ 150)
-		ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) • [OFF]→[ON]の順に切り換わります。
 / 		写真の保存



• テレビに画像を表示して、ピント位置を選ぶことはできません。

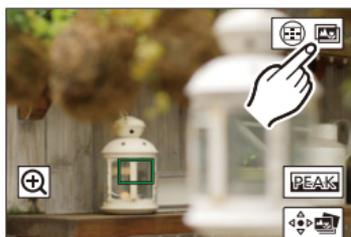
フォーカス合成

複数のピント位置を合成して写真を保存します。



- 1 149ページ手順2のピント位置を選ぶ画面で、  をタッチする

• [] ボタンを押しても、同じ操作ができます。



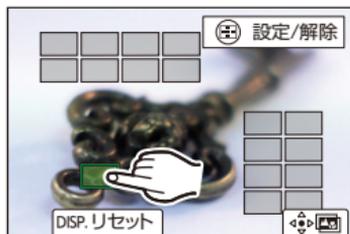
- 2 合成方法を選ぶ

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。



3 ([指定範囲合成]選択時) ピント位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。選択した点には緑色の枠が表示されます。
- 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が緑色で表示されます。
- 選択できない範囲はグレーで表示されます。
- 選択を解除するには、緑色の枠が付いた点をもう一度タッチしてください。
- 連続した位置を選択するには、画面をドラッグしてください。



4 写真を保存する

- [設定/解除] をタッチします。

❖ [指定範囲合成]選択中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶ / ☀ / ☁ / ⚙	タッチ	位置の選択
[設定]	[設定 / 解除]	位置の設定 / 解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択(位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除(位置の選択後)
MENU / SET / ⏻	設定/解除	写真の合成・保存



- 写真はJPEG形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif情報)も記録されます。
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 撮影中に被写体が動いた場合や、被写体間の距離の差が大きい場合、不自然な写真に合成される場合があります。
- 本機以外で撮影した画像は、フォーカス合成できない場合があります。

サイレントモード

iA P A S M 



カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。

スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。

- 以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]: [🔇] (発光禁止)
 - [AF補助光]: [OFF]
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [電子音量]: [🔇] (OFF)
 - [合焦音量]: [🔇] (OFF)
 - [電子シャッター音音量]: [🔇] (OFF)

 →  →  → [サイレントモード] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。
 - カードアクセスランプ
 - セルフタイマーランプ
 - ステータスLCDバックライト
 - イルミネーションボタン
- 本機能のご利用については、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。



- Fn ボタンに機能を登録できます：
[🔧] →  → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [サイレントモード]
(→ 248)

シャッター方式

iA P A S M 



写真撮影時のシャッター方式を選びます。

 →  →  → [シャッター方式]を選ぶ

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。
電子シャッター+NR	電子シャッター方式で撮影します。遅いシャッタースピードで撮影したときは、撮影後にシャッターを閉じて長秒ノイズ除去を行います。 • 長秒ノイズ除去中は、次の撮影ができません。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	○	○	×
シャッター速度	B(バルブ、最大約30分間)*1、60秒～1/8000秒	B(バルブ、最大約30分間)*1、60秒～1/2000秒	B(バルブ、最大約60秒間)*1、60秒～1/8000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音*2

*1 [M]モード時に設定できます。

*2 セットアップメニュー(IN/OUT)の[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(→ 314)

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないため、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。



- 画面に[E]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- 電子シャッターで動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、電子シャッターで撮影すると、横しみが記録されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。
- [サイレントモード]使用中は、[シャッター方式]は[電子シャッター]に固定されます。
- APS-C用レンズ使用時は、電子先幕が使用できません。



Fn ボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [シャッター方式](→ 248)

手ブレ補正

iA P A S M



本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.方式のうち、補正効果の高いDual I.S.2 (DUAL2、DUAL2)に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

使用できる手ブレ補正(2019年1月現在)

装着するレンズによって、使用できる手ブレ補正は異なります。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	画面表示の例
手ブレ補正機能のある当社製レンズ	ボディ+レンズ(Dual I.S.2)	DUAL2
手ブレ補正機能のある他社製レンズ	ボディまたはレンズ	BODY / LENS
手ブレ補正機能のないレンズ	ボディ	BODY
本機との通信機能がないレンズ	ボディ	BODY

- 5軸ハイブリッド手ブレ補正は、どのレンズでも使用できます。

❖ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、O.I.S.スイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用するときは、カメラの電源を入れたときに、焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。

手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(→ 157)



- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に手ブレ警告アイコン(ⓘ)が表示される場合があります。表示されたときは、三脚やセルフタイマー、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使用することをお勧めします。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。



- 手ブレ補正が働いているときに、振動や動作音がすることがありますが故障ではありません。
- 以下の機能を使用中は、手ブレ補正機能は使用できません。
- [ハイレゾモード]



- 基準点を表示して、手ブレ状態を確認できます：
[設定] → [カメラ] → [手ブレ状態スコープ](→ 308)

手ブレ補正の設定

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [手ブレ補正]を選ぶ

動作設定	撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。(→ 158)	
ボディ/レンズ 選択	BODY  (ボディ)	ボディ内手ブレ補正を使用します。
	LENS  (レンズ)	レンズ内手ブレ補正を使用します。 • 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用しているときに設定できます。
動作開始設定	常時	常に手ブレ補正が働きます。
	半押し	シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正が働きます。
電子補正(動画)	<p>動画撮影中の上下、左右、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせることで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [電子補正(動画)]が働いているときは、撮影画面に  または  が表示されます。 • [ON]に設定すると、画角が狭くなる場合があります。 	
手ブレ補正ブースト(動画)	動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。(→ 159)	
焦点距離設定	本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、焦点距離を手動で設定します。(→ 159)	



- 以下の機能を使用中は、[動作開始設定]は[常時]に固定されます。
 - [ボディ/レンズ選択]の 
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
- 以下の機能を使用中は、[電子補正(動画)]は使用できません。
 - [ハイスピード動画]



- Fnボタンに[電子補正(動画)]を登録できます：
[設定] ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [電子補正(動画)](→ 248)

❖ 動作設定

撮影手法(通常、流し撮り)に合わせて、補正する動き(ブレ)を設定します。

 通常	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。通常の撮影に適しています。
 流し撮り(オート)	流し撮りの方向を自動で検出し、上下、または、左右の動きに対する手ブレを補正します。流し撮りに適しています。
 流し撮り(左右)	上下の動きに対する手ブレを補正します。左右方向に流し撮りするときに適しています。
 流し撮り(上下)	左右の動きに対する手ブレを補正します。上下方向に流し撮りするときに適しています。
OFF	手ブレ補正機能をOFFにします。

- 使用するレンズや[ボディ/レンズ選択]の設定により、使用できる動作設定は異なります。
- 手ブレ補正機能のある他社製レンズを使用し、[ボディ/レンズ選択]を[]に設定しているときは、[流し撮り(オート)]は表示されません。流し撮りの方向に合わせて[流し撮り(左右)]または[流し撮り(上下)]に設定してください。
- O.I.S.スイッチのあるレンズ使用時は、カメラの動作設定で[OFF]に設定できません。
- 以下の機能を使用中は、[動作設定]は[](通常)に切り換わります。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]



• Fnボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [手ブレ補正](→ 248)

❖ 手ブレ補正ブースト(動画)

動画撮影中の手ブレ補正効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合に、安定した構図を保つことができます。

設定: [ON] / [OFF]

- [手ブレ補正ブースト(動画)]が動いているときは、撮影画面に[- 撮影中に構図を変える場合は、設定を[OFF]にしてからカメラを動かしてください。撮影中に[OFF]に切り換えるには、Fnボタンをお使いください。(→ 248)
- 焦点距離が大きくなるほど、補正効果は弱くなります。



- [ボディ/レンズ選択]を[

❖ 焦点距離設定

本機との通信機能がないレンズを使用する場合は、レンズに記載されている焦点距離を手動で設定してください。

焦点距離の設定は3つまで登録できます。登録された焦点距離は呼び出すことができます。

焦点距離 の入力	焦点距離を入力します。 ◀▶: 選択 ▲▼: 数値の選択  または  : 決定 • 0.1 mm ~ 1000 mm まで設定できます。
登録、 呼び出し	入力した焦点距離を登録します。 登録された焦点距離を呼び出します。 ▶▶: 選択 [DISP]: 入力した焦点距離の登録  または  : 登録されている焦点距離の呼び出し



8. 測光／露出／ISO感度

測光モード

iA P A S M 



明るさを測る方式を切り換えることができます。

 →  →  → [測光モード]を選ぶ

 (マルチ測光)	画面全体の明るさの配分を評価して、露出が最適になるように測光する方式です。
 (中央重点)	画面中央部に重点を置いて測光する方式です。
 (スポット)	スポット測光ターゲット周辺の極めて狭い部分を測光する方式です。  スポット測光ターゲット
 (ハイライト重点)	白飛びしないように、画面のハイライト部分に重点を置いて測光する方式です。舞台撮影などに適しています。



• Fn ボタンに機能を登録できます：

[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [測光モード] (→ 248)

• 適正露出の基準値を調整できます：

[] → [] → [基準露出レベル調節] (→ 292)

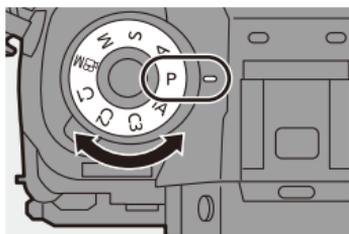
プログラムAEモード

iA P A S M 



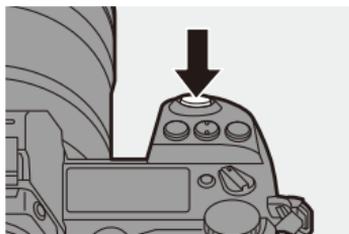
[P]モード(プログラムAEモード)では、被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。同じ露出のままではシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフトもできます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる



2 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。



- 適正な露出が得られないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。

3 撮影する



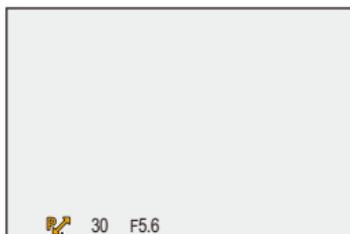
シャッター速度 絞り値

❖ プログラムシフト

カメラが自動で設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままですることができます。

より背景をぼかす(絞り値を小さくする)、動きを表現する(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

- ① シャッターボタンを半押しする
 - 撮影画面に絞り値とシャッタースピードの数値が表示されます。(約10秒間)
- ② 数値が表示されている間に、☀️ または 🌧️ を回す
 - 撮影画面にプログラムシフトアイコンが表示されます。
- ③ 撮影する



プログラムシフトアイコン

プログラムシフトの解除方法

- 電源スイッチを[OFF]にする
- プログラムシフトアイコンが消えるまで、☀️ または 🌧️ を回す



- 以下の機能を使用中は、プログラムシフトは使用できません。
 - フラッシュ
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます：
 - [⚙️] → [☀️] → [ダイヤル設定] → [F/SSダイヤルの割当](→ 299)
 - 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：[⚙️] → [📷] → [露出メーター](→ 305)

絞り優先AEモード

iA P **A** S M



[A]モード(絞り優先AEモード)では、絞り値を設定して撮影できます。シャッタースピードはカメラが自動で設定します。



絞り値が小さい

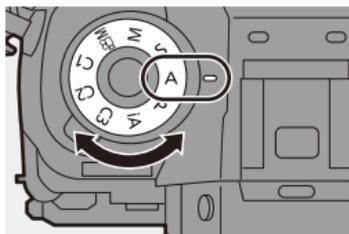
背景をぼかしやすくなります。



絞り値が大きい

背景までピントが合った状態にしやすくなります。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる

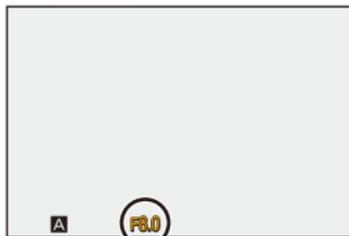
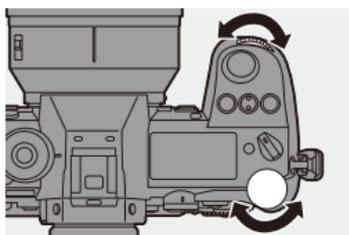


2 絞り値を設定する

- または を回します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



❖ 被写界深度の性質

撮影条件	絞リ値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例:背景をぼかして撮りたいとき	深い(広い) 例:背景までピントを合わせて撮りたいとき



- 設定した絞リ値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 170)
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞リリングのあるレンズを使用しているときは、絞リリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞リ値に設定されます。



- ダイヤルの動作をカスタマイズできます:
[] → [] → [ダイヤル設定] → [F/SSダイヤルの割当] / [F/SSダイヤルの回転](→ 299)
- 絞リ値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます:[] → [] → [露出メーター](→ 305)

シャッター優先AEモード

iA P A S M 



[S]モード(シャッター優先AEモード)では、シャッタースピードを設定して撮影できます。

絞り値はカメラが自動で設定します。

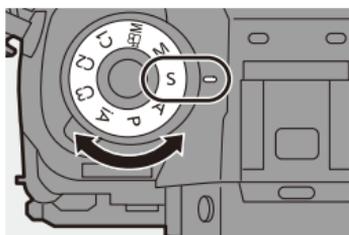


シャッタースピードが遅い
動きを表現しやすくなります。



シャッタースピードが速い
動きを止めやすくなります。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

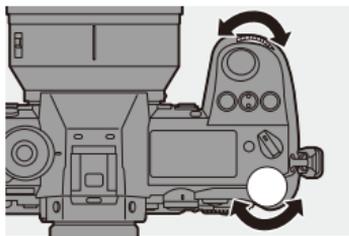


2 シャッタースピードを設定する

-  または  を回します。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。





- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 170)
- 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- フラッシュ発光時は、1/320秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ 200)



- ダイアルの動作をカスタマイズできます：
[] ⇒ [] ⇒ [ダイアル設定] ⇒
[F/SSダイアルの割当] / [F/SSダイアルの回転](→ 299)
- 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：[] ⇒ [] ⇒ [露出メーター](→ 305)

マニュアル露出モード

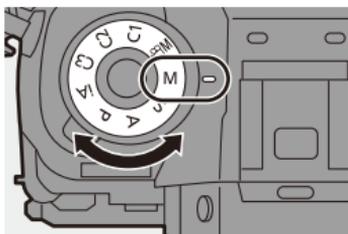
iA P A S M



[M]モード(マニュアル露出モード)では、絞り値とシャッタースピードを手動で設定して撮影します。

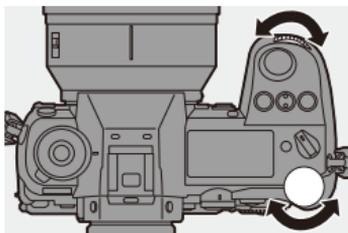
初期設定では、ISO感度が[AUTO]に設定されています。そのため、絞り値とシャッタースピードに応じてISO感度が設定されます。ISO感度[AUTO]設定時は露出補正も使用できます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



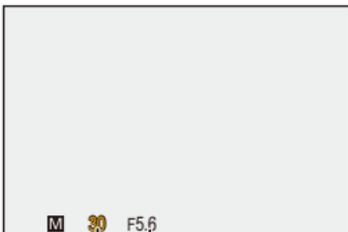
2 絞り値とシャッタースピードを設定する

- を回して絞り値を、 を回してシャッタースピードを設定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色で点滅します。



シャッター速度 絞り値

❖ 設定可能なシャッタースピード(秒)

メカシャッター	B(バルブ、最大約30分間)、60～1/8000
電子先幕	B(バルブ、最大約30分間)、60～1/2000
電子シャッター	B(バルブ、最大約60秒間)、60～1/8000

- 
 - 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(→ 170)
[M]モードで常にプレビューモードが働くように設定できます：
[] → [] → [常時プレビュー(Mモード)](→ 301)
 - 撮影画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
 - 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。
 - フラッシュ発光時は、1/320秒より速いシャッタースピードには設定できません。(→ 200)

- 
 - ダイアルの動作をカスタマイズできます：
[] → [] → [ダイアル設定] →
[F/SSダイアルの割当] / [F/SSダイアルの回転](→ 299)
 - 絞り値とシャッタースピードの関係を示す露出メーターを撮影画面に表示できます：[] → [] → [露出メーター](→ 305)

❖ マニュアル露出アシスト

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシスト(例：+1)が撮影画面に表示されます。

現在の露出値と、カメラが測光した適正露出(±0)との差を確認できます。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

❖ B(バルブ)

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景、星空の撮影で、長時間シャッターを開いておきたいときに使います。



- バルブ撮影中は、三脚やシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、写真メニュー(画質)の[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。



- 以下の機能を使用中は、バルブは使用できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ([自動撮影]設定時)
 - ブラケット
 - [ハイレゾモード]

プレビューモード

iA P A S M



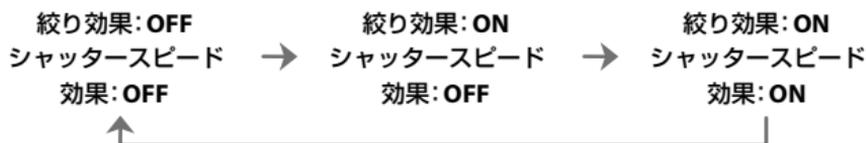
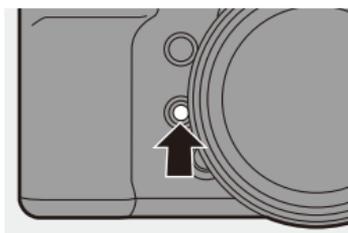
実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、絞り効果を撮影画面で確認できます。

また、絞り効果に加えてシャッタースピード効果を同時に確認することもできます。

- [プレビュー]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Fn2]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、[248ページ](#)をお読みください。

プレビューボタンを押す

- ボタンを押すごとに、効果の確認画面が切り替わります。



- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/8000秒です。
- [6K/4Kプリ連写]撮影では、プレビューモードは使用できません。

露出補正

iA P A S M



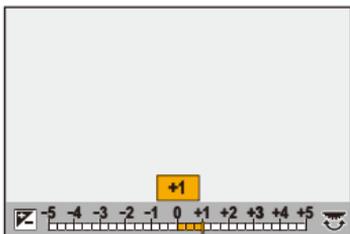
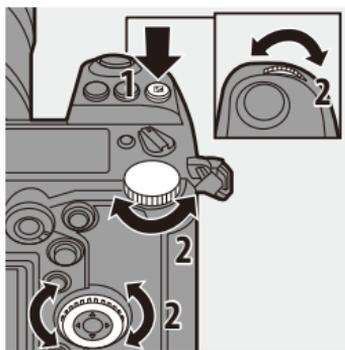
カメラが決めた適正露出では明るすぎたり暗すぎたりする場合に露出補正ができます。

露出補正できる範囲は、1/3 EVステップ、±5 EVです。動画撮影、6K/4Kフォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、±3 EVの範囲になります。

1 [] ボタンを押す

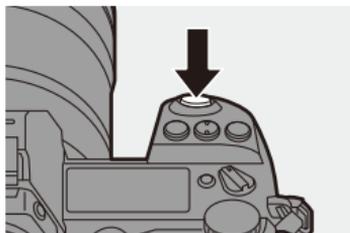
2 露出を補正する

- 、 または  を回します。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。





- [M]モードでは、ISO感度を[AUTO]に設定すると露出補正できます。
- [露出補正連動]を[ON]に設定した場合は、露出補正值に応じてフラッシュの発光量が自動で調整されます。
- 露出補正值が ± 3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押し、またはAEロックすると、撮影画面に反映されます。
- 露出補正值が ± 3 EVの範囲を超える場合は、ステータスLCDの露出補正值に[◀] / [▶]が表示されます。(→ 37)
- 設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。([露出補正リセット]を[OFF]に設定した場合)



- 適正露出の基準値を調整できます：
[⚙️] → [📷] → [基準露出レベル調節](→ 292)
- 電源を切ると露出補正值をリセットするように設定できます：
[⚙️] → [📷] → [露出補正リセット](→ 292)
- [📷]ボタンの動作を変更できます：
[⚙️] → [🌞] → [WB/ISO/露出補正ボタン](→ 298)
- 露出補正画面で露出ブラケットの設定とフラッシュ発光量の調整ができます：
[⚙️] → [🌞] → [露出補正画面の操作](→ 298)

ピントや露出の固定(AF / AEロック)

iA P A S M



撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。画面の端にピントを合わせたいときや逆光時に便利です。

1 Fnボタンに[AE LOCK]、[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]を登録する(→ 248)

- [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

AE LOCK	露出を固定します。
AF LOCK	ピントを固定します。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。

2 ピントや露出を固定する

- Fnボタンを押したままにします。
- ピントがロックされると、AFロックアイコンが表示されます。
- 露出がロックされると、AEロックアイコンが表示されます。



3 Fnボタンを押したまま、構図を決めて撮影する

- シャッターボタンを全押しします。



• AEロック中でも、プログラムシフトを設定できます。



• Fnボタンを押し続けなくても、ロックを維持するようになれます：

[設定] → [AF] → [AF/AEロック維持](→ 293)

ISO感度の設定

iA P A S M

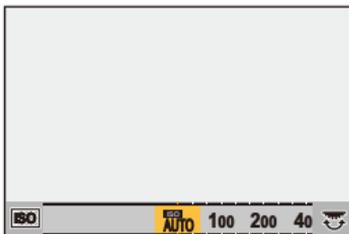
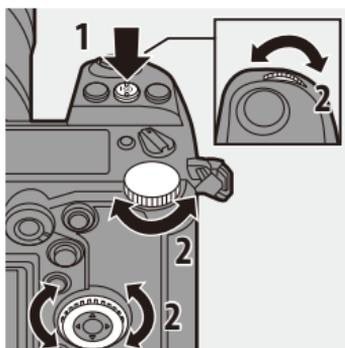


光に対する感度(ISO感度)を設定できます。初期設定では、1/3 EVごとにISO100～51200の範囲で設定できます。使用する機能によっては、設定できる範囲が変わります。

1 [ISO]ボタンを押す

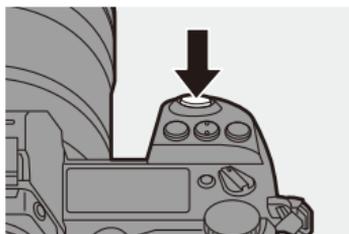
2 ISO感度を選ぶ

- 、 または を回します。
- [ISO]ボタンを押しても選択できます。



3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



ISO感度の性質

ISO感度を上げると、暗い場所でもシャッタースピードを速くすることができるため、手ブレや被写体ブレを防ぐことができます。ただし、ISO感度が高いほど、撮影した画像のノイズも多くなります。

❖ 設定項目 (ISO感度)

AUTO	明るさに応じて、自動でISO感度を調整します。 ISO感度は、シャッターボタン半押し時に決定します。 • 写真撮影時: 最大 [ISO6400]* ¹ • 動画撮影時: 最大 [ISO6400]* ²
100～51200	それぞれのISO感度に固定します。 • カスタムメニュー(画質)の[拡張ISO感度](→ 291)を[ON]にすると、下限値L.50から上限値H.204800までISO感度を拡張できます。

*1 初期設定。[ISO感度設定(写真)]によって上限を変更できます。

*2 初期設定。[ISO感度設定(動画)]によって上限を変更できます。

- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - [ハイレゾモード]: 上限 [ISO3200] まで
 - [フィルター設定]: 下限 [ISO100]、上限 [ISO6400] まで ([ハイダイナミック] 設定時は、下限 [ISO400] に変更)
 - [多重露出]: 下限 [ISO100]、上限 [ISO6400] まで
 - [フォトスタイル]の[709ライク]: 下限 [ISO100] まで
 - [フォトスタイル]の[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]: 下限 [ISO400] まで



- ISOオートの上限と下限を設定できます:
 - [カメラアイコン] → [ISO感度設定(写真)] (→ 274)
 - [動画カメラアイコン] → [ISO感度設定(動画)] (→ 285)
- ISO感度の設定値の刻みを変更できます:
 - [設定アイコン] → [ISO感度設定(写真)] (→ 274)
 - [設定アイコン] → [ISO感度設定(動画)] (→ 285)
- [ISO] ボタンの動作を変更できます:
 - [設定アイコン] → [WB/ISO/露出補正ボタン] (→ 298)
- ISO感度の設定画面でISOオートの上限を設定できます:
 - [設定アイコン] → [ISO感度設定(写真)] (→ 274)
 - [設定アイコン] → [ISO感度設定(動画)] (→ 285)

9. ホワイトバランス／画質

ホワイトバランス(WB)の設定

iA P A S M



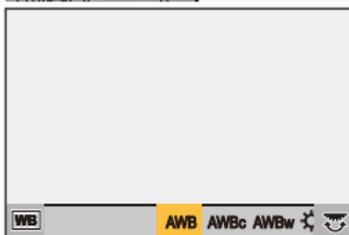
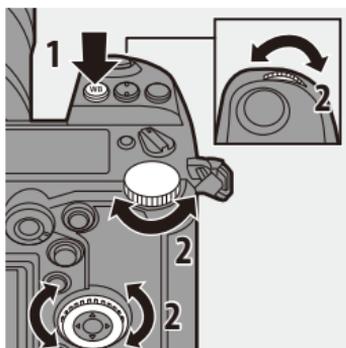
ホワイトバランス(WB)は、被写体を照らす光の色の影響を補正する機能です。白いものを白く、見た目に近い色に補正します。

通常はオート([AWB]、[AWBc]または[AWBw])で適切なホワイトバランスが得られます。画像の色合いが思ったとおりにならないときや、色合いを変化させて雰囲気表現したいときに設定してください。

1 [WB]ボタンを押す

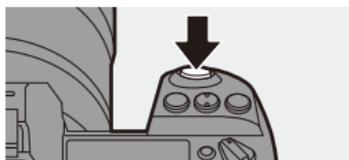
2 ホワイトバランスを選ぶ

- 、 または を回します。
- [WB]ボタンを押しても選択できます。



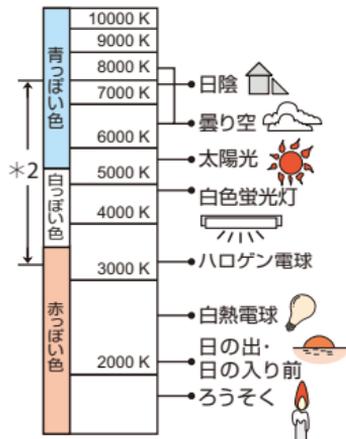
3 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



❖ 設定項目(ホワイトバランス)

AWB	オート
AWBc	オート(白熱電球下で赤みを抑えます)
AWBw	オート(白熱電球下で赤みを残します)
	晴天
	曇天
	晴天の日陰
	白熱灯
 *1	フラッシュ
 ~ 	ホワイトセット1~4(→ 178)
 ~ 	色温度1~4(→ 178)



*1 動画撮影、6K/4Kフォト撮影、フォーカスセレクト撮影では、[AWB]と同じ動作をします。

*2 [AWB]が働く範囲

-  蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、 ~  をご使用ください。
-  [フィルター設定]使用中は、ホワイトバランスは[AWB]に固定されます。
-  Fnボタンにホワイトバランスの設定項目を登録できます：
 ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [ホワイトバランス](→ 248)
- [WB]ボタンの動作を変更できます：
 ⇒  ⇒ [WB/ISO/露出補正ボタン](→ 298)

❖ ホワイトセット([**1**])～([**4**]))

撮影場所の光源下で白いものを撮影して、白く写るようにホワイトバランスを調整します。

- 1 [WB]ボタンを押し、([**1**])～([**4**]))のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
- 3 画面中央の枠内に白いものを映し、**MENU/SET** または  を押す
 - ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

❖ 色温度([**K1**])～([**K4**]))

ホワイトバランスの色温度を数値で設定します。

- 1 [WB]ボタンを押し、([**K1**])～([**K4**]))のいずれかを選ぶ
- 2 ▲を押す
 - 色温度の設定画面が表示されます。
- 3 ▲▼で色温度を選び、**MENU/SET** または  を押す
 - 、 または  を回すと、ホワイトバランス(色温度)ブラケットの設定ができます。(→ 145)

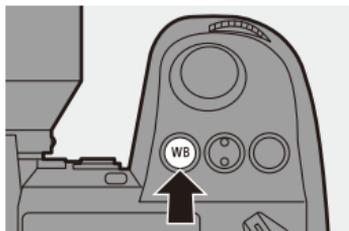


• 2500K～10000Kまで設定できます。

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 [WB]ボタンを押す



2 ホワイトバランスを選び、▼を押す

- 調整画面が表示されます。

3 色合いを調整する

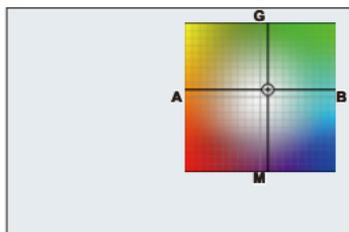
◀:[A](アンバー:オレンジ系)

▲:[G](グリーン:緑系)

▶:[B](ブルー:青系)

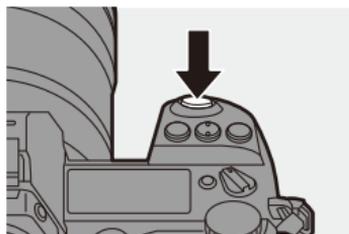
▼:[M](マゼンタ:赤系)

- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも調整できます。
- グラフをタッチしても調整できます。
- 調整していない状態に戻すには、[DISP] ボタンを押してください。
- 、 または  を回すと、ホワイトバランスブラケットの設定ができます。
(→ 145)



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



- ホワイトバランスを調整すると、撮影画面のアイコンが調整した色に変わります。G方向に調整すると[+]が、M方向に調整すると[-]が表示されます。

フォトスタイル

iA P A S M 



被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。フォトスタイルごとに画質調整ができます。

 →  →  → [フォトスタイル]を選ぶ

 STD. スタンダード	標準的な設定
 VIVID ヴィヴィッド	彩度とコントラストが高めの鮮やかな設定
 NAT ナチュラル	コントラストが低めの柔らかな設定
 FLAT フラット	彩度とコントラストが低めの誇張を抑えた設定
 LAND 風景	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した設定
 PORT 人物	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した設定
 MONO モノクローム	色味を抜いた単色の設定
 L.MONO L.モノクローム	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ設定
 L.MONOD L.モノクロームD	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ設定
 C.NED シネライク D	ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定 • 動画編集時の処理に適しています。
 C.NEV シネライク V	コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる設定
 709L 709ライク	Rec.709相当のガンマカーブで、高輝度部分を圧縮(ニー)して白飛びを抑える設定 • Rec.709とは「ITU-R Recommendation BT.709」の略称で、ハイビジョン放送の規格です。
 STD.^{HLG} スタンダード(HLG)*1	[HLGフォト]を撮影するための設定
 MONO^{HLG} モノクローム(HLG)*1	[HLGフォト]をモノクロで撮影するための設定
 2100^{HLG} 2100ライク(HLG)*2	HLG方式の動画を撮影するための設定
 MY MY PHOTO STYLE 1～ MY PHOTO STYLE 10*3	フォトスタイルを好みに合わせて画質調整し、マイフォトスタイルとして登録できます。(→ 183)

*1 [HLGフォト]設定時は、この項目だけが選択できます。

- *2 [M]モードで[記録ファイル方式]を[MP4 HEVC]に設定しているときは、[2100 ライク(HLG)]に固定されます。
- *3 初期設定では[MY PHOTO STYLE 4]までが表示されています。[フォトスタイル設定]の[フォトスタイル表示の制限]で、メニューに表示する項目を設定できます。
(→ 291)



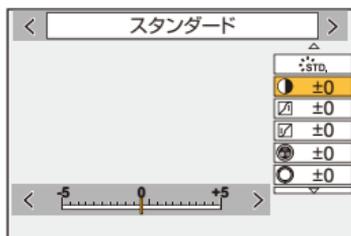
- [iA]モード時は、他の撮影モードと動作が異なります。
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整できません。
- [フィルター設定]使用中は、[フォトスタイル]は使用できません。



- Fnボタンに機能を登録できます：
[設定] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [フォトスタイル](→ 248)
- フォトスタイルの詳細な設定ができます：
[設定] → [フォトスタイル設定](→ 291)

❖ 画質調整する

- ① ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- ② ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で調整する
 - 調整した項目に[*]が表示されます。
- ③  または  を押す
 - 画質調整すると、撮影画面のフォトスタイルアイコンに[*]が表示されます。



設定項目(画質調整)

 コントラスト*¹	画像の明暗差を調整します。	
 ハイライト*¹	明部の明るさを調整します。	
 シャドウ*¹	暗部の明るさを調整します。	
 彩度*²	色の鮮やかさを調整します。	
 色調*³	青み、黄色みを調整します。	
 色相*²	赤を基準とした場合、紫／マゼンタ方向または黄色／緑方向に色相を回転させ、全体の色合いを調整します。	
 フィルター効果*³	黄	コントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	コントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	コントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。 緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—
 粒状*⁴	弱／中／強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	—
 シャープネス	画像の輪郭を調整します。	
 ノイズリダクション	ノイズリダクションの効果を調整します。 • 効果を強めた場合、解像感が僅かに低下する場合があります。	
 ISO感度*⁵	ISO感度を設定します。(→ 174)	
 ホワイトバランス*⁵	ホワイトバランスを設定します。(→ 176) • [WB]選択中に[]ボタンを押すと、ホワイトバランスの設定画面が表示されます。もう一度[]ボタンを押すと、元の画面に戻ります。	

*1 [709ライク]、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)]
選択中は調整できません。

*2 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]以外
を選択中に使用できます。

*3 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]選択
中に使用できます。

- *4 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]選択中に使用できます。
- *5 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択中に使用できます。カスタムメニュー(画質)の[フォトスタイル設定]の[マイフォトスタイル設定]の[調整項目の追加]で、[ISO感度]と[ホワイトバランス]を[ON]に設定した場合に使用できます。

- 
 - [709ライク]ではニーモードを設定できます。詳しくは、216ページをお読みください。
 - [粒状]の効果は、撮影画面では確認できません。
 - 以下の機能を使用中は、[粒状]は使用できません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]

❖ 設定をマイフォトスタイルに登録する

- 1 ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 画質を調整する
 - マイフォトスタイルでは、画質調整のいちばん上にフォトスタイルの種類が表示されます。ベースとなるフォトスタイルを選択してください。
- 3 [DISP.]ボタンを押す
- 4 ([MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択時)
 - ▲▼で[現在の設定を登録]を選び、 または  を押す
- 5 ▲▼で登録先の番号を選び、 または  を押す
 - 確認画面が表示されます。
 - 確認画面で[DISP.]ボタンを押すと、マイフォトスタイルの名前を変更できます。入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。文字の入力方法については、329ページをお読みください。

❖ マイフォトスタイルの登録内容の変更

- 1 [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]のいずれかを選ぶ
- 2 [DISP.]ボタンを押し、項目を設定する

登録された設定の呼出

現在の設定を登録

名称変更

デフォルトに戻す

フィルター設定

iA P A S M



画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。

フィルターごとに効果を調整できます。また、効果のない写真を同時に撮影することもできます。

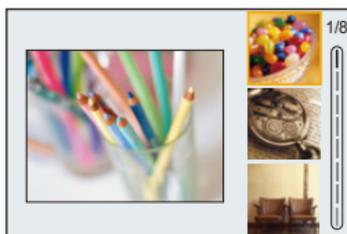
1 [フィルター効果]を設定する

- → [カメラ] → [フィルター] → [フィルター設定] → [フィルター効果] → [設定]



2 フィルターを選ぶ

- ▲▼で選択し、 または を押します。
- 作例写真をタッチしても選択できます。
- [DISP.]ボタンを押すと、通常表示、ガイド表示、一覧表示の順に画面が切り換わります。ガイド表示では、各フィルターの説明が表示されます。



❖ フィルター効果の調整

フィルター効果の調整ができます。

- 1 フィルターを選ぶ
- 2 撮影画面で[WB]ボタンを押す
- 3 、 または を回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、もう一度[WB]ボタンを押してください。
 - フィルター効果を調整すると、撮影画面のフィルターアイコンに[*]が表示されます。



フィルター	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ
レトロ	色合い
オールドデイズ	コントラスト
ハイキー	色合い
ローキー	色合い
セピア	コントラスト
モノクローム	色合い
ダイナミックモノクローム	コントラスト
ラフモノクローム	粒子感
シルキーモノクローム	ボケ具合
インプレッシブアート	鮮やかさ
ハイダイナミック	鮮やかさ
クロスプロセス	色合い
トイフォト	色合い
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲
ブリーチバイパス	コントラスト
ジオラマ	鮮やかさ
ソフトフォーカス	ボケ具合
ファンタジー	鮮やかさ
クロスフィルター	 : 輝きが短い／輝きが長い
	 : 輝きが少ない／輝が多い
	 : 輝きを左に回転／輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量
サンシャイン	色合い

❖ タッチ操作でフィルターを設定する

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 297)

- 1 [] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 [] : フィルターの入/切
 [POP] : フィルター
 [] : フィルター効果の調整



- ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[] (発光禁止) に固定されます。
 - ISO感度の上限は[ISO6400]になります。
 - [ハイダイナミック]設定時は、ISO感度の下限は[ISO400]に、上限は[ISO6400]になります。
 - フィルターによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
 - 以下の機能を使用中は、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン] は使用できません。
 - [] モード
 - 動画撮影
 - [動画撮影範囲]が[APS-C]または[PIXEL/PIXEL]のときは、[トイフォト] / [トイポップ] で動画撮影ができません。
 - APS-C用レンズ使用時は、[トイフォト] / [トイポップ] は使用できません。
 - 以下の機能を使用中は、[フィルター効果] は使用できません。
 - [ハイレゾモード]
 - [記録ファイル方式]の[MP4 HEVC]
 - [ハイスピード動画]
- ➡ ● Fn ボタンにフィルターの入/切操作を登録できます：
 [] ➡ [] ➡ [Fn ボタン設定] ➡ [撮影時設定] ➡ [フィルター効果] (→ 248)
- Fn ボタンで[フィルター効果]の設定画面を表示しているときに[DISP]ボタンを押すと、フィルター選択画面が表示されます。

❖ ぼかし方の設定(ジオラマ)

- ① [フィルター効果]を[ジオラマ]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - [👉]をタッチしたあと、[👈]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼または◀▶でぼかさない部分を移動する
 - 画面をタッチして、ぼかさない部分を移動することもできます。
 - [👉]をタッチして、ぼかす向きを切り換えることもできます。
- ④ 🌞、🌧️ または 🌀 を回してぼかさない部分の大きさを変更する
 - 画面をピンチアウト/ピンチインしても、拡大/縮小できます。
 - ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ⑤ 📄/SET または 🌀 を押して決定する



- 動画に音声は記録されません。
- 動画撮影では、記録される動画の長さが実際の記録時間の約1/10になります。(10分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります)表示される記録可能時間は約10倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

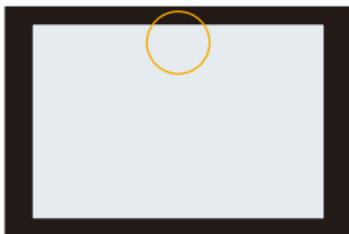
❖ 残す色の設定(ワンポイントカラー)

- ① [フィルター効果]を[ワンポイントカラー]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - [👉]をタッチしたあと、[✍]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼◀▶で枠を移動し、残す色を選ぶ
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 画面をタッチして残す色を選択することもできます。
 - 枠を中央に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ④  または  を押して決定する



❖ 光源の位置と大きさの設定(サンシャイン)

- ① [フィルター効果]を[サンシャイン]に設定する
- ② ▲を押して設定画面を表示する
 - [👉]をタッチしたあと、[☀]をタッチしても表示できます。
- ③ ▲▼◀▶で光源の中心の位置を移動する
 - ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
 - 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。
- ④ 、 または  を回して光源の大きさを調整する
 - ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できます。
 - 光源の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ⑤  または  を押す



フィルターなし同時記録

フィルター効果を加えていない写真を同時に撮影できます。



[フィルター設定] ➡ [フィルターなし同時記録] を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- 以下の機能を使用中は、[フィルターなし同時記録]は使用できません。
 - 連写
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [写真画質]の[RAW+FINE]、[RAW+STD.]、[RAW]
 - [ブラケット]

ハイレゾモード

iA P A S M



複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。動きのない被写体の撮影に適しています。

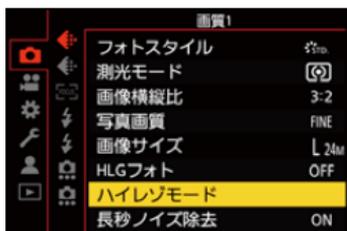
合成後の写真は、画像サイズが最大96 MのRAWファイルで保存されます。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。
- 手ブレ補正機能は自動でオフになります。

1 [ハイレゾモード]を設定する

- → → →
[ハイレゾモード]



2 ハイレゾモードを開始する

- [開始]を選び、 または を押します。



3 構図を決めて、カメラを固定する

- ブレを検知すると、ハイレゾモードアイコンが点滅します。

ハイレゾモードアイコン



4 撮影する

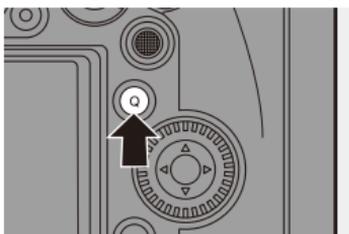
- シャッターボタンを全押しします。
- 初期設定では[シャッターディレイ]が働くため、シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまでに間が空きます。
- 撮影中は画面が黒くなります。
- 記録動作表示(赤)が点滅します。点滅中は、カメラを動かさないでください。
- 撮影後の合成処理が終わると続けて撮影できます。



記録動作表示

5 [ハイレゾモード]を終了する

- [Q]ボタンを押します。



❖ 設定項目(ハイレゾモード)

開始	ハイレゾモードを開始します。
通常撮影同時記録	[ON]にすると、合成前の写真を同時に撮影できます。1枚目の写真を[画像サイズ]の[L]で保存します。
シャッターディレイ	シャッターボタンを押してから、シャッターが切れるまでの時間を設定します。
被写体ブレの処理	被写体が動いた場合の補正方法を設定します。 [MODE1] :ハイレゾモードの効果を優先するため、被写体ブレが残像のように見えます。 [MODE2] :被写体ブレの残像を抑えますが、補正した範囲ではハイレゾモードの効果は得られません。

❖ 合成後の写真画質／画像サイズ

- [写真画質]は[RAW]で記録されます。
- [ハイレゾモード]で撮影したRAW画像は、再生メニューの[RAW現像]では現像できません。ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」をお使いください。(→ 383)
- 画像サイズは[画像横縦比]の設定により変わります。

画像横縦比	画像サイズ
4:3	10656×8000(85 M)
3:2	12000×8000(96 M)
16:9	12000×6736(81 M)
1:1	8000×8000(64 M)

- 
 - [ハイレゾモード]では、以下の機能が制限されます。
 - シャッター方式:[電子シャッター]に固定
 - 最小絞り値:F16
 - シャッタースピード:1秒～1/8000秒
 - ISO感度:最大[ISO3200]
 - フォーカスモード:[AFS]または[MF]に固定
 - 極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
 - オートレビュー時は、合成後の画像が表示されます。
 - カメラで再生する場合は、画像周辺部の拡大表示はできません。
 - 本機以外では、[ハイレゾモード]で撮影した画像を再生できない場合があります。
 - 以下の機能を使用中は、[ハイレゾモード]は使用できません。
 - インターバル撮影
 - [フィルター設定]
 - コマ撮りアニメ
 - [多重露出]
 - APS-C用レンズ使用時は、[ハイレゾモード]撮影できません。

- 
 - Fnボタンに機能を登録できます：
 - [] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [ハイレゾモード](→ 248)

HLGフォト

iA P A S M 



HLG方式のダイナミックレンジの広い写真を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した写真は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力することで観賞できます。また、HSP形式にも対応した機器では、画像を直接再生できます。

- [HLG(ハイブリッドログガンマ)]とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。
- [HSP]とは、HLG方式の動画技術を利用したHDR写真の方式です。拡張子「.HSP」で保存されます。

 →  →  → [HLG フォト] を選ぶ

設定項目	画像横縦比			
	4:3	3:2	16:9	1:1
Full-Res.	5312×3984	5984×4000	5888×3312	4000×4000
4K-Res.	2880×2160	3232×2160	3840×2160	2144×2144
OFF	—			

- HLG方式の写真の画像サイズは、[画像横縦比]の設定により変わります。
[画像横縦比]の[65:24]、[2:1]は設定できません。
- [フォトスタイル]は[スタンダード(HLG)]または[モノクローム(HLG)]から選択できます。(→ 180)
- [写真画質](→ 81)や[画像サイズ](→ 80)の設定に応じたJPEG画像やRAW画像が同時に記録されます。
[HLG フォト]で撮影したRAW画像は、[RAW現像](→ 242)でHLG画像を書き出すことができます。



• 本機のモニター／ファインダーは、HLG方式での表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示)の[HLGビューアシスト]で、確認用に交換した映像を、本機のモニター／ファインダーやHDMI接続機器に表示できます。(→ 308)



- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。
- APS-C用レンズ使用時は、[Full-Res.]は使用できません。
- 以下の機能を使用中は、[HLG フォト]は使用できません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
 - [多重露出]



• Fnボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [HLG フォト](→ 248)

10. フラッシュ

外部フラッシュ(別売)を使う

iA P A S M



ホットシューにフラッシュライト(別売:DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L、DMW-FL70)を装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。フラッシュシンクロ端子に市販のシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用することもできます。また、対応した外部フラッシュを本機に装着すると、離れた位置にある外部フラッシュをワイヤレスで制御することもできます。



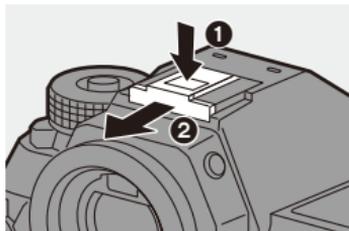
- ケラレを防止するために、レンズフードを取り外して使用してください。
- 以下の機能を使用中は、フラッシュ撮影できません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - 電子シャッター、[サイレントモード]、[ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]

ホットシューカバーの取り外し

フラッシュライト(別売)を取り付ける前に、ホットシューカバーを取り外してください。

フラッシュライトの取り付け方について詳しくは、フラッシュライトの取扱説明書をお読みください。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す



❖ フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する

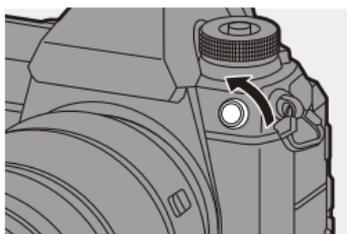
フラッシュシンクロ端子に市販のシンクロケーブルを接続して、市販の外部フラッシュを使用できます。端子には、ケーブルの抜け落ちを防止するロックねじが付いています。

フラッシュシンクロ端子にシンクロケーブルを接続する前に、フラッシュシンクロ端子キャップを取り外してください。



- シンクロ電圧が400 V以下の外部フラッシュをご使用ください。
- シンクロケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

- 1 フラッシュシンクロ端子キャップを、矢印の方向に回して取り外す
 - フラッシュシンクロ端子キャップをなくさないようにお気をつけください。
- 2 シンクロケーブルをフラッシュシンクロ端子に接続する
 - 接続については、シンクロケーブルの取扱説明書をお読みください。



- フラッシュシンクロ端子に極性はありません。シンクロケーブルの極性に関係なく、そのまま使用できます。

❖ フラッシュ撮影についてのお知らせ



- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色することがあります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中はフラッシュが発光せずに撮影されます。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュ機能の設定

iA P A S M



カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

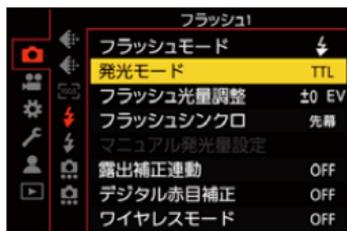
発光モード、マニュアル発光量設定

フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。フラッシュの発光量を手動で設定するときは、発光量を本機で設定できます。

- フラッシュライト(別売:DMW-FL70)だけが、設定した発光モード、発光量で発光します。

1 発光モードを設定する

- MENU/SET → [カメラ] → [発光モード] → [発光モード]



TTL	フラッシュの発光量をカメラが自動で設定します。
マニュアル	フラッシュの発光量を手動で設定します。 <ul style="list-style-type: none">[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンでも、意図どおりの撮影ができます。撮影画面のフラッシュアイコンに発光量([1/1]など)が表示されます。

- ### 2 ([マニュアル]設定時)
- [マニュアル発光量設定]を選び、
MENU/SET または を押す



3 ◀▶で発光量を設定し、または を押す

- [1/1](フル発光)～[1/64]の範囲で、1/3段ごとに設定できます。



フラッシュモード

フラッシュの発光方法を設定します。

 →  →  → 
 [フラッシュモード]を選ぶ



<p> (強制発光)</p> <p> (赤目軽減強制発光)</p>	<p>フラッシュが強制的に発光します。逆光下や蛍光灯などの照明下での撮影に適しています。</p>
<p> S (スローシンクロ)</p> <p> S (赤目軽減スローシンクロ)</p>	<p>フラッシュ発光とともにシャッター速度を遅くして背景の夜景も明るく写します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
<p> (発光禁止)</p>	<p>フラッシュは発光しません。</p>

- 
 - フラッシュは2回発光します。特に[], []に設定すると、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。
 - 以下を設定しているときは、[], []は使用できません。
 - [発光モード]:[マニュアル]
 - [フラッシュシンクロ]:[後幕]
 - [ワイヤレスモード]:[ON]
 - 外部フラッシュ側の設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できないことがあります。
 - 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。
 - 以下の機能を使用しているときは、[]に固定されます。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - 電子シャッター、[サイレントモード]、[ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
- 
 - Fnボタンに機能を登録できます：
 - [] ➔ [] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [フラッシュモード]
 - (➔ 248)

❖ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○: 設定可、x: 設定不可)

撮影モード					
P/A	○	○	○	○	○
S/M	○	○	x	x	○

- 
 - [iA]モード時は、[]になります。

❖ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡	1/60秒*1～1/320秒*2
⚡Ⓞ	
⚡S	1秒～1/320秒*2
⚡SⓄ	

*1 [S]モード時は60秒、[M]モード時はB(バルブ)になります。

*2 [P]／[A]モード時は1/250秒までの設定になります。

- シャッタースピードを1/320秒に設定したときは、ガイドナンバーが低下する場合があります。

フラッシュシンクロ

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。



→ [📷] → [⚡] →

[フラッシュシンクロ]を選ぶ



先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕	被写体の後方に光源が写り、躍動感が出ます。	

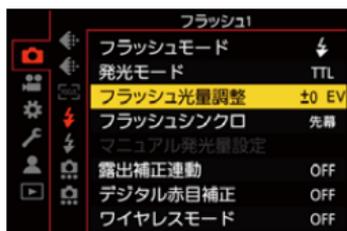
- [後幕]に設定すると、撮影画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- [ワイヤレスモード]を[ON]に設定しているときは、[先幕]に固定されます。
- シャッタースピードが速いときは、効果が十分に得られないことがあります。

フラッシュ発光量調整

TTLの発光モードでフラッシュ撮影するとき、フラッシュの発光量を調整できます。

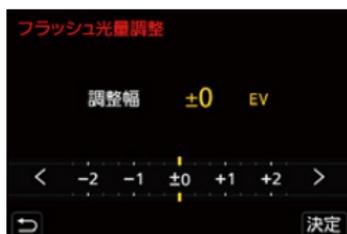
1 [フラッシュ発光量調整]を選ぶ

-  →  →  →
[フラッシュ発光量調整]



2 ◀▶ で発光量を調整し、 または を押す

- -3 EV～+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。



- 撮影画面に  が表示されます。
- ワイヤレスフラッシュ撮影時のフラッシュ発光量調整については、205ページをお読みください。
- 以下を設定しているときは、[フラッシュ発光量調整]は使用できません。
 - [発光モード]:[マニュアル]
 - [ワイヤレスモード]:[ON]
-  Fnボタンに機能を登録できます：
 - [] → [] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [フラッシュ発光量調整] (→ 248)

露出補正連動

露出補正量(→ 171)に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。

 →  →  → [露出補正連動]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

デジタル赤目補正

[フラッシュモード]をまたはに設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。

 →  →  → [デジタル赤目補正]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]



- [ON]に設定すると、フラッシュアイコンにが表示されます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。
- [HLGフォト]使用中は、[デジタル赤目補正]は使用できません。

ワイヤレスフラッシュ撮影

iA P A S M



別売のフラッシュライト(DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L、DMW-FL70)を使って、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つの発光グループとカメラのホットシューに装着したフラッシュの発光を別々に制御できます。

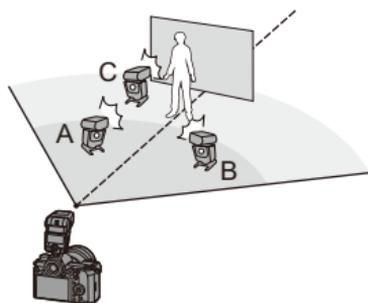
- フラッシュライト(別売:DMW-FL70)は、本機のホットシューに装着し、通信発光にだけ使用できます。

❖ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

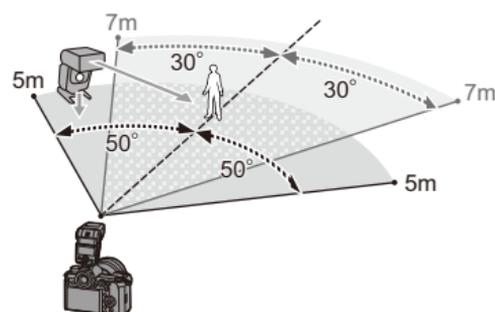
設置例

発光グループA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合



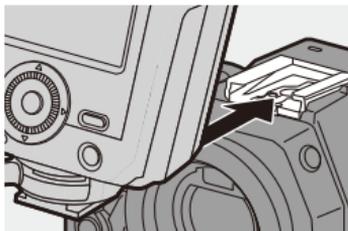
設置範囲

DMW-FL360L 装着時



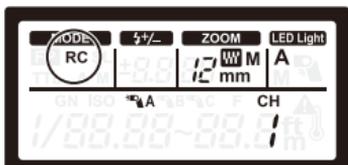
- 設置範囲はカメラを横に構えて撮影する場合の目安です。範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は、1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎると、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。(→ 206)

1 カメラに外部フラッシュを取り付ける(→ 195)



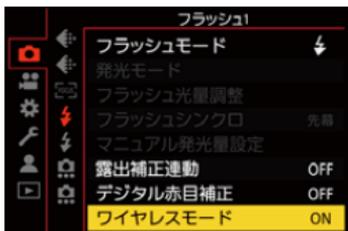
2 ワイヤレスフラッシュの設定を [RC]モードにして配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。



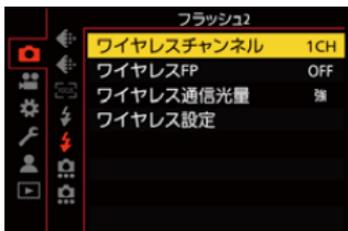
3 カメラのワイヤレスフラッシュ機能を有効にする

- **MENU/SET** → **[カメラアイコン]** → **[ワイヤレスフラッシュアイコン]** → **[ワイヤレスモード]** → **[ON]**



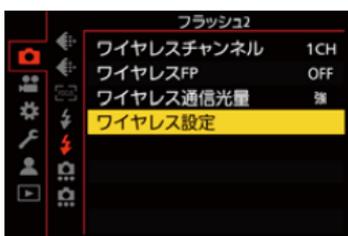
4 [ワイヤレスチャンネル]を設定する

- ワイヤレスフラッシュ側と同じチャンネルを選びます。



5 [ワイヤレス設定]を設定する

- 発光モードと発光量を設定します。



❖ 設定項目(ワイヤレス設定)

- テスト発光するには、[DISP.]ボタンを押してください。



外部 フラッシュ*1	発光モード	<p>[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]*2:外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]:外部フラッシュの発光量を手動で設定します。</p> <p>[OFF]:外部フラッシュは通信発光だけ行います。</p>
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、外部フラッシュの発光量を設定します。</p> <p>• [1/1](フル発光)~[1/128]*3まで、1/3段ごとに設定できます。</p>
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	<p>[TTL]:カメラが自動で発光量を設定します。</p> <p>[AUTO]*1:ワイヤレスフラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>[マニュアル]:ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で設定します。</p> <p>[OFF]:設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。</p>
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]を[TTL]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	<p>[発光モード]を[マニュアル]に設定した場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を設定します。</p> <p>• [1/1](フル発光)~[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。</p>

*1 [ワイヤレスFP]を設定したときは選択できません。

*2 フラッシュライト(別売:DMW-FL200L、DMW-FL70)使用時は設定できません。

*3 フラッシュライト(別売:DMW-FL70)使用時は[1/64]までの設定になります。



• Fnボタンに機能を登録できます：

[設定] → [ワイヤレスフラッシュ] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] → [ワイヤレスフラッシュ設定]
(→ 248)

❖ ワイヤレスFP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)し、速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。



→ [カメラ] → [ワイヤレスFP]を選ぶ

設定：[ON]／[OFF]

❖ ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。



→ [カメラ] → [ワイヤレス通信光量]を選ぶ

設定：[強]／[中]／[弱]

11. 動画撮影

動画を撮る

iA P A S M 



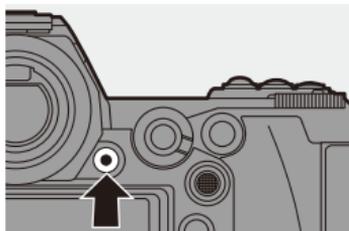
MP4形式の4K動画や、AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン動画の撮影ができます。また、動画撮影に特化したクリエイティブ動画モードでは、露出やホワイトバランスなどを動画専用に設定して撮影できます。

クリエイティブ動画モードでは、HDR(HLG方式)対応のテレビでの再生に適したHLG動画も撮影できます。

音声はステレオで記録されます。

1 撮影を開始する

- 動画ボタンを押します。
- ライブビューの画角が動画撮影用になり、記録可能時間と記録経過時間が表示されます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示とカードアクセス表示が赤く点灯します。
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



記録経過時間 カードアクセス表示



記録動作表示

記録可能時間



● 撮影待機時に記録可能時間を表示することができます：

[] → [] → [残枚数/残時間切換](→ 306)

● ライブビューの画角を、動画撮影時の画角に切り換えることができます：

[] → [] → [写真/動画ライブビュー切換](→ 306)

❖ 動画撮影中の露出制御

絞り値、シャッタースピード、ISO感度は、以下の設定で動画撮影されます。

撮影モード	絞り値、シャッタースピード、ISO感度
IA	シーンに合わせてカメラが自動で設定します。
P/A/S/M	動画メニュー(画質)の[P/A/S/M動画の露出自動制御]によって切り換わります。初期設定は[ON]に設定されています。 [ON]:カメラが自動で設定した値で撮影します。 [OFF]:手動で設定した値で撮影します。
M	手動で設定します。



- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 使用するレンズによって、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音が記録される場合があります。
- 撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
 - 3秒ほど長めに撮影し、再生メニュー(画像の編集)の[動画分割]で動画の終わりの部分を分割する
 - シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使って撮影する
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく表示されることがありますが、異常ではありません。
- 対応機器で再生しても、画質や音質が悪くなる、撮影情報が正しく表示されない、再生できないといった現象が起こることがあります。このような場合は本機で再生してください。
- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、が表示され撮影が停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 動画を連続で撮影中
 - 周囲の温度が高い
- 以下の機能を使用中は、動画撮影はできません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [HLG フォト]
 - [フォーカスセレクト]

動画の設定

記録ファイル方式

iA P A S M 



動画撮影の記録ファイル方式を設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [記録ファイル方式] を選ぶ

AVCHD	ハイビジョンテレビでの再生に適したデータ形式です。 • XQDカードにはAVCHD動画は記録できません。
MP4	パソコンでの再生に適したデータ形式です。
MP4 HEVC	HDR(HLG方式)対応のテレビやレコーダーでの再生に適したHLG動画のデータ形式です。 圧縮率の高い動画圧縮の規格(HEVC/H.265)で記録します。 本機以外で再生するには、再生機器がHEVC/H.265に対応している必要があります。 •  モード時に設定できます。(→ 219)

 • [MP4 HEVC]で記録した動画は、4K/HDR(HLG方式)対応の当社製テレビやレコーダーで再生できます。

 • Fnボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [動画記録ファイル方式] (→ 248)

動画画質

iA P A S M 



動画撮影の画質を設定します。本機では、4K解像度(3840×2160)またはフルハイビジョン解像度(1920×1080)の動画を撮影できます。選択できる画質は、[記録ファイル方式]の設定によって異なります。

 →  →  → [動画画質] を選ぶ

記録ファイル方式:[AVCHD]

動画画質	解像度	フレームレート	ビットレート	YUV/bit	音声圧縮方式
FHD/28M/60p *1	1920×1080	60p	28 Mbps	4:2:0/8bit	Dolby Audio
FHD/17M/60i	1920×1080	60i	17 Mbps	4:2:0/8bit	Dolby Audio
FHD/24M/30p	1920×1080	60i*2	24 Mbps	4:2:0/8bit	Dolby Audio
FHD/24M/24p	1920×1080	24p	24 Mbps	4:2:0/8bit	Dolby Audio

*1 AVCHD Progressive

*2 センサー出力:30コマ/秒

記録ファイル方式:[MP4]

動画画質	解像度	フレームレート	ビットレート	YUV/bit	音声圧縮方式
4K/LPCM/150M/60p *3,4	3840×2160	60p	150 Mbps	4:2:0/8bit	LPCM
4K/100M/30p	3840×2160	30p	100 Mbps	4:2:0/8bit	AAC
4K/100M/24p	3840×2160	24p	100 Mbps	4:2:0/8bit	AAC
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	28 Mbps	4:2:0/8bit	AAC
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	20 Mbps	4:2:0/8bit	AAC

*3 パソコン編集を前提とした動画です。本機以外での再生や編集には、高性能なパソコン環境が必要です。

*4 連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。

記録ファイル方式:[MP4 HEVC]

動画画質	解像度	フレーム レート	ビット レート	YUV/bit	音声圧縮 方式
4K/72M/30p	3840×2160	30p	72 Mbps	4:2:0/10bit	AAC
4K/72M/24p	3840×2160	24p	72 Mbps	4:2:0/10bit	AAC

- 本書では、4K解像度(3840×2160)の動画を**4K動画**、フルハイビジョン解像度(1920×1080)の動画を**FHD動画**と表記します。

- 
 - すべての動画はLong GOPで映像を圧縮して記録されます。
 - 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動で変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録可能時間は短くなります。
 - [フィルター設定]の[ジオラマ]で撮影する場合、4K動画は撮影できません。
 - 4K動画をSDカードに記録するときは、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
 - [MP4 HEVC]の動画をSDカードに記録するときは、UHS Speed Class 1以上のSDカードをお使いください。
- 
 - Fnボタンに機能を登録できます：
[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [動画画質設定](→ 248)

❖ ファイル分割

記録ファイル方式	動画画質	ファイル分割
AVCHD	すべて	ファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。再生するときは、ファイルを連続して再生できます。
MP4	FHD	連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
	4K	SDHCメモリーカード、32 GB以下のXQDカード使用時: 連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。 SDXCメモリーカード、32 GBを超えるXQDカード使用時: 連続記録時間が3時間4分、またはファイルサイズが96 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
MP4 HEVC	すべて	連続記録時間が3時間4分、またはファイルサイズが96 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。

動画撮影範囲

iA P A S M



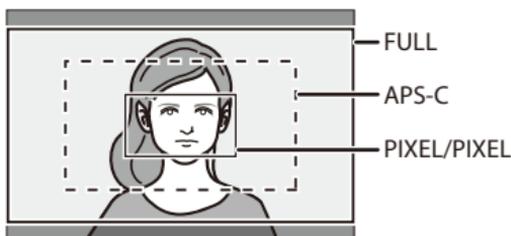
動画撮影時の撮影範囲を設定します。撮影範囲によって画角も変わります。撮影範囲を狭くすると、画質を劣化させることなく望遠効果を高めることができます。

MENU SET → [] → [] → [] → [動画撮影範囲] を選ぶ

項目	設定内容	画角	望遠効果
FULL	センサー全域で撮影します。	広い ⇕ 狭い	なし ⇕ 高い
APS-C	APS-C用レンズのイメージサークルに応じた範囲で撮影します。		
PIXEL/PIXEL	センサーの1ピクセルを動画の1ピクセルにして記録します。[動画画質](→210)の解像度に応じた範囲で撮影します。		

- [M]モード以外の撮影モードで撮影範囲を確認するには、[写真/動画ライブビュー切替]を[]に設定してください。(→306)
- APS-C用レンズ使用時は、[FULL]は設定できません。自動で[APS-C]に切り換わります。
- 以下の機能を使用中は、[FULL]の撮影範囲が狭くなり、画角が狭くなります。
 - [ハイスピード動画]の[180/30p FHD]

撮影範囲(例:FHD動画)





- 以下の機能を使用中は、[動画撮影範囲]は[APS-C]に固定されます。
 - [動画画質]の[4K/LPCM/150M/60p]
 - [ハイスピード動画]の[60/30p 4K]、[48/23.98p 4K]
- 以下の機能を使用中は、[PIXEL/PIXEL]は使用できません。
 - 4K動画
 - [ハイスピード動画]

AF連続動作



動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。



⇒ [動画] ⇒ [AF] ⇒ [AF連続動作] を選ぶ

AF連続動作	設定
ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。



- 動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直すことができます。
- 撮影環境や使用しているレンズによっては、動画撮影中にAFの動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を[OFF]に設定して撮影してください。
- 動画撮影中にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

AFカスタム設定(動画)

iA P A S M 

[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [AFカスタム設定(動画)]を選ぶ

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF駆動速度	[+]側 :速いスピードでピントを合わせます。 [-]側 :緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF追従感度	[+]側 :被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-]側 :被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。



• Fnボタンに機能を登録できます:

[] ⇒ [] ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [AFカスタム設定(動画)]
(→ 248)

輝度レベル設定



動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

- [記録ファイル方式]が[MP4]のときに設定できます。

→ → → [輝度レベル設定]を選ぶ

設定: [0-255] / [16-255]



- [記録ファイル方式]が[AVCHD]のときは[16-255]、[MP4 HEVC]のときは[64-940]に固定されます。
- [HLGフォト]撮影時は[64-940]に、それ以外の写真撮影時は[0-255]に固定されます。

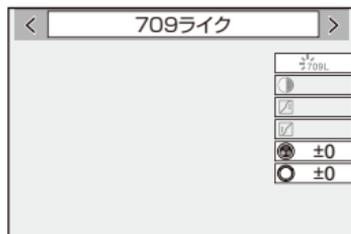
白飛びを抑えて撮影する(二)



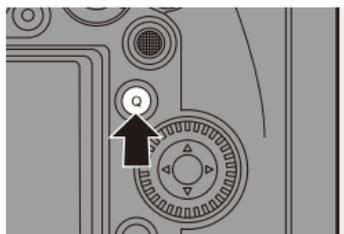
[フォトスタイル]を[709ライク]に設定すると、二を調整して白飛びを抑えた撮影ができます。

1 [フォトスタイル]を[709ライク]に設定する

- → → →
[フォトスタイル] → [709ライク]



2 [Q]ボタンを押す



3 ニー設定を選ぶ

- ◀▶ で設定項目を選びます。



AUTO	自動で高輝度部分の圧縮レベルを調整します。
MANUAL	<p>手動でニーマスターポイントとニーマスタースロープを調整します。</p> <p>▲▼で項目を選び、◀▶で調整する</p> <p>[POINT]: ニーマスターポイント</p> <p>[SLOPE]: ニーマスタースロープ</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を回すとニーマスターポイントを、 を回すとニーマスタースロープを調整できます。 • 以下の範囲で設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> - ニーマスターポイント: 80~107 - ニーマスタースロープ: 0~99
OFF	—

4 決定する

-  または  を押します。

録音レベルの表示／設定

iA P A S M 



❖ 録音レベル表示

録音レベルを撮影画面に表示します。

 →  →  → [録音レベル表示]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]



• [録音レベルリミッター]が[OFF]のとき、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。



• Fn ボタンに機能を登録できます:

[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [録音レベル表示](→ 248)

❖ 録音レベル設定

録音レベルを手動で調整します。

① [録音レベル設定]を選ぶ

•  →  →  → [録音レベル設定]

② ◀▶ で録音レベルを調整し、 または を押す

• -12 dB～+6 dBの範囲で1 dBごとに調整できます。

• 表示されるdB値は目安です。



• Fn ボタンに機能を登録できます:

[] → [] → [Fn ボタン設定] → [撮影時設定] → [録音レベル設定](→ 248)

❖ 録音レベルリミッター

録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

 →  →  → [録音レベルリミッター]を選ぶ

設定: [ON]／[OFF]

クリエイティブ動画モード

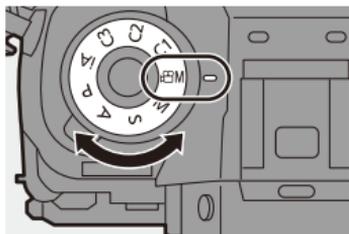
iA P A S M 



[M]モード(クリエイティブ動画モード)は、動画撮影専用の撮影モードです。[P] / [A] / [S] / [M]モードと同じ露出操作ができます。露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。露出やホワイトバランスなどを、写真撮影時と分けて設定できます。また、以下の動画は、[M]モードだけで撮影できます。

- ハイスピード動画(→ 222)
- HLG動画(→ 223)

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



2 露出モードを設定する

-  → [] → [] → [動画露出設定] → [P] / [A] / [S] / [M]
- [P] / [A] / [S] / [M]モードと同じ露出操作ができます。



3 メニューを終了する

- シャッターボタンを半押しします。

4 撮影を開始する

- シャッターボタン、または動画ボタンを押します。

5 撮影を終了する

- もう一度シャッターボタン、または動画ボタンを押します。

- ➔ • Fnボタンに機能を登録できます：
 [設定] ➔ [動画撮影] ➔ [Fnボタン設定] ➔ [撮影時設定] ➔ [動画露出設定] (➔ 248)
- クリエイティブ動画撮影時のISOオートの上限と下限を設定できます：
 [動画撮影] ➔ [ISO] ➔ [ISO感度設定(動画)] (➔ 285)

❖ 動画撮影中の操作

露出や音声の設定をタッチ操作で変更でき、操作音の記録を防ぐことができます。

- ✎ • 初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(➔ 297)

① [動画撮影]をタッチする

② アイコンをタッチする

F	絞り値
SS	シャッタースピード
	露出補正

ISO	ISO感度
	録音レベル設定

③ スライダーをドラッグして設定する

[▼]/[▲]: ゆっくり設定を変える

[▼]/[▲]: 速く設定を変える

- アイコン(A)をタッチすると手順②の画面に戻ります。



- ✎ • シャッタースピードは1/25秒～1/16000秒の範囲で設定できます。

クリエイティブ動画の設定値

iA P A S M



初期設定では[Ⓜ]モードで変更した露出やホワイトバランスなどの設定は、[P]／[A]／[S]／[M]モードでの写真撮影にも反映されます。[クリエイティブ動画の設定値]メニューで、動画撮影時と写真撮影時の設定を分けることができます。

⇒ ⇒ ⇒ [クリエイティブ動画の設定値]を選ぶ

絞り値/SS/ISO/露出補正	<p>:</p> <p>[Ⓜ]モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの撮影設定が連動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Ⓜ]モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードで同じ設定を使いたいときに選びます。
ホワイトバランス	
フォトスタイル	
測光モード	<p>:</p> <p>[Ⓜ]モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの撮影設定を個別に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Ⓜ]モードと[P]／[A]／[S]／[M]モードの設定を分けたいときに選びます。
AFモード	

ハイスピード動画

iA P A S M 

超高速撮影を行うことにより、MP4形式のスローモーション動画を撮影できます。



- SDカードで本機能を使用する場合は、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。



→ [] → [] → [ハイスピード動画] を選ぶ

項目	フレームレート (撮影時)	[動画画質] (保存時)	スローモーション 効果
180/30p FHD	180コマ/秒	FHD/20M/30p	約1/6倍速
150/30p FHD	150コマ/秒	FHD/20M/30p	約1/5倍速
60/30p 4K	60コマ/秒	4K/100M/30p	約1/2倍速
48/23.98p 4K	48コマ/秒	4K/100M/24p	約1/2倍速
OFF		—	



- フォーカスモードはMFに切り換わります。
- 音声は記録されません。
- ハイスピード動画を連続で撮影できるのは、最大15分までです。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

HLG動画を撮影する

iA P A S M 

HLG方式のダイナミックレンジの広い動画を撮影します。白飛びしやすいまぶしい光や黒つぶれしやすい暗部を、肉眼で見たようなこまやかで豊かな色彩で記録できます。

撮影した動画は、HLG方式に対応した機器(テレビなど)にHDMI出力したり、対応した機器で直接再生したりすることで観賞できます。

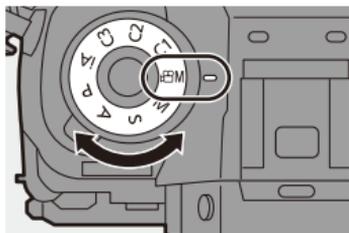
- 「HLG(ハイブリッドログガンマ)」とは、HDRに関する国際標準規格(ITU-R BT.2100)の方式です。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

2 [記録ファイル方式]を[MP4 HEVC]に設定する(→ 209)

- [フォトスタイル]が[2100ライク(HLG)]に固定されます。
- 撮影画面には、が表示されます。

3 画質を設定する(→ 210)



- 本機のモニター/ファインダーは、HLG方式での表示に対応していません。カスタムメニュー(モニター/表示)の[HLGビューアシスト]で、確認用に交換した映像を、本機のモニター/ファインダーやHDMI接続機器に表示できます。(→ 308)



- HLG方式に非対応の機器では、HLG画像は暗く表示されます。

外部機器と接続して動画を撮る

iA P A S M



外部モニター／外部レコーダー(撮影時HDMI出力)

HDMIケーブルで接続した外部モニターや外部レコーダーに、カメラの映像を出力しながら撮影できます。

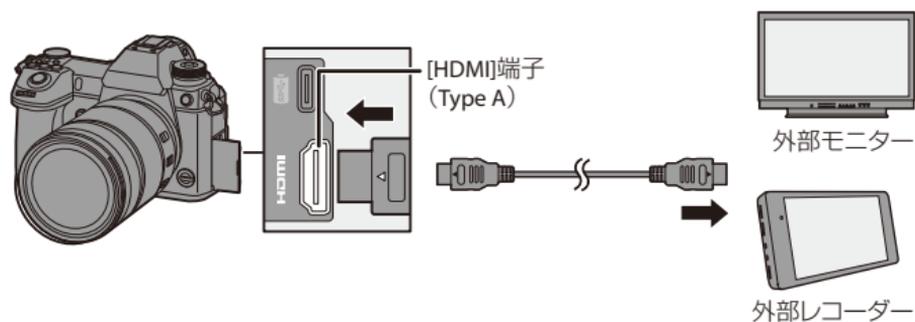
HDMI出力制御は撮影時と再生時で異なります。

- 再生時の設定については、317ページをお読みください。

準備:

- カメラと外部モニター／外部レコーダーの電源を切る

市販のHDMIケーブルでカメラと外部モニターや外部レコーダーをつなぐ



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

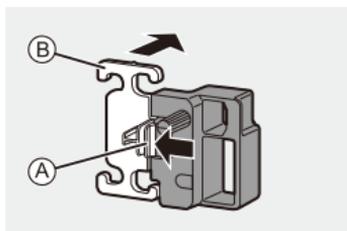
 • HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。

❖ ケーブルホルダーを取り付ける

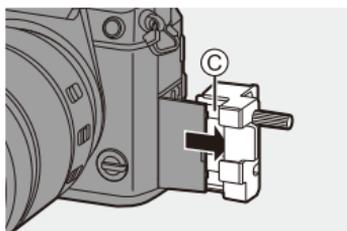
付属のケーブルホルダーを使用すると、ケーブルの脱落や端子の破損を防ぐことができます。

- カメラを安定したところに置いて作業してください。

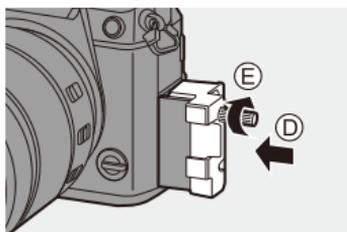
- 1 ①(A)を押しながらケーブルホルダーのクランプ部(②(B))をスライドさせて取り外す



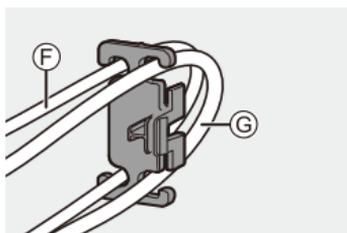
- 2 端子部の扉を開き、③(C)の部分に扉を差し込む



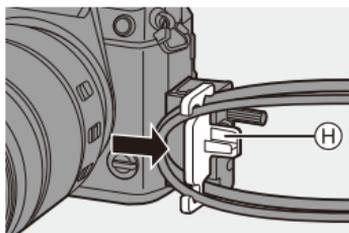
- 3 ケーブルホルダーをカメラの取り付け部に合わせて仮固定し(④(D))、矢印の方向にねじを回して取り付け(⑤(E))



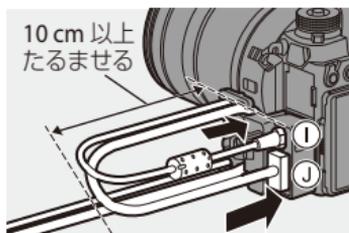
- 4 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)(⑥(F))とHDMIケーブル(⑦(G))をクランプ部に取り付ける



- ⑤ クランプ部 (H) をスライドさせてケーブルホルダーに取り付ける



- ⑥ USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)をUSB端子に接続する (I)
- ⑦ HDMIケーブルを[HDMI]端子に接続する (J)



取り外すとき

取り付けるときと逆の順番で外してください。

- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- HDMIケーブルの太さは直径6.5 mm以下のものを推奨します。
- HDMIケーブルの形状によっては、取り付けることができない場合があります。

❖ [HDMI]端子から出力する映像について(撮影モード別)

	撮影モード	
	📷M	iA / P / A / S / M
横縦比	動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。	写真メニュー(画質)の[画像横縦比]の設定に合わせて出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [16:9]以外の場合は映像の上または左右に帯を付け出力します。
解像度、フレームレート		接続する機器に合わせて出力します。
出力ビット数	動画メニュー(記録)の[動画画質]に合わせて出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [10bit]の場合、接続先が対応していないときは、8 bit に切り換わります。 	8 bit で出力します。

- [📷M]モード以外で[写真/動画ライブビュー切替]を[👤]に設定しているときは、横縦比、解像度、フレームレートは動画メニュー(記録)の[動画画質]の設定に合わせて出力します。
- 動画撮影時は、[📷M]モードと同様の出力方法に切り換わります。
- 出力方法が切り換わるとき、切り換わるまでに時間がかかる場合があります。

❖ HDMI出力時の情報表示を設定する

HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する／しないを選びます。


 ⇒ [👤] ⇒ [📷] ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒ [情報表示]を選ぶ
 設定: [ON] / [OFF]



- 撮影中、HDMI出力画像が遅れて表示されることがあります。
- HDMI出力中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音声を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてください。
- 一部の設定画面はHDMI出力されません。
- 以下の機能を使用中は、HDMI出力されません。
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]

外部マイク(別売)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクよりも高音質の音声を記録できます。

1 接続する機器に合わせて[マイク端子]を設定する

-  → [マイク入力] → [マイク端子] → [マイク端子]

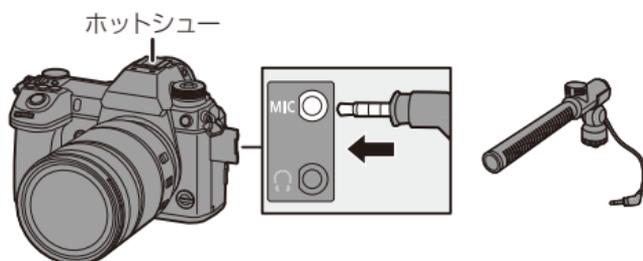
MIC 	マイク入力 (Plug-in Power)	カメラの[MIC]端子から電源供給が必要な外部マイクを接続するとき
MIC	マイク入力	カメラの[MIC]端子から電源供給が不要な外部マイクを接続するとき
LINE	ライン入力	ライン出力する外部音声機器を接続するとき

- ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)装着時は、[マイク入力(Plug-in Power)]に固定されます。
- [マイク入力(Plug-in Power)]設定時に、電源供給が不要な外部マイクを接続すると、接続した外部マイクが故障する場合があります。接続前にご確認ください。

2 カメラの電源を切る

3 カメラと外部マイクをつなぐ

- 外部マイクをカメラのホットシューに取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(→ 195)



- ステレオマイクロホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。

❖ 收音範囲の設定(別売:DMW-MS2)

ステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)使用時、マイクの收音範囲を設定できます。

① [専用マイク設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [専用マイク設定]

ステレオ	広い範囲の音を收音します。
レンズ連動	レンズの画角に合わせて自動で設定された範囲の音を收音します。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を收音します。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに收音範囲を絞ります。
マニュアル	範囲を手動で設定し、收音します。

② ([マニュアル]選択時)

- ◀▶ で收音範囲を調整し、 または  を押す



- Fn ボタンに機能を登録できます：

[] ⇒ [] ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定] ⇒ [マイク指向性調整](→ 248)

❖ 風雑音の低減

外部マイク接続時の風雑音を低減します。

-  ⇒  ⇒  ⇒ [風音低減]を選ぶ

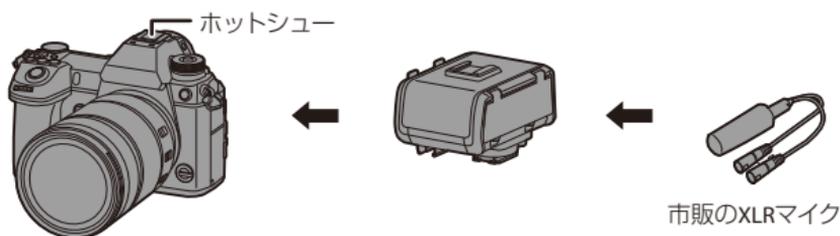
設定: [強] / [中] / [弱] / [OFF]



- 外部マイク接続中は、画面にが表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- [専用マイク設定]を[レンズ連動]、[スーパーガン]、[マニュアル]に設定すると、[音声モニタリング]は[記録音]に固定されます。
- ステレオマイクロホン(別売:VW-VMS10)接続時は、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

XLRマイクロホンアダプター(別売)

XLRマイクロホンアダプター(別売:DMW-XLR1)を装着すると、市販のXLRマイクを使用して高音質なステレオ音声の記録ができます。



準備:

- カメラの電源を切り、ホットシューカバーを取り外す(→ 195)

ホットシューにXLRマイクロホンアダプターを取り付け、カメラの電源を入れる

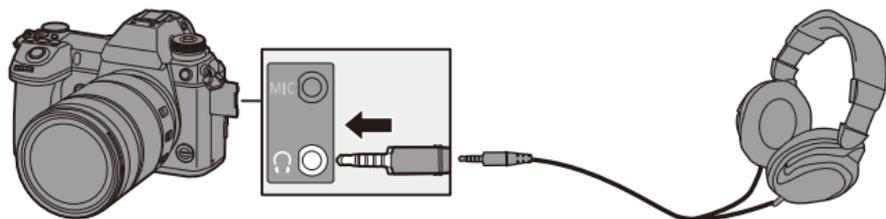
- XLRマイクロホンアダプターを装着すると、[XLRマイクアダプター設定]が自動で[ON]になります。

ON	XLRマイクの音声を記録します。
OFF	カメラの内蔵マイクの音声を記録します。

- U
 • [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定すると、以下の設定が固定されます。
 - [録音レベルリミッター]:[OFF]
 - [風音キャンセラー]:[OFF]
 - [専用マイク設定]:[ステレオ]
 - [音声モニタリング]:[記録音]
- [XLRマイクアダプター設定]を[ON]に設定すると、[録音レベル設定]は使用できません。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、[録音レベル表示]が自動で[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- XLRマイクロホンアダプター装着時は、XLRマイクロホンアダプターを持って持ち運ばないでください。脱落のおそれがあります。
- ACアダプター使用時にノイズが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- 詳しくは、XLRマイクロホンアダプターの取扱説明書をお読みください。

ヘッドホン

カメラに市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは3 m未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や合焦音、電子シャッター音は鳴りません。

❖ 音声の出力方法の切り換え

MENU/SET → [人] → [マイク] → [音声モニタリング] を選ぶ

リアルタイム	遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。
記録音	動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。

- HDMI接続して撮影しているときは[記録音]に固定されます。

❖ ヘッドホンの音量の調整

ヘッドホン接続中に を回す

: 音量を下げる

: 音量を上げる

- 再生画面では、[-] / [+] をタッチしても音量を調整できます。

メニューで調整する場合：

- ① [ヘッドホン音量] を選ぶ
 - **MENU/SET** → [レンチ] → [無線] → [ヘッドホン音量]
- ② ▲▼ でヘッドホン音量を調整し、**MENU/SET** または を押す
 - 0～LEVEL15の範囲で調整できます。

12. 画像の再生／編集

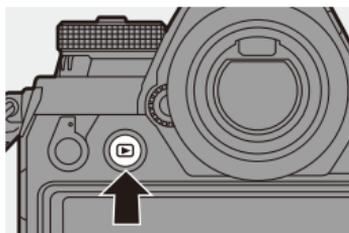
本章では、撮影画像の再生や編集について説明します。

- ➔ • プロテクトやレーティングなどの再生／編集機能については、321ページからの「再生メニュー」をお読みください。

写真の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



カードスロット

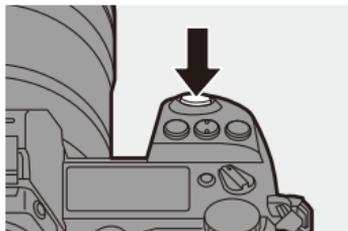
2 写真を選ぶ

- ◀▶ で写真を選びます。
 - ◀: 前の画像へ
 - ▶: 次の画像へ
- ◀▶ を押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- ☀ または ⦿ を回しても選ぶことができます。
- 画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 画像を送り続けると再生するカードが切り換わります。



3 再生を終了する

- シャッターボタンを半押しします。
- [▶] ボタンを押しても再生を終了できます。



❖ 表示するカードの切り換え

画像はカードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[] ボタンを押したあと、▲▼で[スロット1(XQD)]または[スロット2(SD)]を選び、 または  を押します。



- [Q] ボタンを押すと、Bluetooth接続したスマートフォンに写真を転送できます。(→ 358)

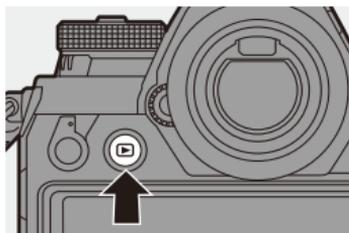


- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) によって制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。Exif とは、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです。
- 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

動画の再生

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。



2 動画を選ぶ

- 画像選択については、[232](#)ページをお読みください。
- 動画には動画アイコン[👤]が表示されます。



動画の記録時間

3 動画を再生する

- ▲ を押します。
- 画面中央の [▶] をタッチして再生することもできます。
- 画面に再生経過時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。



4 再生を終了する

- ▼ を押します。

❖ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生／一時停止
▼		停止
◀		早戻し再生 • もう一度◀を押すと、早戻し速度が速くなります。
		コマ戻し(一時停止中) • AVCHD動画の再生中は、約0.5秒ごとのコマ戻しになります。
▶		早送り再生 • もう一度▶を押すと、早送り速度が速くなります。
		コマ送り(一時停止中)
		写真の切り出し(一時停止中)(→ 236)
		音量を下げる
		音量を上げる

- 本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHDまたはMP4です。
- AVCHD動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- パソコンで動画を再生するには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。

写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 写真を切り出す位置で再生を一時停止する

- ▲ を押します。
- 細かい位置調整には、◀▶ (コマ送り、コマ戻し)をお使いください。



2 写真を保存する

- MENU または 📷 を押します。
- [📷] をタッチしても同じ操作ができます。

- 動画から作成された写真は、画像縦横比 16:9、写真画質[FINE]で保存されます。画像サイズは、動画によって異なります。
 - 4K動画から写真を作成した場合: 3840×2160
 - FHD動画から写真を作成した場合: 1920×1080
- 動画から作成された写真は、通常より画質が粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、詳細情報表示画面に [📷] が表示されます。

表示方法の切り換え

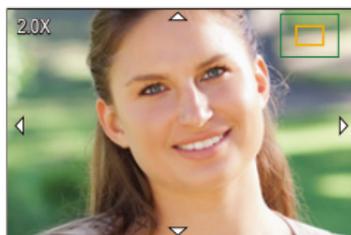
撮影画像を拡大表示したり、複数の画像を同時に表示するサムネイル表示(マルチ再生)に切り換えたりできます。撮影日を選んで表示するカレンダー表示に切り換えることもできます。

拡大表示

再生画像を拡大表示(再生ズーム)できます。

再生画面を拡大する

-  を右側に回します。
- 2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍 ⇄ 16倍の順で拡大表示します。
-  を左側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- [写真画質]を[RAW]で撮影した写真は16倍で拡大表示できません。
- [ハイレゾモード]で撮影した画像の端は拡大表示できません。



❖ 拡大表示中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	—	画面を拡大／縮小
—	ピンチアウト／ピンチイン	画面を細かく拡大／縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
	—	拡大倍率、拡大位置を保持したまま画像を送る

-  ● AFでピントの合った位置を拡大できます：
[再生] → [拡大] → [AF位置から拡大](→ 323)

サムネイル表示

1 サムネイル表示に切り換える

-  を左側に回します。
- 12画面 ⇄ 30画面の順に表示が切り換わります。
- 選択されている画像にオレンジ色の枠が付きます。
- 30画面表示中に  を左側に回すと、カレンダー表示に切り換わります。(→ 239)
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。
- アイコンをタッチして表示を切り換えることもできます。

[]: 1画面

[]: 12画面

[]: 30画面

[]: カレンダー(→ 239)



2 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。

❖ 表示するカードの切り換え

画像はカードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、サムネイル表示中に [] ボタンを押してください。



● サムネイル表示を上下にドラッグすると、画面をスクロールできます。



● [] と表示される画像は再生できません。

カレンダー表示

1 カレンダー表示に切り換える

-  を左側に回します。
- サムネイル表示(12画面) ⇨ サムネイル表示(30画面) ⇨ カレンダー表示の順に表示が切り換わります。
-  を右側に回すと、1つ前の表示に戻ります。



2 撮影日を選ぶ

- ▲▼◀▶ で日付を選び、 または  を押します。
- 選択されている日付がオレンジ色で表示されます。

3 画像を選ぶ

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押します。
-  を左側に回すと、カレンダー表示に戻ります。



- カレンダー表示中は、表示するカードを切り換えることができません。
- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。

グループ画像

インターバル撮影やコマ撮り撮影で撮影した画像は、本機ではグループ画像として扱われ、グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます) また、グループ内の画像ごとに消去や編集を行うこともできます。

❖ 本機でグループ画像として扱われる画像

	[6K/4K フォト一括保存]で保存したグループ画像
	フォーカスブラケット撮影したグループ画像
	インターバル撮影したグループ画像
	コマ撮り撮影したグループ画像



❖ グループ内の画像を1枚ずつ再生／編集する

グループ内の画像に対して、サムネイル表示、拡大表示、画像の消去など通常の写真再生時と同じ操作ができます。

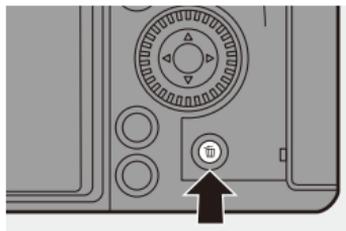
- 1 [▶] ボタンを押して再生画面を表示する
- 2 再生するグループ画像を選ぶ(→ 232)
- 3 ▲ を押してグループ内の画像を表示する
 - [▶], [▲▶], [▶], [▶▶] をタッチしても同じ操作ができます。
- 4 ◀▶ で画像を選ぶ
 - 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▲ を押す、または [▶▶] をタッチしてください。

画像の消去

- ❗ 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 選択しているカードスロットの画像だけ消去できます。
- グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます。

❖ 1枚消去

- 1 再生状態で[]を押す
- 2 ▲▼で[1枚消去]を選び、 または を押す



❖ 複数消去／全画像消去

- 1 再生状態で[]を押す
- 2 ▲▼で消去方法を選び、 または を押す

複数消去	複数枚の画像を選んで消去します。 1 ▲▼◀▶で消去する画像を選び、 または を押す • 選択した画像に[]が表示されます。 • もう一度 または を押すと、選択が解除されます。 • 画像は100枚まで選択できます。 2 [DISP.]ボタンを押して選択した画像を消去する
全画像消去	カード内のすべての画像を消去します。 • [全画像消去]を選択すると、カード内のすべての画像を消去します。 • [レーティング以外全消去]を選択すると、レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。

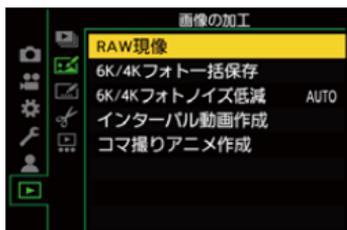
- 💡 画像を消去するカードを切り換えるには、[]ボタンを押してカードスロットを選択してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。
- Fnボタンに機能を登録できます：
[] → [] → [Fnボタン設定] → [再生時設定] → [1枚消去] (→ 248)

RAW現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。[HLGフォト]で撮影したRAW画像を、HLG形式で保存することもできます。

1 [RAW現像]を選ぶ

-  →  →  → [RAW現像]



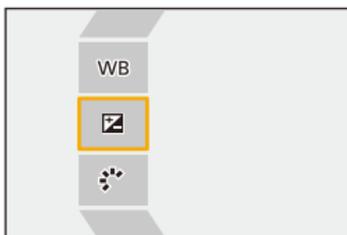
2 RAW画像を選ぶ

- ◀▶で画像を選び、 または  を押します。
- グループ画像を選んだ場合は、▲を押してから、グループ内の画像を選択してください。もう一度▲を押すと、通常の見出し画面に戻ります。
- 表示される画像には、撮影時の設定が反映されています。



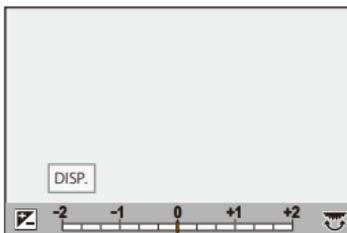
3 設定項目を選ぶ

- ▲▼で項目を選び、 または  を押します。



4 設定を変更する

- 、 または  を回します。
- 画面をピンチアウト／ピンチインすると、拡大／縮小できます。

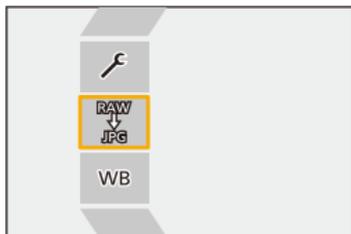


5 設定内容を決定する

-  または  を押します。
- 手順3の画面に戻ります。続けて他の項目を設定するときは、手順3から5を繰り返してください。

6 画像を保存する

- ▲▼で[RAW現像実行]を選び、
 または  を押します。



❖ 設定項目(RAW現像)

RAW現像実行	画像を保存します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを選んで調整できます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● [ホワイトバランス]の選択画面で▼を押すと、ホワイトバランスの調整画面が表示されます。 ● [ホワイトバランス]の[]~[]を選択中に▲を押すと、色温度の設定画面が表示されます。
明るさ補正	明るさの補正ができます。(±2 EV)
フォトスタイル	フォトスタイルを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● [フォトスタイル]の[709ライク]を選択中に[Q]ボタンを押すと、ニー設定画面が表示されます。 ● [詳細設定]の[ファイル形式]で[HLG]を選択している場合は、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]だけの選択になります。
iダイナミックレンジ*1	iダイナミックレンジの設定を選択できます。
コントラスト*1	コントラストを調整できます。(±5)
ハイライト*1	明るい部分の明るさを調整できます。(±5)
シャドウ*1	暗い部分の明るさを調整できます。(±5)
彩度*2 / 色調*3	彩度または色調を調整できます。(±5)

色相* ²	色相を調整できます。(±5)
フィルター効果* ³	フィルター効果を選択できます。
粒状* ⁴	粒状感の設定を選択できます。
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。(±5)
シャープネス	解像感を調整できます。(±5)
詳細設定	<p>[調整前に戻す]:撮影時の設定に戻すことができます。</p> <p>[ファイル形式]:ファイル形式を[JPG]または[HLG]から選択できます。([HLG フォト]で撮影した画像のみ)</p> <p>[色空間]:色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選択できます。([ファイル形式]で[JPG]を選択しているときのみ)</p> <p>[画像サイズ]:保存時の画像サイズを選択できます。</p> <p>[HLGビューアシスト(モニター)]、[HLGビューアシスト(HDMI)]:カスタムメニューの[HLGビューアシスト]の[モニター]、[HDMI]と同じ設定をします。(→ 308)</p> <ul style="list-style-type: none"> • [HLGビューアシスト(モニター)]および[HLGビューアシスト(HDMI)]は、[ファイル形式]で[HLG]を選択しているときだけ設定できます。

*1 [フォトスタイル]で[709ライク]を選択した場合、または[詳細設定]の[ファイル形式]で[HLG]を選択した場合は、調整できません。

*2 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]以外を選択中に使用できません。

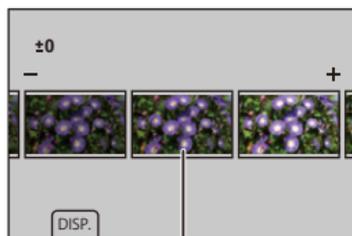
*3 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]、[モノクローム(HLG)]を選択中に使用できます。

*4 [フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]を選択中に使用できます。

❖ 比較画面を表示する

設定値を反映した画像を並べて表示することで、効果を確認しながら設定を変更できます。

- ① 手順4の画面で、[DISP.]ボタンを押す
 - 現在の設定の画像が中央に表示されます。
 - 現在の設定の画像をタッチすると拡大表示します。[↶]をタッチすると元の表示に戻ります。
 - [ノイズリダクション]、[シャープネス]選択中は、比較画面の表示ができません。
- ② 、 または  を回して設定を変更する
- ③  または  を押して決定する



現在の設定

- 
 - 本機で撮影したRAW画像は常に[3:2]の[L]サイズで記録されます。本機能では撮影時の画像横縦比や[EXテレコン(写真)]の画角で現像されます。
 - [EXテレコン(写真)]で拡大撮影した画像を現像する場合、撮影時より大きい[画像サイズ]では現像できません。
 - 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
 - [明るさ補正]の効果は、撮影時の露出補正と異なります。
 - 本機能と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」のRAW現像の結果は、完全には一致しません。
 - 以下のRAW画像はRAW現像できません。
 - [ハイレゾモード]で撮影した画像
 - 本機以外で撮影した画像

- 
 - Fnボタンに機能を登録できます：
[⚙️] → [] → [Fnボタン設定] → [再生時設定] → [RAW現像] (→ 248)

動画分割

撮影した動画や6K/4K連写ファイルを2つに分割します。



- 分割した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから分割の操作をしてください。
- 分割処理中にカードやバッテリーをカメラから取り出さないでください。画像が消失するおそれがあります。

1 [動画分割]を選ぶ

- → → →
[動画分割]



2 画像を選び、再生する

- で画像を選び、 または を押します。



3 分割する位置で再生を一時停止する

- を押します。
- 細かい位置調整には、 (コマ送り、コマ戻し)をお使いください。



4 動画を分割する

- を押します。



- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。

13. カメラのカスタマイズ

本章では、カメラをお好みに合わせて設定できるカスタマイズ機能を紹介いたします。

ボタンやダイヤルなど、カメラの操作方法を変更する

Fn ボタン	→248
Fn レバー	→256
ダイヤル	→258

現在のカメラの設定内容を登録する

カスタムモード	→264
---------	------

メニューの表示内容を変更する

クイックメニューのカスタマイズ	→260
マイメニューの登録	→268

カメラの設定情報を別のカメラに読み込む

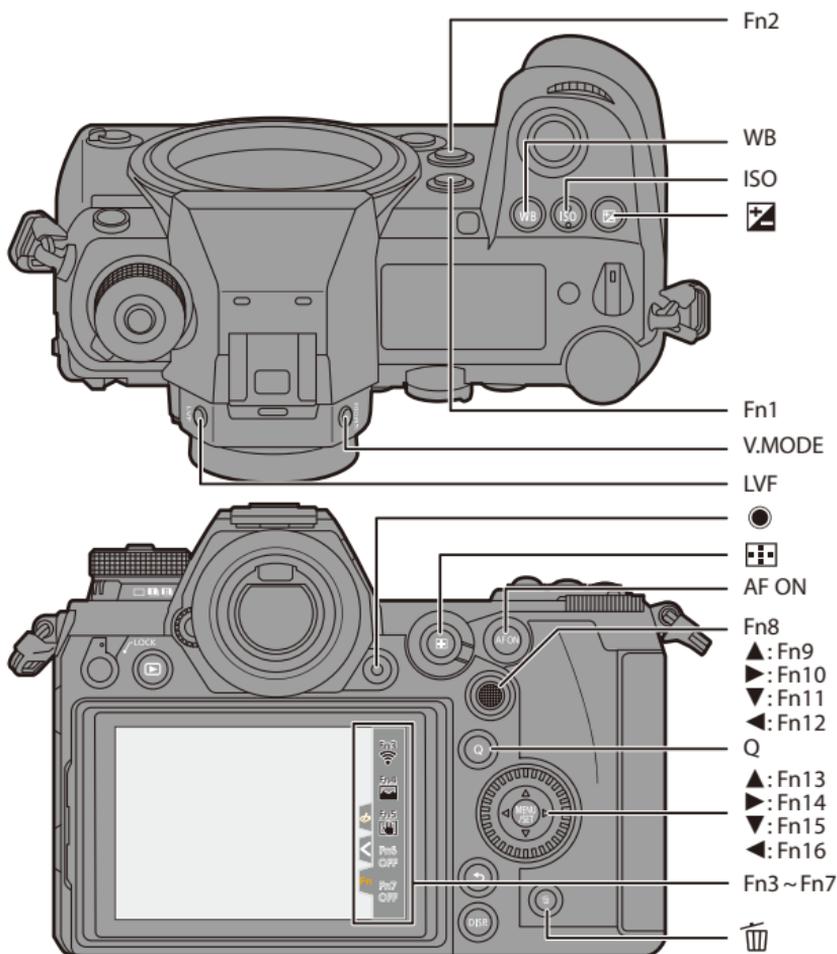
カメラ設定の保存/読み込み	→270
---------------	------



- カスタムメニューでカメラの操作や画面表示の詳細な設定ができます。
(→ 290)

Fn ボタン

Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。また、[WB]ボタンなどの専用機能ボタンにも、Fnボタンと同じように、別の機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

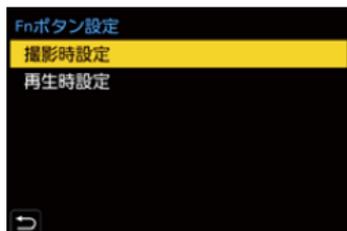


Fnボタンへの機能の登録

- 初期設定ではジョイスティックの[Fn8]～[Fn12]が使用できません。機能を使用する場合は、[ジョイスティック設定]を[Fn]に設定してください。(→300)

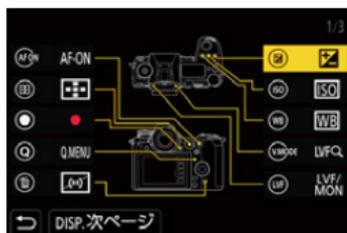
1 [Fnボタン設定]を選ぶ

- MENU/SET → [設定] → [Fn] →
[Fnボタン設定] →
[撮影時設定] / [再生時設定]



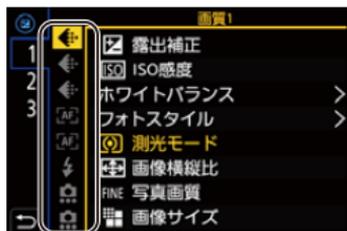
2 ボタンを選ぶ

- ▲▼でボタンを選び、MENU/SET または  を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- [Fn1]～[Fn16]は、[DISP.]ボタンを押すと表示されます。
[再生時設定]選択時は、[Fn1]～[Fn2]だけが表示されます。



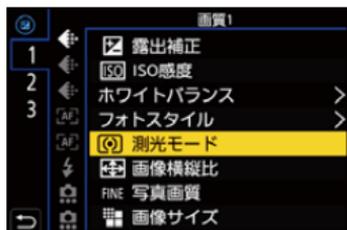
3 登録する機能を探す

-  を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→251、254)を選び、MENU/SET または  を押します。
- ◀を押してサブタブの選択状態にしてから▲▼を押す、または  を回し、▶を押しても選択できます。
- [Q]ボタンを押すと、[1]～[3]のタブが切り換わります。



4 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、 または  を押します。
-  または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。
- ボタンによっては、登録できない機能があります。



-  コントロールパネル(→ 67)で[FnY]をタッチしても、手順2の画面を表示できません。
- Fnボタンの長押し(2秒)でも、手順4の画面を表示できます。(登録した機能やボタンの種類によっては表示されません)

❖ 設定項目(Fnボタン設定／撮影時設定)

[1]タブ

<p>画質</p> <ul style="list-style-type: none"> - 露出補正 (→ 171) - ISO感度 (→ 174) - ホワイトバランス (→ 176) - フォトスタイル (→ 180) - 測光モード (→ 160) - 画像横縦比 (→ 79) - 写真画質 (→ 81) - 画像サイズ (→ 80) - HLG フォト (→ 193) - ハイレゾモード (→ 190) - ワンショットスポット測光 (→ 253) - 長秒ノイズ除去 (→ 274) - 下限シャッター速度 (→ 274) - ワンショット RAW+JPG (→ 253) - iダイナミックレンジ (→ 275) - フィルター効果 (→ 184) - ワンプッシュAE (→ 253) - タッチAE (→ 78) - 動画露出設定 (→ 219) 	<p>[AF] フォーカス/レリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> - AFモード/MF (→ 91) - AFカスタム設定(写真) (→ 89) - AFカスタム設定(動画) (→ 215) - ピーキング (→ 277) - ピーキング感度 (→ 277) - 1点AF枠の移動速度 (→ 278) - フォーカスリングロック (→ 294) - AE LOCK (→ 173) - AF LOCK (→ 173) - AF/AE LOCK (→ 173) - AF-ON (→ 87) - AFポイントスコープ (→ 88) - フォーカスエリア選択 (→ 253) <p>フラッシュ</p> <ul style="list-style-type: none"> - フラッシュモード (→ 198) - フラッシュ光量調整 (→ 201) - ワイヤレスフラッシュ設定 (→ 203) <p>その他(静止画)</p> <ul style="list-style-type: none"> - ドライブモード (→ 116) - ワンショット6K/4Kフォト (→ 253) - ブラケット (→ 141) - サイレントモード (→ 152) - 手ブレ補正 (→ 155) - シャッター方式 (→ 153) - EXテレコン(写真) (→ 114) - フリッカー軽減(写真) (→ 281) - フォーカスセレクト (→ 146)
--	--

[2]タブ

<p> 記録</p> <ul style="list-style-type: none"> - 動画記録ファイル方式 (→ 209) - 動画画質設定 (→ 210) <p> 音</p> <ul style="list-style-type: none"> - 録音レベル表示 (→ 218) - 録音レベル設定 (→ 218) - マイク指向性調整 (→ 229) <p> その他(動画)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 手ブレ補正 (→ 157) - 電子補正(動画) (→ 157) - 手ブレ補正ブースト(動画) (→ 157) [Fn5]* <p> 操作</p> <ul style="list-style-type: none"> - Q.MENU (→ 70) [Q]* - 撮影/再生切替 (→ 253) - 動画撮影 (→ 207) 動画ボタン* - LVF/モニター切替 (→ 66) [LVF]* - ファインダー表示倍率切替 (→ 65) [V.MODE]* - ダイヤル動作切替 (→ 259) 	<p> モニター/表示</p> <ul style="list-style-type: none"> - プレビュー (→ 170) [Fn2]* - 常時プレビュー(Mモード) (→ 301) - 水準器表示 (→ 302) [🗑️]* - ヒストグラム表示 (→ 302) [Fn4]* - 写真グリッドライン表示 (→ 303) - ライブビューブースト (→ 304) - モノクロライブビュー (→ 304) - ナイトモード (→ 305) - LVF/モニター表示スタイル (→ 253) - 写真/動画ライブビュー切替 (→ 306) - ゼブラパターン表示 (→ 307) - HLGビューアシスト(モニター) (→ 308) - HLGビューアシスト(HDMI) (→ 308) - オーバーレイ表示 (→ 308) - 手ブレ状態スコープ (→ 308) <p> レンズ/その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - フォーカスリング制御 (→ 309) - ズーム操作 (→ 114) <p> カード/ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> - 記録先スロット (→ 253)
---	--

[3]タブ

<p> IN/OUT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Wi-Fi (→ 330) [Fn3]* 	<p> その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - 設定なし [Fn6]~[Fn16]* - デフォルトに戻す
--	--

* Fnボタンの初期設定

• Fnボタンを初期設定に戻すには、[デフォルトに戻す]を選んでください。

- 一部の機能の詳細については、以下をお読みください。

ワンショット スポット測光	1回だけ測光モードを[](スポット)にして撮影します。
ワンショット RAW+JPG	1回だけRAW画像とJPEG画像を同時に撮影します。
ワンプッシュAE	絞り値やシャッタースピードを、カメラが決めた適正露出に合う設定にします。
フォーカス エリア選択	AFエリア/MFアシストの移動画面を表示します。
ワンショット 6K/4Kフォト	1回だけ6K/4Kフォトの撮影をします。
撮影/再生切換	再生画面に切り換えます。
LVF/モニター 表示スタイル	表示しているモニターまたはファインダーの表示スタイルを切り換えます。
記録先スロット	優先して記録するカードを変更します。[ダブルスロット機能] (→ 82)を[リレー記録]にすると使用できます。

❖ 設定項目(Fnボタン設定／再生時設定)

[1]タブ

<p> 表示方法</p> <ul style="list-style-type: none"> - AF位置から拡大(→ 323) - HLGビューアシスト(モニター)(→ 308) <p> 画像の加工</p> <ul style="list-style-type: none"> - RAW現像(→ 242) - 6K/4Kフォト一括保存(→ 131) <p> 情報の付与・削除</p> <ul style="list-style-type: none"> - 1枚消去(→ 241) - プロテクト(→ 325) - レーティング★1(→ 325) - レーティング★2(→ 325) - レーティング★3(→ 325) [AF ON]* - レーティング★4(→ 325) - レーティング★5(→ 325) <p> 画像の編集</p> <ul style="list-style-type: none"> - 画像コピー(→ 327) 	<p> 操作</p> <ul style="list-style-type: none"> - 撮影/再生切替(→ 254) - LVF/モニター切替(→ 66) [LVF]* - 動画撮影(→ 207) 動画ボタン* <p> モニター/表示</p> <ul style="list-style-type: none"> - ナイトモード(→ 305) <p> カード/ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> - スロット切替(→ 233) []* <p> IN/OUT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Wi-Fi(→ 330) - スマートフォンに画像を送る(→ 358) [Q]* - HLGビューアシスト(HDMI)(→ 308)
---	---

[2]タブ

<p> その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - 6K/4Kフォト再生(→ 254) 	<ul style="list-style-type: none"> - 設定なし [Fn1]～[Fn2]* - デフォルトに戻す
--	---

* Fnボタンの初期設定

- Fnボタンを初期設定に戻すには、[デフォルトに戻す]を選んでください。
- 一部の機能の詳細については、以下をお読みください。

撮影/再生切替	撮影画面に切り換えます。
6K/4Kフォト再生	6K/4K連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。

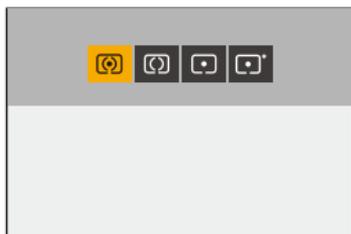
Fnボタンを使う

Fnボタンを押すと、撮影時は[撮影時設定]で登録した機能を、再生時は[再生時設定]で登録した機能を使うことができます。

1 Fnボタンを押す

2 設定項目を選ぶ

- ◀▶で設定項目を選び、 または  を押します。
- 設定項目の表示、選び方はメニュー項目によって異なります。



❖ [Fn3]～[Fn7]ボタンを使う(タッチアイコン)

撮影時は、タッチタブ内のFnボタンを使うことができます。

- 初期設定ではタッチタブが表示されません。[タッチ設定]で[タッチタブ]を[ON]に設定してください。(→ 297)

- 1  をタッチする
- 2 [Fn3]～[Fn7]のいずれかをタッチする



Fnレバー

Fn(ファンクション)レバーに登録した機能を、Fnレバーを切り換えることで即座に設定できます。

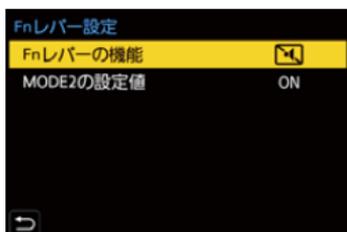
初期設定では[サイレントモード]が登録されています。

Fnレバーへの機能の登録

Fnレバーを[MODE2]に切り換えたときに働く機能と設定値を登録します。

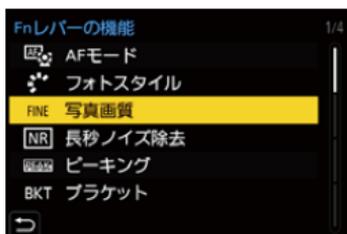
1 [Fnレバーの機能]を設定する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒
[Fnレバー設定] ⇒
[Fnレバーの機能]



2 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、 または  を押します。



3 ▲▼で[MODE2の設定値]を選び、 または を押す



4 設定値を選ぶ

- ▲▼で設定値を選び、 または  を押します。



❖ 設定項目(Fnレバーの機能)

- AFモード(→ 91)	- フォーカスリングロック(→ 294)
- フォトスタイル(→ 180)	- タッチパネル(→ 64)
- 写真画質(→ 81)	- タッチパッドAF(→ 107)
- 長秒ノイズ除去(→ 274)	- オートレビュー(写真)(→ 301)
- ピーキング(→ 277)	- ライブビューブースト(→ 304)
- ブラケット(→ 141)	- ナイトモード(→ 305)
- サイレントモード*(→ 152)	- オーバーレイ表示(→ 308)
- 手ブレ補正(→ 155)	- 前/後/コントロールダイヤルロック(→ 257)
- シャッター方式(→ 153)	- 設定なし
- セルフタイマー(→ 139)	- デフォルトに戻す
- 6K/4Kフォト(プリ記録)(→ 123)	

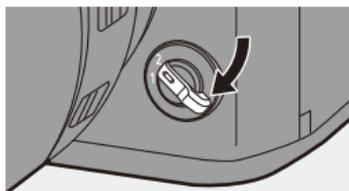
* Fnレバーの初期設定

- Fnレバーを初期設定に戻すには、[デフォルトに戻す]を選んでください。
- [前/後/コントロールダイヤルロック]は、Fnレバーにだけ設定できる機能です。
 /  /  の操作を無効にします。

Fnレバーを使う

レバーを[MODE2]の位置に合わせると、Fnレバーに登録した機能が有効になります。

Fnレバーを切り換える



- 撮影モードやカメラの設定によっては、登録した機能が動作しない場合があります。

ダイヤル動作切換

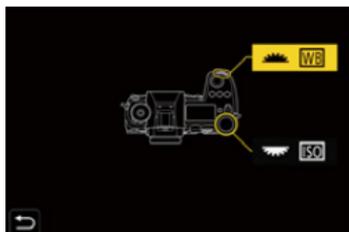
☀️ (前ダイヤル)と 🌙 (後ダイヤル)で動作する機能を一時的に変更します。

ダイヤルへの機能の登録

☀️と 🌙 それぞれに機能を登録します。

1 [ダイヤル動作切換設定]を選ぶ

- **MENU/SET** → [設定] → [☀️] →
[ダイヤル設定] →
[ダイヤル動作切換設定] →
[☀️]/[🌙]



2 機能を登録する

- ▲▼で機能を選び、**MENU/SET** または
🔄 を押します。



❖ 登録できる機能

- フォトスタイル(→ 180)	- iダイナミックレンジ(→ 275)
- フィルター効果(→ 184)	- フラッシュモード(→ 198)
- 画像横縦比(→ 79)	- フラッシュ光量調整(→ 201)
- AFモード(→ 91)	- ISO感度*1(→ 174)
- 6K/4Kフォト(→ 120)	- ホワイトバランス*2(→ 176)

*1 🌙 の初期設定

*2 ☀️ の初期設定

ダイヤルの動作を一時的に変更する

Fnボタンを使って、ダイヤルの動作を一時的に変更します。

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する(→ 248)

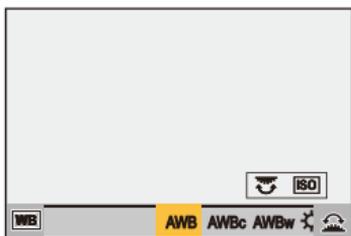
2 ダイヤルの動作を切り換える

- 手順1で設定したFnボタンを押します。
-  と  に登録した機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしないと、数秒後にガイドの表示が消えます。



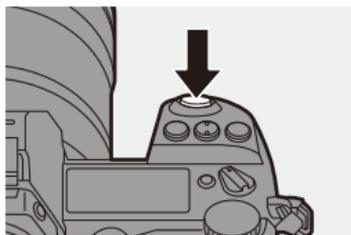
3 登録した機能を設定する

- ガイドが表示されている間に、 または  を回します。



4 決定する

- シャッターボタンを半押しします。



クイックメニューのカスタマイズ

撮影モードによってクイックメニューの項目を変えることができます。また、クイックメニューに表示する項目や順番を、お好みに合わせて配置できます。

クイックメニューの操作方法については、70ページをお読みください。

クイックメニューへの登録

クイックメニューに表示させるメニューを変更します。

[M]モード(動画)とそれ以外の撮影モード(静止画)で別々に設定できます。

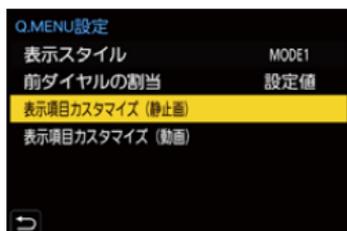
1 [Q.MENU 設定]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒

[Q.MENU 設定] ⇒

[表示項目カスタマイズ(静止画)] /

[表示項目カスタマイズ(動画)]



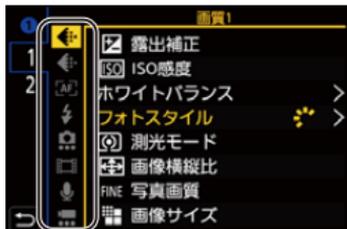
2 項目の位置(①～⑫)を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 または  を押します。
-  を回しても選択できます。
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも選択できます。



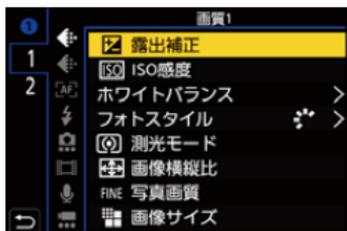
3 登録する機能を探す

- ☀️ を回して、登録する機能が分類されているサブタブ(→ 262)を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ◀️ を押してサブタブの選択状態にしてから ▲▼ を押す、または  を回し、▶️ を押しても選択できます。
- [Q] ボタンを押すと、[1]～[2]のタブが切り換わります。



4 メニュー項目を登録する

- ▲▼ で項目を選び、**MENU/SET** または  を押します。
- ☀️ または  を回しても選択できます。
- [>]の付いた項目は、もう一度項目を選んでください。



❖ 登録できるメニュー項目

[1] タブ

画質

- 露出補正 (→ 171)
- ISO感度 (→ 174)
- ホワイトバランス (→ 176)
- フォトスタイル (→ 180)
- 測光モード (→ 160)
- 画像横縦比 (→ 79)
- 写真画質 (→ 81)
- 画像サイズ (→ 80)
- HLG フォト (→ 193)
- 長秒ノイズ除去 (→ 274)
- 下限シャッター速度 (→ 274)
- iダイナミックレンジ (→ 275)
- フィルター効果 (→ 184)
- 動画露出設定 (→ 219)

フォーカス/リリース

- AFモード (→ 91)
- AFカスタム設定(写真) (→ 89)
- AFカスタム設定(動画) (→ 215)
- ピーキング (→ 277)
- ピーキング感度 (→ 277)
- 1点AF枠の移動速度 (→ 278)

フラッシュ

- フラッシュモード (→ 198)
- フラッシュ光量調整 (→ 201)
- ワイヤレスフラッシュ設定 (→ 203)

その他(静止画)

- ドライブモード (→ 116)
- ブラケット (→ 141)
- サイレントモード (→ 152)
- 手ブレ補正 (→ 155)
- シャッター方式 (→ 153)
- EXテレコン(写真) (→ 114)
- フリッカー軽減(写真) (→ 281)
- フォーカスセレクト (→ 146)

記録

- 動画記録ファイル方式 (→ 209)
- 動画画質設定 (→ 210)

音

- 録音レベル表示 (→ 218)
- 録音レベル設定 (→ 218)
- マイク指向性調整 (→ 229)

その他(動画)

- 手ブレ補正 (→ 157)
- 電子補正(動画) (→ 157)
- 手ブレ補正ブースト(動画) (→ 157)

[2] タブ

<p> モニター/表示</p> <ul style="list-style-type: none"> - 常時プレビュー(Mモード) (→ 301) - 水準器表示 (→ 302) - ヒストグラム表示 (→ 302) - 写真グリッドライン表示 (→ 303) - ライブビューブースト (→ 304) - モノクロライブビュー (→ 304) - ナイトモード (→ 305) - LVF/モニター表示設定 (→ 305) - 写真/動画ライブビュー切替 (→ 306) - ゼブラパターン表示 (→ 307) - HLGビューアシスト(モニター) (→ 308) - HLGビューアシスト(HDMI) (→ 308) - オーバーレイ表示 (→ 308) - 手ブレ状態スコープ (→ 308) 	<p> レンズ/その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - フォーカスリング制御 (→ 309) <p> カード/ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> - スロット切替 (→ 233) <p> IN/OUT</p> <ul style="list-style-type: none"> - Wi-Fi (→ 330) <p> その他</p> <ul style="list-style-type: none"> - 設定なし
---	--

❖ クイックメニューの詳細な設定

クイックメニューの見た目の変更や、メニュー表示中の  の動作の変更ができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] を選ぶ

表示スタイル	クイックメニューの見た目を変更します。 [MODE1]: ライブビューとメニューを同時に表示します。 [MODE2]: メニューを画面全体に表示します。
前ダイヤルの割当	クイックメニューでの  の動作を変更します。 [項目]: メニュー項目の選択をします。 [設定値]: 設定値の選択をします。
表示項目カスタマイズ (静止画)	モードダイヤルを iA / P / A / S / M に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。
表示項目カスタマイズ (動画)	モードダイヤルを  M に合わせたときに表示されるクイックメニューをカスタマイズします。

カスタムモード

C1 C2 C3



お好みに合わせた撮影モードやメニューの設定内容を、カスタムモードに登録できます。登録した設定はモードダイヤルの[C1]～[C3]モードに切り換えることで使用できます。

カスタムモードへの登録

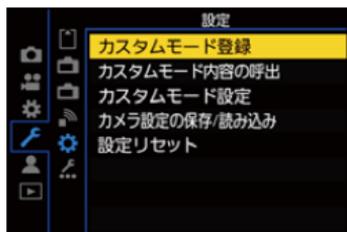
現在のカメラの設定内容を登録できます。

お買い上げ時のすべてのカスタムモードには、[P]モードのメニューの初期設定が登録されています。

1 保存したい状態の撮影モードと、メニュー設定にする

2 [カスタムモード登録]を選ぶ

- → [] → [] →
[カスタムモード登録]



3 登録する

- 登録先の番号を選び、 または を押します。
- [DISP.]ボタンを押すと、カスタムモードの名前を変更できます。
文字の入力方法については、[329](#)ページをお読みください。



● [iA]モードをカスタムモードに登録することはできません。

● カスタムモードに登録できる設定の一覧(→ [438](#))

❖ カスタムモードの詳細な設定

カスタムモードの使いやすさの設定をします。

カスタムモードのセット数を増やしたり、一時的に変更した設定内容をどのタイミングまで維持させるかを設定したりできます。

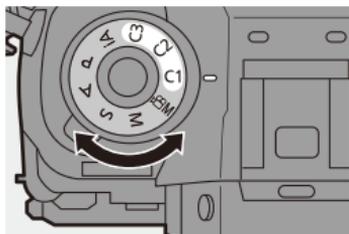
 ⇒  ⇒  ⇒ [カスタムモード設定]を選ぶ

カスタムモード 表示の制限	[C3]に登録できるカスタムモードの数を設定します。 最大10セットを登録できますが、初期設定では3セットです。
名称変更	選択したカスタムモードの名前を変更します。 入力できる文字数は最大22文字です。全角文字は2文字の扱いになります。 • 文字の入力方法については、 329ページ をお読みください。
登録内容の呼出 タイミング	カスタムモード使用中に一時的に変更した設定内容を、登録時の状態に復帰させるタイミングを設定します。 [撮影モードの変更時] / [スリープモード解除時] / [電源ON時]
カスタムモード の呼出範囲	[カスタムモード内容の呼出]で呼び出す設定内容の範囲を設定します。 [絞り値/SS/ISO感度]: 絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定内容を呼び出すことができます。 [ホワイトバランス]: ホワイトバランスの設定内容を呼び出すことができます。

カスタムモードを使う

モードダイヤルを[C1]～[C3]のいずれかに合わせる

- [C3]の場合は、最後に使ったカスタムモードが呼び出されます。



❖ [C3]のカスタムモードの選択

- 1 モードダイヤルを[C3]に合わせる
- 2  を押す
 - カスタムモードの選択メニューが表示されます。
- 3 ▲▼でカスタムモードを選び、 または  を押す
 - 選択中のカスタムモードアイコンが撮影画面に表示されます。



❖ 登録内容の変更

モードダイヤルを[C1]～[C3]に合わせた状態で一時的にカメラの設定内容を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニュー(設定)の[カスタムモード登録]で登録内容を上書きしてください。

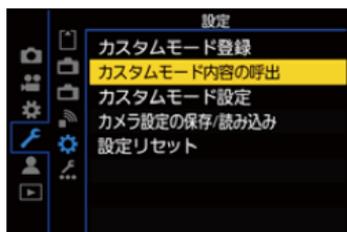
設定内容の呼び出し

登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。

1 使用するモードダイヤルに合わせる

2 [カスタムモード内容の呼出]を選ぶ

-  → [] → [] →
[カスタムモード内容の呼出]



3 呼び出すカスタムモードを選ぶ

- カスタムモードを選び、 または  を押します。



- [P] / [A] / [S] / [M] モードから作成したカスタムモードと、[P/M] モードから作成したカスタムモードの間では、カスタムモードの呼び出しができません。

マイメニュー

よく使うメニューをマイメニューとして登録します。最大で23項目登録できます。

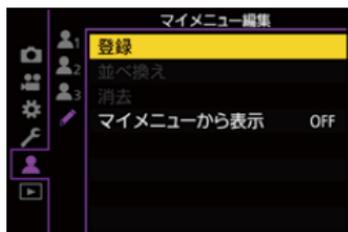
登録したメニューは[人₁]~[人₃]から呼び出すことができます。

マイメニューへの登録

メニューを選んでマイメニューに登録します。

1 [登録]を選ぶ

- MENU SET → [人] → [鉛筆] → [登録]



2 登録する

- 登録するメニューを選び、MENU SET または  を押します。



❖ マイメニューの呼び出し

登録したマイメニューを呼び出します。

MENU SET → [人] → [人₁] / [人₂] / [人₃] → 登録したメニュー

マイメニューの編集

マイメニューの表示順を並べ換えたり、不要なメニューを消去したりできます。

 ⇒ [] ⇒ [] を選ぶ

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	マイメニューに登録したメニューを消去します。 [項目消去] : メニューを選び、消去します。 [全消去] : マイメニューに登録したメニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニューを表示するとき、最初にマイメニューを表示します。 [ON] : マイメニューを表示します。 [OFF] : 最後に使ったメニューを表示します。

カメラ設定の保存/読み込み

カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [カメラ設定の保存/読み込み]を選ぶ

設定: [スロット1(XQD)]/[スロット2(SD)]

保存	カメラの設定情報をカードに保存します。 <ul style="list-style-type: none">• 新規で保存する場合は[新規保存]を、既存のファイルに上書きする場合は既存のファイルを選んでください。• [新規保存]を選択した場合は、保存するファイル名が画面に表示されます。	
	OK	画面に表示されたファイル名で保存します。
	ファイル名変更	ファイル名を変更して保存します。 <ul style="list-style-type: none">• 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、8文字まで• 文字の入力方法については、329ページをお読みください。
読み込み	カード内の設定情報をカメラに読み込みます。	
消去	カード内の設定情報を消去します。	



- 設定情報を読み込むことができるのは、同じ機種だけです。
- 1枚のカードに保存できる設定情報は10件までです。



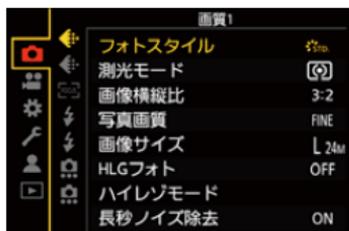
- 設定情報の保存が可能な機能の一覧(→ [438](#))

14. メニューガイド

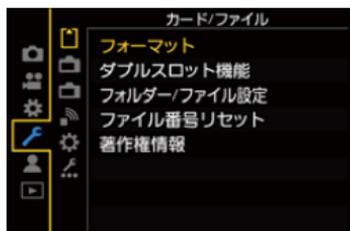
本章では、メニューの一覧と初期設定を紹介します。他の章に詳細な説明があるメニューについては、ページ番号を記載しています。

- メニューの操作方法については、[71](#)ページをお読みください。
- 文字入力の操作方法については、[329](#)ページをお読みください。

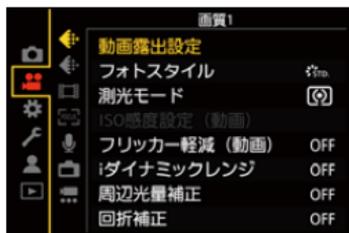
📷 写真メニュー(→ [272](#))



🔧 セットアップメニュー(→ [310](#))



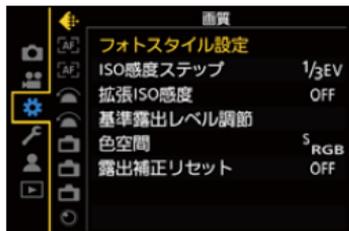
🎥 動画メニュー(→ [284](#))



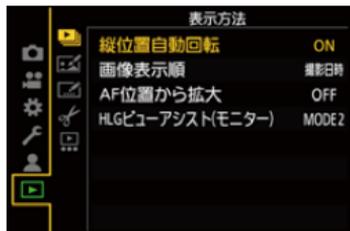
👤 マイメニュー(→ [268](#))



⚙️ カスタムメニュー(→ [290](#))



▶️ 再生メニュー(→ [321](#))



写真メニュー

 画質 →273	マニュアル発光量設定 →197
フォトスタイル  →180	露出補正連動 →202
測光モード  →160	デジタル赤目補正 →202
画像横縦比 →79	ワイヤレスモード →204
写真画質 →81	ワイヤレスチャンネル →204
画像サイズ →80	ワイヤレスFP →206
HLG フォト →193	ワイヤレス通信光量 →206
ハイレゾモード →190	ワイヤレス設定 →205
長秒ノイズ除去 →274	 その他(静止画) →279
ISO感度設定(写真) →274	ブラケット →141
下限シャッター速度 →274	サイレントモード →152
iダイナミックレンジ  →275	手ブレ補正  →157
周辺光量補正  →275	連写1設定 →117
回折補正  →276	連写2設定 →117
フィルター設定  →184	シャッター方式 →153
 フォーカス →276	シャッターディレイ →280
AFカスタム設定(写真) →89	EXテレコン(写真) →114
AF補助光 →276	インターバル/コマ撮り撮影 →132
ピーキング  →277	セルフトイマー →139
1点AF枠の移動速度  →278	フリッカー軽減(写真) →281
 フラッシュ →278	6K/4K フォト →120
フラッシュモード →198	フォーカスセレクト →146
発光モード →197	多重露出 →282
フラッシュ光量調整 →201	
フラッシュシンクロ →200	

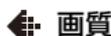
: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

▶:初期設定

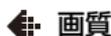
画質



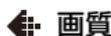
 フォトスタイル	▶スタンダード／ヴィヴィッド／ナチュラル／フラット／風景／人物／モノクローム／L.モノクローム／L.モノクロームD／シネライク D／シネライク V／709ライク／スタンダード(HLG)／モノクローム(HLG)／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10 被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。	→180
 測光モード	▶  /  /  /  明るさを測る方式を切り換えることができます。	→160
画像横縦比	4:3 / ▶3:2 / 16:9 / 1:1 / 65:24 / 2:1 画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。	→79
写真画質	▶FINE / STD. / RAW+FINE / RAW+STD. / RAW 写真を保存するときの圧縮率を設定します。	→81
画像サイズ	▶L / M / S 写真の画像サイズを設定します。	→80
HLG フォト	Full-Res. / 4K-Res. / ▶OFF HLG方式のダイナミックレンジの広い写真を撮影します。	→193
ハイレゾモード	開始 通常撮影同時記録 ▶ON / OFF シャッターディレイ 30秒～1/8秒(▶2秒) / OFF 被写体ブレの処理 ▶MODE1 / MODE2 複数回撮影した画像から、解像度を高めた写真を合成します。	→190



長秒ノイズ除去	▶ON / OFF		—
	<p>iA P A S M </p> <p>遅いシャッタースピードで撮影したときに発生するノイズを、カメラが自動で取り除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノイズ除去中は、次の撮影ができません。 以下の機能を使用中は、[長秒ノイズ除去]は動きません。 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] 電子シャッター([電子シャッター+NR]使用時を除く)、[サイレントモード]、[ハイレゾモード] このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 248) 		
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	▶100 ~ 25600	—
	ISOオート上限設定	▶AUTO / 200 ~ 51200	
下限シャッター速度	▶AUTO / 1/8000 ~ 1/1		—
	<p>iA P A S M </p> <p>ISO感度[AUTO]時のシャッタースピードの下限を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。 このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 248) 		



<p>iダイナミックレンジ</p>	<p>AUTO / 強 / 中 / 弱 / ▶OFF</p> <p>iA P A S M </p> <p>背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 以下の機能を使用中は、[iダイナミックレンジ]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - [フォトスタイル]の[709ライク]、[スタンダード(HLG)]、[モノクローム(HLG)]、[2100ライク(HLG)] - [フィルター設定] このメニューはFnボタンに登録できます。 (→ 248) 	—
<p>周辺光量補正</p>	<p>▶ON / OFF</p> <p>iA P A S M </p> <p>レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。 以下の機能を使用中は、[周辺光量補正]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - [EXテレコン(写真)] - [ハイスピード動画] - [動画撮影範囲]の[APS-C]、[PIXEL/PIXEL] 	—



 回折補正	AUTO / ▶OFF iA P A S M		—
	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。 ・撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。 ・高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。		
 フィルター設定	フィルター効果	ON / ▶OFF / 設定	→184
	フィルターなし同時記録	ON / ▶OFF	
	画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。		

フォーカス



AFカスタム設定 (写真)	▶設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4		→89
	[AFC]で写真を撮影するときのAF動作の特性を、被写体や撮影状況に合わせて選択できます。		
AF補助光	▶ON / OFF iA P A S M		—
	暗い場所で撮影するときシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。 ・補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 - 交換レンズ(S-R24105)使用、W端時： 約1.0 m～約3.0 m ・レンズフードは外してください。 ・交換レンズ(S-R24105)使用時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。		

FOCUS フォーカス



AF補助光 (続き)	<ul style="list-style-type: none"> • 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、ピントが合いにくい場合があります。 • [サイレントモード]使用中は、[AF補助光]は[OFF]に固定されます。 	—						
ピーキング	<p>▶ON / OFF</p> <table border="1" data-bbox="319 428 862 551"> <tr> <td data-bbox="319 428 562 466">設定</td> <td data-bbox="562 428 862 466">ピーキング感度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 466 562 505"></td> <td data-bbox="562 466 862 505">表示色</td> </tr> <tr> <td data-bbox="319 505 562 551"></td> <td data-bbox="562 505 862 551">AFS時の表示</td> </tr> </table> <p>iA P A S M </p> <p>MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ピーキング感度]をマイナス方向に設定すると、色を付けて表示される範囲が狭くなるため、より厳密なピント合わせができます。 • [表示色]でピントが合っている部分に表示する色を設定できます。 • [AFS時の表示]を[ON]に設定すると、フォーカスモードの[AFS]でシャッターボタンを半押ししたときに、ピーキング表示ができます。 • タッチタブを表示すると(→ 297)、[<]の[MENU]をタッチして[ON] / [OFF]を切り換えることができます。 • [フィルター設定]の[ラフモノクローム]を使用中は、[ピーキング]は使用できません。 • [ライブビューブースト]使用中は、[ピーキング]は働きません。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 	設定	ピーキング感度		表示色		AFS時の表示	—
設定	ピーキング感度							
	表示色							
	AFS時の表示							

FOCUS フォーカス



 1点AF枠の移動速度	▶高速／標準	—
	iA P A S M 1点のAFエリアを移動させるときの速度を設定します。 AFモードを[], [], []に設定しているときに働きます。 ・このメニューはFnボタンに登録できます。 (→248)	

FLASH フラッシュ



フラッシュモード	/ / / / フラッシュの発光方法を設定します。	→198
発光モード	▶TTL／マニュアル フラッシュの発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。	→197
フラッシュ光量調整	-3 EV～+3 EV (▶±0 EV) [発光モード]を[TTL]に設定したときに、フラッシュの発光量を調整できます。	→201
フラッシュシンクロ	▶先幕／後幕 フラッシュの発光方法を後幕シンクロに設定できます。	→200
マニュアル発光量設定	▶1/1～1/128 [発光モード]を[マニュアル]に設定したときに、フラッシュの発光量を設定します。	→197
露出補正連動	ON / ▶OFF 露出補正の値に連動してフラッシュの発光量を自動で調整します。	→202

 フラッシュ


デジタル赤目補正	ON / ▶OFF		→202
	[フラッシュモード]を[]または[]に設定しているときに、赤目を自動で検出して画像データを補正します。		
ワイヤレスモード	ON / ▶OFF		→204
	ワイヤレスフラッシュ撮影を可能にします。		
ワイヤレスチャンネル	▶1CH / 2CH / 3CH / 4CH		→204
	ワイヤレスフラッシュ撮影に使用するチャンネルを設定します。		
ワイヤレスFP	ON / ▶OFF		→206
	ワイヤレスフラッシュ撮影時に、外部フラッシュがFP発光します。		
ワイヤレス通信光量	▶強 / 中 / 弱		→206
	通信発光の強さを設定します。		
ワイヤレス設定	外部フラッシュ	発光モード / フラッシュ光量調整 / マニュアル発光量設定	→205
	Aグループ / Bグループ / Cグループ	発光モード / フラッシュ光量調整 / マニュアル発光量設定	
	ワイヤレスフラッシュ撮影時の詳細設定をします。		

 その他(静止画)


ブラケット	ブラケット種類	 /  / FOCUS / WB  / WB  / ▶OFF	→141
	詳細設定 設定値を自動で変えて複数枚の画像を撮影できます。		
サイレントモード	ON / ▶OFF		→152
	カメラの操作音と発光を、一括で禁止します。		

📷 その他(静止画)



📷 手ブレ補正	動作設定	▶ ((👉)) / ((👉)AUTO) / ((👉)) / ((👉)) / OFF	→155
	ボディ/レンズ選択	BODY ((👉)) / ▶ LENS ((👉))	
	動作開始設定	常時 / ▶半押し	
	電子補正(動画)	ON / ▶OFF	
	手ブレ補正ブースト(動画)	ON / ▶OFF	
	焦点距離設定	0.1 mm ~ 1000.0 mm (▶35.0 mm)	
	手ブレ補正の設定をします。		
連写1設定	[[GK]] / ▶H / M / L	→117	
	ドライブモード[[I]]の連写動作を設定します。		→120
連写2設定	▶[[GK]] / H / M / L	→117	
	ドライブモード[[II]]の連写動作を設定します。		→120
シャッター方式	自動切換 / ▶メカシャッター / 電子先幕 / 電子シャッター / 電子シャッター+NR	→153	
	写真撮影時のシャッター方式を選びます。		
シャッターディレイ	8秒 / 4秒 / 2秒 / 1秒 / ▶OFF	—	
	<p>iA P A S M </p> <p>手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、[シャッターディレイ]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - [ハイレゾモード] 		
EXテレコン(写真)	ZOOM / TELE CONV. / ▶OFF	→114	
	画質を劣化させることなく、光学ズームよりさらに拡大して撮ることができます。		

 その他(静止画)


インターバル/コマ 撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影 コマ撮りアニメ	→132 →135
	インターバル撮影は、一定の撮影間隔で自動的に撮影を開始/終了します。コマ撮りアニメは、被写体を少しずつ動かしながら撮影します。		
セルフタイマー			→139
フリッカー軽減 (写真)	ON / ▶OFF		—
	 <p>蛍光灯などのちらつき(フリッカー)を検知して、ちらつきによる影響が少ないタイミングで撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影条件によっては、軽減効果が得られない場合があります。 フリッカー軽減が働いたときは、撮影画面の[FLICKER]アイコンが黄色になります。 以下の機能を使用中は、[フリッカー軽減(写真)]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] 以下の機能を使用中は、[フリッカー軽減(写真)]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> 電子シャッター、[サイレントモード] このメニューはFnボタンに登録できます。 (→248) 		
6K/4Kフォト	画像サイズ/連写速度	▶6K 18M / 4K H 8M / 4K 8M	→120
	撮影方法	▶6K/4K連写 / 6K/4K連写(S/S) / 6K/4Kプリ連写	
	プリ記録	ON / ▶OFF	
	6K/4Kフォトの設定をします。高速連写した連写ファイルから、写真を選び出し保存できます。		

 その他(静止画)


フォーカスセレクト	6K 18M / 4K 8M / ▶OFF 自動でピント位置を変化させながら、6K/4Kフォトと同じ画質の連写をします。撮影後にピント位置を選んで写真を保存できます。	→146
多重露出	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>開始</p> <p>自動ゲイン補正 ▶ON / OFF</p> <p>再生画像と多重 ON / ▶OFF</p> </div> <p>iA P A S M </p> <p>1枚の画像に最大4回の露光をした効果を得ることができます。</p> <p>開始: 多重露出の露出を開始します。</p> <p>自動ゲイン補正: 撮影枚数に応じて自動で明るさを調整します。</p> <p>再生画像と多重: 撮影済みのRAW画像に多重露出できます。[開始]を選択後に、重ねる画像の選択画面が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [開始]を選択後、シャッターボタンを全押しすると、多重露出を開始します。 • 撮影するごとにプレビューが表示され、以下の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> - [次の撮影](シャッターボタンを半押ししても同じ操作ができます) - [撮り直し] - [完了]: 写真を記録し、多重露出の撮影を終了します。 • 写真を記録すると、多重露出の撮影は自動で終了します。 • 記録前に多重露出の撮影を終了するには、撮影画面で[Q]ボタンを押してください。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>	—

 その他(静止画)

**多重露出
(続き)**

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- [再生画像と多重]を設定できるのは、本機で撮影したRAW画像だけです。
- 以下の機能を使用して撮影したRAW画像には、[再生画像と多重]は設定できません。
 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1]
 - [HLGフォト]
- 以下の機能を使用中は、[多重露出]は使用できません。
 - インターバル撮影
 - コマ撮りアニメ
 - [ハイレゾモード]
 - [フィルター設定]
- APS-C用レンズ使用時は、[多重露出]は使用できません。

—

動画メニュー

 画質	→285	 音	→288
動画露出設定	→219	録音レベル表示	→218
フォトスタイル 	→180	録音レベル設定	→218
測光モード 	→160	録音レベルリミッター	→218
ISO感度設定(動画)	→285	風音キャンセラー	→288
フリッカー軽減(動画)	→285	風音低減	→229
iダイナミックレンジ 	→275	マイク端子	→228
周辺光量補正 	→275	専用マイク設定	→229
回折補正 	→276	XLRマイクアダプター 設定	→230
フィルター設定 	→184	音声モニタリング	→231
P/A/S/M動画の露出 自動制御	→286	 モニター/表示	→289
クリエイティブ動画の 設定値	→221	撮影時HDMI出力	→227
 記録	→287	 その他(動画)	→289
動画画質	→210	手ブレ補正 	→157
ハイスピード動画	→222	動画撮影範囲	→213
記録ファイル方式	→209		
輝度レベル設定	→216		
 フォーカス	→287		
AFカスタム設定(動画)	→215		
AF連続動作	→214		
ピーキング 	→277		
1点AF枠の移動速度 	→278		

: 写真メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。
設定は連動しています。

▶:初期設定

◀ 画質



動画露出設定	▶P/A/S/M [P/M]モードで使用する露出モードを設定します。	→219
フォトスタイル	▶スタンダード/ヴィヴィッド/ナチュラル/ フラット/風景/人物/モノクローム/ L.モノクローム/L.モノクロームD/ シネライクD/シネライクV/709ライク/ スタンダード(HLG)/モノクローム(HLG)/ 2100ライク(HLG)/ MY PHOTO STYLE 1~MY PHOTO STYLE 10 被写体や表現方法に合わせて、画像の仕上がり設定を選択できます。	→180
測光モード	▶[M]/[A]/[S]/[P] 明るさを測る方式を切り換えることができます。	→160
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定 ▶100~25600 ISOオート上限設定 ▶AUTO/200~51200 iA P A S M	—
フリッカー軽減(動画)	1/50/1/60/1/100/1/120/▶OFF iA P A S M 動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。 • [P/A/S/M動画の露出自動制御]が[OFF]のときは、[フリッカー軽減(動画)]は使用できません。	—
iダイナミックレンジ	AUTO/強/中/弱/▶OFF 背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。	→275



 周辺光量補正	▶ON / OFF		→275
	レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。		
 回折補正	AUTO / ▶OFF		→276
	絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。		
 フィルター設定	フィルター効果	ON / ▶OFF / 設定	→184
	フィルターなし同時記録	ON / ▶OFF	
	画像に効果(フィルター)を加えて撮影できます。		
P/A/S/M 動画の露出自動制御	▶ON / OFF		—
	iA P A S M 動画撮影中の絞り値、シャッタースピード、ISO感度の設定方法を選びます。(→208) ON : カメラが自動で設定した値で撮影します。 OFF : 手で設定した値で撮影します。		
クリエイティブ動画の設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正	▶ /	→221
	ホワイトバランス	▶ /	
	フォトスタイル	▶ /	
	測光モード	▶ /	
	AFモード	▶ /	
	[PASM]モードで設定した内容を、写真撮影時と分けることができます。		

 記録


動画画質	動画撮影の画質を設定します。	→210
ハイスピード動画	180/30p FHD / 150/30p FHD / 60/30p 4K / 48/23.98p 4K / ▶OFF	→222
	超高速撮影を行うことにより、MP4形式のスローモーション動画を撮影できます。	
記録ファイル方式	AVCHD / ▶MP4 / MP4 HEVC	→209
	動画撮影の記録ファイル方式を設定します。	
輝度レベル設定	0-255 / ▶16-255	→216
	動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。	

 フォーカス


AFカスタム設定 (動画)	ON / ▶OFF	→215	
	設定		AF駆動速度 / AF追従感度
	[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。		
AF連続動作	▶ON / OFF	→214	
	動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。		
 ピーキング	▶ON / OFF	→277	
	設定		ピーキング感度
			表示色
			AFS時の表示
MF動作中に、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。			
 1点AF枠の移動速度	▶高速 / 標準	→278	
	1点のAFエリアを移動させるときの速度を設定します。		



録音レベル表示	ON / ▶OFF	→218
	録音レベルを撮影画面に表示します。	
録音レベル設定	-12dB ~ +6dB (▶0dB)	→218
	録音レベルを手動で調整します。	
録音レベルリミッター	▶ON / OFF	→218
	録音レベルを自動で調整し、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。	
風音キャンセラー	強 / ▶標準 / OFF	—
	<p>iA P A S M </p> <p>音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [強]は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。 • [標準]は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。 • 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。 • 内蔵マイクにだけ働きます。外部マイク接続時は[風音低減]が表示されます。(→ 229) 	
風音低減	強 / 中 / 弱 / ▶OFF	→229
	外部マイク接続時の風雑音を低減します。	
マイク端子	▶MIC / MIC / LINE	→228
	接続する機器に合わせて、[MIC]端子の入力方法を設定します。	
専用マイク設定	▶ステレオ / レンズ連動 / ガン / スーパーガン / マニュアル	→229
	ステレオガンマイクロホン(別売)接続時の收音範囲を設定します。	



音



XLRマイクアダプター 設定	▶ON / OFF	→230
	XLRマイクロホンアダプター(別売)から音声を記録できるようにします。	
音声モニタリング	▶リアルタイム / 記録音	→231
	ヘッドホンを接続したときの音声出力方法を設定します。	

モニター/表示



撮影時HDMI出力	情報表示	▶ON / OFF	→227
	HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する/しないを選びます。		

その他(動画)



 手ブレ補正	動作設定	▶ / AUTO / / / OFF	→155
	ボディ/レンズ選択	BODY / ▶ LENS	
	動作開始設定	常時 / ▶半押し	
	電子補正(動画)	ON / ▶OFF	
	手ブレ補正ブースト(動画)	ON / ▶OFF	
	焦点距離設定	0.1 mm ~ 1000.0 mm (▶35.0 mm)	
	手ブレ補正の設定をします。		
動画撮影範囲	▶FULL / APS-C / PIXEL/PIXEL	→213	
	動画撮影時の撮影範囲を設定します。		

🔧 カスタムメニュー

 画質	→291	露出補正画面の操作	→298
フォースタイル設定	→291	ダイヤル設定	→299
ISO感度ステップ	→291	ジョイスティック設定	→300
拡張ISO感度	→291	ボタンイルミネーション	→300
基準露出レベル調節	→292	リモコンの動画ボタン	→399
色空間	→292	 モニター/表示	→301
露出補正リセット	→292	オートレビュー	→301
 フォーカス/レリーズ	→293	常時プレビュー(Mモード)	→301
フォーカス/レリーズ優先	→293	水準器表示	→302
縦/横位置フォーカス切換	→108	ヒストグラム表示	→302
AF/AEロック維持	→293	写真グリッドライン表示	→303
AF+MF	→293	ライブビュー境界線表示	→303
MFアシスト	→294	センターマーカー表示	→303
MFガイド	→294	AFエリア表示	→303
フォーカスリングロック	→294	ライブビューブースト	→304
AFモード表示の制限	→295	モノクロライブビュー	→304
ピンポイントAF設定	→295	ナイトモード	→305
AFポイントスコープ設定	→295	LVF/モニター表示設定	→305
シャッター半押しAF	→296	露出メーター	→305
シャッター半押しレリーズ	→296	焦点距離	→306
クイックAF	→296	写真/動画ライブビュー切換	→306
アイセンサーAF	→296	残枚数/残時間切換	→306
フォーカス枠のループ移動	→296	撮影画面の遷移(モニター)	→306
AFCの開始位置指定(225点AF)	→96	ハイライト表示	→307
 操作	→297	ゼブラパターン表示	→307
Q.MENU設定	→260	HLGビューアシスト	→308
タッチ設定	→297	オーバーレイ表示	→308
ロックレバー設定	→297	手ブレ状態スコープ	→308
Fnボタン設定	→248	 レンズ/その他	→309
Fnレバー設定	→256	レンズ位置メモリー	→309
WB/ISO/露出補正ボタン	→298	フォーカスリング制御	→309
ISO感度画面の操作	→298		

▶:初期設定

◀ 画質



フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	ヴィヴィッド／ナチュラル／フラット／風景／人物／L.モノクローム／L.モノクロームD／シネライクD／シネライクV／709ライク／MY PHOTO STYLE 1～MY PHOTO STYLE 10
	メニューに表示するフォトスタイルの項目を設定します。	
	マイフォトスタイル設定	調整項目の追加 登録された設定の呼出
	マイフォトスタイルの画質調整に関する詳細設定ができます。 調整項目の追加 :画質調整の画面で[ISO感度]と[ホワイトバランス]の調整を可能にします。 登録された設定の呼出 :マイフォトスタイルで変更した画質調整値を、登録時の状態に戻すタイミングを設定します。	
	フォトスタイルのリセット [フォトスタイル]と[フォトスタイル設定]で変更した内容を、初期設定に戻します。	
ISO感度ステップ	▶1/3 EV / 1 EV ISO感度の調整値の刻みを変更します。	
拡張ISO感度	ON / ▶OFF ISO感度を最小[ISO50]、最大[ISO204800]まで設定できるようになります。	



基準露出レベル調節	マルチ測光	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
	中央重点	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
	スポット	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
	ハイライト重点	-1 EV ~ +1 EV (▶±0 EV)
	[測光モード]の設定項目ごとに、適正露出の基準となる露出レベルを調整します。	
<ul style="list-style-type: none"> 露出補正值(→ 171)に本機能の調整値を加えて記録します。動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]の場合は、±3 EVの範囲を超えて調整値を加えることはできません。 		
色空間	▶sRGB / AdobeRGB	
	<p>撮影した画像をパソコンの画面やプリンターで再現する場合に、正しく色再現するための方式を設定します。</p> <p>sRGB: パソコンを中心とした機器で広く使われています。</p> <p>AdobeRGB: AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いいため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。 以下の機能を使用中は、[sRGB]に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - [フォトスタイル]の[709ライク] - [フィルター設定] 	
露出補正リセット	ON / ▶OFF	
	撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正值をリセットします。	

[AF] フォーカス/リリース



フォーカス/リリース 優先	AFS	▶フォーカス/バランス/リリース
	AFC	フォーカス/▶バランス/リリース
	<p>AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。</p> <p>フォーカス:ピントが合っていないときは撮影できません。</p> <p>バランス:ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。</p> <p>リリース:ピントが合っていないなくても撮影できます。</p>	
縦/横位置フォーカス 切換	ON / ▶OFF	<p>カメラを縦位置で構えたときと、横位置で構えたときのAFエリアの位置を別々に記憶します。</p> <p>• 詳しくは、108ページをお読みください。</p>
AF/AEロック維持	ON / ▶OFF	[ON]にすると、ボタンを離れたあと、もう一度押すまでロックを維持します。
AF+MF	ON / ▶OFF	<p>AFロック中にフォーカスリングを回して手動でピントを微調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - フォーカスモードを[AFS]にして、シャッターボタンを半押ししたとき - [AF ON]ボタンを押したとき - Fnボタンの[AF LOCK]または[AF/AE LOCK]でロックしたとき

[AF] フォーカス/リリース



	フォーカスリング	▶ON / OFF
	AFモード/MF	ON / ▶OFF
	ジョイスティックを 押す	ON / ▶OFF
	MFアシスト表示	全画面 / ▶PIP
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。 フォーカスリング : レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。 AFモード/MF : [] ボタンを押すと拡大表示されます。 ジョイスティックを押す : ジョイスティックを押すと拡大表示されます。([ジョイスティック設定] を [ダイレクトフォーカス] に設定したとき) (→ 300) MFアシスト表示 : MFアシスト(拡大画面)の表示方法(画面の一部/画面全体)を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、MFアシストは表示されません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影 - [6K/4Kプリ連写] 	
	MFガイド	▶ [m] / [ft.] / OFF MF時に、撮影距離の目安を示すMFガイドを画面に表示します。表示単位をメートルとフィートから選択できます。
フォーカスリング ロック	ON / ▶OFF MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。 <ul style="list-style-type: none"> フォーカスリングのロック中は、撮影画面に [MFL] が表示されます。 このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 	

[AF] フォーカス/リリース



AFモード表示の制限	自動認識(顔・瞳・人体・動物)	▶ON / OFF
	追尾	▶ON / OFF
	225点	▶ON / OFF
	ゾーン(縦・横)	▶ON / OFF
	ゾーン(四角)	ON / ▶OFF
	ゾーン(楕円)	▶ON / OFF
	1点+補助	▶ON / OFF
	ピンポイント	▶ON / OFF
	カスタム1	ON / ▶OFF
	カスタム2	ON / ▶OFF
	カスタム3	ON / ▶OFF
AFモードの選択画面に表示するAFモードの項目を設定します。		
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	LONG / ▶MID / SHORT
	ピンポイントAF表示	全画面 / ▶PIP
	AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。 ピンポイントAF時間 : シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。 ピンポイントAF表示 : 拡大画面の表示方法(画面の一部/画面全体)を設定します。	
AFポイントスコープ設定	拡大表示維持	ON / ▶OFF
	PIP表示	全画面 / ▶PIP
	AFポイントスコープ(→88)の拡大表示の設定を変更します。 拡大表示維持 : [ON]に設定すると、Fnボタンを押したあと、もう一度押すまで拡大表示を維持します。 PIP表示 : 拡大画面の表示方法(画面の一部/画面全体)を設定します。	

[AF] フォーカス/リリース



シャッター半押しAF	<p>▶ON / OFF</p> <p>シャッターボタン半押し時に、自動でピントを合わせます。</p>
シャッター半押し リリース	<p>ON / ▶OFF</p> <p>シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。</p>
クイックAF	<p>ON / ▶OFF</p> <p>カメラのブレが小さくなると、カメラが自動でピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリーの消費が早くなる場合があります。 • 以下の場合、[クイックAF]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - プレビューモード時 - 低照度時
アイセンサーAF	<p>ON / ▶OFF</p> <p>ファインダーをのぞいてアイセンサーが動作したとき、AFが働きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。
フォーカス枠の ループ移動	<p>ON / ▶OFF</p> <p>AFエリアやMFアシスト移動時に、画面の端から逆の端にループできるようにします。</p>
AFCの開始位置指定 (225点AF)	<p>ON / ▶OFF</p> <p>[]でフォーカスモードを[AFC]にしているとき、どのエリアで[AFC]を開始するかを指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、96ページをお読みください。

 操作


Q.MENU設定	表示スタイル	▶MODE1 / MODE2
	前ダイヤルの割当	項目 / ▶設定値
	表示項目カスタマイズ(静止画)	
	表示項目カスタマイズ(動画)	
	クイックメニューのカスタマイズができます。 ・詳しくは、 260 ページをお読みください。	
タッチ設定	タッチパネル	▶ON / OFF
	タッチタブ	ON / ▶OFF
	タッチAF	▶AF / AF+AE / OFF
	タッチパッドAF	絶対位置 / 相対位置 / ▶OFF
	タッチ操作を有効にします。 タッチパネル :すべてのタッチ操作。 タッチタブ :画面右に表示される[]などのタブ操作。 タッチAF :タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。 (→ 105) タッチパッドAF :ファインダー表示中のタッチパッド操作。 (→ 107)	
ロックレバー設定	カーソル	▶  / 
	ジョイスティック	▶  / 
	タッチパネル	▶  / 
	ダイヤル	▶  / 
	DISP.ボタン	▶  / 
	操作ロックレバーで操作を無効にする操作部を設定します。 (撮影画面のみ) カーソル :カーソルボタン、[MENU/SET]ボタン、および  ジョイスティック :ジョイスティック タッチパネル :タッチパネル ダイヤル :  ,  および  DISP.ボタン : [DISP.]ボタン	

 操作



Fn ボタン設定	撮影時設定
	再生時設定
	Fn ボタンに機能を登録できます。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、249 ページをお読みください。
Fn レバー設定	Fn レバーの機能
	MODE2 の設定値
	Fn レバーに機能を登録できます。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、256 ページをお読みください。
WB/ISO/露出補正 ボタン	押している間 / 押した後1 / ▶押した後2
	<p>[WB] (ホワイトバランス) ボタン、[ISO] (ISO 感度) ボタン、および [] (露出補正) ボタンを押したときの動作を設定します。</p> <p>押している間: ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。</p> <p>押した後1: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。</p> <p>押した後2: ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。ボタンを押すごとに設定値が切り換わります。(露出補正を除く) 決定して撮影画面に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。</p>
ISO 感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当
	<p>▶ ISO / ISO /  / ISO / OFF /  / ISO /  / ISO / OFF</p> <p>[] を割り当てると、ISO 感度の設定画面で [ISO オート上限設定] を変更できます。</p>
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当
	<p> / ▶ OFF</p> <p>[] を割り当てると、露出補正画面で露出ブラケットの設定ができます。</p>
	<p>前/後ダイヤルの割当</p>

 操作


ダイヤル設定

F/SSダイヤルの割当 ▶ 設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5

[P] / [A] / [S] / [M]モード時のダイヤルに割り当ててる操作を設定します。

P↗: プログラムシフト、F: 絞り値、SS: シャッタースピード

		P	A	S	M
設定1		P↗	F	SS	F
		P↗	F	SS	SS
設定2		—	F	—	F
		P↗	—	SS	SS
設定3		—	—	SS	SS
		P↗	F	—	F
設定4		—	—	—	F
		P↗	F	SS	SS
設定5		P↗	F	SS	F
		—	—	—	SS

F/SSダイヤルの回転 ▶ /

絞り値とシャッタースピードを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。

コントロールダイヤルの割当 ▶ (ヘッドホン音量) / / (露出補正 / 絞り) / (露出補正) / (ISO感度) / (フォーカス枠サイズ)

撮影画面で に割り当ててる機能を設定します。

[/]: [M]モード時は、絞り値を調整する操作を割り当てます。[M]モード以外の場合は、露出補正の操作を割り当てます。

 操作



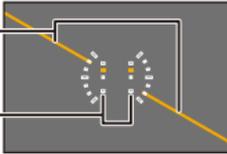
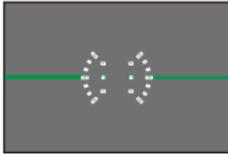
ダイヤル設定 (続き)	露出補正のダイヤル割当	 /  / ▶OFF
	露出補正の操作を  または  に割り当てます。(Mモード時を除く) • [F/SSダイヤルの割当]の設定が優先されます。	
	ダイヤル動作切替設定	 
	Fnボタンの[ダイヤル動作切替]で、  または  に一時的に割り当てる項目を設定します。(→ 258)	
	メニュー操作のダイヤル回転	▶   /   /   /  
メニューを操作する際のダイヤルの回転方向を変更します。		
ジョイスティック設定	▶ダイレクトフォーカス / Fn / MENU / OFF	
	撮影画面でのジョイスティックの動作を設定します。 ダイレクトフォーカス : AFエリアやMFアシストを移動します。(→104, 109) Fn : Fnボタンとして働きます。 MENU :  として働きます。傾ける操作は無効になります。 OFF : ジョイスティックの操作を無効にします。	
ボタンイルミネーション	ON1 / ▶ON2 / OFF	
	イルミネーションボタンの点灯タイミングを設定します。以下のボタンがイルミネーションボタンとして点灯します。 - [▶]ボタン / [Q]ボタン / [↶]ボタン / [🗑️]ボタン / [DISP.]ボタン ON1 : 電源が入っているときは常にボタンが点灯します。 ON2 : [:👁️:]ボタンを押したときにボタンが点灯します。約5秒間カメラを何も操作しないと消灯します。 OFF : ボタンは点灯しません。	
リモコンの動画ボタン	▶ON / OFF シャッターリモコン(別売)の動画ボタンを無効にできます。 • 詳しくは、399ページをお読みください。	

 モニター/表示


オートレビュー	時間(写真)	ホールド / 5秒 ~ 1秒 / ▶OFF
	時間(6K/4K フォト)	▶ホールド / OFF
	時間(フォーカスセレクト)	▶ホールド / OFF
	再生操作優先	ON / ▶OFF
	<p>写真撮影後に撮影画像を表示します。</p> <p>時間(写真): 写真撮影時のオートレビュー時間を設定します。</p> <p>時間(6K/4K フォト): 6K/4K フォト撮影時のオートレビューを設定します。</p> <p>時間(フォーカスセレクト): フォーカスセレクト撮影時のオートレビューを設定します。</p> <p>再生操作優先: [ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。 	
常時プレビュー (Mモード)	ON / ▶OFF	
	設定	MFアシスト中のプレビュー
	<p>[M]モード時の撮影画面で、常に絞り効果やシャッタースピード効果を確認できます。</p> <p>[MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フラッシュ使用時は働きません。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 	

📁 モニター/表示



<p>水準器表示</p>	<p>▶ON / OFF</p> <p>カメラの傾きを補正するときに便利な、水準器を表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>水平方向</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p>垂直方向</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラが傾いていない状態では、緑色に変わります。 傾きが補正された状態でも、$\pm 1^\circ$程度の誤差が生じることがあります。 カメラを大きく上や下に向けると、水準器が正しく表示できないことがあります。 このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)
	<p>ヒストグラム表示</p>

📷 モニター/表示



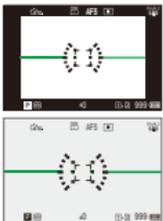
写真グリッドライン表示	<p>📏 / 📏 / 📏 / ▶OFF</p> <p>撮影画面に表示するグリッドラインのパターンを設定します。 [📏]にすると、▲▼◀▶で位置を設定できます。ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [📏]は、撮影画面上でグリッドラインの[■]をドラッグしても位置を移動できます。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)
ライブビュー境界線表示	<p>ON / ▶OFF</p> <p>ライブビューの境界線を表示します。</p>
センターマーカー表示	<p>ON / ▶OFF</p> <p>撮影画面の中心を示す[+]を表示します。</p>
AFエリア表示	<p>▶ON / OFF</p> <p>[📏], [⋯], [■], [⋯], [C1]～[C3]のAFエリアを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の場合は、AFエリアを表示しません。 <ul style="list-style-type: none"> - [📏]で[AFCの開始位置指定(225点AF)]を使用していないとき - [C1]～[C3]で、AFエリアの形状を登録していないとき • 以下の機能を使用中は、[AFエリア表示]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影 - 6K/4Kフォト

📁 モニター/表示



	MODE1 / MODE2 / ▶OFF	
	設定	P/A/S/M / ▶M
ライブビューブースト	<p>暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。</p> <p>MODE1 : 明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。</p> <p>MODE2 : 明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。 • 記録される画像に影響はありません。 • 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。 • 以下の場合、[ライブビューブースト]は動きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 露出を合わせるとき(シャッターボタンを半押ししたときなど) - 動画、6K/4Kフォト撮影中 - [フィルター設定]使用中 - [常時プレビュー(Mモード)]使用中 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 	
	モノクロライブビュー	ON / ▶OFF
<p>撮影画面を白黒で表示できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。 • [ナイトモード]使用中は、[モノクロライブビュー]は使用できません。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 		

 モニター/表示


	モニター	ON / ▶OFF																	
	LVF	ON / ▶OFF																	
ナイトモード	<p>モニターやファインダーの表示を赤色にします。暗い環境で、画面のまぶしさにより周囲が見えにくくなることを軽減します。赤色で表示するときの輝度を設定することもできます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲▼◀▶でモニターまたはファインダー(LVF)の[ON]を選ぶ [DISP]ボタンを押し、輝度調整の画面を表示する <ul style="list-style-type: none"> モニターを調整するときにはモニターを、ファインダーを調整するときにはファインダーを表示してください。 ◀▶で輝度を調整し、 または  を押す <ul style="list-style-type: none"> HDMI出力する映像には、反映されません。 このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 																		
	LVF/モニター表示設定	LVF表示設定	 / ▶ 																
モニター表示設定		 / ▶ 																	
LVF/モニター表示設定	<p>ライブビューを全画面に表示するか、情報表示と重ならないように表示するかを選択できます。</p> <p>[]: 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。</p> <p>[]: 画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。</p>																		
																			
露出メーター	ON / ▶OFF																		
	<p>露出メーターを表示します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <table style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">SS</td> <td style="padding: 2px 5px;">125</td> <td style="padding: 2px 5px;">60</td> <td style="padding: 2px 5px;">30</td> <td style="padding: 2px 5px;">15</td> <td style="padding: 2px 5px;">8</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;">F</td> <td style="padding: 2px 5px;">4.0</td> <td style="padding: 2px 5px;">5.6</td> <td style="padding: 2px 5px;">8.0</td> <td style="padding: 2px 5px;">11</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px 5px;"></td> <td style="padding: 2px 5px;">30</td> <td colspan="4" style="padding: 2px 5px;">F5.6</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> [ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッター速度設定時に露出メーターが表示されます。 約4秒間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。 		SS	125	60	30	15	8	F	4.0	5.6	8.0	11			30	F5.6		
SS	125	60	30	15	8														
F	4.0	5.6	8.0	11															
	30	F5.6																	

📺 モニター/表示



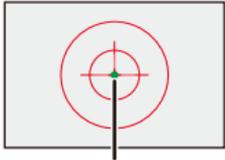
<p>焦点距離</p>	<p>▶ON / OFF</p> <p>ズーム操作中に、撮影画面に焦点距離を表示します。</p>				
<p>写真/動画ライブ ビュー切替</p>	<p>▶📷 / 👤</p> <p>ライブビューの画角表示を切り換えます。</p> <p>📷 : 写真撮影時の画角で表示します。 👤 : 動画撮影時の画角で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 画角の表示は目安です。 以下の機能を使用中は、[写真/動画ライブビュー切替]が [📷] に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] - [HLGフォト] このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 				
<p>残枚数/残時間切替</p>	<p>▶📷:📄 / 👤:🕒</p> <p>記録可能枚数または記録可能時間の表示に切り換えます。</p> <p>📷:📄 : 写真の記録可能枚数を表示します。 👤:🕒 : 動画の記録可能時間を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [👤:🕒] に設定していても、写真を撮影すると記録可能枚数がしばらく表示されます。 以下の機能を使用中は、[残枚数/残時間切替]が [📷:📄] に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] - [HLGフォト] 以下の機能を使用中は、[残枚数/残時間切替]は [👤:🕒] で動作します。 <ul style="list-style-type: none"> - [6K/4K連写]、[6K/4K連写(S/S)]、[フォーカスセレクト] 				
<p>撮影画面の遷移 (モニター)</p>	<table border="1"> <tr> <td>コントロールパネル</td> <td>▶ON / OFF</td> </tr> <tr> <td>消灯画面</td> <td>▶ON / OFF</td> </tr> </table> <p>[DISP.]ボタンでの表示切り換え時に、コントロールパネルと消灯画面を表示します。(→ 67)</p>	コントロールパネル	▶ON / OFF	消灯画面	▶ON / OFF
コントロールパネル	▶ON / OFF				
消灯画面	▶ON / OFF				

 モニター/表示


ハイライト表示	ON / ▶OFF	
	<p>オートレビュー中、または画像を再生中に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。</p> <p>• 再生画面の遷移の最後に、ハイライトなし表示が追加されます。ハイライト表示を消したいときに使います。(→ 68)</p>	
ゼブラパターン表示	ゼブラ 1 / ゼブラ 2 / ▶OFF	
	設定	ゼブラ 1 / ゼブラ 2
	白飛びのおそれがある部分をしま模様で表示します。	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ゼブラ 1</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ゼブラ 2</p>  </div> </div> <p>[設定]から、しま模様で表示する明るさを設定できます。</p> <p>• 選べる明るさの範囲は[50%]から[105%]までです。[ゼブラ 2]では、[OFF]に設定できます。[100%]または[105%]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけがしま模様で表示されます。数値を小さくすると、しま模様で表示する明るさの範囲が広くなります。</p> <p>• このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)</p>	

📺 モニター/表示



HLGビューアシスト	モニター	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
	HDMI	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
	<p>[HLG フォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換した映像を本機のモニター/ファインダーに表示したり、HDMI出力したりします。</p> <p>AUTO:HDR(HLG方式)非対応の機器に接続したときだけ、[MODE2]の設定でHDMI出力する映像を変換します。</p> <p>MODE1:空などの明るさを重視して変換します。</p> <p>MODE2:主要な被写体の明るさを重視して変換します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDR映像のダイナミックレンジを変換するときは、画面に[MODE1]または[MODE2]が表示されます。変換しない場合は、[HLG]が表示されます。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 	
オーバーレイ表示	ON / ▶OFF	
	設定	透過度 / 画像選択 / 電源OFF時解除
<p>撮影済みの写真を撮影画面に重ねて表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [画像選択]で表示する写真を選んでください。◀▶で写真を選び、 または  を押して決定します。 • 以下の機能を使用中は、[オーバーレイ表示]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) 		
手ブレ状態スコープ	ON / ▶OFF	
	<p>手ブレ状態を確認できるように、撮影画面に目安となる基準点を表示します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <ul style="list-style-type: none"> • 以下の機能を使用中は、[手ブレ状態スコープ]は働きません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248) </div> <div style="flex: 1; text-align: center;">  <p>基準点</p> </div> </div>	

 レンズ/その他


レンズ位置メモリー	ON / ▶OFF 電源を切ったときのピントの位置を記憶します。	
フォーカスリング 制御	▶ノンリニア / リニア	
	設定	90度～360度 (▶150度) / 最大
	フォーカスリングでピントを移動する量を設定します。(対応レンズ使用時) • レンズキット商品に付属の交換レンズ(S-R24105)は、本機能に対応しています。	
	ノンリニア : フォーカスリングの回転速度に応じて、加速度をつけてピントを移動します。 リニア : フォーカスリングの回転角度に応じた一定の量でピントを移動します。 設定 : [リニア] 選択時、フォーカスリングの回転角度を設定します。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)	

🔑 セットアップメニュー

 カード/ファイル	→311	 設定	→318
フォーマット	→52	カスタムモード登録	→264
ダブルスロット機能	→82	カスタムモード内容の呼出	→267
フォルダー/ファイル設定	→83	カスタムモード設定	→265
ファイル番号リセット	→84	カメラ設定の保存/読み込み	→270
著作権情報	→311	設定リセット	→73
 モニター/表示	→312	 その他	→319
エコモード	→48	時計設定	→56
モニター表示速度	→312	タイムゾーン	→319
LVF表示速度	→312	ピクセルリフレッシュ	→319
モニター調整/LVF調整	→313	センサークリーニング	→319
モニター輝度/LVF輝度	→313	バージョン表示	→320
バッテリー残量表示	→313	取扱説明書のWebサイト	→320
ステータスLCD	→313	CLUB Panasonic 登録	→320
アイセンサー	→314	認証情報	→320
水準器調整	→314		
 IN/OUT	→314		
電子音	→314		
ヘッドホン音量	→231		
Wi-Fi	→315		
Bluetooth	→315		
USB	→315		
バッテリー情報	→316		
バッテリー使用順序	→398		
テレビ接続設定	→317		

▶:初期設定

☐ カード/ファイル



フォーマット	スロット1(XQD) / スロット2(SD)	
	カードをフォーマット(初期化)します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、52ページをお読みください。 	
ダブルスロット機能	記録方法	▶ / /
	カードスロット1、カードスロット2への記録方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、82ページをお読みください。 	
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択 / 新規フォルダー作成 / ファイル名設定	
	画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、83ページをお読みください。 	
ファイル番号リセット	スロット1(XQD) / スロット2(SD) 次に撮影する画像のファイル番号を0001にします。 <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、84ページをお読みください。 	
著作権情報	撮影者	ON / ▶OFF / 設定
	著作権者	ON / ▶OFF / 設定
	著作権情報の表示	
	登録した撮影者、著作権者の名称を、画像のExif情報に記録します。 <ul style="list-style-type: none"> [撮影者]、[著作権者]の[設定]から、それぞれの名称を登録できます。 文字の入力方法については、329ページをお読みください。 入力できる文字数は最大63文字です。 登録した著作権情報は、[著作権情報の表示]で確認できます。 AVCHD動画には著作権情報を記録できません。 	

📁 モニター/表示



エコモード	スリープモード	10分 / ▶5分 / 2分 / 1分 / OFF
	スリープモード(Wi-Fi)	▶ON / OFF
	LVF/モニター自動OFF	▶5分 / 2分 / 1分 / OFF
	省電力ファインダー撮影	スリープするまでの時間 動作する条件
	<p>一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。</p> <p>• 詳しくは、48ページをお読みください。</p>	
モニター表示速度	30fps / ▶60fps	
	<p>モニターの表示速度を設定します。</p> <p>30fps : 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。</p> <p>60fps : 動きを滑らかに表示できます。</p>	
LVF表示速度	▶60fps / 120fps	
	<p>ファインダーの表示速度を設定します。</p> <p>60fps : 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。</p> <p>120fps : 動きを滑らかに表示できます。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> • [120fps]で表示中は、ファインダーに[LVF120]が表示されます。 • 以下の機能を使用中は、[60fps]で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影 - 再生 - [⌘M]モード - 6K/4Kフォト - HDMI出力 	

📷 モニター/表示



<p>モニター調整 / LVF調整</p>	<p>明るさ / コントラスト / 彩度 / 赤み / 青み</p> <p>モニター / ファインダーの明るさ、色合い、および赤みや青みなどの色味を調整します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲▼で設定項目を選び、◀▶で調整する MENU/SET または 🔄 を押して決定する <ul style="list-style-type: none"> モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
<p>モニター輝度 / LVF輝度</p>	<p>▶AUTO / -3 ~ +3</p> <p>モニター / ファインダーの輝度を調整します。</p> <p>AUTO: 周囲の明るさに応じて、自動で明るさを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> モニター表示時はモニターの、ファインダー表示時はファインダーの輝度を調整します。 [AUTO] または調整値をプラス側に設定中は、使用時間が減少します。 再生画面では、[AUTO] は選択できません。 [ナイトモード] 使用中は、[モニター輝度] / [LVF輝度] は使用できません。
<p>バッテリー残量表示</p>	<p>▶ / %</p> <p>バッテリー残量を、目盛り表示または%表示に切り換えます。</p>
<p>ステータスLCD</p>	<p>バックライト ▶ H / L / OFF</p> <p>ステータスLCDバックライトの点灯方法を設定します。</p> <p>H: ステータスLCDバックライトを明るめにします。 L: ステータスLCDバックライトを暗めにします。 OFF: ステータスLCDバックライトを点灯しません。</p> <p>電源OFF中の表示 ▶ ON / OFF</p> <p>[ON] に設定すると、電源が切れているときでも、ステータスLCDに以下を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - バッテリー残量 - カードスロット - 記録可能枚数 / 記録可能時間 - Wireless (Wi-Fi / Bluetooth) 接続状態 - 充電中 / 充電完了 / 充電エラーの表示

📁 モニター/表示



アイセンサー	感度	▶強/弱
	アイセンサーの感度を設定します。	
	LVF/モニター切換	▶LVF/MON AUTO (ファインダー/モニター自動切換)/ LVF (ファインダー表示)/ MON (モニター表示)
ファインダー表示/モニター表示の切り換えを設定します。 • [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。		
水準器調整	調整	カメラを水平な状態にし、 または を押してください。水準器が調整されます。
	調整値リセット	
	水準器の調整値を初期設定に戻します。	

📶 IN/OUT



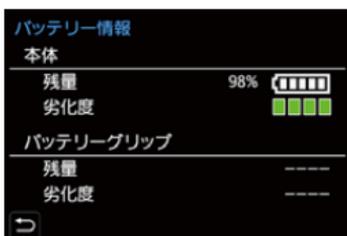
電子音	電子音音量	(大) / (小) / (OFF)
	合焦音音量	(大) / (小) / (OFF)
	合焦音音色	▶ ① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
	電子シャッター音音量	(大) / (小) / (OFF)
	電子シャッター音音色	▶ ① (パターン1) / ② (パターン2) / ③ (パターン3)
電子音や合焦音、電子シャッター音を設定します。 • [サイレントモード] 使用中は、[電子音音量]、[合焦音音量]、 [電子シャッター音音量]が[OFF]になります。		
ヘッドホン音量	0～LEVEL15 (▶LEVEL3)	
ヘッドホンを接続したときの音量を調整します。 • 詳しくは、231 ページをお読みください。		



Wi-Fi	Wi-Fi機能 (→ 330)		
	Wi-Fi設定 (→ 375)		
Bluetooth	Bluetooth (→ 334)		
	スマートフォンに画像を送る (→ 356)		
	リモート起動 (→ 351)		
	スリープモードからの復帰動作 (→ 346)		
	自動画像転送 (→ 348)		
	位置情報記録 (→ 350)		
	自動時刻合わせ (→ 352)		
	Wi-Fiネットワーク設定		
	Wi-Fiネットワーク設定 : Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。Wi-Fi接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。		
USB	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>USBモード</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 接続時に選択 / PC (Storage) / PC (Tether) / PictBridge (PTP) </td> </tr> </tbody> </table>	USBモード	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 接続時に選択 / PC (Storage) / PC (Tether) / PictBridge (PTP)
	USBモード	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 接続時に選択 / PC (Storage) / PC (Tether) / PictBridge (PTP) 	
	<p>USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。</p> <p> 接続時に選択: 機器と接続したときにUSB通信方式を選びます。</p> <p> PC (Storage): パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。</p> <p> PC (Tether): 「LUMIX Tether」をインストールしたパソコンでカメラを操作する場合に設定します。</p> <p> PictBridge (PTP): PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。</p>		
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>USB給電</td> <td>▶ ON / OFF</td> </tr> </tbody> </table>	USB給電	▶ ON / OFF
USB給電	▶ ON / OFF		
<p>USB接続ケーブルから給電します。(→ 45)</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACアダプターに接続したときは、[OFF]に設定していても給電されます。 			

バッテリー情報

バッテリーの残量と劣化度を表示します。
満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、
バッテリーの寿命です。バッテリーの状態を確認して、新しい
バッテリーと交換してください。



残量:バッテリーの残量をパーセント(1%単位)と目盛りで表示します。

劣化度:

- (緑) 劣化なし
- (緑) 劣化度低
- (緑) 劣化度中
- (赤) 劣化度高。新しいバッテリーと交換してください。

- バッテリーの特性として、周囲の温度が低いと、バッテリーに充電できる容量が少なくなります。新品のバッテリーでも、約5℃以下の低温で充電した場合、[バッテリー情報]で劣化度が高く表示されることがあります。10℃～30℃で再度充電すると、劣化度の表示は「劣化なし」に戻ります。

バッテリー使用順序

本体優先 / ▶BG優先

カメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを装着している場合に、どちらのバッテリーを先に使用するかを選択します。

- 詳しくは、[398](#)ページをお読みください。



テレビ接続設定	HDMI出力解像度 (再生時)	▶AUTO / 4K/60p / 4K/30p / 1080p / 1080i / 720p / 480p
	HDMI接続時の出力解像度を設定します。	
	AUTO :接続したテレビに合わせた出力解像度で出力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [AUTO]に設定して映像がテレビに出ない場合は、テレビが表示できる[AUTO]以外の設定に切り換えてください。(テレビの取扱説明書もお読みください) 	
	HLGビューアシスト (HDMI)	▶AUTO / MODE1 / MODE2 / OFF
	[HLGフォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • カスタムメニュー(モニター/表示)の[HLGビューアシスト]の[HDMI]と連動しています。詳しくは、308ページをお読みください。 	
	ピエラリンク	ON / ▶OFF
HDMIケーブルを使ってカメラをピエラリンク対応機器に接続すると、機器側のリモコンで操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、382ページをお読みください。 		
画像背景色(再生時)	■ / ▶■	
テレビなどに出力する際に画像の上下や左右に付く帯の色を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 出力先画面の焼き付き防止のため、[■]に設定することをお勧めします。 		



設定



	C1 / C2 / C3-1 ~ C3-10	
カスタムモード登録	現在のカメラの設定内容を登録できます。 • 詳しくは、 264 ページをお読みください。	
	C1 / C2 / C3-1 ~ C3-10	
カスタムモード内容の呼出	登録済みのカスタムモードの設定内容を、選択中の撮影モードに呼び出して、現在の設定に上書きします。 • 詳しくは、 267 ページをお読みください。	
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限	
	名称変更	
	登録内容の呼出タイミング	
	カスタムモードの呼出範囲	
	カスタムモードの使いやすさの設定をします。 • 詳しくは、 265 ページをお読みください。	
カメラ設定の保存 / 読み込み	スロット1(XQD)	保存 / 読み込み / 消去
	スロット2(SD)	保存 / 読み込み / 消去
	カメラの設定情報をカードに保存します。保存した設定情報はカメラに読み込みできるため、複数のカメラを同じ設定にできます。 • 詳しくは、 270 ページをお読みください。	
設定リセット	カメラの設定を初期設定に戻します。 • 詳しくは、 73 ページをお読みください。	

その他



<p>時計設定</p>	<p>日付や時刻を設定します。 • 詳しくは、56ページをお読みください。</p>
<p>タイムゾーン</p>	<p>タイムゾーンを設定します。 ◀▶でタイムゾーンを選び、MENU/SET または 時計アイコン を押して決定してください。</p> <div data-bbox="329 418 940 654" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>• サマータイム [▲☀️] (夏時間) を採用している場合は、▲を押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度▲を押してください。</p>
<p>ピクセルリフレッシュ</p>	<p>撮像素子と画像処理の最適化を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮像素子と画像処理は、初期設定で最適な状態になっています。被写体でない明るい点が記録される場合に、本機能をお使いください。 終了後は、電源を入れ直してください。
<p>センサークリーニング</p>	<p>撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動で動きます。特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。

バージョン表示	ファームウェアアップデート／ソフト情報
	<p>カメラ本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。ファームウェアアップデートの実行や、カメラのソフトウェア情報の表示もできます。</p> <p>ファームウェアアップデート:アップデートを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 24ページのサイトからファームウェアをダウンロードする カードのルートディレクトリー(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)にファームウェアを保存し、カメラに挿入する [バージョン表示]の[ファームウェアアップデート]を選んで  または  を押し、[はい]を選んでアップデートを実行する <p>ソフト情報:カメラのソフトウェアに関する情報を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> XLRマイクロホンアダプターなどの対応別売品を装着中は、別売品のファームウェアバージョンも確認できます。
取扱説明書のWebサイト	URL表示／QRコード表示
	<p>本書のPDF版をダウンロードするためのURLまたはQRコードを表示します。</p>
CLUB Panasonic登録	URL表示／QRコード表示
	<p>CLUB Panasonicに登録するためのURLまたはQRコードを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、468ページをお読みください。
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

再生メニュー

 表示方法	→323	 情報の付与・削除	→325
縦位置自動回転	→323	プロテクト	→325
画像表示順	→323	レーティング	→325
AF位置から拡大	→323	 画像の編集	→326
HLGビューアシスト(モニター)	→323	リサイズ(縮小)	→326
 画像の加工	→324	画像回転	→326
RAW現像	→242	動画分割	→246
6K/4Kフォト一括保存	→131	画像コピー	→327
6K/4Kフォトノイズ低減	→128	 その他	→328
インターバル動画作成	→324	消去確認画面	→328
コマ撮りアニメ作成	→324		



• 本機以外で撮影された画像は、本機で正しく再生、編集できない場合があります。

❖ 再生メニューでの画像の選び方

画像を選ぶ画面が表示されたときは、以下の手順で選択してください。

- [1枚設定]または[複数設定]が選べない場合は、[1枚設定]と同じ選び方になります。
- カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[]ボタンを押してカードスロットを選択してください。
- 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。

[1枚設定]選択中

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2  または  を押す
 - 画面右下に[設定 / 解除]と表示される場合、もう一度  または  を押すと設定が解除されます。



[複数設定]選択中

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。
- 2 [DISP.]ボタンを押して実行する



[プロテクト]を選んだとき

- ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  で設定する(繰り返す)
- 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。



▶:初期設定

表示方法



縦位置自動回転	▶ON / OFF
	<p>カメラを縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> パソコンで再生するときは、Exifに対応したOSやソフトウェアを使ってください。回転して表示されないことがあります。
画像表示順	ファイル名 / ▶撮影日時
	<p>本機で画像を再生するときの表示順を設定します。</p> <p>ファイル名:フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。 撮影日時:画像が撮影された日時の順番で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のカードを入れたときは、すべてのデータを読み込むまで時間がかかるため、設定した順番で表示されない場合があります。
AF位置から拡大	ON / ▶OFF
	<p>画像を拡大するときにAFでピントの合った位置を中心に拡大します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ハイレゾモード]で撮影した場合や、ピントが合っていない場合は、画像の中央を拡大します。 このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)
HLGビューアシスト (モニター)	MODE1 / ▶MODE2 / OFF
	<p>[HLGフォト]やHLG動画を撮影、再生するときに、色域と明るさを変換して表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> カスタムメニュー(モニター/表示)の[HLGビューアシスト]の[モニター]と連動しています。詳しくは、308ページをお読みください。

 画像の加工


RAW現像	<p>RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。[HLGフォト]で撮影したRAW画像を、HLG形式で保存することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、242ページをお読みください。
6K/4Kフォト一括保存	<p>6K/4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、131ページをお読みください。
6K/4Kフォトノイズ低減	<p>▶AUTO / OFF</p> <p>写真を保存するときに、高いISO感度によって発生したノイズを低減します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、128ページをお読みください。
インターバル動画作成	<p>[インターバル撮影]で撮影したグループ画像から動画を作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▶◀で[インターバル撮影]のグループを選び、 または  を押す 動画の作成方法を選び、動画化する <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、138ページをお読みください。
コマ撮りアニメ作成	<p>[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▶◀でコマ撮りグループを選び、 または  を押す 動画の作成方法を選び、動画化する <ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、138ページをお読みください。

 情報の付与・削除


<p>プロテクト</p>	<p>1枚設定 / 複数設定 / 全解除</p> <p>誤って消去することがないように、画像にプロテクトを設定できます。ただし、カードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の選び方については、322ページをお読みください。 • [全解除]で一度に設定を解除できるのは、1枚のカード内の画像だけです。 • [プロテクト]設定は本機以外では無効になる場合があるためお気をつけください。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)
<p>レーティング</p>	<p>1枚設定 / 複数設定 / 全解除</p> <p>画像に5段階のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • レーティングを設定した画像以外を消去する。 • Windows 10、Windows 8.1、Windows 8などのファイルの詳細表示で、レーティングのレベルを確認する。(JPEG画像のみ) <ol style="list-style-type: none"> 1 画像を選ぶ(→ 322) 2 ◀▶でレーティングのレベル(1~5)を選び、 または  を押す <ul style="list-style-type: none"> • [複数設定]を選択したときは、手順1、2を繰り返してください。 • 設定を解除するには、レーティングのレベルを[OFF]にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> • [全解除]で一度に設定を解除できるのは、1枚のカード内の画像だけです。 • AVCHD動画は、「5」にだけ設定できます。 • このメニューはFnボタンに登録できます。(→ 248)

 画像の編集


リサイズ(縮小)	<p>1枚設定／複数設定</p> <p>ホームページ用やメール添付で送信しやすいように、JPEG画像の容量(画像サイズ)を小さくして、別の画像として保存します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の選び方については、322ページをお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> - [1枚設定]選択時は、画像を選んだあとに、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。 - [複数設定]選択時は、画像を選ぶ前に、▲▼でサイズを選んで  または  を押してください。 • [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。 • リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。 • 以下の機能を使用して撮影した画像には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト] - グループ画像 - [画像横縦比]の[65:24]、[2:1] - [写真画質]の[RAW] - [HLGフォト] - [ハイレゾモード]
画像回転	<p>画像を手動で90°ずつ回転させます。</p> <p> :時計回りに90°回転します。</p> <p> :反時計回りに90°回転します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像の選び方については、322ページをお読みください。
動画分割	<p>撮影した動画や6K/4K連写ファイルを2つに分割します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、246ページをお読みください。

✂ 画像の編集



	コピー方向	▶ 1 → 2 / 2 → 1
	画像選択コピー／フォルダー内全画像コピー／カード内全画像コピー	
画像コピー	カード内の画像をもう一方のカードにコピーできます。	
	<ul style="list-style-type: none"> • コピーするときは、新しいフォルダーを作成し保存します。 	
	画像選択コピー ：画像を選んでコピーします。	
	1 コピーする画像の入ったフォルダーを選ぶ	
	2 画像を選ぶ(→ 322)	
	フォルダー内全画像コピー ：フォルダー内のすべての画像をコピーします。	
	1 コピーするフォルダーを選ぶ	
	2 コピーする画像を確認し、 または を押して実行する	
	カード内全画像コピー ：カード内のすべての画像をコピーします。	
	Fn ボタンで画像をコピーする	
1枚再生中に[画像コピー]を割り当てたFn ボタンを押すと、再生中の画像をもう一方のカードにコピーします。		
<ul style="list-style-type: none"> • 以下の選択肢からコピー先のフォルダーを選んでください。グループ画像の場合は[新規作成]が自動で選ばれます。 		
コピー元と同じフォルダー番号 ：コピーする画像と同じ名前のフォルダーにコピーします。		
新規作成 ：フォルダー番号を繰り上げて新規フォルダーを作成し、コピーします。		
フォルダー選択 ：保存するフォルダーを選んでコピーします。		
<ul style="list-style-type: none"> • [画像選択コピー]で一度に設定できるのは100枚までです。 • [プロテクト]の設定内容はコピーされません。 • コピーに時間がかかる場合があります。 • AVCHD動画はコピーできません。 		

✂ 画像の編集

画像コピー
(続き)

- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4K フォト、[フォーカスセレクト]で撮影した画像のコピーはできません。
 - SDXC メモリーカードから、32 GB 以下の XQD カードへのコピー
 - 32 GB を超える XQD カードから、SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードへのコピー

▶ その他



消去確認画面

「はい」がはじめ / ▶ 「いいえ」がはじめ

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい] / [いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

「はい」がはじめ：最初に[はい]が選ばれます。

「いいえ」がはじめ：最初に[いいえ]が選ばれます。

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 文字を入力する

- ▲▼◀▶ で文字を選び、入力する文字が表示されるまで **MENU/SET** または  を押します。(繰り返す)
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、 または  を右側に回して入力位置を移動してください。
- 項目を選んで **MENU/SET** または  を押すと、以下の操作ができます。
 - [切換]: **かな** (ひらがな)、**カタ** (カタカナ)、**A** / **a** (アルファベット)、**1** (数字)、**&** (記号)に文字を切り換え
 - []: 空白を入力
 - [消去]: 文字を消去
 - [<]: 入力位置を左に移動
 - [>]: 入力位置を右に移動



2 入力を終了する

- [決定]を選び、**MENU/SET** または  を押します。

15. Wi-Fi / Bluetooth

Wi-Fi / Bluetooth機能について

本機のWi-Fi[®] / Bluetooth[®]機能を使って、スマートフォンからのリモート操作やカメラ操作での画像の転送ができます。

	スマートフォン用アプリ「LUMIX Sync」を使ってリモート撮影や画像の転送ができます。(→ 332)
	カメラを操作してスマートフォンやパソコンなどへ画像の転送ができます。(→ 353)

本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

❖ Wirelessアイコンの表示

Wi-Fi / Bluetooth機能を使用中は、ステータスLCDのWirelessアイコンが点灯または点滅します。



点灯	Wi-Fi / Bluetooth機能をオンに設定時、または接続中
点滅	カメラ操作による画像データ送信時



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に通信が切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」(以降は「LUMIX Sync」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。

スマートフォン接続の流れ

1	スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ 333) ネットワークに接続して、「LUMIX Sync」  をインストールします。			
2	スマートフォンと接続する スマートフォンに合った接続方法で、カメラとスマートフォンを接続します。 <table border="1" data-bbox="135 617 970 810"><tr><td data-bbox="135 617 555 810">Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンの場合 • Bluetooth接続(→ 334) 簡単な接続設定(ペアリング)で接続します。</td><td data-bbox="555 617 970 810">Bluetooth Low Energyに非対応のスマートフォンの場合 • Wi-Fi接続(→ 338) Wi-Fiで接続します。QRコードを使って簡単に接続することもできます。</td></tr></table>		Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンの場合 • Bluetooth接続(→ 334) 簡単な接続設定(ペアリング)で接続します。	Bluetooth Low Energyに非対応のスマートフォンの場合 • Wi-Fi接続(→ 338) Wi-Fiで接続します。QRコードを使って簡単に接続することもできます。
Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンの場合 • Bluetooth接続(→ 334) 簡単な接続設定(ペアリング)で接続します。	Bluetooth Low Energyに非対応のスマートフォンの場合 • Wi-Fi接続(→ 338) Wi-Fiで接続します。QRコードを使って簡単に接続することもできます。			
3	スマートフォンでカメラを操作する(→ 343) 「LUMIX Sync」を使って、以下の操作ができます。 <ul data-bbox="150 936 481 1208" style="list-style-type: none">• リモート撮影(→ 344)• シャッターリモコン(→ 345)• 撮影画像の転送(→ 346)• 撮影画像の自動転送(→ 348)• 位置情報の記録(→ 350)• カメラの電源操作(→ 351)• 自動時刻合わせ(→ 352)• 設定情報の保存(→ 352) 			

カメラとスマートフォンの接続方法については、334～342ページで説明しています。

カメラを操作してスマートフォンに画像を転送することもできます。詳しくは、353ページの「カメラから画像を送る」をお読みください。

「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニック株式会社が提供するスマートフォン用アプリケーションです。



対応OS

Android™: Android 5以上

iOS: iOS 11以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ストア」を選ぶ
(iOS)「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic LUMIX Sync」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Sync」を選び、インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2019年1月現在のものです。対応OSは変更する場合があります。
- 対応OSや「LUMIX Sync」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容がお使いの機器と一部異なる場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- 4G(LTE)や3Gなどの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。



スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定を行うと、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要になります。2回目以降の接続については、[336ページ](#)をお読みください。

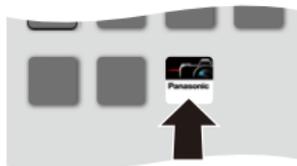
対応スマートフォン

Android™: Android 5以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載
(Bluetooth Low Energy非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 11以上

1 スマートフォンで 「LUMIX Sync」を起動する

- 機器(カメラ)登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。
- メッセージを閉じた場合は、**[?]**を選び、**[カメラの登録(ペアリング)]**からカメラを登録してください。
- スマートフォンのBluetooth機能がオフになっている場合は、メッセージが表示されます。
(Android機器)Bluetooth機能をオンにすることを許可してください。
(iOS機器)メッセージに従って、スマートフォンの設定画面でBluetooth機能をオンにしてから、「LUMIX Sync」を表示してください。



2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

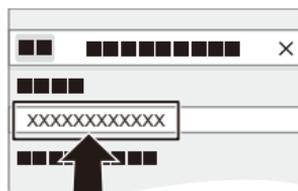
3 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

-  ⇒  ⇒  ⇒
[Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒
[設定] ⇒ [ペアリング]
- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名(A)が表示されます。



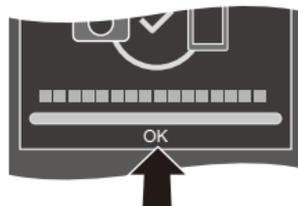
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK]を選ぶ

- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- Bluetooth 接続中は、撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、 が半透明で表示されます。
- スマートフォンは 16 台まで登録できます。16 台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。
- (iOS 機器) Bluetooth 接続中の Wi-Fi 接続に失敗する場合は、表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンの Wi-Fi 設定画面でカメラの SSID を選択して接続してください。SSID が表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度 Bluetooth 接続の設定を行ってください。

❖ Bluetooth接続の終了

Bluetooth接続を終了するには、カメラのBluetooth機能をオフにしてください。

 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [OFF] を選ぶ



• 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

❖ ペアリング済みスマートフォンとの接続

ペアリング済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

① カメラのBluetooth機能を有効にする

•  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [ON]

② スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

• カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

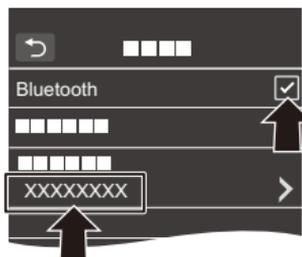
③ [] を選ぶ

④ [Bluetooth設定] を選ぶ



⑤ Bluetoothをオンにする

⑥ [登録済みの機器]の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。
- ペアリングに時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペアリング設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

❖ ペアリングの解除

① カメラのペアリング設定を解除する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [Bluetooth] ⇒ [設定] ⇒ [解除]

② ペアリングを解除するスマートフォンを選ぶ



- スマートフォン側のペアリング設定も解除してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。

スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続)

カメラとBluetooth Low Energyに対応していないスマートフォンをWi-Fiで接続します。初期設定では、パスワードを入力せずに、簡単にスマートフォンと接続できます。パスワード認証を使って、セキュリティを強化して接続することもできます。

- Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンでも、同じ操作でWi-Fi接続できます。

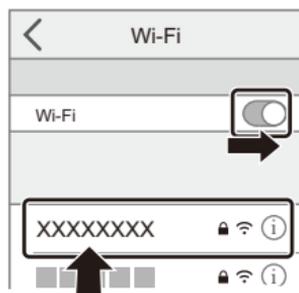
1 カメラをWi-Fiの接続待機状態にする

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] →
[スマートフォンとつないで使う]
- 画面にカメラのSSID(A)が表示されます。
- [Wi-Fi]を割り当てたFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、248ページをお読みください。

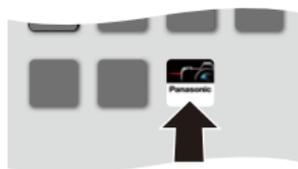


2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をオンにする

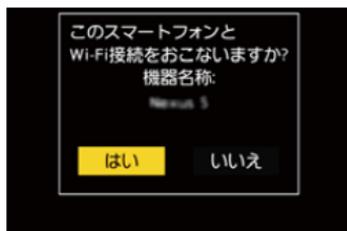
3 カメラに表示されたSSIDを選ぶ



4 スマートフォンで 「LUMIX Sync」を起動する



5 (初回接続時) カメラに表示される機器名称を 確認して[はい]を選ぶ



- 実際に接続したい機器とは別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別のWi-Fi接続機器がある場合などは、手動入力またはQRコードによるパスワード認証での接続をお勧めします。
(→ 340)

❖ パスワード認証を使って接続する

手動入力またはQRコードによるパスワード認証を使うと、Wi-Fi接続のセキュリティを強化できます。

QRコードを読み取って接続する

① カメラの[Wi-Fiパスワード]を[ON]にする

- **MENU/SET** → [] → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [Wi-Fiパスワード] → [ON]

② QRコード(A)を表示する

- **MENU/SET** → [] → [] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]
- [Wi-Fi]を割り当てたFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、248ページをお読みください。
- **MENU/SET** または **Q** を押すと、QRコードが拡大表示されます。



③ スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

④ [] を選ぶ

⑤ [Wi-Fi接続] を選ぶ

⑥ [QRコード] を選ぶ

⑦ カメラの画面に表示されているQRコードを「LUMIX Sync」で読み取る

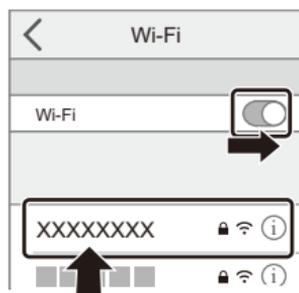
- (iOS機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。



- (iOS機器) Wi-Fi接続に失敗する場合は、表示されるメッセージに従ってカメラとの接続を許可してください。それでも接続できない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定画面でカメラのSSIDを選択して接続してください。SSIDが表示されない場合は、カメラの電源を入れ直してから、もう一度Wi-Fi接続の設定を行ってください。

パスワードを手動入力して接続する

- 1 340ページ手順②の画面を表示する
- 2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする



- 3 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSID(Ⓑ)を選ぶ
- 4 (初回接続時)カメラに表示されたパスワード(Ⓑ)を入力する
- 5 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する



❖ 初期設定以外の接続方法

[ネットワーク経由]や[直接接続]の[WPS接続]で接続する場合は、以下の操作をしてください。

- 1 カメラの接続方法の設定画面を表示する
 - **MENU/SET** ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [新規に接続する] ⇒ [スマートフォンとつないで使う]
- 2 [DISP.]ボタンを押す

ネットワーク経由で接続する

- 1 [ネットワーク経由]を選び、**MENU/SET** または を押す
 - 367ページの接続方法に従ってカメラを無線アクセスポイントに接続してください。
- 2 スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする
- 3 カメラを接続している無線アクセスポイントに、スマートフォンを接続する
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

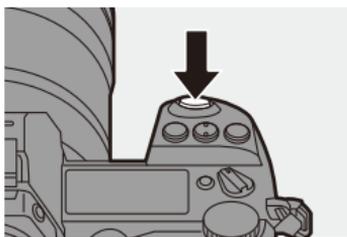
直接接続で接続する

- 1 [直接接続]を選び、 または  を押す
 - [WPS接続]を選び、370ページの接続方法に従って、カメラをスマートフォンに接続してください。
- 2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

Wi-Fi接続を終了する

カメラとスマートフォンのWi-Fi接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

- 1 カメラを撮影モードにする
 - シャッターボタンを半押しします。



- 2 Wi-Fi接続を終了する
 -  →  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]
 - [Wi-Fi]を割り当てたFnボタンを押しても同じ操作ができます。Fnボタンについては、248ページをお読みください。



- 3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

スマートフォンでカメラを操作する

❖ 必要な無線接続の種類

使用する機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth Low Energyの対応
Bluetooth	Bluetooth Low Energyに対応のスマートフォンで使えます。
Wi-Fi	Bluetooth Low Energyに対応していないスマートフォンでも使えます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth Low Energyに対応のスマートフォンで使えます。 • BluetoothとWi-Fiの両方でスマートフォンと接続する必要があります。

❖ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



(A) ≡	アプリ設定(→ 336 、 340 、 351) 接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などを行います。
(B) □	画像取り込み(→ 346)
(C) □	リモート撮影(→ 344)
(D) □	シャッターリモコン(→ 345)
(E) □	カメラ設定コピー(→ 352)

リモート撮影

Wi-Fi

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→334, 338)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

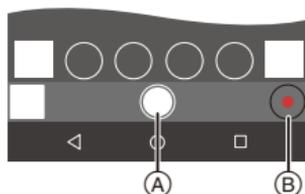
1 ホーム画面で[📷] (リモート撮影) を選ぶ

- (iOS機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

2 撮影する

(A)	写真撮影
(B)	動画撮影開始/終了

- 撮影した画像はカメラに保存されます。



- 設定など一部利用できないものがあります。
- 以下の機能を使用中は、リモート撮影はできません。
 - インターバル撮影

❖ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

MENU/SET → [🔧] → [📶] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [リモート優先操作設定] を選ぶ

カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できません。
スマートフォン	スマートフォンでだけ操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> • ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 • リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了]を選んでください。

- 初期設定は[カメラ]に設定されています。



- 接続中は、設定を変更できません。

シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で[](シャッターリモコン)を選ぶ

2 撮影する

	動画撮影開始/終了
	写真撮影 • バルブ撮影(→ 345)



- [シャッターリモコン]を使ってカメラの[スリープモード]を解除するには、セットアップメニュー(IN/OUT)の[Bluetooth]で下記のとおり設定してから、Bluetooth接続してください。
 - [リモート起動]:[ON]
 - [自動画像転送]:[OFF]
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。

❖ バルブ撮影

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるので、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを[M]モードにする(→ 167)
- カメラのシャッタースピードを[B](バルブ)に設定する(→ 169)

- 1 []をタッチして、撮影を開始する(タッチしたまま、指を離さない)
- 2 []から指を離して、撮影を終了する
 - []をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([])を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

❖ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

カメラが[スリープモード]から復帰するときにかかる時間を短くしたいスマートフォンの機能を選びます。

準備:

- カメラの[Bluetooth]と[リモート起動]を[ON]に設定する(→ 351)

 →  →  → [Bluetooth] → [スリープモードからの復帰動作]を選ぶ

 リモート操作/画像転送優先	[リモート撮影]や[画像取り込み]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
 シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

撮影画像の転送

Wi-Fi

カードに保存した画像をWi-Fi接続したスマートフォンに転送します。

準備:

- カメラとスマートフォンを接続する(→334, 338)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で [](画像取り込み)を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ

- ①をタッチすると、表示するカードを切り換えられます。



3 画像を転送する

- [] を選びます。
- 動画の場合、画面中央の [▶] をタッチすると再生できます。



- RAW形式の写真をAndroid機器に保存するには、Android 7.0以上のOSが必要です。スマートフォンまたはOSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - [AVCHD]、[MP4]の4K動画、[MP4 HEVC]の動画
 - 6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLG フォト](HLG方式の写真)

撮影画像の自動転送

Bluetooth Wi-Fi

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

準備:

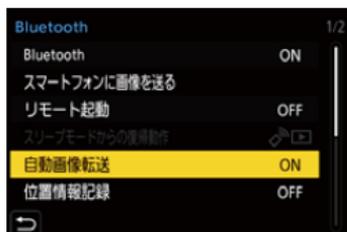
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)

1 カメラの[自動画像転送]を有効にする



[Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラにWi-Fi接続の終了確認画面が表示されたら、[はい]を選んで終了してください。



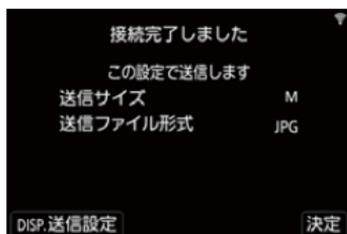
2 スマートフォンで[はい]を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- Wi-Fi接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、

MENU/SET または **OK** を押す

- 画像の送信設定を変更するには[DISP.]ボタンを押してください。(→ 373)
- 自動画像転送ができる状態になり、カメラの撮影画面に[Wi-Fi]が表示されます。(表示されないときは自動画像転送ができません。スマートフォンとのWi-Fi接続状況をご確認ください)



4 カメラで撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[送信]が表示されます。

❖ 自動画像転送を終了する

 →  →  → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。



● カメラの[Bluetooth]と[自動画像転送]を[ON]に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi / Bluetoothの接続を自動で行います。スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動して、カメラと接続してください。自動画像転送ができる状態になり、カメラの撮影画面にが表示されます。



- [自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- RAW形式の写真をAndroid機器に保存するには、Android 7.0以上のOSが必要です。スマートフォンまたはOSのバージョンによっては正しく表示されない場合があります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLG フォト](HLG方式の写真)

位置情報の記録

Bluetooth

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備:

- スマートフォンのGPS機能を有効にする
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)

1 カメラの[位置情報記録]を有効にする



[Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、カメラの撮影画面に[GPS]が表示されます。



2 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。



- 撮影画面の[GPS]が半透明で表示されるときは、位置情報が未取得のため書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。スマートフォンの取扱説明書もお読みください。
- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- AVCHD動画には、位置情報は書き込まれません。

カメラの電源操作

Bluetooth Wi-Fi

カメラの電源を切っただけでも、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備:

- 1 スマートフォンとBluetooth接続する(→ 334)
- 2 カメラの[リモート起動]を有効にする
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [リモート起動] ⇒ [ON]
- 3 カメラの電源スイッチを[OFF]にする
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

❖ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で[リモート撮影]を選ぶ

- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続を行います。

❖ カメラの電源を切る

- 1 「LUMIX Sync」のホーム画面でを選ぶ
- 2 [電源OFF操作]を選ぶ
- 3 [電源を切る]を選ぶ



- [リモート起動]を設定しているときは、カメラの電源スイッチを[OFF]にしてもBluetooth機能が動くため、バッテリーを消費します。

自動時刻合わせ

Bluetooth

カメラの時刻とタイムゾーン(時間帯)の設定をスマートフォンに合わせます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)

カメラの[自動時刻合わせ]を有効にする

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [自動時刻合わせ] ⇒ [ON]



設定情報の保存

Bluetooth Wi-Fi

カメラの設定情報をスマートフォンに保存します。保存した設定情報をカメラに読み込んで、複数のカメラを同じ設定にすることができます。

準備:

- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)

1 「LUMIX Sync」のホーム画面で  (カメラ設定コピー) を選ぶ

2 設定情報の保存、読み込みをする

- 「LUMIX Sync」の操作について詳しくは、「LUMIX Sync」の「ヘルプ」をお読みください。

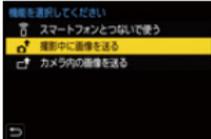
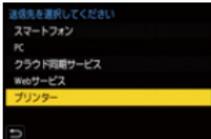
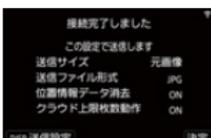


- 設定情報の読み込みができるのは、同じ機種だけです。
- 設定情報を転送するときに、Wi-Fi接続を自動で行います。(iOS機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- セットアップメニュー(設定)の[カメラ設定の保存/読み込み]と同じ項目の設定情報を保存、読み込みできます。

カメラから画像を送る

カメラを操作して、Wi-Fi接続した機器に撮影画像を送信します。

操作の流れ

1	送信方法を選ぶ カメラのメニュー操作を行い、 【撮影中に画像を送る】 と 【カメラ内の画像を送る】 から、送信方法を選びます。	
2	送信先(送信する機器の種類)を選ぶ <ul style="list-style-type: none">- スマートフォン(→ 356)- PC(→ 359)- クラウド同期サービス(→ 365)- Webサービス(→ 363)- プリンター(→ 361)	
3	接続方法を選び、Wi-Fi接続する <ul style="list-style-type: none">- [ネットワーク経由](→ 367)- [直接接続](→ 370)	
4	送信設定を確認する 必要に応じて、送信設定を変更します。 <ul style="list-style-type: none">- 送信設定の変更(→ 373)	
5	撮影中に画像を送る 写真を撮る 写真を撮るたびに、自動で画像を送信します。	カメラ内の画像を送る 画像を選ぶ 選択した画像を送信します。 <ul style="list-style-type: none">- 画像の選択(→ 374)

送信先ごとの詳細については、356～366ページで説明しています。

共通の操作については、下記のページをお読みください。

- Wi-Fi接続：ネットワーク経由(→ 367)／直接接続(→ 370)
- 送信設定の変更(→ 373)
- 画像の選択(→ 374)

❖ 送信できる画像

送信できる画像は送信先機器によって異なります。

送信先機器	送信できる画像	
	撮影中に画像を送る	カメラ内の画像を送る
スマートフォン(→ 356)	JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4
PC(→ 359)	JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4 / MP4 HEVC / AVCHD / 6K/4K連写ファイル / フォーカスセレクト画像
クラウド同期サービス (→ 365)	JPEG	JPEG / MP4
Webサービス(→ 363)	JPEG	JPEG / MP4
プリンター(→ 361)	×	JPEG

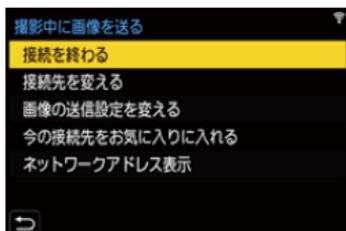
- Android機器をご使用の場合、[スマートフォン]にRAW画像を送信するには、Android 7.0以上のOSが必要です。
- [PC]にファイルサイズが4 GBを超えるAVCHD動画は送信できません。
- [スマートフォン]、[クラウド同期サービス]、[Webサービス]に4K動画は送信できません。
- [HLGフォト]で撮影したHLG方式の写真は送信できません。[スマートフォン]、[PC]、[クラウド同期サービス]、[Webサービス]には同時に記録されるRAW / JPEG画像が送信されます。



- お使いの機器によっては送信できない場合があります。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

❖ [Wi-Fi]を割り当てたFnボタン

Wi-Fi接続後に[Wi-Fi]を割り当てたFnボタンを押すと、以下の操作ができます。Fnボタンについては、[248](#)ページをお読みください。



接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi接続を終了し、別のWi-Fi接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(→ 373)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録しておくことで、次回以降、同じ接続設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(→ 376)

- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

スマートフォン

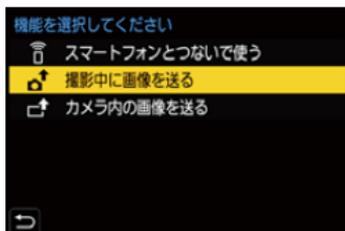
Wi-Fi接続したスマートフォンに撮影画像を転送します。

準備:

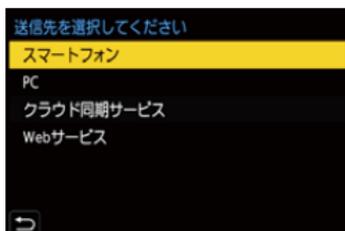
- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ 333)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る]または
[カメラ内の画像を送る]

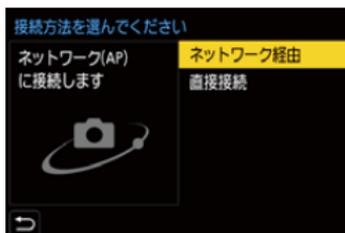


2 送信先を[スマートフォン]に設定する



3 カメラとスマートフォンをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由](→ 367)または
[直接接続](→ 370)を選び、接続してください。



4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

5 カメラで送信先のスマートフォンを選ぶ

6 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押してください。(→ 373)

7 【撮影中に画像を送る】選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[📷]が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 → [🔧] → [📶] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

【カメラ内の画像を送る】選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ 374)
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができません。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

❖ カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時にFnボタンを押すだけで、Bluetooth接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューを使って簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る]を登録したFnボタンで操作します。初期設定では[Q]ボタンに登録されています。Fnボタンについては、248ページをお読みください。

準備:

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする(→ 333)
- カメラとスマートフォンをBluetooth接続する(→ 334)
- カメラの[▶]ボタンを押して再生画面を表示する

写真を1枚送る

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2 [Q]ボタンを押す
- 3 [1枚選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.]ボタンを押してください。(→ 373)
- 4 スマートフォンで[はい]を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- 1 [Q]ボタンを押す
- 2 [複数選択]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.]ボタンを押してください。(→ 373)
- 3 画像を選び、転送する
◀▶ : 画像の選択
MENU/SET または  : 設定/解除
[DISP.] : 転送の実行
- 4 スマートフォンで[はい]を選ぶ
 - Wi-Fi接続を自動で行います。



- (iOS機器)接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続]を選んでください。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、本機能が使用できません。

メニュー操作で簡単に転送する

MENU/SET ⇒  ⇒  ⇒ [Bluetooth] ⇒ [スマートフォンに画像を送る]
設定: [1枚選択] / [複数選択]

- [1枚選択]のときは、◀▶ で画像を選び、MENU/SET または  を押して実行します。
- [複数選択]のときは、Fnボタンと同じ操作で実行できます。

パソコン

Wi-Fi接続したパソコンに撮影画像を送信します。



対応OS

Windows: Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7

Mac: OS X v10.5 ~ v10.11, macOS 10.12 ~ 10.14

準備:

- パソコンの電源を入れる
- 画像を受信するフォルダーを作成する
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合は、[PC接続設定]でカメラの設定も変更する(→ 375)

❖ 画像を受信するフォルダーを作成する

Windowsをお使いの場合(Windows 7の例)

- ① 受信するフォルダーを選択し、右クリックする
 - ② 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
- PHOTOfunSTUDIOを使用してフォルダーを作成することもできます。
詳しくは、PHOTOfunSTUDIOの取扱説明書をお読みください。

Macをお使いの場合(OS X v10.8の例)

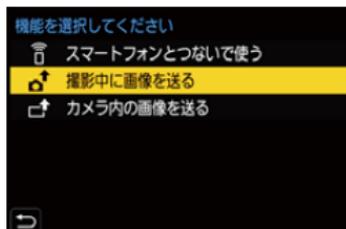
- ① 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」⇒「情報を見る」
- ② フォルダーに共有の設定をする



- パソコンのアカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。
- コンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15文字以内の英数字のみに変更することをお勧めします。
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る]または
[カメラ内の画像を送る]

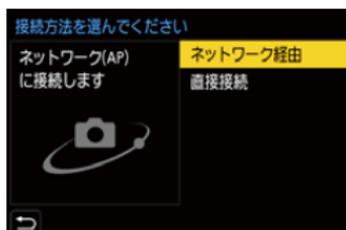


2 送信先を[PC]に設定する



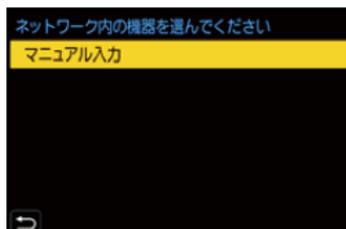
3 カメラとパソコンを Wi-Fi 接続する

- [ネットワーク経由](→ 367)または [直接接続](→ 370)を選び、接続してください。



4 接続したいパソコンのコンピューター名(Macの場合は NetBIOS名)を入力する

- 文字の入力方法については、329ページをお読みください。



5 画像を保存するフォルダーを選ぶ

- 選択したフォルダーの中に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。



6 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ 373)

7 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に  が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 →  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択] または [複数選択] を選び、画像を選んでください。(→ 374)
- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。



- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- OSおよびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができません。
- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi機能] が使用できません。

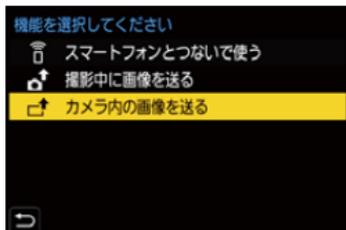
プリンター

Wi-Fi接続したPictBridge(ワイヤレスLAN)*対応プリンターに画像を送信して印刷できます。

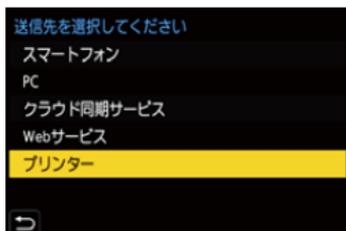
* DPS over IP規格準拠

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] →
[カメラ内の画像を送る]

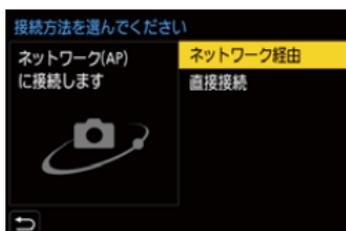


2 送信先を[プリンター]に設定する



3 カメラとプリンターをWi-Fi接続する

- [ネットワーク経由](→ 367)または
[直接接続](→ 370)を選び、接続してください。



4 送信先のプリンターを選ぶ

5 画像を選んでプリントする

- 画像の選び方はUSB接続ケーブルで接続する場合と同じです。(→ 393)
- 接続を終了するには、 ボタンを押してください。
- [Wi-Fi]を割り当てたFnボタンを押しても接続を終了できません。Fnボタンについては、248ページをお読みください。

-  PictBridge(ワイヤレスLAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

Web サービス

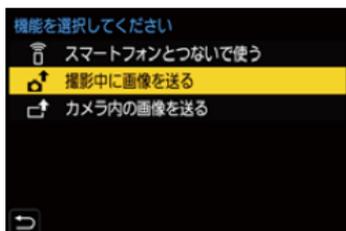
撮影した画像を、LUMIX CLUB (PicMate) 経由で SNS などの Web サービスにアップできます。

準備:

- LUMIX CLUB (PicMate) に登録する (→ 376)
- LUMIX CLUB (PicMate) 以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスに登録する (→ 378)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る] または
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を [Web サービス] に設定する



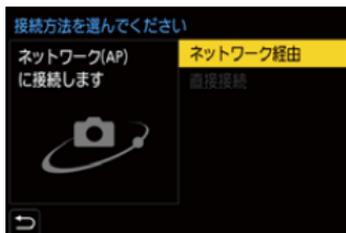
3 Web サービスに接続する

- [ネットワーク経由] を選び、接続してください。(→ 367)

4 Web サービスを選ぶ

5 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(→ 373)



6 【撮影中に画像を送る】選択時

写真を撮る

- 写真を撮るたびに、指定したサービスに自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面に[📷]が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 → [🔧] → [📶] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

【カメラ内の画像を送る】選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ 374)
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate)に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- Webサービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Webサービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Webサービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Webサービスにアップロードした画像を本機で表示または消去することはできません。
- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Webサービスに画像をアップロードする際は、よくご確認ください。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

クラウド同期サービス

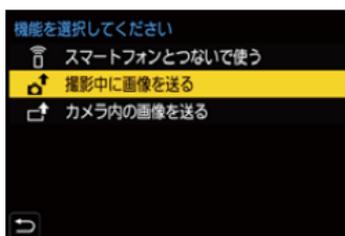
撮影した画像を、LUMIX CLUB (PicMate) 経由でクラウド同期サービスへ自動転送し、パソコンやスマートフォンに送ることができます。

[クラウド同期サービス]を利用するには(2019年1月現在)

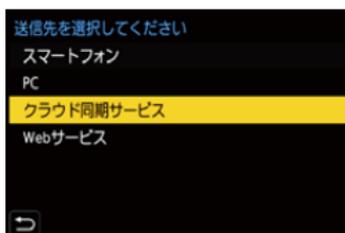
- クラウドフォルダーに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(→ 376)とクラウド同期設定が必要です。クラウド同期設定は、「PHOTOfunSTUDIO」で設定してください。
- 送信した画像はクラウドフォルダーに一時保存されます。パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期できます。
- クラウドフォルダーに送信した画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。以下の場合は自動で消去されます。
 - 送信後30日を超えた場合(30日以内であっても指定した機器すべてにダウンロードされた場合は消去されることがあります)
 - 1000枚を超えた場合([クラウド上限枚数動作](→ 373)の設定によります)

1 カメラで画像の送信方法を選ぶ

-  →  →  →
[Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] →
[撮影中に画像を送る]または
[カメラ内の画像を送る]



2 送信先を[クラウド同期サービス]に設定する



3 クラウド同期サービスに接続する

- [ネットワーク経由]を選び、接続してください。(→ 367)

4 送信設定を確認し、 または を押す

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押してください。(→ 373)



5 [撮影中に画像を送る]選択時 写真を撮る

- 写真を撮るたびに、クラウド同期サービスに自動で画像を送信します。
- ファイル送信中はカメラの撮影画面にが表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

 →  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

[カメラ内の画像を送る]選択時

画像を選ぶ

- [1枚選択]または[複数選択]を選び、画像を選んでください。(→ 374)
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。

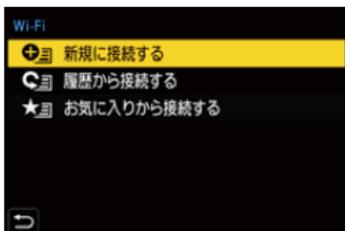


- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合は、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定しているときは、[Wi-Fi機能]が使用できません。

Wi-Fi接続

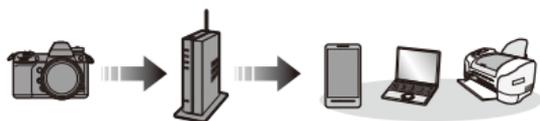
セットアップメニュー(IN/OUT)の[Wi-Fi]の[Wi-Fi機能]で[新規に接続する]を選んだ場合、接続方法を[ネットワーク経由]と[直接接続]から選んで接続します。

[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]の場合、以前と同じ設定で接続します。

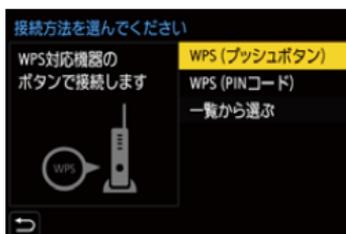


ネットワーク経由

カメラと送信先機器を無線アクセスポイント経由で接続します。



無線アクセスポイントとの接続方法を選ぶ



WPS (プッシュボタン) (→ 368)	無線アクセスポイントのWPS ボタンを押して接続します。
WPS (PINコード) (→ 368)	無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。
一覧から選ぶ (→ 368)	利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



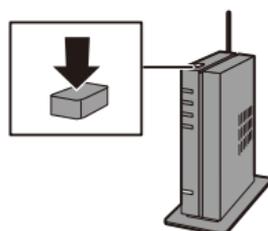
- 2回目以降に[ネットワーク経由]を選んだときは、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続する無線アクセスポイントを変更する場合は、[DISP]ボタンを押して、接続先を変更してください。

❖ WPS (プッシュボタン)

無線アクセスポイントのWPSボタンを押して接続します。

無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す

(例)



❖ WPS (PINコード)

無線アクセスポイントにPINコードを入力して接続します。

- 1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ
- 2 カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する
- 3 カメラの  または  を押す



• WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティの設定を簡単にできる機能です。操作方法やWPSに対応しているかどうかについて詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

❖ 一覧から選ぶ

利用する無線アクセスポイントを検索して接続します。



• 無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

- 1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ
 - [DISP.]ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
 - 無線アクセスポイントが見つからない場合は369ページの「マニュアル入力で接続する」をお読みください。
- 2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する
 - 文字の入力方法については、329ページをお読みください。



❖ マニュアル入力で接続する



- お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

- ① 「一覧から選ぶ」手順①の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ(→ 368)
- ② 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
 - 文字の入力方法については、329ページをお読みください。
- ③ ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA2-PSK	対応する暗号化方式: TKIP、AES
WPA2 / WPA-PSK	
暗号化なし	—

- ④ ([暗号化なし]以外選択時)
暗号化キーを入力して[決定]を選ぶ



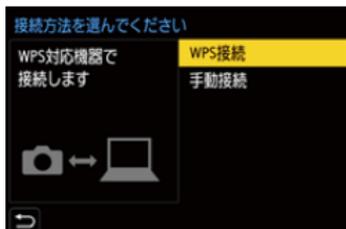
- 無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(→ 410)、「Q&A 故障かな?と思ったら」(→ 413)をご確認ください。
- お使いの環境によっては、無線アクセスポイントとの通信速度が低下する場合や、無線アクセスポイントが利用できない場合があります。

直接接続

カメラと送信先機器を直接接続します。



送信先機器との接続方法を選ぶ



WPS接続	WPS (フッシュボタン)	送信先機器のWPSボタンを押して接続します。 <ul style="list-style-type: none"> カメラの[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	WPS (PINコード)	カメラにPINコードを入力して接続します。
手動接続	送信先機器でカメラを検索して接続します。カメラに表示されているSSIDとパスワードを、機器に入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> 接続先が[スマートフォン]の場合は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。(→ 338) 	A screenshot of the camera's manual connection screen. It says "パスワードを入力してください" (Please enter the password) and "接続先を選択してください" (Please select the connection destination). Below that, there is a small icon of a camera and a laptop connected by a double-headed arrow. At the bottom, there is a rounded rectangular input field for the password, with the text "パスワード: " followed by a series of dots.



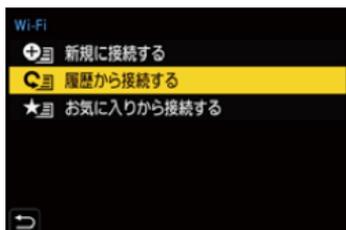
- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fiの接続履歴を使って、以前と同じ設定で接続できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  →  →  →
 [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
 [履歴から接続する]
 または[お気に入りから接続する]



2 接続する履歴を選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと接続履歴の詳細を確認できます。



• 接続する機器の設定が変更されていると、接続できない場合があります。

❖ お気に入り登録

Wi-Fiの接続履歴をお気に入りに登録できます。

1 Wi-Fi接続の履歴を表示する

-  →  →  → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

2 登録する履歴を選び、▶を押す

3 登録名を入力して[決定]を選ぶ

- 文字の入力方法については、329ページをお読みください。
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

❖ お気に入り登録した項目の編集

① お気に入り履歴を表示する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi機能] ⇒ [お気に入りから接続する]

② 編集するお気に入り履歴を選び、▶を押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選び、表示する順番を変更します。
登録名を変える	文字を入力し、登録名を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 文字の入力方法については、329ページをお読みください。



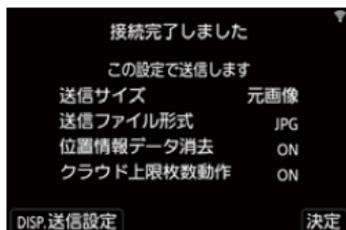
- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、履歴とお気に入り登録した内容が消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。(→ [338](#))
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する]で接続してください。

送信設定、画像の選択

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

- 1 **Wi-Fi接続後に送信設定の確認画面が表示されたら、[DISP.]ボタンを押す**
- 2 **送信設定を変更する**



送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [自動] / [変更] ([M]、[S]または[VGA]) <ul style="list-style-type: none">• [自動]の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。(送信先が[Web サービス]の場合に設定できます)
送信ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 [JPG] / [RAW+JPG] / [RAW] <ul style="list-style-type: none">• 送信先が[スマートフォン]、[PC]の場合に設定できます。
位置情報データ消去	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 <ul style="list-style-type: none">• 送信先が[クラウド同期サービス]または[Web サービス]の場合に設定できます。• 位置情報が消去されるのは送信した画像だけです。
クラウド上限枚数動作	クラウドフォルダーの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON]: 画像を送信しません。 [OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。 <ul style="list-style-type: none">• 送信先が[クラウド同期サービス]の場合に設定できます。

画像の選択

[カメラ内の画像を送る]で送信するときは、以下の手順で画像を選択してください。

1 [1枚選択]または[複数選択]を選ぶ

2 画像を選ぶ

[1枚選択]を選択したとき

- 1 ◀▶ で画像を選ぶ
- 2  または  を押す



[複数選択]を選択したとき

- 1 ▲▼◀▶ で画像を選び、 または  を押す(繰り返す)
 - 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。
 - カードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[] ボタンを押してください。
 - 一度に選択できるのは、1枚のカード内の画像だけです。
- 2 [DISP.] ボタンを押して実行する



Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

Wi-Fi設定メニューを表示する

-  ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定]

リモート優先操作設定	リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(→ 344)
Wi-Fiパスワード	パスワードを利用して接続することで、セキュリティをより強化できます。(→ 340)
PicMate設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDの取得や変更を行います。(→ 377)
PC接続設定	ワークグループ名を設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (初期設定では「WORKGROUP」に設定されています) <ul style="list-style-type: none">● ワークグループ名を変更するには、 または  を押してからワークグループ名を入力してください。 文字の入力方法については、329ページをお読みください。● 初期設定に戻すには、[DISP] ボタンを押してください。
機器名称	カメラの名前 (SSID) を変更できます。 <ul style="list-style-type: none">● SSID名を変更するには、[DISP] ボタンを押してからSSID名を入力してください。 文字の入力方法については、329ページをお読みください。● 入力できる文字数は最大32文字です。

Wi-Fi機能ロック	<p>誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防止し、カメラ内および撮影した画像に含まれる個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護します。</p> <p>[設定]: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文字の入力方法については、329ページをお読みください。 <p>[解除]: パスワードを解除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを設定すると、Wi-Fi機能を使用する際にパスワードの入力が必要になります。 • パスワードを忘れた場合、セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットすると、パスワードをリセットできます。
ネットワークアドレス表示	<p>カメラのMACアドレスとIPアドレスを表示します。</p>

LUMIX CLUB (PicMate)

「LUMIX CLUB (PicMate)」は、デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。

詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>



カメラとの連携サービスを利用する場合は、下記のサイトにアクセスしてください。

<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>



- 本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

❖ カメラで新規ログインIDを取得する

カメラのメニューから「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得します。

① メニューを設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒
[Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate 設定] ⇒
[ログイン・新規登録] ⇒ [新規登録]
- ネットワークに接続します。[次へ]を選ぶと、次のページへ進みます。



② 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する(→ 367)

- 初回接続時以外は、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続先を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押してください。
- [次へ]を選ぶと、次のページへ進みます。

③ LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選ぶ

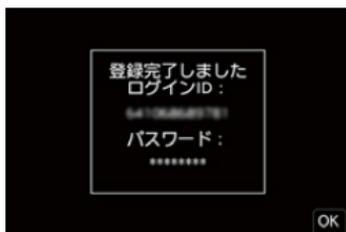
- ページを切り換える：▲▼
- 拡大表示する： を右に回す(元に戻す： を左に回す)
- 拡大位置を移動する：▲▼◀▶
- 登録せずに中止する：[↶]ボタン

④ パスワードを入力する

- 英数字交じり8～16桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字の入力方法については、329ページをお読みください。

⑤ ログインIDを確認し、[OK]を選ぶ

- ログインIDとパスワードは必ず控えを取ってください。
- ログインID(数字12桁)は自動で発行されます。



❖ Webサービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する



- 「LUMIX CLUB (PicMate)」が対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
https://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/



準備:

- 利用するWebサービスでアカウントを作成し、ログイン情報を用意する

- スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスする
<https://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする
 - 「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録してください。
- 「Webサービス連携設定」で利用するWebサービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って操作してください。



❖ ログインIDやパスワードの確認／変更

準備:

- 取得済みのログインIDを使う場合は、IDとパスワードを確認する
- パスワードを変更する場合は、パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更する

- メニューを設定する
 - MENU/SET ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate設定] ⇒ [ログイン・新規登録] ⇒ [ログインID設定]
 - ログインIDとパスワードが表示されます。
 - パスワードは「*」で表示されます。
- 変更する項目を選ぶ
- ログインIDまたはパスワードを入力する
 - 文字の入力方法については、[329](#)ページをお読みください。
- [終了]を選ぶ



❖ 「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合に内容を確認できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate設定] ⇒ [利用規約確認] を選ぶ

❖ ログインIDの消去／「LUMIX CLUB (PicMate)」の退会

本機を譲渡／廃棄する場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。



• 変更、消去できるのは、本機で取得したログインIDだけです。

① メニューを設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [Wi-Fi] ⇒ [Wi-Fi設定] ⇒ [PicMate設定] ⇒ [消去・退会]
- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

② ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。

③ 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。
- 退会しない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去だけが実行されます。

④ [OK]を選ぶ

16. 他機器との接続

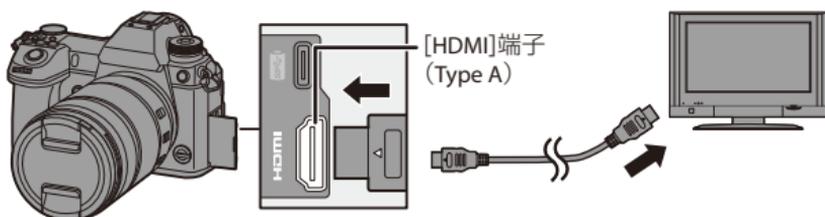
テレビで見る

カメラをテレビに接続して、撮影した写真や動画をテレビで見ることができます。

準備:

- カメラとテレビの電源を切る

1 市販のHDMIケーブルでカメラとテレビをつなぐ



- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

2 テレビの電源を入れる

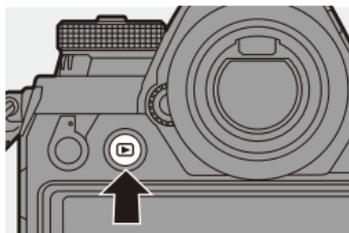
3 テレビの入力を切り換える

- HDMIケーブルを接続した端子に合わせてテレビの入力を切り換えます。

4 カメラの電源を入れる

5 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。
- 撮影した画像がテレビに表示されます。(カメラのモニターやファインダーは消灯します)
- 初期設定では、接続したテレビに合わせて最適な解像度で出力されます。[HDMI 出力解像度(再生時)]で出力解像度を変更することもできます。(→ 317)
- 画像の横縦比によっては、上下左右にグレーの帯が表示されることがあります。セットアップメニュー(IN/OUT)の[テレビ接続設定]の[画像背景色(再生時)]で帯の色を変更できます。(→ 317)



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。
- HDMI出力中は、カメラのスピーカーから音声は出ません。
- USB接続ケーブルと同時に接続すると、[HDMI]端子は動きません。ACアダプターを使った給電は可能です。
- 以下の条件でカメラの温度が上昇すると、[△]が表示されHDMI出力を停止する場合があります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 連続でHDMI出力中
 - 周囲の温度が高い
- 画像の上下が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

❖ ビエラリンク(HDMI)を使う

비에라링크(HDMI) (HDAVI Control™)とは、カメラとHDMIケーブルを使って接続した비에라링크対応機器を自動で連動させて、비에라의リモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)



• 비에라링크(HDMI)を使うにはテレビ側でも設定が必要です。設定方法については、テレビの取扱説明書をお読みください。

- 1 市販のHDMIケーブルで、カメラと비에라링크(HDMI)に対応した当社製テレビ(비에라)をつなぐ(→ 380)
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 비에라링크をオンにする
 - ⇒ ⇒ ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [비에라링크] ⇒ [ON]
- 4 再生画面を表示する
 - ボタンを押します。
- 5 テレビのリモコンで操作する

電源オフ連動

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、カメラの電源も連動して切れます。

自動入力切換

カメラの電源を入れ、 ボタンを押すと、テレビの入力が自動でカメラを接続した入力に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。
- 비에라링크(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機は、비에라링크(HDMI) Ver.5に対応しています。비에라링크(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製비에라링크機器にも対応した当社基準です。
- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。

パソコンに画像を取り込む

カメラをパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。Windowsの場合は、付属ソフト「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしてコピーします。(→ 383) Macの場合は、カード内のファイルやフォルダーをドラッグアンドドロップしてコピーします。(→ 387)

また、RAW画像の現像・編集にはSILKYPIX Developer Studio(Windows版／Mac版)を、動画の編集にはLoiLoScope(Windows版)をご利用いただけます。

ソフトウェアのインストール

撮影した画像の整理や補正、RAW現像、動画編集などを行うためのソフトウェアをインストールします。



- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応OSは2019年1月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。

❖ PHOTOfunSTUDIO 10.1 PE

写真や動画をパソコンに取り込み、撮影日や機種名で分類して整理するなど、画像を管理できるソフトウェアです。さらに、DVDへの画像の書き込みや、画像補正、動画の編集もできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs1001pe.html
ダウンロード有効期限：2024年3月

動作環境

対応OS	Windows 10(32 bit / 64 bit) Windows 8.1 (32 bit / 64 bit) Windows 7(32 bit / 64 bit) SP1 • 4K動画、[MP4 HEVC]の動画、6K/4Kフォトをご利用の場合、Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7の64 bit版OSが必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz以上
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB以上(32 bit)、2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量

- 4K動画、[MP4 HEVC]の動画の再生・編集機能や、6K/4Kフォトの写真切り出し機能をご利用の場合、高性能なパソコン環境が必要です。詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使用できません。

❖ SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10 Windows 8.1 Windows 7
	Mac	OS X v10.6.8～v10.11 macOS 10.12～10.14

- SILKYPIX Developer Studioの使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトウェアラボラトリーのサポートサイトをお読みください。

❖ LoiLoScope-30日間フル体験版

簡単に動画編集できるソフトウェアです。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<http://loilo.tv/product/20>

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10 Windows 8.1 Windows 8 Windows 7
------	---------	---

- 30日間の無料体験版をダウンロードできます。
- LoiLoScopeの詳しい使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」はMacでは使用できません。

パソコンに画像をコピーする

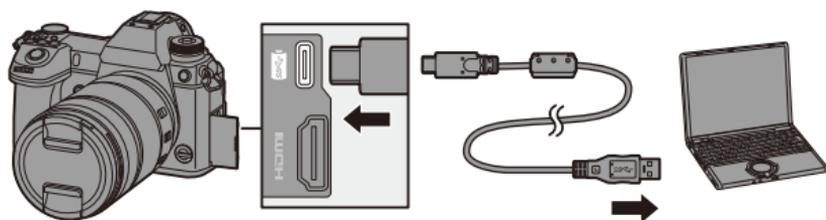
「PHOTOfunSTUDIO」を使って撮影した画像をパソコンにコピーします。

- ❗ • Macをお使いの場合など、「PHOTOfunSTUDIO」をインストールできない場合は、[387ページ](#)をお読みください。
- AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込むことができない場合があります。
 - Windowsの場合、AVCHD動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
 - Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、動画画質によっては、取り込むことができません。(iMovieの詳細は、Appleにお問い合わせください)

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする(→ [383](#))

1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとパソコンをつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

2 ▲▼で[PC (Storage)]を選び、 または を押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去したり移動したりしないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生や編集ができなくなります。



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC (Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ 315)



- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作してUSB接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

❖ 「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

Macをお使いの場合など、「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

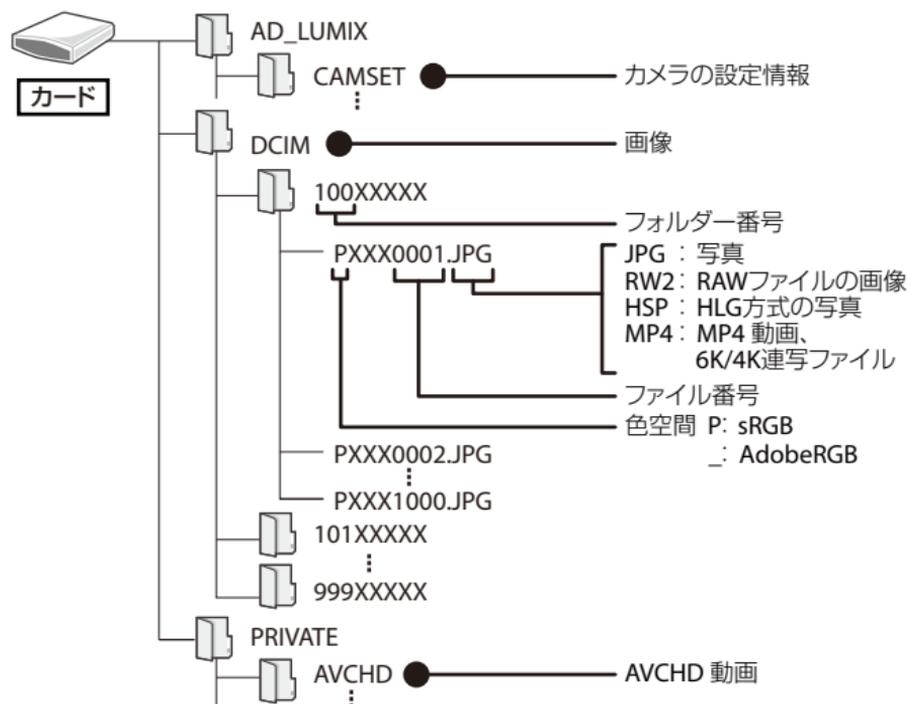
動作環境

マストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できる、以下のパソコンに接続できます。

対応OS	Windows	Windows 10 Windows 8.1 Windows 8 Windows 7
	Mac	OS X v10.5～v10.11、 macOS 10.12～10.14

❖ カード内のフォルダー構造

Windowsの場合は、「コンピューター」にドライブ(「LUMIX」)を表示します。Macの場合は、デスクトップ上にドライブ(「LUMIX」)を表示します。



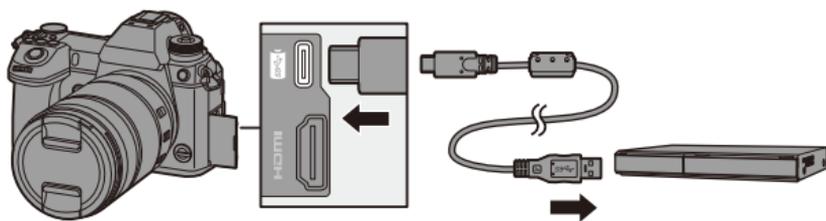
レコーダーにダビングする

カメラを当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーに接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備:

- カメラとレコーダーの電源を入れる
- ダビングする画像はXQDカードに保存し、カードスロット1に入れる

1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとレコーダーをつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

2 ▲▼で[PC (Storage)]を選び、 または を押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 レコーダーを操作してダビングする



- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC (Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でレコーダーと接続します。(→ 315)



- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- レコーダーによっては、4K動画などに対応していない場合があります。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- ダビングや再生の方法については、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

テザー撮影

パソコンにカメラ制御ソフトウェア「LUMIX Tether」をインストールすると、USB接続したパソコンからカメラを制御し、パソコンの画面でライブビューを確認しながら撮影できます（テザー撮影）。また、テザー撮影中に別の外部モニターやテレビにHDMI出力することもできます。

ソフトウェアのインストール

❖ LUMIX Tether

カメラをパソコンから制御するためのソフトウェアです。各種設定の変更やリモート撮影ができ、リモート撮影後に画像をパソコンに保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html

動作環境

対応OS	Windows	Windows 10、Windows 8.1、Windows 7
	Mac	OS X v10.10～v10.11、macOS 10.12および10.13
インターフェース	USB端子 (SuperSpeed USB (USB3.0))	



- 対応OSは2019年1月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。
- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 操作方法については、「LUMIX Tether」の「操作ガイド」をお読みください。

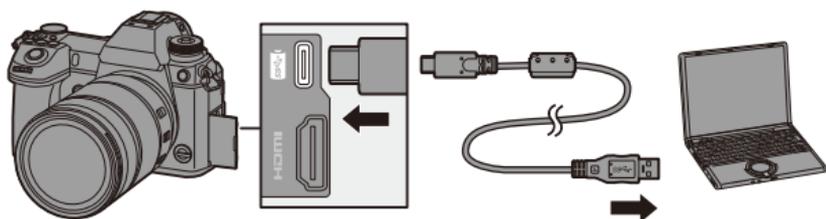
パソコンからカメラを操作する

- 外部モニターやテレビにHDMI出力する場合は、HDMIケーブルでカメラと外部モニター、テレビをつないでください。(→ 380)

準備:

- カメラとパソコンの電源を入れる
- パソコンに「LUMIX Tether」をインストールする

1 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとパソコンをつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

2 ▲▼で[PC (Tether)]を選び、MENU または を押す

- 画面に[]が表示されます。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 「LUMIX Tether」を使ってパソコンからカメラを操作する

- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PC (Tether)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(→ 315)
- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- [PC (Tether)]でパソコンと接続しているときは、Wi-Fi / Bluetooth機能は使用できません。

プリントする

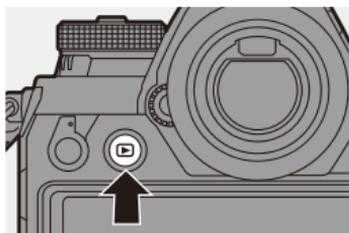
PictBridge対応のプリンターに接続すると、カメラのモニターで写真を選択してプリントできます。

準備:

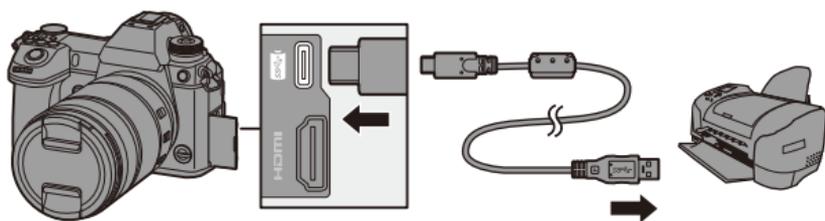
- カメラとプリンターの電源を入れる
- プリンター側で印刷品質などを設定する

1 再生画面を表示する

- [▶] ボタンを押します。
- 画像はカードスロットごとに表示されます。表示するカードを切り換えるには、[⏏] ボタンを押したあと、▲▼で[スロット1(XQD)]または[スロット2(SD)]を選び、 または  を押します。
- Fnボタンの[スロット切換](→ 254)でも、表示するカードを選ぶことができます。
- プリンター接続後は、プリントするカードを切り換えることはできません。



2 USB接続ケーブル(C-CまたはA-C)でカメラとプリンターをつなぐ



- プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

3 ▲▼で[PictBridge (PTP)]を選び、 または を押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

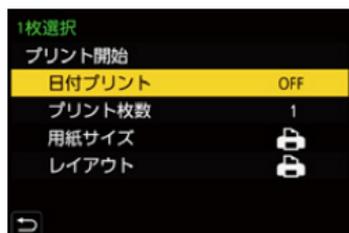
4 ◀▶で写真を選び、 または を押す

- 複数枚の写真をプリントするには、▲を押したあと、写真の選択方法を設定して写真を選んでください。



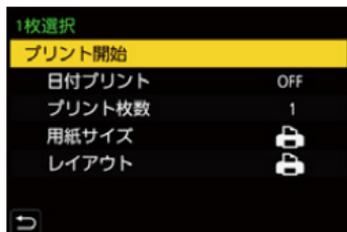
複数選択	<p>プリントする写真を選びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲▼◀▶で写真を選び、 または  を押す <ul style="list-style-type: none"> • 設定を解除するには、もう一度  または  を押してください。 [DISP.]ボタンを押して選択を終了する
全画像	保存されているすべての写真をプリントします。
レーティング	[★1]~[★5]に[レーティング]設定されたすべての写真をプリントします。

5 プリント設定をする



6 プリントを開始する

- [プリント開始]を選び、 または  を押します。



❖ 設定項目(プリント設定)

プリント開始	プリントを開始します。
日付プリント	日付プリントを設定します。 • プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。
プリント枚数	プリントする枚数(最大999枚まで)を設定します。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。



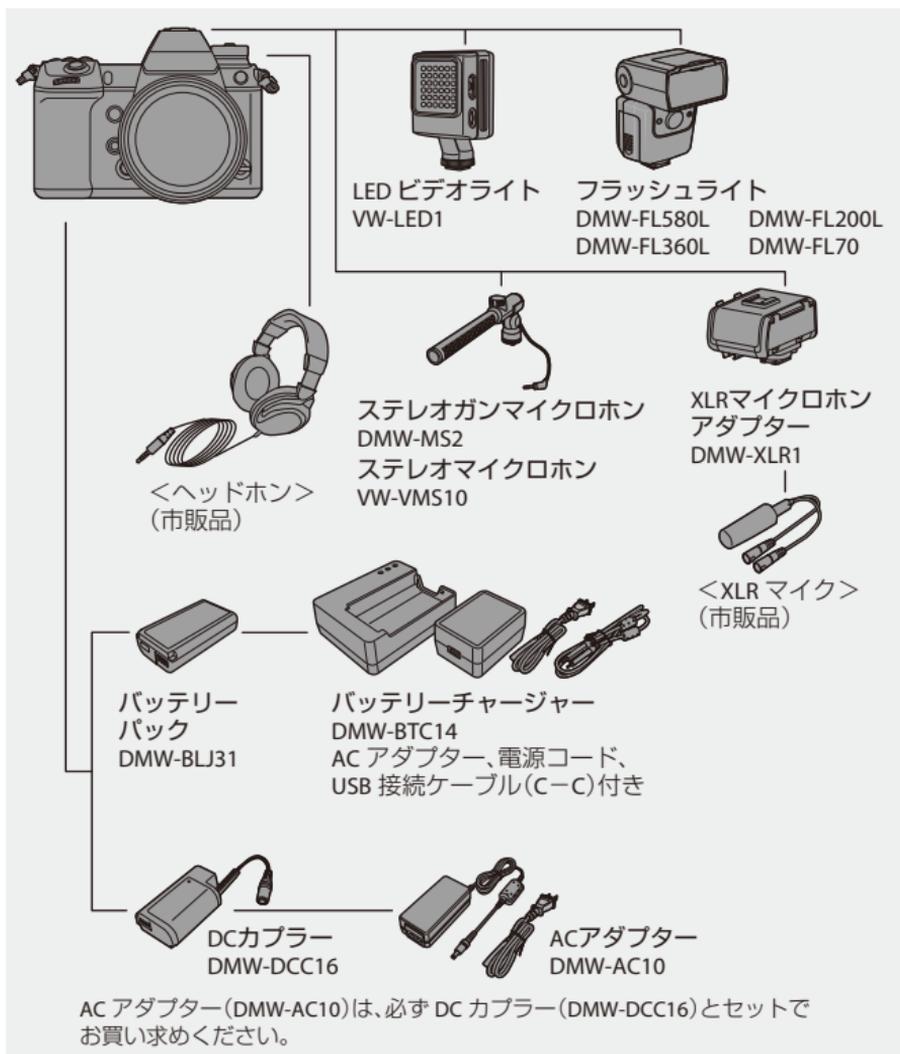
- セットアップメニュー(IN/OUT)の[USBモード]を[PictBridge (PTP)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動でプリンターと接続します。(→ 315)

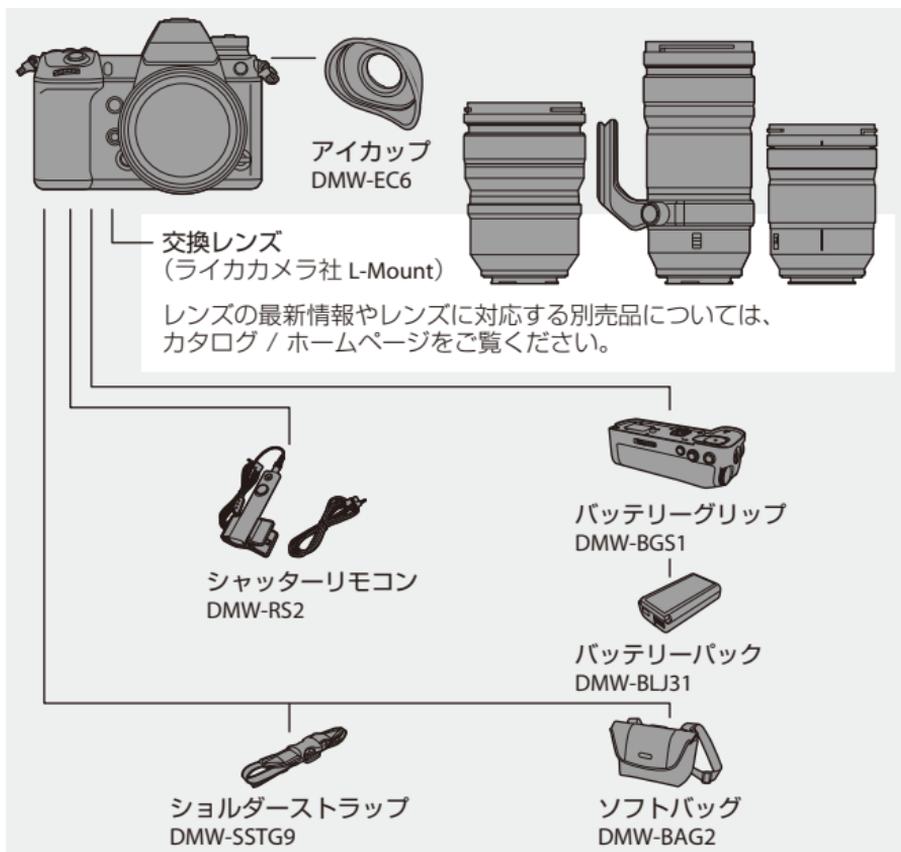


- 付属のUSB接続ケーブル(C-CおよびA-C)以外は使用しないでください。
- プリント中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- プリンターと接続できないときは、[USB給電]を[OFF]にし、再度接続してください。(→ 315)
-  (ケーブル切断禁止アイコン)表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- カメラからカードを取り出す前に、カメラの電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- カメラが対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには、[用紙サイズ]および[レイアウト]の設定をにして、プリンター側で設定してください。(詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください)
- プリント中に黄色のが表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多いと、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW画像をプリントすると、同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像が記録されていない場合は、プリントできません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、プリントできません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [HLGフォト]

17. 資料

別売品のご紹介





• 別売品の最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

記載の品番は2019年1月現在のものです。変更されることがあります。

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



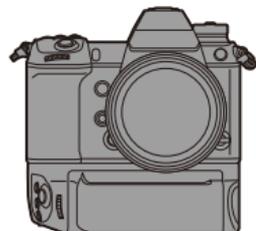
Panasonic Store

別売品を使う

- 外部フラッシュについては、195ページをお読みください。
- 外部マイクについては、228ページをお読みください。
- XLRマイクロホンアダプターについては、230ページをお読みください。

バッテリーグリップ(別売)

バッテリーグリップ(別売:DMW-BGS1)をカメラに装着すると、縦位置撮影の操作性やホールド感を向上できます。また、バッテリーグリップにバッテリーを装着することで、長時間の撮影でも安定して電源を供給できます。



❖ 優先的に使用するバッテリーを選ぶ

カメラとバッテリーグリップの両方にバッテリーを装着している場合に、どちらのバッテリーを先に使用するかを選択します。

カメラ本体でバッテリーを充電するときの順番も、この設定に従います。

準備:

- カメラの電源を切り、バッテリーグリップ接点カバーを外す

- 1 カメラにバッテリーグリップを取り付ける
- 2 カメラの電源を入れる
- 3 バッテリーの使用順序を設定する

- ⇒ ⇒ ⇒ [バッテリー使用順序]

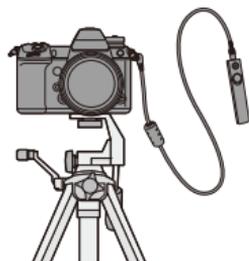
本体優先	カメラ側のバッテリーを先に使用します。
BG優先	バッテリーグリップ側のバッテリーを先に使用します。

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中は、画面に が表示されます。
- バッテリーグリップの [Fn] ボタンや [WB] ボタン、[ISO] ボタン、 ボタンに、お好みの機能を割り当てることができます。(→ 248)
- 詳しくは、バッテリーグリップの取扱説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラにつないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始/終了する



❖ シャッターリモコンの動画ボタン

動画を撮影しないときは、動画ボタンを無効にして、誤操作を防止できます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [リモコンの動画ボタン] を選ぶ
 設定: [ON] / [OFF]



- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

ACアダプター(別売) / DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC16)を使うと、バッテリー残量を気にせずに撮影や再生ができます。



- ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。
- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴がカメラ内部に付着、侵入しないようにしてください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。

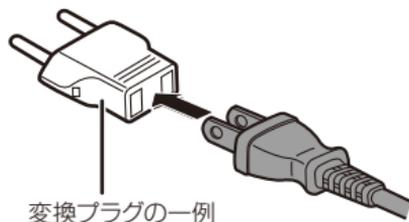
海外旅行先で使う

ACアダプターは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- ❗ 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、電源プラグと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

❖ 変換プラグの付け方

図の向きに差し込む



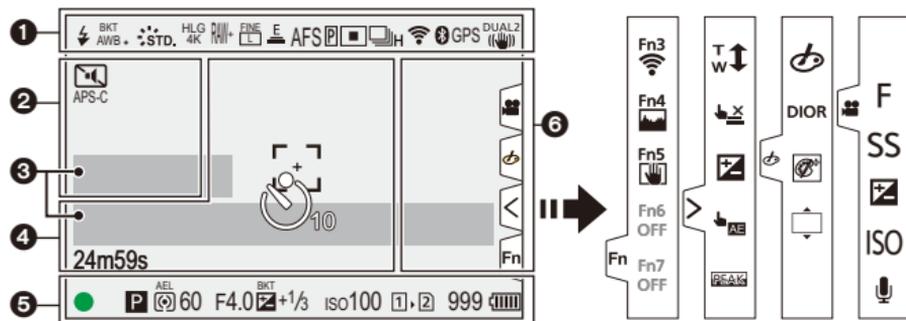
❖ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A		
ヨーロッパ							
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE
ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE	スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE
デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE
アジア							
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)
大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O	中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O
ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア							
オーストラリア	O	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O				
中南米							
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	ペルトリコ	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE
中東・アフリカ							
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE
南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE				
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロッパタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

モニター／ファインダーの表示

- 画面は[LVF/モニター表示設定]を[]にしたときのモニター表示の例です。

撮影画面



	フラッシュモード(→ 198)
	フラッシュ設定(→200, 203)
AWBc AWBw 	ホワイトバランス(→ 176)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット、ホワイトバランス(色温度)ブラケット(→ 145)
AWB + AWB -	ホワイトバランス調整(→ 178)
	フォトスタイル(→ 180)
*POP	フィルター設定(→ 184)／ フィルター効果調整(→ 184)
HLG FULL HLG 4K	HLGフォト(→ 193)

RAW+ 	写真画質(→ 81)／ 画像サイズ(→ 80)
STD M	EXテレコン(写真)(→ 114)
EXM	記録ファイル方式／ 動画画質(→ 209)
MP4 FHD 60P	電子シャッター(→ 153)
E	180fps ハイスピード動画(→ 222)
AFS AFC MF	フォーカスモード (→85, 109)
BKT AFS	フォーカスブラケット(→ 144)
AFL	AFロック(→ 173)
P	ピーキング(→ 277)
	AFモード(→ 91)
C1	
	連写(→ 117)

	6K/4Kフォト(→ 120)
	フォーカスセレクト(→ 146)
	インターバル撮影(→ 132)
	コマ撮りアニメ撮影 (→ 135)
	セルフタイマー(→ 139)
	Wi-Fi接続状態
	Bluetooth接続状態 (→ 335)
GPS	位置情報記録(→ 350)
	手ブレ補正(→ 155)
	手ブレ警告(→ 156)

2

PRE	プリ記録(→ 123)
APS-C PIXEL PIXEL	動画撮影範囲(→ 213)
	多重露出(→ 282)
	サイレントモード(→ 152)
FLICKER	フリッカー軽減(写真) (→ 281)
	ハイレゾモード(→ 190)
	オーバーレイ表示(→ 308)
LMT OFF	録音レベルリミッター (OFF)(→ 218)
	外部マイク(→ 228)
XLR	XLRマイクアダプター設定 (→ 230)
	HLGビューアシスト (→ 308)

3

露出メーター(→ 305)
録音レベル(→ 218)

4

	AFエリア(→ 104)
	ヒストグラム(→ 302)
+	スポット測光ターゲット (→ 160)
+	センターマーカー(→ 303)
	セルフタイマー(→ 139)
	ロックレバー(→ 64)
XXmXXs	記録経過時間(→ 207)
LVF/ MON/AUTO	ファインダー／モニター自 動切換(→ 66)
	画像送信中(→ 348)

5

	フォーカス(緑点灯)(→ 60)／ 記録動作表示(赤点灯) (→ 191, 207)
LOW 	フォーカス(低照度時) (→ 87)
STAR 	フォーカス(星空AF時) (→ 87)
	フラッシュ発光量調整 (→ 201)
iA P A S M P C3-1 P	撮影モード(→ 61)
	プログラムシフト(→ 162)

	測光モード(→ 160)
	AEL AEロック(→ 173)
60	シャッタースピード(→ 60)
F4.0	絞り値(→ 60)
	絞りブラケット(→ 143)
	露出補正值(→ 171)
	露出ブラケット(→ 143)
	マニュアル露出アシスト (→ 168)
iso100	ISO感度(→ 174)
	カードアクセス表示 (赤点灯)(→ 207)
	リレー記録(→ 82)
	バックアップ記録(→ 82)
	振り分け記録(→ 82)
	カードなし
	カード残量なし
999	記録可能枚数(→ 436)
r20	連続撮影可能枚数(→ 118)
XXmXXs	記録可能時間(→ 437)
	バッテリー残量(→ 46)
	給電(→ 45)
	バッテリーグリップ (→ 398)

6

タッチタブ(→ 297)

	Fnボタン(→ 255)
	タッチズーム(→ 115)
	タッチシャッター(→ 77)
	露出補正(→ 171)
	タッチAE(→ 78)
	ピーキング(→ 277)
	ぼかし方(ジオラマ) (→ 187)
	ワンポイントカラー (→ 188)
	光源の位置(サンシャイン) (→ 188)
	フィルター効果調整(→ 184)
	フィルターの入/切(→ 186)
DIOR	フィルター設定(→ 184)
F	絞り値(→ 60)
SS	シャッタースピード(→ 60)
	露出補正(→ 171)
ISO	ISO感度(→ 174)
	録音レベル設定(→ 218)
	温度上昇警告アイコン (→ 414)

❖ コントロールパネル



1

	撮影モード(→ 61)
1/60	シャッタースピード(→ 60)
F4.0	絞り値(→ 60)
	バッテリー残量(→ 46)
	給電(→ 45)
	バッテリーグリップ (→ 398)
	Wi-Fi／Bluetooth (→ 330)

2

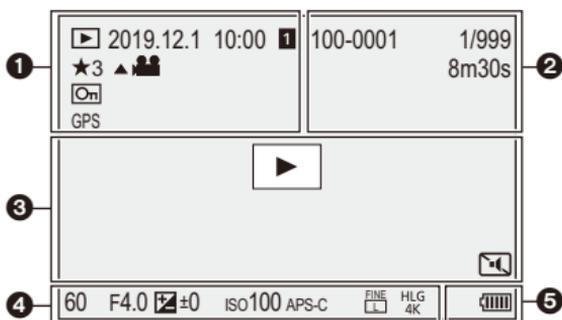
	ISO感度(→ 174)
	露出補正值(→ 171)
	マニュアル露出アシスト (→ 168)
	フラッシュモード(→ 198)

	フラッシュ設定 (→200、201、203)

3

	単写(→ 116)
	連写(→ 117)
	6K/4K フォト(→ 120)
	フォーカスセレクト (→ 146)
	インターバル撮影 (→ 132)
	コマ撮りアニメ撮影 (→ 135)
	セルフタイマー (→ 139)
	ハイレゾモード (→ 190)
AFS AFC MF	フォーカスモード (→85、109)

再生画面



①

	再生状態
2019.12.1 10:00	撮影日時(→ 56)
	カードスロット(→ 50)
★3	レーティング(→ 325)
	動画再生(→ 234)
	プロテクト(→ 325)
GPS	位置情報記録(→ 350)
	情報取得中
	ケーブル切断禁止アイコン (→ 395)
	マーカーあり表示 (→ 128、130)
	ローリングシャッター低減 (→ 127)
	6K/4K連写ファイルから 写真を保存(→ 126)
	フォーカスセレクト画像から 写真を保存(→ 149)

	グループ画像(→ 240)
XXmXXs	再生経過時間(→ 234)

②

100-0001	フォルダー・ファイル番号 (→ 388)
1/999	画像番号／トータル枚数
9枚	グループ画像枚数
XXmXXs	動画記録時間(→ 234)
	ハイスピード動画(→ 222)
MON MODE2	HLGビューアシスト (→ 308)

③

	再生(動画)(→ 234)
	Wi-Fi／Bluetooth接続状態
	サイレントモード(→ 152)

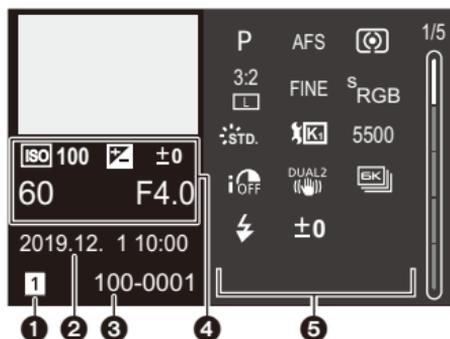
4

撮影情報

5

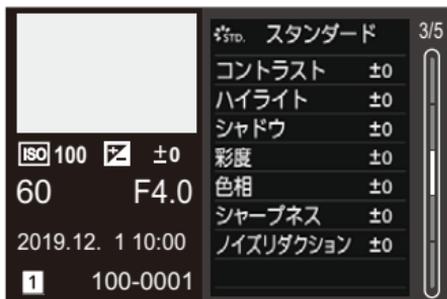
	バッテリー残量(→ 46)
	給電(→ 45)
	バッテリーグリップ (→ 398)

詳細情報表示

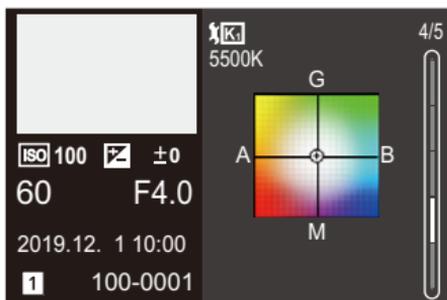


- ① カードスロット(→50)
- ② 撮影日時(→56)
- ③ フォルダー・ファイル番号(→388)
- ④ 撮影情報(基本)
- ⑤ 撮影情報(詳細)

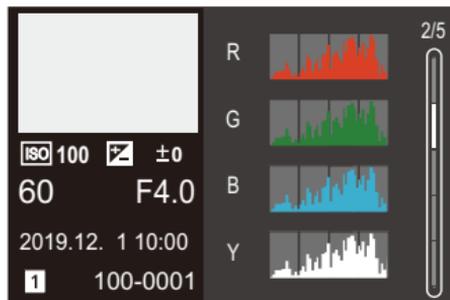
フォトスタイル表示



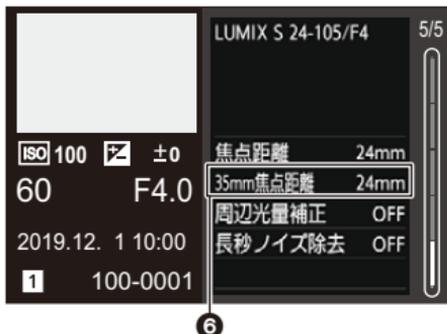
ホワイトバランス表示



ヒストグラム表示



レンズ情報表示



- ⑥ フルサイズ用レンズを使用し、[画像横縦比]を[3:2]に設定したときの画角に相当する焦点距離

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

❖ カード

メモリーカードエラー／フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(→ 52)

メモリーカードエラー／このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(→ 29)

カードを入れ直してください／別のカードでお試してください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー／ライトエラー／カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画、6K/4K フォトおよびフォーカスセレクトの撮影時に、SDカードの書き込み速度が不足しています。対応するスピードクラスのSDカードをお使いください。(→ 30)
- 指定されたスピードクラスのSDカードを使用しても撮影が停止する場合は、SDカードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマット(→ 52)することをお勧めします。
- カードの種類によっては、途中で撮影が終了することがあります。

書き込み中です。

- カード書き込み中に、カード扉やバッテリー扉を開くと表示されます。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってから取り出してください。

❖ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(→ 53) 電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

❖ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

❖ Wi-Fi

アクセスポイントの接続に失敗しました／接続できませんでした／送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(→ 369)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

**通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。／
ネットワークが切断されました。送信を中止しました。**

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

❖ その他

消去できない画像があります／この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ 52)

この画像には設定できません

- DCF規格に準拠していない画像は編集できません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(→ 52) フォーマットしたあとにセットアップメニュー(カード/ファイル)の[ファイル番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(→ 84)

電源を入れ直してください。／システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q&A 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、まず**1**の内容をお試ください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4**の順にお試ください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

「電源、バッテリー」	→414
「撮影」	→414
「動画」	→417
「再生」	→417
「モニター／ファインダー」	→418
「フラッシュ」	→418
「Wi-Fi機能」	→419
「テレビ、パソコン、プリンター」	→421
「その他」	→422

2

カメラを初期設定に戻す

-  →  →  → [設定リセット]

3

パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

- 最新のサポート情報を掲載しています。



4

ご相談窓口にお問い合わせる

本書の「保証とアフターサービス」(→469)をお読みください。

電源、バッテリー

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(→ 48)

バッテリーの消費が早い。

- [6K/4K プリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](→ 48)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、続けて撮影を行った場合は、カメラの温度が上昇します。温度上昇からカメラを保護するため、[△]が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できないことがあります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 6K/4K フォト
 - AF ポイントスコープ
 - フォーカスセレクト
 - HDMI出力
 - 動画撮影
 - USB 接続ケーブルによる給電

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(→ 293)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなる場合があります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。撮像素子のお手入れについては、424 ページをお読みください。

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(→ 173)

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[**I**](連写1)または[**II**](連写2)に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(→ 116)
- ブラケットを設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(→ 141)

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(→ 296)
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(→ 293)
 - 不適切な状態でAFロック(→ 173)がかかっているか。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
 - ISO感度を低くする(→ 174)
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(→ 181)
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(→ 274)

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
 - 6K/4Kフォトこれは、本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しماが出る。

- 本機の撮像素子であるCMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(→ 153)使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しماが軽減されることがあります。
- 写真撮影中にちらつきが目立つ場合は、[フリッカー軽減(写真)]を設定してください。(→ 281)
- 動画撮影中にちらつきや横しماが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減(動画)](→ 285)を設定するか、[ⒻM]モード(→ 219)で撮影してください。



ISO感度が高いとき、横しماが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しماが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(→ 174)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しماが現れたりすることがあります。

被写体がない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性がありますが、[ピクセルリフレッシュ](→ 319)を実行してください。

[サイレントモード]を[OFF]にできない。

- お買い上げ時、Fnレバーに[サイレントモード]が登録されています。Fnレバーを[MODE1]に切り換えてください。(→ 256)

動画

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- SDカードを使った動画の撮影には、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。対応したSDカードをお使いください。(→ 30)

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が記録される。記録される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](→ 214)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、[M]モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(→ 220)

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正([],[])が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。フラッシュモードを[]に変更するか、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(→ 202)

モニター／ファインダー

電源が入っているときに、モニター／ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](→ 48)が働き、モニター／ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、ファインダー表示に切り換えられません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機のファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- 以下の機能を使用中は、フラッシュは発光しません。
 - 動画撮影(→ 207)、6K/4Kフォト(→ 120)、[フォーカスセレクト](→ 146)
 - 電子シャッター(→ 153)、[サイレントモード](→ 152)、[ハイレゾモード](→ 190)
 - [フィルター設定](→ 184)

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリーの残量が少ない場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
 - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
 - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
 - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
 - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
 - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(→ 369)

スマートフォンのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi機能を一度オフにしてから、再度オンにしてお試してください。

パソコンとWi-Fi接続しようとする、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OSのバージョンによっては2種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoftアカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。(→ 375)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きすぎていると、OSによっては接続できないことがあります。
 - カメラの[時計設定]／[タイムゾーン]の設定が、Windowsの「日付と時刻」／「タイムゾーン」、またはMacの「日付と時刻」／「時間帯」と合っているか確認してください。大きすぎている場合は合わせてください。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報(ログインID／ユーザー名／メールアドレス／パスワード)が間違っていないか確認してください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](→ 373)で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](→ 246)で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(→ 354)

LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで画像を編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(→ 73)ただし、[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。([PicMate 設定]は除く)

テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- テレビとの接続を確認してください。(→ 380)
- テレビの入力をHDMI入力にしてください。

テレビの画像にグレーの帯が付いて表示される。

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右にグレーの帯が付いて表示されることがあります。セットアップメニュー (IN/OUT) の [テレビ接続設定] の [画像背景色 (再生時)] で帯の色を変更できます。(→ 317)

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- カメラの [ビエラリンク] が [ON] になっていることを確認してください。(→ 317)
- 接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- カメラの [USBモード] を [PC (Storage)] に設定してください。(→ 315)
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンにSDカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。

https://panasonic.jp/support/sd_w/

- パソコンと接続したときにカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合は、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてからもう一度接続してください。



プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
- カメラの [USBモード] を [PictBridge (PTP)] に設定してください。(→ 315)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。(プリンターの取扱説明書をお読みください)
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合があります。事前にお店にお尋ねください。

その他

カード扉やバッテリー扉を開くと警告音が鳴る。

- カード書き込み中に扉を開くと、警告音が鳴る場合があります。書き込みが終わるのを待って、カメラの電源を切ってからカードやバッテリーを取り出してください。

カメラを振ると「カタカタ」音がる。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラを振ると装着したレンズから「カタカタ」音がる。

- レンズによっては、レンズが内部で移動する音がる場合がありますが、故障ではありません。

電源を入れたときに、カメラから音がる。

- ダストリダクション機能(→425)が動作する音で、故障ではありません。

レンズ部から音がる。

- 電源を入れたり切ったりするときに、レンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- 明るさが変化したときに絞り動作を行う音で、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(→276)が赤く点灯します。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- カメラを長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。再度時計を設定してください。(→56)

使用上のお願い

❖ 本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

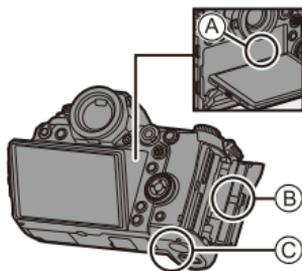
磁石部(A、B、C)に磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。

- 磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- 外装ケースが変質したり塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品を長期間接触したままにしないでください。



❖ 寒冷地や低温下でのご使用について

- 寒冷地(スキー場などの0℃以下の環境)で本機の金属部に長時間、直接触れていると皮膚に傷害を起こす原因になることがあります。長時間ご使用の場合は、手袋などをお使いください。
- -10℃~0℃の環境では、一時的にバッテリーの性能(撮影枚数/使用時間)が低下します。バッテリーを防寒具や衣服の内側に入れるなど、保温しながらお使いください。内部の温度が上がると性能が回復します。
- 0℃未満ではバッテリーを充電できません。充電できないときは、チャージャーまたはカメラ本体にエラー表示が出ます。
 - チャージャーで充電時:50%の充電ランプが速く点滅します。
 - カメラ本体で充電時:ステータスLCDに「Err (Err)」が表示されます。
- 寒冷地で使用する場合、雪や水滴が付いたまま放置しないでください。放置しておくと、電源スイッチ、スピーカーやマイクの隙間などの雪や水滴が凍り、カメラの各部が動きにくくなったり、音が小さくなったりする場合があります。これは故障ではありません。

❖ お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

❖ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は電源を入れると自動で働きます。特にごみが気になる場合は、セットアップメニュー(その他)の[センサークリーニング]を実行してください。

撮像素子のごみの除去

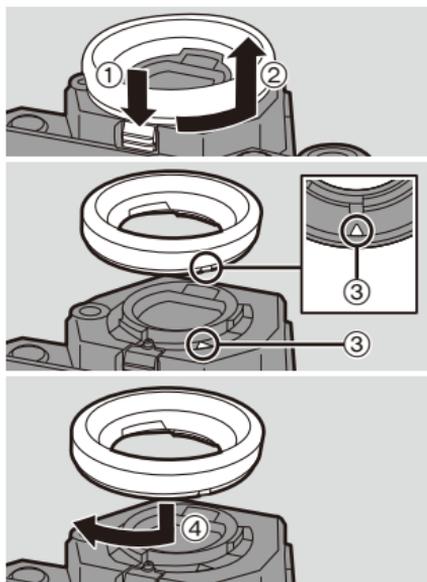
撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れしないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

❖ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、アイカップを取り外してお手入れできます。アイカップロックレバーを押しながら(①)、アイカップを矢印の方向に回して取り外します(②)。市販のプロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

- お手入れ後は、△の取り付けマーク(③)を合わせて、アイカップを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押しながら回して取り付けてください(④)。
- アイカップの紛失にお気をつけください。

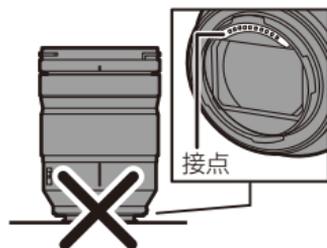


❖ モニター／ファインダー

- モニターを強く押さえしないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- 寒冷地などでカメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター／ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- モニター／ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター／ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

❖ レンズ

- レンズ面を強く押さえつけないでください。
- 太陽や強い光源にレンズを向けしないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レンズ表面の汚れ(水、油、指紋など)が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
 - レンズの接点に触れる
 - レンズの接点を汚す
 - レンズ取り付け部を下にして置く
- 交換レンズ(S-R24105)は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
 - デジタルカメラのマウント部分にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
 - レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。



❖ バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>



充電式

リチウムイオン
電池使用

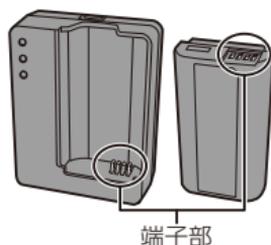
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

❖ チャージャー、ACアダプター

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中にACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。(接続したままにすると、最大約0.3 Wの電力を消費します)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



❖ カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

カードを廃棄／譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄／譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

❖ 個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-FiパスワードやWi-Fi機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。(→375、376)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡／廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線LAN接続設定等の個人情報を含む情報を、[設定リセット]／[消去・退会]を実行して必ず消去してください。(→73、379)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(→73)
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを譲渡／廃棄する際は、**428**ページの「カードを廃棄／譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像をWebサービスにアップロードするとき

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。よくご確認のうえ、Webサービスに画像をアップロードしてください。

❖ 長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにしておくと、カメラの電源を切っても、絶えず微小電流が流れています。そのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度：15℃～25℃、推奨湿度：40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

❖ 画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ 三脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すと、カメラの三脚取り付け部を傷つけるおそれがあります。また、ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 三脚の取扱説明書もよくお読みください。

❖ ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを取り付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

❖ Wi-Fi機能

本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

磁場・静電気・電波障害が発生する場所で使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生する場所で使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク(SSID*)が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがあるため接続しないでください。

- * SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

-
- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
 - 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

無線LAN使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz/5 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、[MENU]ボタン ➡  [セットアップ] ➡  [その他]の[認証情報]で確認できます。

433ページの「認証情報の表示方法」をご覧ください。

本機の無線LAN機能/Bluetooth機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式がDSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約40 mであることを示します。

無線LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえで、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス) ・ムービーご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-638

パナは ロクサンハチ

受付時間
9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル
 **0120-878-236**

■ 5 GHz帯使用時の注意事項

5150 MHz～5350 MHzの周波数帯域は電波法により屋外での使用は禁じられています。5 GHz帯対応の無線アクセスポイントを屋外で使用する場合、無線アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください。詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

- 1  [セットアップ]メニューの  [その他]タブを選ぶ
- 2 [認証情報]を選んで決定する

■ 無線LAN接続について

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

使用時間、撮影枚数

付属のバッテリーを使用して撮影できる時間と枚数は下記のとおりです。

- 写真の記録可能枚数は、CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による。
- ソニー製XQDカード使用。(AVCHDの撮影可能時間、実撮影可能時間は当社製SDカードを使用)
- 交換レンズ(S-R24105)使用。
- 記載している数値は目安です。

❖ 写真記録(モニター使用時)

記録可能枚数	約 380 枚
--------	----------------

❖ 写真記録(ファインダー使用時)

()内は[省電力ファインダー撮影]の[スリープするまでの時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA規格をベースにした当社測定条件による)

記録可能枚数	約 360 枚(約 1100 枚)
--------	---------------------------------

❖ 動画撮影(モニター使用時)

AVCHD (動画画質[FHD/17M/60i]で撮影)

撮影可能時間	約 150 分
実撮影可能時間	約 75 分

MP4 (動画画質[FHD/28M/60p]で撮影)

撮影可能時間	約 140 分
実撮影可能時間	約 70 分

MP4 (動画画質[4K/LPCM/150M/60p]で撮影)

撮影可能時間	約 120 分
実撮影可能時間	約 60 分

MP4 HEVC(動画画質 [4K/72M/30p] で撮影)

撮影可能時間	約120分
実撮影可能時間	約60分

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ 再生(モニター使用時)

再生使用時間	約270分
--------	-------



- 使用時間と撮影枚数は、周囲の環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は減少します。
 - スキー場などの低温下
- 満充電してもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。バッテリーの状態を確認して、新しいバッテリーと交換してください。
(→ 316)

記録可能枚数、記録可能時間

XQDカード、SDカードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- 記載している数値は目安です。

❖ 記録可能枚数(写真:枚)

- 画像横縦比[3:2]、写真画質[FINE]の場合

画像サイズ	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(24M)	2400	4640	8290	16270	2460	4940	9780
M(12M)	4410	8450	15090	28620	4520	8980	17790
S(6M)	7750	14530	25930	48820	7940	15440	30570
Full-Res.*	940	1820	3250	6380	970	1930	3830

- 画像横縦比[3:2]、写真画質[RAW+FINE]の場合

画像サイズ	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(24M)	630	1220	2190	4340	650	1300	2580
M(12M)	720	1390	2490	4910	730	1480	2930
S(6M)	770	1490	2670	5280	790	1590	3150
Full-Res.*	450	870	1550	3070	460	920	1830

- * [HLGフォト]を[Full-Res.]に設定し、[L]サイズのJPEG画像を同時に記録した場合の枚数です。

❖ 記録可能時間(動画撮影)(h:時間、m:分、s:秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記録ファイル方式[AVCHD]の場合

動画画質	SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	128 GB
FHD/28M/60p	2h30m	5h00m	10h00m
FHD/17M/60i	4h10m	8h15m	16h25m
FHD/24M/30p FHD/24M/24p	2h55m	5h50m	11h40m

- 記録ファイル方式[MP4]の場合

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/LPCM/ 150M/60p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
4K/100M/30p 4K/100M/24p	40m00s	1h20m	2h20m	4h45m	41m00s	1h25m	2h45m
FHD/28M/60p	2h25m	4h45m	8h35m	17h10m	2h30m	5h00m	9h55m
FHD/20M/30p	3h15m	6h20m	11h25m	22h55m	3h20m	6h40m	13h15m

- 記録ファイル方式[MP4 HEVC]の場合

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/72M/30p 4K/72M/24p	56m00s	1h50m	3h20m	6h40m	57m00s	1h55m	3h55m

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数・時間は変動します。
- 記録可能枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面では[9999+]と表示されます。ステータスLCDでは[9999]と表示されます。
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。
- 記録可能時間が残り60分以上の場合、ステータスLCDでは[59:59]と表示されます。

初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

R₂: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

C: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

□: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定	R ₂	C	□
写真 : 画質					
フォトスタイル		STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
画像横縦比		3:2	✓	✓	✓
写真画質		FINE	✓	✓	✓
画像サイズ		L 24M	✓	✓	✓
HLG フォト		OFF	✓	✓	✓
ハイレゾモード	開始	—			
	通常撮影同時記録	ON	✓	✓	✓
	シャッターディレイ	2秒	✓	✓	✓
	被写体ブレの処理	MODE1	✓	✓	✓
長秒ノイズ除去		ON	✓	✓	✓
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
下限シャッター速度		AUTO	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
写真 : フォーカス					
AFカスタム設定(写真)		設定1	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓
写真 : フラッシュ					
フラッシュモード			✓	✓	✓
発光モード		TTL	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
フラッシュ光量調整		±0 EV	✓	✓	✓
フラッシュシンクロ		先幕	✓	✓	✓
マニュアル発光量設定		1/1	✓	✓	✓
露出補正連動		OFF	✓	✓	✓
デジタル赤目補正		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスモード		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレスチャンネル		1CH	✓	✓	✓
ワイヤレスFP		OFF	✓	✓	✓
ワイヤレス通信光量		強	✓	✓	✓
ワイヤレス設定		—	✓	✓	✓
 写真 :  その他(静止画)					
ブラケット	ブラケット種類	OFF	✓	✓	✓
	詳細設定	—	✓	✓	✓
サイレントモード		OFF	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
	動作開始設定	半押し	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	焦点距離設定	35.0 mm	✓	✓	✓
連写1設定		H	✓	✓	✓
連写2設定			✓	✓	✓
シャッター方式		メカシャッター	✓	✓	✓
シャッターディレイ		OFF	✓	✓	✓
EXテレコン(写真)		OFF	✓	✓	✓
インターバル / コマ撮り撮影	撮影方法	インターバル撮影	✓	✓	✓
	撮影間隔設定	ON	✓	✓	✓
	開始時刻	即時開始	✓	✓	✓
	撮影枚数	1	✓	✓	✓
	撮影間隔	1m00s	✓	✓	✓
	露出平滑化	OFF	✓	✓	✓
セルフタイマー		 10	✓	✓	✓
フリッカー軽減(写真)		OFF	✓	✓	✓
6K/4Kフォト	画像サイズ/連写速度	6K 18M	✓	✓	✓
	撮影方法		✓	✓	✓
	プリ記録	OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
フォーカスセレクト		OFF	✓	✓	✓
多重露出	開始	—			
	自動ゲイン補正	ON	✓	✓	✓
	再生画像と多重	OFF	✓	✓	✓
動画  画質					
動画露出設定		P	✓	✓	✓
フォトスタイル		 STD.	✓	✓	✓
測光モード			✓	✓	✓
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定	100	✓	✓	✓
	ISOオート上限設定	AUTO	✓	✓	✓
フリッカー軽減(動画)		OFF	✓	✓	✓
iダイナミックレンジ		OFF	✓	✓	✓
周辺光量補正		ON	✓	✓	✓
回折補正		OFF	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果	OFF	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録	OFF	✓	✓	✓
P/A/S/M動画の露出自動制御		ON	✓	✓	✓
クリエイティブ 動画の設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正		✓	✓	✓
	ホワイトバランス		✓	✓	✓
	フォトスタイル		✓	✓	✓
	測光モード		✓	✓	✓
	AFモード		✓	✓	✓
動画  記録					
動画画質		FHD/28M/60p	✓	✓	✓
ハイスピード動画		OFF	✓	✓	✓
記録ファイル方式		MP4	✓	✓	✓
輝度レベル設定		16-255	✓	✓	✓
動画  フォーカス					
AFカスタム設定 (動画)	ON / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
AF連続動作		ON	✓	✓	✓
ピーキング	ON / OFF	ON	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		高速	✓	✓	✓
動画  音					
録音レベル表示		OFF	✓	✓	✓
録音レベル設定		0dB	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R5	C	☐
録音レベルリミッター		ON	✓	✓	✓
風音キャンセラー		標準	✓	✓	✓
風音低減		OFF	✓	✓	✓
マイク端子		MIC	✓	✓	✓
専用マイク設定		ステレオ	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		ON	✓	✓	✓
音声モニタリング		リアルタイム	✓	✓	✓
動画 ： モニター/表示					
撮影時HDMI出力	情報表示	ON	✓	✓	✓
動画 ： その他(動画)					
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓
	ボディレンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
	動作開始設定	半押し	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	OFF	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	OFF	✓	✓	✓
	焦点距離設定	35.0 mm	✓	✓	✓
動画撮影範囲		FULL	✓	✓	✓
カスタム ： 画質					
フォトスタイル設定	フォトスタイル表示の制限	—	✓	✓	✓
	マイフォトスタイル設定	—	✓	✓	✓
	フォトスタイルのリセット	—			
ISO感度ステップ		1/3 EV	✓	✓	✓
拡張ISO感度		OFF	✓	✓	✓
基準露出レベル調節	マルチ測光	± 0 EV	✓	✓	✓
	中央重点	± 0 EV	✓	✓	✓
	スポット	± 0 EV	✓	✓	✓
	ハイライト重点	± 0 EV	✓	✓	✓
色空間		sRGB	✓	✓	✓
露出補正リセット		OFF	✓	✓	✓
カスタム ： フォーカス/レリーズ					
フォーカス/レリーズ優先	AFS	フォーカス	✓	✓	✓
	AFC	バランス	✓	✓	✓
縦/横位置フォーカス切換		OFF	✓	✓	✓
AF/AEロック維持		OFF	✓	✓	✓
AF+MF		OFF	✓	✓	✓

メニュー		初期設定			
MFアシスト	フォーカスリング	ON	✓	✓	✓
	AFモード/MF	OFF	✓	✓	✓
	ジョイスティックを押す	OFF	✓	✓	✓
	MFアシスト表示	PIP	✓	✓	✓
MFガイド		✓	✓	✓	
フォーカスリングロック	OFF	✓	✓	✓	
AFモード表示の制限	自動認識(顔・瞳・人体・動物)	ON	✓	✓	✓
	追尾	ON	✓	✓	✓
	225点	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(縦・横)	ON	✓	✓	✓
	ゾーン(四角)	OFF	✓	✓	✓
	ゾーン(楕円)	ON	✓	✓	✓
	1点+補助	ON	✓	✓	✓
	ピンポイント	ON	✓	✓	✓
	カスタム1	OFF	✓	✓	✓
	カスタム2	OFF	✓	✓	✓
	カスタム3	OFF	✓	✓	✓
ピンポイントAF設定	ピンポイントAF時間	MID	✓	✓	✓
	ピンポイントAF表示	PIP	✓	✓	✓
AFポイントスコープ設定	拡大表示維持	OFF	✓	✓	✓
	PIP表示	PIP	✓	✓	✓
シャッター半押しAF	ON	✓	✓	✓	
シャッター半押しリリース	OFF	✓	✓	✓	
クイックAF	OFF	✓	✓	✓	
アイセンサーAF	OFF	✓	✓	✓	
フォーカス枠のループ移動	OFF	✓	✓	✓	
AFCの開始位置指定(225点AF)	OFF	✓	✓	✓	
 カスタム:  操作					
Q.MENU設定	表示スタイル	MODE1	✓	✓	✓
	前ダイヤルの割当	設定値	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(静止画)	—	✓	✓	✓
	表示項目カスタマイズ(動画)	—	✓	✓	✓

メニュー		初期設定	R5	C	Q
タッチ設定	タッチパネル	ON	✓	✓	✓
	タッチタブ	OFF	✓	✓	✓
	タッチAF	AF	✓	✓	✓
	タッチパッドAF	OFF	✓	✓	✓
ロックレバー設定	カーソル		✓	✓	✓
	ジョイスティック		✓	✓	✓
	タッチパネル		✓	✓	✓
	ダイヤル		✓	✓	✓
	DISP.ボタン		✓	✓	✓
Fnボタン設定	撮影時設定	—	✓	✓	✓
	再生時設定	—	✓	✓	✓
Fnレバー設定	Fnレバーの機能	サイレントモード	✓	✓	✓
	MODE2の設定値	ON	✓	✓	✓
WB/ISO/露出補正ボタン		押した後2	✓	✓	✓
ISO感度画面の操作	前/後ダイヤルの割当		✓	✓	✓
露出補正画面の操作	上/下ボタンの割当	OFF	✓	✓	✓
	前/後ダイヤルの割当		✓	✓	✓
ダイヤル設定	F/SSダイヤルの割当	設定1	✓	✓	✓
	F/SSダイヤルの回転		✓	✓	✓
	コントロールダイヤルの割当		✓	✓	✓
	露出補正のダイヤル割当	OFF	✓	✓	✓
	ダイヤル動作切換設定	—	✓	✓	✓
	メニュー操作のダイヤル回転		✓	✓	✓
ジョイスティック設定	ダイレクトフォーカス	✓	✓	✓	
ボタンイルミネーション	ON2	✓	✓	✓	
リモコンの動画ボタン	ON	✓	✓	✓	
カスタム： モニター/表示					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
	時間(6K/4K フォト)	ホールド	✓	✓	✓
	時間(フォーカスセレクト)	ホールド	✓	✓	✓
	再生操作優先	OFF	✓	✓	✓
常時レビュー(Mモード)	ON/ OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
水準器表示	ON	✓	✓	✓	

メニュー		初期設定			
ヒストグラム表示		OFF	✓	✓	✓
写真グリッドライン表示		OFF	✓	✓	✓
ライブビュー境界線表示		OFF	✓	✓	✓
センターマーカー表示		OFF	✓	✓	✓
AFエリア表示		ON	✓	✓	✓
ライブビュー ブースト	MODE1 / MODE2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	M	✓	✓	✓
モノクロライブビュー		OFF	✓	✓	✓
ナイトモード	モニター	OFF	✓	✓	✓
	LVF	OFF	✓	✓	✓
LVF/モニター表示 設定	LVF表示設定		✓	✓	✓
	モニター表示設定		✓	✓	✓
露出メーター		OFF	✓	✓	✓
焦点距離		ON	✓	✓	✓
写真/動画ライブビュー切替			✓	✓	✓
残枚数/残時間切替			✓	✓	✓
撮影画面の遷移 (モニター)	コントロールパネル	ON	✓	✓	✓
	消灯画面	ON	✓	✓	✓
ハイライト表示		OFF	✓	✓	✓
ゼブラパターン表示	ゼブラ1 / ゼブラ2 / OFF	OFF	✓	✓	✓
	設定	—	✓	✓	✓
HLGビューアシスト	モニター	MODE2	✓	✓	✓
	HDMI	AUTO	✓	✓	✓
オーバーレイ表示	ON / OFF	OFF	✓		
	設定	—	✓		
手ブレ状態スコープ		OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズ位置メモリー		OFF	✓	✓	✓
フォーカスリング 制御	ノンリニア / リニア	ノンリニア	✓	✓	✓
	設定	150度	✓	✓	✓
 セットアップ:  カード/ファイル					
フォーマット		—			
ダブルスロット機能	記録方法		✓		✓
	記録先スロット	1 → 2	✓		✓

メニュー		初期設定			
フォルダー/ファイル設定	フォルダー選択	—			
	新規フォルダー作成	—			
	ファイル名設定	フォルダー番号連動	✓		✓
ファイル番号リセット		—			
著作権情報	撮影者	OFF	✓		✓
	著作権者	OFF	✓		✓
	著作権情報の表示	—			
🔧 セットアップ:  モニター/表示					
エコモード	スリープモード	5分	✓		✓
	スリープモード(Wi-Fi)	ON	✓		✓
	LVF/モニター自動OFF	5分	✓		✓
	省電力ファインダー撮影	—	✓		✓
モニター表示速度		60fps	✓		✓
LVF表示速度		60fps	✓		✓
モニター調整／LVF調整		—	✓		
モニター輝度／LVF輝度		AUTO	✓		✓
バッテリー残量表示			✓		✓
ステータスLCD	バックライト	H	✓		✓
	電源OFF中の表示	ON	✓		✓
アイセンサー	感度	強	✓		✓
	LVF/モニター切換	LVF/MON AUTO	✓		✓
水準器調整	調整	—	✓		
	調整値リセット	—			
🔧 セットアップ:  IN/OUT					
電子音	電子音音量		✓		✓
	合焦音音量		✓		✓
	合焦音音色		✓		✓
	電子シャッター音音量		✓		✓
	電子シャッター音音色		✓		✓
ヘッドホン音量		LEVEL3	✓		✓
Wi-Fi		—	✓		
Bluetooth		—	✓		
USB	USBモード	 接続時に選択	✓		✓
	USB給電	ON	✓		✓
バッテリー情報		—			
バッテリー使用順序		BG優先	✓		✓

メニュー		初期設定			
テレビ接続設定	HDMI出力解像度(再生時)	AUTO	✓		✓
	HLGビューアシスト(HDMI)	AUTO	✓	✓	✓
	ピエラリンク	OFF	✓		✓
	画像背景色(再生時)		✓		✓
 セットアップ:  設定					
カスタムモード登録		—	✓		✓
カスタムモード内容の呼出		—	✓		✓
カスタムモード設定	カスタムモード表示の制限名称変更	3	✓		✓
	登録内容の呼出タイミング	—	✓		✓
	カスタムモードの呼出範囲	—	✓		✓
	カメラ設定の保存/読み込み	—			
設定リセット		—			
 セットアップ:  その他					
時計設定		2019. 1. 1. 0:00:00			
タイムゾーン		GMT + 9:00			✓
ピクセルリフレッシュ		—			
センサークリーニング		—			
バージョン表示		—			
取扱説明書のWebサイト		—			
CLUB Panasonic 登録	URL表示	—			
	QRコード表示	—			
認証情報		—			
 マイメニュー:  マイメニュー編集					
登録		—			
並べ換え		—			
消去		—			
マイメニューから表示		OFF	✓		✓
 再生メニュー:  表示方法					
縦位置自動回転		ON	✓		✓
画像表示順		撮影日時	✓		✓
AF位置から拡大		OFF	✓		✓
HLGビューアシスト(モニター)		MODE2	✓	✓	✓
 再生メニュー:  画像の加工					
RAW現像		—			
6K/4Kフォト一括保存		—			

メニュー	初期設定			
6K/4Kフォトノイズ低減	AUTO	✓		✓
インターバル動画作成	—			
コマ撮りアニメ作成	—			
▶ 再生メニュー:  情報の付与・削除				
プロテクト	—			
レーティング	—			
▶ 再生メニュー:  画像の編集				
リサイズ(縮小)	—			
画像回転	—			
動画分割	—			
画像コピー	—			
▶ 再生メニュー:  その他				
消去確認画面	「いいえ」がはじめ	✓		✓

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	☰M
写真: 画質							
フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓	
測光モード			✓	✓	✓	✓	
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓	
写真画質		✓	✓	✓	✓	✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓	
HLG フォト			✓	✓	✓	✓	
ハイレゾモード	開始		✓	✓	✓	✓	
	通常撮影同時記録		✓	✓	✓	✓	
	シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	
	被写体ブレの処理		✓	✓	✓	✓	
長秒ノイズ除去			✓	✓	✓	✓	
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定		✓	✓	✓	✓	
	ISOオート上限設定		✓	✓	✓	✓	
下限シャッター速度			✓	✓			
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	
回折補正			✓	✓	✓	✓	
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	
写真: フォーカス							
AFカスタム設定(写真)			✓	✓	✓	✓	
AF補助光			✓	✓	✓	✓	
ピーキング	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	
1点AF枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	
写真: フラッシュ							
フラッシュモード			✓	✓	✓	✓	
発光モード			✓	✓	✓	✓	
フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓	
フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓	
マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓	

メニュー	iA	P	A	S	M	M
露出補正連動		✓	✓	✓	✓	
デジタル赤目補正		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスモード		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスチャンネル		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレスFP		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス通信光量		✓	✓	✓	✓	
ワイヤレス設定		✓	✓	✓	✓	
📷 写真: 📷 その他(静止画)						
ブラケット	ブラケット種類	✓	✓	✓	✓	✓
	詳細設定	✓	✓	✓	✓	✓
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓
	電子補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓
	焦点距離設定	✓	✓	✓	✓	✓
連写1設定		✓	✓	✓	✓	✓
連写2設定		✓	✓	✓	✓	✓
シャッター方式		✓	✓	✓	✓	✓
シャッターディレイ		✓	✓	✓	✓	✓
EXテレコン(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓
フリッカー軽減(写真)		✓	✓	✓	✓	✓
6K/4Kフォト	画像サイズ/連写速度	✓	✓	✓	✓	✓
	撮影方法	✓	✓	✓	✓	✓
	プリ記録	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスセレクト		✓	✓	✓	✓	✓
多重露出	開始		✓	✓	✓	✓
	自動ゲイン補正		✓	✓	✓	✓
	再生画像と多重		✓	✓	✓	✓
📹 動画: 📹 画質						
動画露出設定						✓
フォトスタイル	✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード		✓	✓	✓	✓	✓

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	M
ISO感度設定(動画)	ISOオート下限設定						✓
	ISOオート上限設定						✓
フリッカー軽減(動画)			✓	✓	✓	✓	
iダイナミックレンジ			✓	✓	✓	✓	✓
周辺光量補正			✓	✓	✓	✓	✓
回折補正			✓	✓	✓	✓	✓
フィルター設定	フィルター効果		✓	✓	✓	✓	✓
	フィルターなし同時記録		✓	✓	✓	✓	
P/A/S/M動画の露出自動制御			✓	✓	✓	✓	✓
クリエイティブ動画の 設定値	絞り値/SS/ISO/露出補正		✓	✓	✓	✓	✓
	ホワイトバランス		✓	✓	✓	✓	✓
	フォトスタイル		✓	✓	✓	✓	✓
	測光モード		✓	✓	✓	✓	✓
	AFモード		✓	✓	✓	✓	✓
👤 動画: 🎬 記録							
動画画質		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ハイスピード動画							✓
記録ファイル方式		✓	✓	✓	✓	✓	✓
輝度レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
👤 動画: 🎯 フォーカス							
AFカスタム設定(動画)	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓
ピーキング	ON/OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
1点AF枠の移動速度		✓	✓	✓	✓	✓	✓
👤 動画: 🎤 音							
録音レベル表示		✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベル設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
録音レベルリミッター		✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音キャンセラー		✓	✓	✓	✓	✓	✓
風音低減		✓	✓	✓	✓	✓	✓
マイク端子		✓	✓	✓	✓	✓	✓
専用マイク設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
XLRマイクアダプター設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
音声モニタリング		✓	✓	✓	✓	✓	✓

メニュー		iA	P	A	S	M	M
🎥 動画: 📺 モニター/表示							
撮影時 HDMI 出力	情報表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓
🎥 動画: 🗄️ その他(動画)							
手ブレ補正	動作設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	動作開始設定	✓	✓	✓	✓	✓	
	電子補正(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	手ブレ補正ブースト(動画)	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	焦点距離設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓
動画撮影範囲		✓	✓	✓	✓	✓	✓

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	9.0 V===
消費電力	6.3 W(モニター撮影時)[交換レンズ(S-R24105)使用時] 4.6 W(モニター再生時)[交換レンズ(S-R24105)使用時]

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
記録メディア	カードスロット1:XQDメモリーカード カードスロット2:SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード* /SDXCメモリーカード* * UHS-I /UHS-II UHS Speed Class 3対応、 UHS-II Video Speed Class 90対応 ダブルスロット記録機能あり
レンズマウント	ライカカメラ社L-Mount

撮像素子

撮像素子	35 mm フルサイズ(35.6 mm×23.8 mm)CMOSセンサー 総画素数2528万画素、原色カラーフィルター
カメラ有効画素数	2420万画素

静止画記録形式

静止画ファイル形式	JPEG(DCF準拠、Exif2.31準拠) / RAW / HLG Photo (CTA-2072準拠)
6K/4Kフォト ファイル形式	6Kフォト:MP4(H.265 / HEVC、AAC(2ch)) 4Kフォト:MP4(H.264 / MPEG-4 AVC、AAC(2ch))
画像サイズ (画素)	画像横縦比[4:3]設定時 5328×4000(L) / 3792×2848(M) / 2688×2016(S) / 10656×8000(ハイレゾモード) / 4992×3744(6Kフォト) / 3328×2496(4Kフォト) / 5312×3984(HLGフォト/Full-Res.) / 2880×2160(HLGフォト/4K-Res.)

画像サイズ (画素)	画像横縦比[3:2]設定時 6000×4000(L)／4272×2848(M)／3024×2016(S)／ 12000×8000(ハイレゾモード)／ 5184×3456(6Kフォト)／3504×2336(4Kフォト)／ 5984×4000(HLGフォト/Full-Res.)／ 3232×2160(HLGフォト/4K-Res.) 画像横縦比[16:9]設定時 6000×3368(L)／4272×2400(M)／3024×1704(S)／ 12000×6736(ハイレゾモード)／ 3840×2160(4Kフォト)／ 5888×3312(HLGフォト/Full-Res.)／ 3840×2160(HLGフォト/4K-Res.) 画像横縦比[1:1]設定時 4000×4000(L)／2848×2848(M)／2016×2016(S)／ 8000×8000(ハイレゾモード)／ 2880×2880(4Kフォト)／ 4000×4000(HLGフォト/Full-Res.)／ 2144×2144(HLGフォト/4K-Res.) 画像横縦比[65:24]設定時 6000×2208(L) 画像横縦比[2:1]設定時 6000×3000(L)	
写真画質	ファイン／スタンダード／RAW+ファイン／ RAW+スタンダード／RAW	
動画記録形式		
動画フォーマット	AVCHD Progressive／AVCHD／MP4／MP4 HEVC	
音声フォーマット	AVCHD	Dolby Audio™(2ch)
	MP4	AAC(2ch)、LPCM(2ch、48 kHz/16bit)
	MP4 HEVC	AAC(2ch)
動画画質	記録ファイル方式:[AVCHD]、[MP4]、[MP4 HEVC] 詳しくは、本書210ページをお読みください。 ハイスピード動画について詳しくは、本書222ページをお読みください。	

ファインダー／モニター	
ファインダー	有機ELライブビューファインダー(4:3)(約576万ドット)(視野率約100%)[倍率 約0.78倍、 -1.0 m^{-1} 50 mm無限遠、画像横縦比[3:2]設定時](視度調整付き $-4.0\sim+2.0$ diopter)
モニター	3.2型TFT液晶(3:2)(約210万ドット)(視野率約100%) タッチパネル
フォーカス	
オートフォーカス方式	映像検出によるTTL方式(コントラストAF)
フォーカスモード	AFS / AFC / MF
AFモード	自動認識(顔・瞳・人体・動物) / 追尾 / 225点 / ゾーン(縦・横) / ゾーン(四角) / ゾーン(楕円) / 1点+補助 / 1点 / ピンポイント / カスタム1・2・3(タッチ、ジョイスティックによるフォーカスエリア選択可能)
露出制御	
測光方式、測光モード	1728分割測光、マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光 / ハイライト重点測光
測光範囲	EV 0 ~ EV 18
露出	プログラムAE、絞り優先AE、シャッター優先AE、 マニュアル露出
露出補正	1/3 EVステップ、 ± 5 EV
ISO感度 (標準出力感度)	1/3 EVステップ、オート / 100 ~ 51200 [拡張ISO感度]設定時: オート / 50 ~ 204800
手ブレ補正	
手ブレ補正方式	撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応
手ブレ補正効果	6.0段 CIPA規格準拠(Yaw / Pitch方向: 焦点距離 $f=105\text{ mm}$) [交換レンズ(S-R24105)使用時]
ホワイトバランス	
ホワイトバランス モード	AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / ホワイトセット1・2・3・4 / 色温度1・2・3・4

シャッター	
形式	フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	写真: B(バルブ)(最大約30分)、60～1/8000秒(メカシャッター時) B(バルブ)(最大約30分)、60～1/2000秒(電子先幕時) B(バルブ)(最大約60秒)、60～1/8000秒(電子シャッター時) 動画: 1/25～1/16000秒
連写撮影	
メカシャッター／電子先幕	9コマ/秒(高速、AFS／MF)、6コマ/秒(高速、AFC)、5コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速)
電子シャッター	9コマ/秒(高速、AFS／MF)、5コマ/秒(高速、AFC)、5コマ/秒(中速)、2コマ/秒(低速)
連写コマ数	[FINE]、[STD.]：999コマ以上 [RAW+FINE]、[RAW+STD.]：70コマ以上 [RAW]：90コマ以上 当社測定条件による撮影時
最低被写体照度	
約6lx(シャッタースピード1/30秒) [交換レンズ(S-R24105)使用時]	
フラッシュ(外部フラッシュ使用時)	
フラッシュモード	オート／赤目軽減オート／強制発光／赤目軽減強制発光／スローシンクロ／赤目軽減スローシンクロ／発光禁止
フラッシュ同調速度	1/320秒以下 (1/320秒はガイドナンバーが低下、[S]／[M]モード時のみ)
ズーム	
EXテレコン(写真)	最大2倍(画像サイズ[S]選択時)
マイク／スピーカー	
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
言語切り換え	
なし(日本語のみ)	

インターフェース	
USB	SuperSpeed USB3.1 GEN1 Type C USB Power Delivery対応(9.0 V / 3.0 A)
HDMI	HDMI Type A
[REMOTE]	Ø2.5 mm ジャック
[MIC]	Ø3.5 mm ジャック
ヘッドホン	Ø3.5 mm ジャック
フラッシュシンクロ	あり
防じん防滴	
あり	
外形寸法 / 質量	
外形寸法	約 幅 148.9 mm × 高さ 110.0 mm × 奥行き 96.7 mm (突起部除く)
質量	約 1021 g (XQD メモリーカード 1 枚、バッテリー含む) 約 899 g (本体)
動作環境	
推奨使用温度	-10 °C * ~ 40 °C * -10 °C ~ 0 °C (スキー場や標高の高いところなどの寒冷地) では、一時的にバッテリーの性能 (撮影枚数 / 使用時間) が低下します。
許容相対湿度	10%RH ~ 80%RH
Wi-Fi	
準拠規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz ~ 2472 MHz (1 ~ 13ch) 5180 MHz ~ 5320 MHz (36/40/44/48/52/56/60/64ch) 5500 MHz ~ 5700 MHz (100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch)
暗号化方式	Wi-Fi 準拠 WPA TM / WPA2 TM
アクセス方式	インフラストラクチャーモード
Bluetooth	
準拠規格	Bluetooth v4.2 (Bluetooth Low Energy (BLE))
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz

専用バッテリーチャージャー: **DMW-BTC14**

入力	9.0 V \equiv	3.0 A
出力	8.4 V \equiv	3.1 A
使用温度	0 °C ~ 40 °C	

ACアダプター: **DVLV1001Z**

入力	100—240 V \sim	50/60 Hz	0.7 A
	55 VA (100 V)	79 VA (240 V)	
出力	5 V \equiv	3.0 A、	9 V \equiv 3.0 A
使用温度	0 °C ~ 40 °C		

リチウムイオンバッテリーパック: **DMW-BLJ31**

電圧/容量	7.4 V / 3050 mAh
-------	------------------

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

\sim	AC(交流)
\equiv	DC(直流)
\square	クラスII 機器(二重絶縁構造)

**35 mm フルサイズ用交換レンズ：
S-R24105(LUMIX S 24-105 mm F4 MACRO O.I.S.)**

マウント	ライカカメラ社L-Mount
焦点距離	f=24 mm～105 mm
レンズ構成	13群16枚(非球面EDレンズ2枚、非球面レンズ2枚、UEDレンズ1枚、EDレンズ2枚)
絞り形式	9枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F4.0
最小絞り値	F22
画角	84°(W端時)～23°(T端時)
撮影範囲	0.30 m～∞(撮像面から)
最大撮影倍率	0.5×
手ブレ補正	あり
フィルター径	77 mm
最大径	∅84 mm
全長	約118 mm(レンズ先端からレンズマウント基準面まで)
質量	約680 g
防じん防滴	あり
推奨使用温度	-10℃～40℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH

商標、ライセンス



- L-Mountはライカカメラ社の登録商標です。
- XQDはソニー株式会社の商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface. およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- USB Type-C™ Charging TridentロゴはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。
- SuperSpeed USB TridentロゴはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby, Dolby Audio, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie, Mac, OS X, macOS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android およびGoogle Play はGoogle LLC の商標または登録商標です。



- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™”ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ロゴは、“Wi-Fi Alliance®”の認証マークです。
- “Wi-Fi®”は“Wi-Fi Alliance®”の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”は“Wi-Fi Alliance®”の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1(LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[その他]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0またはLGPL V2.1に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/index.html>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

あ行

アイカップ	425
アイセンサー	314
アイセンサーAF	296
圧縮率	81, 273
位置情報記録	350
位置情報データ消去	373
色空間	292, 388
インターバル撮影	132
インターバル動画作成	324
インテリジェントオートモード	74
後ダイヤル	62
エコモード	48
お気に入り登録(Wi-Fi接続)	371
お手入れ	424
音声モニタリング	231
オートフォーカス	86
オートホワイトバランス	177
オートレビュー	301
オーバーレイ表示	308

か行

回折補正	276
外部フラッシュ	195
外部マイク	228
外部モニター／外部レコーダー	224
拡大表示	237
拡張ISO感度	291
下限シャッター速度	274
画質調整	181
カスタムメニュー	290
カスタムモード	264
カスタムモード設定	265
カスタムモード登録	264

カスタムモード内容の呼出	267
カスタム(AF)	102
風音キャンセラー	288
風音低減	229
画像回転	326
画像コピー	327
画像サイズ	80
画像表示順	323
画像横縦比	79
カメラ設定の保存/読み込み	270
カレンダー表示	239
ガンマ設定(フォトスタイル)	180
カード	29, 50, 82, 428
機器名称	375
基準露出レベル調節	292
輝度レベル設定	216
逆光補正	75
記録可能時間(動画撮影時)	434, 437
記録可能枚数	434, 436
記録先スロット	253
記録ファイル方式	209
クイックメニュー	70, 260
クイックAF	296
クラウド上限枚数動作	373
クラウド同期サービス	365
クリエイティブ動画の設定値	221
クリエイティブ動画モード	219
グループ画像	240
ケーブルホルダー	225
光学ズーム	113
コマ撮りアニメ	135
コマ撮りアニメ作成	324
コントラスト	182
コントロールダイヤル	63

コントロールパネル	67, 405	ジョイスティック設定	300
さ行		消去	241
再生	232	消去確認画面	328
再生メニュー	321	常時プレビュー(Mモード)	301
彩度	182	焦点距離	306
サイレントモード	152	省電力ファインダー撮影	48
撮影画面の遷移(モニター)	306	情報表示(HDMI出力時)	227
撮影距離基準	112	ショルダーストラップ	38
撮影時HDMI出力	227	水準器調整	314
撮影/再生切換	253, 254	水準器表示	302
サムネイル表示	238	ステレオガンマイクホン	228
三脚	430	ステータスLCD	37, 313
残枚数/残時間切換	306	ステータスLCDバックライト	69, 313
色相	182	スポット測光	160
色調	182	スマートフォンとつないで使う	332
自動画像転送	348	スマートフォンに画像を送る	356, 358
自動時刻合わせ	352	スリープモード	48
自動シーン判別	75	スリープモードからの復帰動作	346
自動認識(顔・瞳・人体・動物)	76, 92	スリープモード(Wi-Fi)	48
視度調整	65	スロット切換	254, 263
絞りブラケット	143	ズーム	113
絞り優先AEモード	163	設定リセット	73
写真画質	81	セットアップメニュー	310
写真グリッドライン表示	303	ゼブラパターン表示	307
写真/動画ライブビュー切換	306	セルフタイマー	139
シャッターディレイ	280	センサークリーニング	319
シャッター半押しリリース	296	センターマーカー表示	303
シャッター半押しAF	296	専用マイク設定	229
シャッター方式	153	操作ロックレバー	64
シャッター優先AEモード	165	送信サイズ	373
シャッターリモコン	345, 399	送信ファイル形式	373
シャドウ	182	測光モード	160
シャープネス	182	た行	
充電	39	タイムゾーン	319
周辺光量補正	275	ダイヤル設定	299
ジョイスティック	63	ダイヤル動作切換設定	258

多重露出	282	動画分割	246
ダストリダクション機能	425	動画ボタン	61, 207
タッチシャッター	77	動画メニュー	284
タッチズーム	115	動画露出設定	219
タッチ設定	297	時計設定	56
タッチタブ	297	ドライブモード	116
タッチパッドAF	107, 297	取扱説明書のWebサイト	320
タッチパネル	64	な行	
タッチAE	78	ナイトモード	305
タッチAF	106, 297	認証情報	320
縦位置検出機能	58	ニー	216
縦位置自動回転	323	ネットワークアドレス表示	376
縦/横位置フォーカス切換	108	ノイズリダクション	182
ダビング	389	は行	
ダブルスロット機能	82	ハイスピード動画	222
中央重点測光	160	ハイライト	182
長秒ノイズ除去	274	ハイライト重点測光	160
著作権情報	311	ハイライト表示	307
追尾(AF)	76, 95	ハイレゾモード	190
露付き	25	パソコン接続	359, 383, 390
低照度AF	87	発光禁止	198
デジタル赤目補正	202	発光モード	197
デフォルトに戻す	252, 254, 257	バッテリー	39, 41, 427
手ブレ状態スコープ	308	バッテリーグリップ	398
手ブレ補正	155	バッテリー残量表示	313
手ブレ補正ブースト(動画)	159	バッテリー使用順序	398
テレビ再生	380	バッテリー情報	316
テレビ接続設定	317	バルブ	169, 345
電子音	314	バージョン表示	320
電子先幕	153	ピエラリンク	317, 382
電子シャッター	153	ピクセルリフレッシュ	319
電子補正(動画)	157	ヒストグラム表示	302
動画画質	210	日付プリント	394
動画から写真を作成	236	ピント	86, 214
動画再生	234	ピンポイントAF設定	295
動画撮影	207		
動画撮影範囲	213		

ピンポイント(AF).....	101	プロテクト.....	325
ピーキング.....	277	ヘッドホン音量.....	231
ファイル番号.....	83, 388, 407, 409	星空AF.....	87
ファイル番号リセット.....	84	ポストリファイン.....	127
ファインダー.....	65, 402	ボタンイルミネーション.....	300
ファームウェアアップデート.....	24, 320	ホットシューカバー.....	195
フィルター効果.....	184	ホワイトバランス.....	176
フィルター設定.....	184	ホワイトバランス調整.....	178
フィルターなし同時記録.....	189	ホワイトバランスブラケット.....	145
フォトスタイル.....	180	ホワイトバランス(色温度) ブラケット.....	145
フォトスタイル設定.....	291		
フォルダー番号.....	83, 84, 388, 407, 409	ま行	
フォルダー/ファイル設定.....	83	マイク端子.....	228
フォーカスエリア選択.....	253	マイメニュー.....	268
フォーカス合成.....	150	前ダイヤル.....	62
フォーカスセレクト.....	146	マニュアル発光量設定.....	197, 205
フォーカスブラケット.....	144	マニュアルフォーカス.....	109
フォーカスモード.....	85	マニュアル露出モード.....	167
フォーカスリング制御.....	309	マルチ測光.....	160
フォーカスリングロック.....	294	メカシャッター.....	153
フォーカス枠のループ移動.....	296	文字入力.....	329
フォーカス/レリーズ優先.....	293	モニター.....	59, 402
フォーマット.....	52	モニター輝度.....	313
ブラケット.....	141	モニター調整.....	313
フラッシュ.....	195	モニター表示速度.....	312
フラッシュ光量調整.....	201	モノクロライブビュー.....	304
フラッシュシンクロ.....	200		
フラッシュシンクロ端子.....	196	や行	
フラッシュモード.....	198	用紙サイズ.....	394
プリ記録.....	123		
フリッカー軽減(写真).....	281	ら行	
フリッカー軽減(動画).....	285	ライブビュー境界線表示.....	303
プリント.....	361, 392	ライブビューブースト.....	304
プリント枚数.....	394	リサイズ(縮小).....	326
プレビュー.....	170	リモコンの動画ボタン.....	399
プログラムシフト.....	162	リモート起動.....	351
プログラムAEモード.....	161	リモート撮影.....	344

レイアウト.....	394	1点(AF).....	99
連写.....	117	1点+補助(AF).....	99
連写速度.....	118	1枚消去.....	241
連写1設定.....	117, 120	225点(AF).....	96
連写2設定.....	117, 120	6K/4K フォト.....	120
レンズ.....	28, 53, 426	6K/4K フォト一括保存.....	131
レンズ位置メモリー.....	309	6K/4K フォト再生.....	254
レンズフード.....	54	6K/4K フォトノイズ低減.....	128
連続撮影可能枚数.....	118	6K/4K プリ連写.....	121
レーティング.....	325	6K/4K 連写.....	121
録音レベル設定.....	218	6K/4K 連写ファイル.....	126
録音レベル表示.....	218	6K/4K 連写(S/S).....	121
録音レベルリミッター.....	218	ACアダプター.....	399, 428
露出ブラケット.....	143	AF.....	86
露出補正.....	171	AF ON.....	87, 111
露出補正画面の操作.....	298	AF位置から拡大.....	323
露出補正リセット.....	292	AFエリア表示.....	303
露出補正連動.....	202	AFカスタム設定(写真).....	89
露出メーター.....	305	AFカスタム設定(動画).....	215
ロックレバー設定.....	297	AFポイントスコープ.....	88
ローリングシャッター低減.....	127	AFポイントスコープ設定.....	295
わ行		AF補助光.....	276
ワイヤレス設定.....	205	AFモード.....	91
ワイヤレスチャンネル.....	204	AFモード表示の制限.....	295
ワイヤレス通信光量.....	206	AF連続動作(動画).....	214
ワイヤレスフラッシュ.....	203	AFC.....	85
ワイヤレスプリント.....	361	AFCの開始位置指定(225点AF).....	96
ワイヤレスモード.....	204	AFS.....	85
ワイヤレスFP.....	206	AF/AEロック.....	173
ワンショットスポット測光.....	253	AF/AEロック維持.....	293
ワンショット6K/4Kフォト.....	253	AF+AE.....	106
ワンショットRAW+JPG.....	253	AF+MF.....	293
ワンブッシュAE.....	253	AVCHD.....	209
英数字		AVCHD Progressive.....	210
1点AF枠の移動速度.....	278	Bluetooth(メニュー).....	315, 334
		DCカプラー.....	399
		DCF規格.....	233

EXテレコン	114	PictBridge	393
Fn ボタン	248	P/A/S/M 動画の露出自動制御	286
Fn ボタン設定	249	Q.MENU 設定	260
Fn レバー	256	RAW	81
Fn レバー設定	256	RAW 現像	242
HDAVI Control™	382	SDカード	29
HDMI ケーブル	224, 380, 382	SD スピードクラス	30
HDMI 出力解像度(再生時)	317	TTL	197, 201, 278
HLG 動画	223	UHS スピードクラス	30
HLG ビューアシスト	308	USB 給電	315
HLG フォト	193	USB 接続ケーブル	39, 43, 45, 386, 389, 391, 392
i ダイナミックレンジ	275	USB モード	315
iOS	333	USB PD(USB Power Delivery)	45
ISO 感度	174	Video スピードクラス	30
ISO 感度画面の操作	298	V.MODE ボタン	65
ISO 感度ステップ	291	WB/ISO/露出補正ボタン	298
ISO 感度設定(写真)	274	Web サービス	363
ISO 感度設定(動画)	285	Wi-Fi 機能	330
LUMIX CLUB (PicMate)	376	Wi-Fi 機能ロック	376
LUMIX Sync	333	Wi-Fi 設定メニュー	375
LUMIX Tether	390	Wi-Fi ネットワーク設定	315
LVF 輝度	313	Wi-Fi パスワード	375
LVF 調整	313	Wireless アイコン	330
LVF 表示速度	312	WPS	367, 370
LVF/モニター切換	314	XLR マイクアダプター設定	230
LVF/モニター自動OFF	48	XLR マイクロホンアダプター	230
LVF/モニター表示スタイル	253	XQD カード	29
LVF/モニター表示設定	305		
MF	109		
MF アシスト	294		
MF アシスト表示	294		
MF ガイド	294		
MP4	209		
MP4 HEVC	209		
PC 接続設定	375		
PHOTOfunSTUDIO	383		
PicMate 設定	376		

CLUB Panasonic

ご愛用者登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方に、ご愛用者登録をお願いしています。

ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。

* 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思っておりますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	• お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
ご登録特典 2	• 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
ご登録特典 3	• 登録すると抽選で商品券などが当たる！

お問い合わせ先: CLUB Panasonic事務局 (club-info@panasonic.jp)

❖ ご登録手順

下記のいずれかを選んでください。

• パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

<http://club.panasonic.jp/aiyo/>

• 携帯電話からの登録方法

– QRコードを使ってアクセスする場合



– URLを入力してアクセスする場合

<http://club.panasonic.jp/aiyo/>

- カメラのモニターに表示されるQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。以下の操作をするとQRコードを表示できます

① [MENU]ボタンを押す

②  [セットアップ]の  [その他]から [CLUB Panasonic 登録]の [QRコード表示]を選ぶ

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名				
電話	()	—	
お買い上げ日		年	月	日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A 故障かな?と思ったら」(410～412ページと413～422ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリーと組み合わせたの現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリーも一緒に修理をご依頼ください。

●製品名	デジタルカメラ／レンズキット／ボディ
	<input type="checkbox"/> DC-S1M
	<input type="checkbox"/> DC-S1
●品番	<input checked="" type="checkbox"/> お買い上げの品番に記入してください。
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保证书承诺内容, 仅限于产品在 日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ／レンズキット／ボディの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 煙が出たり、異常なおいや音がる ・ 映像や音声が乱れたり出ないことがある ・ 内部に水や異物が入った ・ 本体やチャージャーが破損した ・ その他の異常や故障がある
	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、本体の電源を切り、充電時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- カメラのモニターに表示される QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます
以下の操作をすると QR コードを表示できます

- ① [MENU] ボタンを押す
- ②  [セットアップ] の  [その他] から [CLUB Panasonic登録] の [QRコード表示] を選ぶ

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>



LUMIX (ルミックス)・ムービー 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル

携帯PHS OK

パナは ロクサンハチ

0120-878-638

受付時間

9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用いただけられない場合

06-6907-1187

■ FAX フリーダイヤル

0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays / national holidays)



修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル

携帯PHS OK

パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号がご利用いただけられない場合

03-6633-6700

■ FAX フリーダイヤル

0120-878-225

便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2019

ファームウェアアップデート

LUMIX

S1

❖ ファームウェアアップデートを実施しました

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを実施しました。以降では、追加および変更した機能について説明します。

取扱説明書と併せてお読みください。

- カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニュー(その他)の [バージョン表示] でご確認ください。
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

➔ クリックすると、「取扱説明書」の表紙に移動します。

目次

はじめに	F-3
ファームウェアバージョン1.2	F-4
ファームウェアバージョン1.3	F-20
ファームウェアバージョン1.5	F-34
ファームウェアバージョン1.6	F-42
ファームウェアバージョン2.0	F-50
ファームウェアバージョン2.1	F-73

はじめに

アプリケーション／ソフトウェアについて

カメラのファームウェアをアップデートした場合は、スマートフォン用アプリケーションやパソコン用ソフトウェアは最新バージョンをご使用ください。

「LUMIX Sync」

- お使いのスマートフォンでインストール／アップデートしてください。
-

「PHOTOfunSTUDIO 10.1 PE」

- 下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。

<すでにご利用の場合>

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs101pe_up.html

<初めてインストールする場合>

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs1001pe.html

「LUMIX Tether」

- 下記サイトをご確認いただき、ダウンロード／インストールしてください。
https://panasonic.jp/support/software/lumixtether/download/d_lumixtether.html
-

ファームウェアバージョン1.2

手ブレ補正の性能向上	→ F-5
AF-ON:近側 / AF-ON:遠側	→ F-6
アップグレードソフトウェアキーに対応	→ F-7
[アクティベーション]を追加	→ F-7
拡張機能	→ F-8
動画の[記録ファイル方式]に[MOV]を追加	→ F-8
[撮影時HDMI出力]に[4K/60p 出力ビット数]を追加	→ F-11
[フォトスタイル]に[V-Log]を追加、動画のLog撮影に対応	→ F-12
[WFM表示]を追加	→ F-14
[XLRマイクアダプター設定]を変更、ハイレゾ音声の記録に対応	→ F-15
[輝度レベル設定]に[16-235]を追加	→ F-16
Fnボタン / Fnレバー / クイックメニュー	→ F-17
追加メニュー	→ F-18

手ブレ補正の性能向上

手ブレ補正性能が向上しました。

手ブレ補正効果	ボディ内手ブレ補正:6.0段 CIPA規格準拠(Yaw/Pitch方向:焦点距離 f=50 mm) [交換レンズ(S-X50)使用時] Dual I.S.2*:6.5段 CIPA規格準拠 (Yaw/Pitch方向:焦点距離 f=105 mm) [交換レンズ(S-R24105)使用時] (Yaw/Pitch方向:焦点距離 f=200 mm) [交換レンズ(S-R70200)使用時]
---------	---

* ファームウェアのバージョンを1.1以上にした交換レンズが必要です。
レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニュー(その他)の[バージョン表示]でご確認ください。[バージョン表示]で、ファームウェアアップデートの実行もできます。

ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

AF-ON:近側 / AF-ON:遠側

近くまたは遠くの被写体を優先してAFが働く、Fnボタンの機能を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定]を選ぶ

[1]タブ:  フォーカス/リリース

AF-ON:近側	近くの被写体を優先してAFが働きます。 誤ってピントが背景に合ってしまうときに便利な機能です。
AF-ON:遠側	遠くの被写体を優先してAFが働きます。 柵やネット越しに撮影するときに便利な機能です。

• [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

アップグレードソフトウェアキーに対応

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)に対応しました。
アップグレードソフトウェアキーを使って、本機をアクティベーションすると、拡張機能が使用できるようになります。

[アクティベーション]を追加

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使って、本機の拡張機能を使用可能にします。

 ⇒  ⇒  ⇒ [アクティベーション]を選ぶ

シリアル番号出力	カメラの機器情報をカードに書き出します。
アクティベーションコード読込	カメラにアクティベーションコードを読み込み、拡張機能を有効にします。
アクティベーション済リスト	本機で使用可能になった拡張機能を表示します。

-  • 一度アクティベーションすると、セットアップメニュー(設定)の[設定リセット]を実行しても、再度アクティベーションする必要はありません。
-  • アクティベーション方法については、アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)に付属の導入ガイドをお読みください。

拡張機能

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)によって使用可能になる、拡張機能について説明します。

動画の[記録ファイル方式]に[MOV]を追加

iA P A S M 



[記録ファイル方式]に[MOV]が追加され、MOV形式の動画を撮影できます。[MOV]に設定しているときは、4:2:2 10bitの動画画質を設定できます。

 →  →  → [記録ファイル方式]を選ぶ

MOV

映像編集に適したデータ形式です。

❖ [MOV]で設定できる動画画質

 →  →  → [動画画質]を選ぶ

記録ファイル方式:[MOV]

動画画質	解像度	フレームレート	ビットレート	YUV/bit	音声フォーマット
4K/8bit/150M/60p*	3840×2160	60p	150 Mbps	4:2:0/8bit	LPCM
4K/10bit/150M/30p	3840×2160	30p	150 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM
4K/10bit/150M/24p	3840×2160	24p	150 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM
FHD/10bit/100M/60p	1920×1080	60p	100 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM
FHD/10bit/100M/30p	1920×1080	30p	100 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM

* 連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。

-  Long GOPで映像を圧縮して記録されます。
- SDカードに記録するときは、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
- [4K/8bit/150M/60p]に設定しているときは、[動画撮影範囲]は[APS-C]に固定されます。
- [フィルター設定]を[ジオラマ]に設定しているときは、MOV形式の動画を撮影できません。

❖ MOV形式のHLG動画を撮影する

4:2:2 10bitのMOV形式の動画は、[M]モードで[フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定できます。MOV形式のHLG動画を撮影できます。

- ❶ モードダイヤルを[M]に合わせる
 - [2100ライク(HLG)]は、[M]モード時だけ設定できます。
- ❷ [記録ファイル方式]を[MOV]に設定する
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [記録ファイル方式] ⇒ [MOV]
- ❸ [動画画質]を選ぶ
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [動画画質] ⇒ 記録する動画画質
 - [2100ライク(HLG)]で撮影できる項目には、[HLG可能]と表示されます。
- ❹ [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定する
 -  ⇒  ⇒  ⇒ [フォトスタイル] ⇒ [2100ライク(HLG)]

❖ ファイル分割

記録ファイル方式	動画画質	ファイル分割
MOV	すべて	<p>SDHCメモリーカード、32 GB以下のXQDカード使用時: 連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。</p> <p>SDXCメモリーカード、32 GBを超えるXQDカード使用時: 連続記録時間が3時間4分、またはファイルサイズが96 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。</p>

❖ バッテリーの撮影可能時間(モニター使用時)

付属のバッテリーを使用して撮影できる時間は下記のとおりです。

MOV(動画画質 [FHD/10bit/100M/60p] で撮影)

撮影可能時間	約 130分
実撮影可能時間	約 65分

- ソニー製XQDカード使用。
- 交換レンズ(S-R24105)使用。
- 記載している数値は目安です。
- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]／[OFF]切り換え、撮影の開始／終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ カードの記録可能時間

XQDカード、SDカードに記録できる動画の時間は下記のとおりです。

- 記録ファイル方式[MOV]の場合(h:時間、m:分、s:秒)

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/8bit/150M/60p							
4K/10bit/150M/30p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
4K/10bit/150M/24p							
FHD/10bit/100M/60p	40m00s	1h20m	2h20m	4h45m	41m00s	1h25m	2h45m
FHD/10bit/100M/30p							

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

[撮影時HDMI出力]に[4K/60p 出力ビット数]を追加

iA P A S M 

[動画画質]を4K/60pの動画に設定しているときに、HDMI出力する映像の出力ビット数を設定できます。

[S/M]モードのときに、4K/60p/4:2:2 10bitの映像をHDMI出力できます。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [4K/60p 出力ビット数]を選ぶ
設定: [4:2:2 10bit] / [4:2:0 8bit]



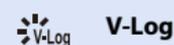
- [S/M]モードで[動画画質]を4K/60pの動画に設定し、HDMI出力しているときに働きます。
- 4K/60p/4:2:2 10bitの映像をHDMI出力しているときは、カードに動画を記録できません。
- HLG動画の映像をHDMI出力するには、4K/60p/4:2:2 10bitの映像をHDMI出力中に、動画メニュー(画質)の[フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定してください。

[フォトスタイル]に[V-Log]を追加、 動画のLog撮影に対応



[フォトスタイル]を[V-Log]に設定すると、Log撮影ができます。
ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

→ / → → [フォトスタイル]を選ぶ



ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブ
の設定



- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。
LUTデータは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>



- 撮影画面やHDMI出力された映像は暗くなります。
- 使用できるISO感度が切り換わります。
AUTO / 640 ~ 51200 ([拡張ISO感度]設定時: AUTO / 320 ~ 51200)
- [フォトスタイル]の画質調整は、[シャープネス]と[ノイズリダクション]だけが調整できます。
- [iダイナミックレンジ]は[OFF]に固定されます。
- [輝度レベル設定]は[0-255]([0-1023])に固定されます。
- [V-Log]で撮影した写真を[RAW現像]で選択しているときは、次のようになります。
 - [フォトスタイル]は[V-Log]に固定されます。
 - [詳細設定]の[色空間]は[sRGB]に固定されます。
 - [iダイナミックレンジ]、[コントラスト]、[ハイライト]、[シャドウ]、[彩度]、[色相]は調整できません。

❖ LUTデータを適用した映像を表示する、HDMI出力する

[フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているとき、LUTデータを適用した映像を画面に表示したり、HDMI出力したりします。

 ⇒  ⇒  ⇒ [V-Logビューアシスト]を選ぶ

LUTファイルの読み込み	LUTデータをカードから読み込みます。
LUT選択	プリセット([Vlog_709])または登録したLUTデータから適用するLUTデータを選びます。
LUTビューアシスト(モニター)	LUTデータを適用した映像を本機のモニター／ファインダーに表示します。
LUTビューアシスト(HDMI)	LUTデータを適用した映像をHDMI出力します。



- 以下のメニューも追加されます。
 -  ⇒  ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [LUTビューアシスト(HDMI)]
 -  ⇒  ⇒ [LUTビューアシスト(モニター)]



- LUTデータを適用しているときは、撮影画面に[LUT]が表示されます。
- LUTデータは、4ファイルまで登録できます。

❖ LUTファイルを読み込む



- 使用できるLUTデータ：
 - 「VARICAM 3DLUT REFERENCE MANUAL Rev.1.0」に準拠した「.vlt」形式
 - ファイル名は8文字までの英数字(拡張子除く)
- LUTデータは、カードのルートディレクトリ(パソコンでカードを開いたときのフォルダー)に、拡張子を「.vlt」にして保存してください。

① LUTデータを保存したカードをカメラに入れる

② [LUTファイルの読み込み]を選ぶ

-  ⇒  ⇒  ⇒ [V-Logビューアシスト] ⇒ [LUTファイルの読み込み] ⇒ [スロット1(XQD)]／[スロット2(SD)]

③ ▲▼で読み込むLUTデータを選び、 または  を押す

④ ▲▼で登録先を選び、 または  を押す

- 登録済みの項目を選択すると、上書きします。

[WFM表示]を追加



ウェーブフォームで輝度を確認できます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

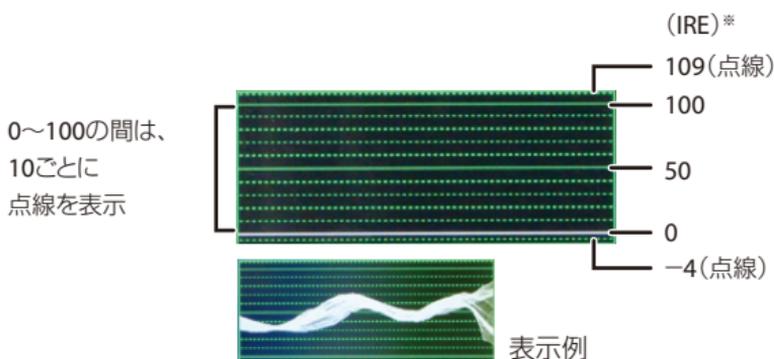
2 [WFM表示]をオンにする

- → → → [WFM表示] → [ON]

3 表示する位置を選ぶ

- ▲▼◀▶ で位置を選び、 または ボタンを押す
- ジョイスティックを使うと、斜め方向にも移動できます。
- 撮影画面でウェーブフォームをドラッグしても位置を移動できます。

❖ 表示内容



* IRE: Institute of Radio Engineers

- 本機のウェーブフォームでは、輝度値を以下として表示します。
 - 黒レベル0: 輝度値16
 - 白レベル100: 輝度値235



- ウェーブフォームは、HDMI 出力されません。
- [WFM表示]を設定しているときは、[ヒストグラム表示]は働きません。

[XLRマイクアダプター設定]を変更、 ハイレゾ音声の記録に対応

iA P A S M 



サンプリング周波数が設定できます。MOV形式の動画を記録しているときは、ハイレゾ音声の記録に対応します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [XLRマイクアダプター設定]を選ぶ

96kHz/24bit	96 kHz/24 bitの ハイレゾ音声で記録します。	[記録ファイル方式]が[MOV] のときに設定できます。
48kHz/24bit	48 kHz/24 bitの 高音質な音声で記録します。	
48kHz/16bit	48 kHz/16 bitの標準的な音声で記録します。	
OFF	本機の内蔵マイクの音声を記録します。	

- 設定したサンプリング周波数は、HDMI出力する音声にも反映されます。

❖ 音声をダウンコンバートしてHDMI出力する

[96kHz/24bit]および[48kHz/24bit]の音声を、接続する機器に合わせてダウンコンバートします。

 ⇒  ⇒  ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒

[HDMI音声ダウンコンバート]を選ぶ

設定: [AUTO] / [OFF]

[輝度レベル設定]に[16-235]を追加

iA P A S M 



[16-235]の設定項目が追加され、以下の動作に変更されます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [輝度レベル設定]を選ぶ

設定: [0-255] / [16-235] / [16-255]



- [動画画質]を10bitの動画に設定しているときは、設定項目が[0-1023]、[64-940]、[64-1023]に切り換わります。
- [記録ファイル方式]を[AVCHD]に設定しているときは、[0-255]に設定できません。
- [フォトスタイル]を[V-Log]に設定しているときは[0-255]([0-1023])に固定されます。
- [フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定しているときは[64-940]に固定されます。

Fn ボタン / Fn レバー / クイックメニュー

以下の機能が使用できます。

Fn ボタン

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定]

撮影時設定	[1]タブ	 画質	フォトスタイル - V-Log - 2100 ライク (HLG)
	[2]タブ	 モニター/表示	- LUTビューアシスト(モニター) - LUTビューアシスト(HDMI) - WFM表示
再生時設定	[1]タブ	 表示方法	- LUTビューアシスト(モニター)
		 IN/OUT	- LUTビューアシスト(HDMI)

Fn レバー

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn レバー設定]

- [Fnレバーの機能]を[フォトスタイル]に設定時
 - V-Log
 - 2100 ライク (HLG)

クイックメニュー

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU設定] ⇒

[表示項目カスタマイズ(静止画)] / [表示項目カスタマイズ(動画)]

[2]タブ	 モニター/表示	- LUTビューアシスト(モニター) - LUTビューアシスト(HDMI) - WFM表示
-------	---	---

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 動画:  音					
XLRマイクアダプター設定		48kHz/16bit	✓	✓	✓
 動画:  モニター/表示					
WFM表示		OFF	✓	✓	✓
撮影時HDMI出力	HDMI音声ダウンコンパート	OFF	✓	✓	✓
	4K/60p 出力ビット数	4:2:0 8bit	✓	✓	✓
 カスタム:  モニター/表示					
V-Logビューアシスト	LUTファイルの読み込み	—	✓		
	LUT選択	Vlog_709	✓	✓	
	LUTビューアシスト (モニター)	OFF	✓	✓	
	LUTビューアシスト(HDMI)	OFF	✓	✓	
 セットアップ:  IN/OUT					
テレビ接続設定	LUTビューアシスト (HDMI)	OFF	✓	✓	
 セットアップ:  設定					
アクティベーション	シリアル番号出力	—			
	アクティベーションコード 読込	—			
	アクティベーション済リスト	—			
 再生:  表示方法					
LUTビューアシスト(モニター)		OFF	✓	✓	

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	MM
 動画:  音							
XLRマイクアダプター設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓
 動画:  モニター/表示							
WFM表示							✓
撮影時HDMI出力	HDMI音声ダウンコンバート	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	4K/60p出力ビット数	✓	✓	✓	✓	✓	✓



- アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションしていないときは、セットアップメニュー(設定)の[アクティベーション]だけが使用できます。

- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。



ファームウェアバージョン1.3

CFexpressカードに対応	→ F-21
記録可能枚数、記録可能時間(CFexpressカード)	→ F-24
交換レンズとの互換性向上	→ F-26
他社製レンズ使用時の手ブレ補正動作を変更	→ F-26
[レンズFnボタン設定]を追加	→ F-26
AF機能の変更	→ F-27
AFCでの[AF+MF]に対応	→ F-27
[AF連続動作]に[MODE2]を追加	→ F-27
[ハイスピード動画]撮影時の露出操作に対応	→ F-28
その他の機能の追加／変更	→ F-28
[RAW現像]の設定項目に[保存先スロット]を追加	→ F-28
[オートレビュー]の[時間(写真)]に[0.5秒]を追加	→ F-29
[iA]モードでのフラッシュの発光禁止に対応	→ F-29
動画メニューに[AF補助光]を追加	→ F-29
[Fnボタン設定]に[設定なし(長押し無効)]を追加	→ F-30
[Fnボタン設定]に[プレビュー(絞りのみ)]を追加	→ F-30
[テレビ接続設定]に[写真出力輝度レベル]を追加	→ F-31
[M]モードでのAEロックに対応	→ F-31
モニター消灯時の絞り／シャッタースピード操作に対応	→ F-31
追加メニュー	→ F-32

CFexpressカードに対応

CFexpressカードに対応しました。以下のCFexpressカードを使用できます。

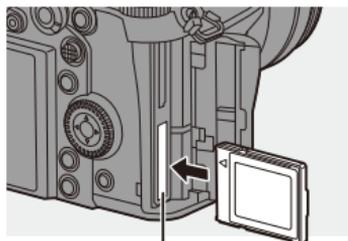
CFexpressカード(CFexpress Ver2.0 Type B)

- SanDisk製CFexpressカード(64 GB～512 GB)で動作確認済みです。
(2019年11月現在)
- CFexpressカードでは、AVCHD動画を撮影できません。
- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

❖ CFexpressカード用のカードスロット

CFexpressカードは、カードスロット1に挿入します。

- メニュー操作でカードスロットを選択するときは、[スロット1(XQD)]を選択してください。
- カードの性能を最大限に発揮するために、使用する前に本機でカードをフォーマットしてください。
[> [> [フォーマット]
- カメラ使用後はカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はお気をつけください。



カードスロット1

❖ 連写コマ数(CFexpressカード)

連写コマ数	[FINE]、[STD.] : 999コマ以上 [RAW+FINE]、[RAW+STD.] : 75コマ以上 [RAW] : 450コマ以上 CFexpressカード使用、当社測定条件による撮影時
-------	---

❖ CFexpressカード使用時のお知らせ

バックアップ記録について

[] ⇒ [] ⇒ [ダブルスロット機能] ⇒ [記録方法] ⇒ [] (バックアップ記録)

- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]の撮影ができません。
 - SDXCメモリーカードと32 GB以下のCFexpressカード
 - SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードと、32 GBを超えるCFexpressカード

6K/4Kフォトについて

- カードの種類によって、ファイルの保存方法が異なります。
 - 32 GB以下のCFexpressカード:
ファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
 - 32 GBを超えるCFexpressカード:
ファイルが分割保存されることはありません。

インターバル／コマ撮りアニメの動画作成について

- 以下の場合は、ファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。
 - 32 GB以下のCFexpressカードを使用し、[動画画質]のサイズを[4K]に設定
 - [動画画質]のサイズを[FHD]に設定

記録ファイル方式について

[] ⇒ [] ⇒ [記録ファイル方式]

- CFexpressカードにはAVCHD動画は記録できません。

画像コピーについて

[] ⇒ [] ⇒ [画像コピー]

- 以下のカードの組み合わせを使用すると、動画、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]で撮影した画像のコピーはできません。
 - SDXCメモリーカードから、32 GB以下のCFexpressカードへのコピー
 - 32 GBを超えるCFexpressカードから、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードへのコピー

❖ 動画撮影時のファイル分割(CFexpressカード)

記録ファイル方式	動画画質	ファイル分割
MP4	FHD	連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
	4K	32 GB以下のCFexpressカード使用時: 連続記録時間が30分、またはファイルサイズが4 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。 32 GBを超えるCFexpressカード使用時: 連続記録時間が3時間4分、またはファイルサイズが96 GBを超えると、新しいファイルを作成して撮影を続けます。
MP4 HEVC	すべて	
MOV*	すべて	

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

記録可能枚数、記録可能時間(CFexpressカード)

CFexpressカードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

❖ 記録可能枚数(写真:枚)

- SanDisk製CFexpressカードを使用した場合の数値です。
- 記載している数値は目安です。
- 画像横縦比[3:2]、写真画質[FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
L(24M)	4870	9760	19140	38290
M(12M)	8870	17750	33660	67340
S(6M)	15250	30510	57430	114880
Full-Res.*	1910	3820	7510	15020

- 画像横縦比[3:2]、写真画質[RAW+FINE]の場合

画像サイズ	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
L(24M)	1290	2580	5110	10220
M(12M)	1460	2930	5770	11550
S(6M)	1570	3140	6210	12430
Full-Res.*	910	1830	3610	7230

* [HLGフォト]を[Full-Res.]に設定し、[L]サイズのJPEG画像を同時に記録した場合の枚数です。

❖ 記録可能時間(動画撮影)(h:時間、m:分、s:秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- SanDisk製CFexpressカードを使用した場合の数値です。
- 記載している数値は目安です。

• 記録ファイル方式[MP4]の場合

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/LPCM/150M/60p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m
4K/100M/30p 4K/100M/24p	1h20m	2h45m	5h40m	11h20m
FHD/28M/60p	5h00m	10h05m	20h15m	40h30m
FHD/20M/30p	6h40m	13h25m	27h00m	54h05m

• 記録ファイル方式[MP4 HEVC]の場合

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/72M/30p 4K/72M/24p	1h55m	3h55m	7h50m	15h45m

• 記録ファイル方式[MOV]*の場合

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/8bit/150M/60p 4K/10bit/150M/30p 4K/10bit/150M/24p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m
FHD/10bit/100M/60p FHD/10bit/100M/30p	1h20m	2h45m	5h40m	11h20m

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

交換レンズとの互換性向上

他社製レンズ使用時の手ブレ補正動作を変更

[ボディ/レンズ選択]の設定項目を変更しました。[ボディ/レンズ選択]は、手ブレ補正機能のある他社製レンズ使用時に設定できます。

 →  →  → [手ブレ補正] → [ボディ/レンズ選択] を選ぶ

BODY  (ボディのみ)	ボディ内手ブレ補正で上下、左右、回転のブレを補正します。
LENS  (レンズ+ボディ(回転))	レンズ内手ブレ補正で上下、左右のブレを補正し、ボディ内手ブレ補正で回転のブレを補正します。

[レンズFnボタン設定]を追加

交換レンズのフォーカスボタンに機能を登録します。

 →  →  → [レンズFnボタン設定] を選ぶ

設定項目(レンズFnボタン設定)

- フォーカスストップ	- AFポイントスコープ
- AFモード/MF	- フォーカスエリア選択
- フォーカスリングロック	- 手ブレ補正
- AE LOCK	- プレビュー
- AF LOCK	- プレビュー(絞りのみ)
- AF/AE LOCK	- 設定なし
- AF-ON	- 設定なし(長押し無効)
- AF-ON:近側	- デフォルトに戻す
- AF-ON:遠側	

- 初期設定では[フォーカスストップ]が登録されています。
[フォーカスストップ]を使用すると、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。
- 手ブレ補正(通常/流し撮り)の切り換えスイッチがある交換レンズを使用しているときは、[レンズFnボタン設定]の[手ブレ補正]は使用できません。

AF機能の変更

AFCでの[AF+MF]に対応

フォーカスモードを[AFC]に設定しているときに、[AF+MF]が使用できるようになりました。

AFの動作中は、AFロック中以外に[AF+MF]が使用できるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [AF+MF]

[AF連続動作]に[MODE2]を追加

iA P A S M 



動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

撮影待機中にピントを合わせ続けることができるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [AF連続動作]を選ぶ

MODE1	撮影中だけ自動でピントを合わせ続けます。 • 従来の[ON]と同じ働きです。
MODE2	撮影待機中と撮影中にピントを合わせ続けます。 • 以下のいずれかに設定すると、撮影待機中もピントを合わせ続けることができます。 - [AFM]モード - カスタムメニュー(モニター/表示)の[写真/動画ライブビュー切替]を  に設定
OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。

-  • [iA]モードでは、[AF連続動作]の設定にかかわらず、撮影待機中に自動でピントを合わせます。
- 以下の機能を使用中は、[MODE1]は[MODE2]に切り換わります。
 - HDMI出力
- 以下の場合、撮影待機中に[MODE2]は働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

[ハイスピード動画]撮影時の 露出操作に対応

iA P A S M 



[ハイスピード動画]で撮影しているときに、ISO感度と[動画露出設定]を設定できるようになりました。[動画露出設定]([P] / [A] / [S] / [M])に応じた露出操作ができます。

 →  →  → [ハイスピード動画]

 →  →  → [動画露出設定]

その他の機能の追加 / 変更

[RAW現像]の設定項目に[保存先スロット]を追加

RAW 現像した画像を保存するカードスロットを選択できます。

1 [RAW現像]を選ぶ

•  →  →  → [RAW現像]

2 RAW 画像を選ぶ

3 設定項目から[詳細設定]を選ぶ

4 [保存先スロット]を選び、保存するカードスロットを設定する

AUTO	現像するRAW形式の画像と同じカードスロットに保存します。
1	カードスロット1に保存します。
2	カードスロット2に保存します。

[オートレビュー]の[時間(写真)]に[0.5秒]を追加

写真撮影後に撮影画像を約0.5秒間表示します。

 →  →  → [オートレビュー] → [時間(写真)] → [0.5秒]

[iA]モードでのフラッシュの発光禁止に対応

iA P A S M 



[iA]モード時に、フラッシュを発光禁止に設定できるようになりました。

 →  →  → [フラッシュモード] →  (発光禁止)

動画メニューに[AF補助光]を追加

iA P A S M 



動画メニュー(フォーカス)に[AF補助光]を追加しました。

[iA]モード時に、[AF補助光]の設定ができます。

 →  →  → [AF補助光]

- 写真メニュー(フォーカス)の[AF補助光]と共通のメニュー項目です。設定は連動しています。

[Fn ボタン設定]に[設定なし(長押し無効)]を追加

Fn ボタンを長押ししても、機能の登録画面が表示されないようにする設定項目を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定]を選ぶ

[撮影時設定] ⇒ [3]タブ:  その他

[再生時設定] ⇒ [2]タブ:  その他

設定なし(長押し無効)

Fn ボタンとして動作しません。

Fn ボタンを長押し(2秒)した場合に、機能の登録画面を表示しません。



- ファームウェアアップデートによって、[撮影時設定]の[Fn6]と[Fn7]の初期設定が、[設定なし]から[設定なし(長押し無効)]に変更されました。

[Fn ボタン設定]に[プレビュー(絞りのみ)]を追加

絞り効果を確認できる、Fn ボタンの機能を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定] ⇒ [撮影時設定]を選ぶ

[2]タブ:  モニター/表示

プレビュー(絞りのみ)

Fn ボタンを押している間、絞り効果を確認できます。

- [Fn3]～[Fn7]には登録できません。

[テレビ接続設定]に[写真出力輝度レベル]を追加

テレビなどに写真を出力するときの輝度レベルを設定します。

 ⇒  ⇒  ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [写真出力輝度レベル]を選ぶ
設定: [0-255] / [16-255]



- [HLGフォト]で撮影した写真を[HLGビューアシスト]で変換せずに出力する場合は、[64-940]の設定で出力します。

[M]モードでのAEロックに対応

[M]モード時に、AEロックが使用できるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fnボタン設定] ⇒ [撮影時設定]を選ぶ

[1]タブ:  フォーカス/リリース

AE LOCK	• [M]モード時にISO感度を[AUTO]に設定すると、AEロックが使用できます。
AF/AE LOCK	

モニター消灯時の絞り／シャッタースピード操作に対応

モニターを消灯しているときに、前ダイヤルや後ダイヤルを使って、絞り値やシャッタースピードの設定ができるようになりました。

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  フラッシュ					
フラッシュモード			✓	✓	✓
 写真:  その他(静止画)					
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	LENS 	✓	✓	✓
 動画:  フォーカス					
AF連続動作		MODE1	✓	✓	✓
AF補助光		ON	✓	✓	✓
 カスタム:  モニター/表示					
オートレビュー	時間(写真)	OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  レンズ/その他					
レンズFnボタン設定		フォーカスストップ	✓	✓	✓
 セットアップ:  IN/OUT					
テレビ接続設定	写真出力輝度レベル	16-255	✓		✓

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	P	A	S	M	M
📷 写真: ⚡ フラッシュ							
フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓	
📷 写真: 📷 その他(静止画)							
手ブレ補正	ボディ/レンズ選択	✓	✓	✓	✓	✓	
🎥 動画: [focus] フォーカス							
AF連続動作		✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF補助光			✓	✓	✓	✓	✓

- SanDiskは、米国およびその他の国における Western Digital Corporation またはその関連会社の商標または登録商標です。

ファームウェアバージョン1.5

50p / 25pの動画画質に対応	→ F-35
[NTSC/PAL切換]を追加	→ F-35
50p / 25pの動画画質を追加	→ F-36
操作性の改善	→ F-40
全画像消去方法の変更	→ F-40
追加メニュー	→ F-41

50p / 25pの動画画質に対応

動画メニューに[NTSC/PAL 切換]を追加しました。NTSCのテレビ放送方式向けの動画に加え、50p / 25pのPAL向けフレームレートの動画も記録できるようになりました。

[NTSC/PAL 切換]を追加

iA P A S M 



[動画画質]で選択できる画質を、NTSC / PALのテレビ放送方式に応じたフレームレートの画質に切り換えます。

 →  →  → [NTSC/PAL 切換] を選ぶ

NTSC	[動画画質]でNTSC向けの画質を選択できます。 <ul style="list-style-type: none">初期設定では[NTSC]に設定されています。
PAL	[動画画質]でPAL向けの画質を選択できます。 <ul style="list-style-type: none">[PAL]に設定した場合は、AVCHD動画を撮影できません。

-  インターバル撮影、コマ撮り撮影したグループ画像を動画にするときは、[NTSC/PAL 切換]の設定に応じた動画画質やフレームレートを選択できます。
- [NTSC/PAL 切換]を[PAL]にしたとき、[撮影時HDMI出力]の[4K/60p 出力ビット数]*は、メニュー名が[4K/50p 出力ビット数]に切り換わります。
* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。
- お住まいの地域の放送方式と異なる設定で記録すると、テレビで動画を正常に再生できない場合があります。放送方式に詳しくない方は、初期設定で使用することをお勧めします。

50p / 25pの動画画質を追加

iA P A S M 

[NTSC/PAL切換]を[PAL]に設定したときに選択できる動画画質を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [動画画質]を選ぶ

記録ファイル方式:[MP4]

[NTSC/PAL切換]:[PAL]					
動画画質	解像度	フレームレート	ビットレート	YUV/bit	音声フォーマット
4K/LPCM/150M/50p*1,2,3	3840×2160	50p	150 Mbps	4:2:0/8bit	LPCM
4K/100M/25p	3840×2160	25p	100 Mbps	4:2:0/8bit	AAC
FHD/28M/50p	1920×1080	50p	28 Mbps	4:2:0/8bit	AAC
FHD/20M/25p	1920×1080	25p	20 Mbps	4:2:0/8bit	AAC

*1 パソコン編集を前提とした動画です。本機以外での再生や編集には、高性能なパソコン環境が必要です。

*2 連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。

*3 [動画撮影範囲]は[APS-C]に固定されます。

記録ファイル方式:[MP4 HEVC]

[NTSC/PAL切換]:[PAL]					
動画画質	解像度	フレームレート	ビットレート	YUV/bit	音声フォーマット
4K/72M/25p	3840×2160	25p	72 Mbps	4:2:0/10bit	AAC

記録ファイル方式:[MOV]*¹

[NTSC/PAL切換]:[PAL]					
動画画質	解像度	フレーム レート	ビット レート	YUV/bit	音声 フォーマット
4K/8bit/150M/50p * ^{2,3}	3840×2160	50p	150 Mbps	4:2:0/8bit	LPCM
4K/10bit/150M/25p	3840×2160	25p	150 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM
FHD/10bit/100M/50p	1920×1080	50p	100 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM
FHD/10bit/100M/25p	1920×1080	25p	100 Mbps	4:2:2/10bit	LPCM

*1 アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

*2 連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。

*3 [動画撮影範囲]は[APS-C]に固定されます。



- Long GOPで映像を圧縮して記録されます。
- 4K動画をSDカードに記録するときは、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。
- [MP4 HEVC]の動画をSDカードに記録するときは、UHS Speed Class 1以上のカードをお使いください。
- [MOV]の動画をSDカードに記録するときは、UHS Speed Class 3以上のカードをお使いください。

❖ 動画記録時間 (h:時間、m:分、s:秒)

カードに記録できる動画の時間は下記のとおりです。

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

• 記録ファイル方式[MP4]の場合

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/LPCM/150M/50p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
4K/100M/25p	40m00s	1h20m	2h20m	4h45m	41m00s	1h25m	2h45m
FHD/28M/50p	2h25m	4h45m	8h35m	17h10m	2h30m	5h00m	9h55m
FHD/20M/25p	3h15m	6h20m	11h25m	22h55m	3h20m	6h40m	13h15m

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/LPCM/150M/50p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m
4K/100M/25p	1h20m	2h45m	5h40m	11h20m
FHD/28M/50p	5h00m	10h05m	20h15m	40h30m
FHD/20M/25p	6h40m	13h25m	27h00m	54h05m

• 記録ファイル方式[MP4 HEVC]の場合

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/72M/25p	56m00s	1h50m	3h20m	6h40m	57m00s	1h55m	3h55m

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/72M/25p	1h55m	3h55m	7h50m	15h45m

• 記録ファイル方式[MOV]*の場合

動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/8bit/150M/50p 4K/10bit/150M/25p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
FHD/10bit/100M/50p FHD/10bit/100M/25p	40m00s	1h20m	2h20m	4h45m	41m00s	1h25m	2h45m

動画画質	CFexpressカードの容量			
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB
4K/8bit/150M/50p 4K/10bit/150M/25p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m
FHD/10bit/100M/50p FHD/10bit/100M/25p	1h20m	2h45m	5h40m	11h20m

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

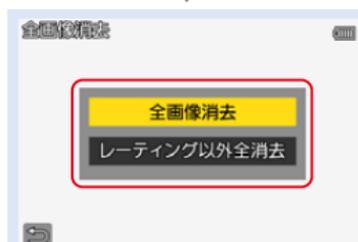
操作性の改善

全画像消去方法の変更

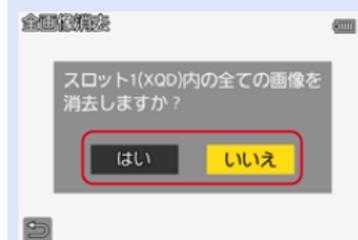
意図せず画像が消去されることを防ぐため、全画像消去時の画面の一部でタッチ操作を禁止しました。



タッチ操作可能



タッチ操作不可*



タッチ操作不可*

* [👉]はタッチ操作できます。

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

:[設定リセット]で、初期設定に戻る機能

:[カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

:[カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー	初期設定			
 動画：  記録				
動画画質	FHD/28M/60p	✓	✓	✓
NTSC/PAL切換	NTSC	✓	✓	✓

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー	iA	P	A	S	M	
 動画：  記録						
動画画質	✓	✓	✓	✓	✓	✓
NTSC/PAL切換	✓	✓	✓	✓	✓	✓

ファームウェアバージョン1.6

AF機能の追加／変更	→ F-43
自動認識AFの性能向上	→ F-43
1点+補助／1点に自動認識AFを追加	→ F-44
動画撮影中の[AF+MF]機能に対応	→ F-45
動画機能の追加／変更	→ F-46
[SS/ゲイン操作]を追加	→ F-46
[動画記録中の赤枠表示]を追加	→ F-47
動画の縦向き再生に対応	→ F-47
その他の機能の追加／変更	→ F-48
4K動画ファイルのスマートフォン転送に対応	→ F-48
追加メニュー	→ F-49

AF機能の追加／変更

自動認識AFの性能向上

iA P A S M 



自動認識で、顔が正面を向いていない人の頭部を検出できるようになりました。

それに伴い、[自動認識(顔・瞳・人体)]は[自動認識(人物)]に、[自動認識(顔・瞳・人体・動物)]は[自動認識(人物・動物)]に名称を変更しました。

 自動認識(人物)	人の顔、目、人の体(全身、上半身または頭部)を認識してピントを合わせます。
 自動認識(人物・動物)	人物に加えて、鳥、イヌ科(オオカミなどを含む)、ネコ科(ライオンなどを含む)の動物などを認識できます。人物よりも動物を優先して認識します。

1点+補助 / 1点に自動認識AFを追加

iA P A S M



1点+補助 / 1点のAFモードで、自動認識が使えるようになりました。
1点+補助 / 1点のAFエリアに人物や動物が一部でも入ると、自動認識のAFエリアが黄色で表示されます。人の顔がAFエリア内に入ると、瞳認識が働きます。

❖ 自動認識の切り換え

- 1 [AFモード選択] ボタンを押してAFモードの選択画面を表示する
- 2 [1点+補助] または [1点] を選び、▲ を押す
 - ▲ を押すごとに自動認識が切り換わります。
 - 1点+補助 / 1点の自動認識の設定は連動します。

自動認識: OFF



自動認識(人物): ON



自動認識(人物・動物): ON



- AFエリア内で自動認識できる人物および動物は1つだけです。
- 自動認識中はピントを合わせる人や動物、目を切り換えることはできません。

動画撮影中の[AF+MF]機能に対応

iA P A S M 

動画撮影中に、フォーカスリングを回すとMFモードになり、フォーカスリングを止めるとAFモードになるようにしました。

 ⇒  ⇒ [AF] ⇒ [AF+MF]

-  • [AF連続動作]を[MODE2]に設定しているときは、撮影待機中も手動でピントを調整できます。

動画機能の追加／変更

[SS/ゲイン操作]を追加



シャッタースピードを角度、ゲイン(感度)をdBの単位で設定できるようになりました。

→ → → [SS/ゲイン操作]を選ぶ

秒/ISO	シャッタースピードを秒、ゲインをISOの単位で設定します。
角度/ISO	シャッタースピードを角度、ゲインをISOの単位で設定します。 • 11°～358°の範囲で角度を設定できます。
秒/dB	シャッタースピードを秒、ゲインをdBの単位で設定します。 • 0 dBは[ISO100]に相当します。

- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
 - [ISO感度設定(動画)]→[ゲイン設定]
 - [ISOオート下限設定]→[オートゲイン下限設定]
 - [ISOオート上限設定]→[オートゲイン上限設定]
 - [拡張ISO感度]→[拡張ゲイン設定]
 - [ISO感度画面の操作]→[ゲイン設定画面の操作]
- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、タッチタブに表示されるアイコンは[ISO]から[GAIN]に変わります。

[動画記録中の赤枠表示]を追加

iA P A S M 

撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

 → [] → [] → [動画記録中の赤枠表示]

設定: [ON] / [OFF]

動画の縦向き再生に対応

縦に構えて撮影した動画を、スマートフォンやパソコンで自動で縦向きに再生します。



- カメラの再生画面では、サムネイル表示でだけ縦向きに再生します。

その他の機能の追加／変更

4K動画ファイルのスマートフォン転送に対応

スマートフォンにMP4の4K動画ファイルを転送できるようになりました。



- ファイルサイズが4 GBを超える画像は転送できません。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は転送できません。
 - 音声フォーマット:LPCM

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

:[設定リセット]で、初期設定に戻る機能

:[カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

:[カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー	初期設定			
 動画：  画質				
SS/ゲイン操作	秒/ISO	✓	✓	✓
 カスタム：  モニター/表示				
動画記録中の赤枠表示	OFF	✓	✓	✓

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー	iA	P	A	S	M	
 動画：  画質						
SS/ゲイン操作						✓

ファームウェアバージョン2.0

アップグレードソフトウェアキーの拡張機能を追加	→ F-51
MOVの動画画質を追加	→ F-51
アナモフィック撮影機能を追加	→ F-57
動画RAWデータ出力に対応	→ F-59
タイムコード機能を追加	→ F-64
[撮影時HDMI出力]に[HDMI記録制御]を追加	→ F-66
Dual Native ISO機能を追加	→ F-67
Dual Native ISO設定	→ F-67
[フォトスタイル]の画質設定に[Dual Native ISO設定]を追加	→ F-68
その他の機能の追加／変更	→ F-69
[動画の縦位置情報]を追加	→ F-69
ACアダプター使用時の[エコモード]に対応	→ F-69
Fnボタン／クイックメニュー	→ F-70
追加メニュー	→ F-71

アップグレードソフトウェアキーの 拡張機能を追加

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)によって使用可能になる、拡張機能を追加しました。



• すでにアクティベーションしている場合、再度アクティベーションする必要はありません。



• アクティベーション方法については、アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)に付属の導入ガイドをお読みください。

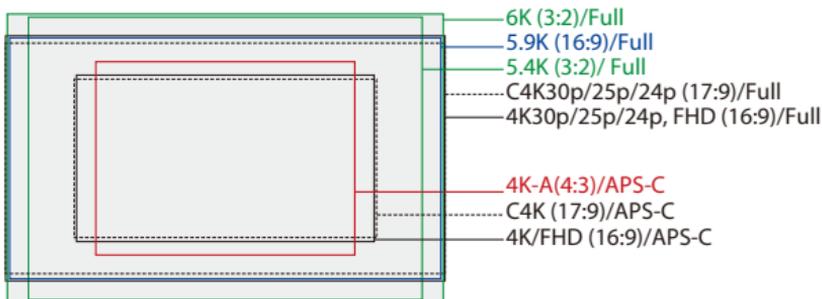
MOVの動画画質を追加

iA P A S M



MOVの動画画質を追加しました。

多様な映像フォーマットから、動画画質を選択できます。



 →  →  → [動画画質] を選ぶ

記録ファイル方式:[MOV]

• 音声フォーマット:LPCM(2ch)

(A):ビットレート

(B):フレームレート

(C):ビデオ圧縮方式(**HEVC**:H.265/HEVC、**AVC**:H.264/MPEG-4 AVC)

NTSC/PAL 切換:[NTSC]								
動画画質	動画撮影範囲			解像度	YUV/ bit	(A) (Mbps)	(B)	(C)
	FULL	APS-C	P/P					
6K/10bit/200M/24p* ^{1,2}	✓			5952×3968	4:2:0/ 10bit	200	24p	HEVC
5.9K/10bit/200M/30p* ^{1,2}	✓			5888×3312	4:2:0/ 10bit	200	30p	HEVC
5.9K/10bit/200M/24p* ^{1,2}	✓			5888×3312	4:2:0/ 10bit	200	24p	HEVC
5.4K/10bit/200M/30p* ^{1,2}	✓			5376×3584	4:2:0/ 10bit	200	30p	HEVC
4K-A/10bit/150M/30p* ¹		✓		3328×2496	4:2:2/ 10bit	150	30p	AVC
4K-A/10bit/150M/24p* ¹		✓		3328×2496	4:2:2/ 10bit	150	24p	AVC
C4K/10bit/200M/60p* ^{1,3}		✓		4096×2160	4:2:0/ 10bit	200	60p	HEVC
C4K/8bit/150M/60p* ³		✓		4096×2160	4:2:0/ 8bit	150	60p	AVC
C4K/10bit/150M/30p* ¹	✓	✓		4096×2160	4:2:2/ 10bit	150	30p	AVC
C4K/10bit/150M/24p* ¹	✓	✓		4096×2160	4:2:2/ 10bit	150	24p	AVC
4K/10bit/200M/60p* ^{1,3}		✓		3840×2160	4:2:0/ 10bit	200	60p	HEVC

NTSC/PAL切換:[PAL]								
動画画質	動画撮影範囲			解像度	YUV/ bit	Ⓐ (Mbps)	Ⓑ	Ⓒ
	FULL	APS-C	P/P					
5.9K/10bit/200M/25p*1,2	✓			5888×3312	4:2:0/ 10bit	200	25p	HEVC
5.4K/10bit/200M/25p*1,2	✓			5376×3584	4:2:0/ 10bit	200	25p	HEVC
4K-A/10bit/200M/50p*1,3		✓		3328×2496	4:2:0/ 10bit	200	50p	HEVC
4K-A/8bit/150M/50p*3		✓		3328×2496	4:2:0/ 8bit	150	50p	AVC
4K-A/10bit/150M/25p*1		✓		3328×2496	4:2:2/ 10bit	150	25p	AVC
C4K/10bit/200M/50p*1,3		✓		4096×2160	4:2:0/ 10bit	200	50p	HEVC
C4K/8bit/150M/50p*3		✓		4096×2160	4:2:0/ 8bit	150	50p	AVC
C4K/10bit/150M/25p*1	✓	✓		4096×2160	4:2:2/ 10bit	150	25p	AVC
4K/10bit/200M/50p*1,3		✓		3840×2160	4:2:0/ 10bit	200	50p	HEVC

*1 [M]モードで[フォトスタイル]を[2100ライク(HLG)]に設定できます。MOV形式のHLG動画を撮影できます。

*2 連続記録時間が15分を超えると記録を停止します。

*3 連続記録時間が29分59秒を超えると記録を停止します。

• 本書では、動画の解像度に応じて以下のように表記します。

- 6K(5952×3968)の動画: **6K動画**
- 5.9K(5888×3312)の動画: **5.9K動画**
- 5.4K(5376×3584)の動画: **5.4K動画**
- 4K-A(3328×2496)の動画: **アナモフィック(4:3)動画**
- C4K(4096×2160)の動画: **C4K動画**



- [4K-A]の動画画質では、横縦比4:3のアナモフィック撮影に対応した、4K-A解像度の動画(アナモフィック(4:3)動画)を記録できます。



- APS-C用レンズ使用時は、6K、5.9K、5.4Kの[動画画質]に設定できません。
- 以下の機能を使用中は、[手ブレ補正]の[電子補正(動画)]は使用できません。
 - 6K動画 / 5.9K動画 / 5.4K動画
- [動画画質]を[C4K]に設定しているときは、AFポイントスコープは使用できません。
- C4K動画から作成した写真には、[リサイズ(縮小)]は使用できません。
- HDMI出力する映像：
 - 6K動画、5.9K動画、5.4K動画、アナモフィック(4:3)動画は、4KまたはFHD解像度で出力します。

❖ [撮影時HDMI出力]から[4K/60p 出力ビット数] / [4K/50p 出力ビット数]を削除

[4K/60p 出力ビット数] / [4K/50p 出力ビット数]メニューを削除しました。MOV形式の4K/60pまたは4K/50pの動画をHDMI出力すると、自動で出力ビット数が決まります。

- 4K/60p/4:2:0 10bit、4K/50p/4:2:0 10bitの動画 → 4:2:2 10bitでHDMI出力
- 4K/60p/4:2:0 8bit、4K/50p/4:2:0 8bitの動画 → 4:2:0 8bitでHDMI出力

❖ バッテリーの撮影可能時間(モニター使用時)

付属のバッテリーを使用して撮影できる時間は下記のとおりです。

MOV(動画画質[5.9K/10bit/200M/30p]で撮影)

撮影可能時間	約100分
実撮影可能時間	約50分

- ソニー製XQDカード使用。
- 交換レンズ(S-R24105)使用。
- 記載している数値は目安です。
- 実撮影可能時間とは、電源の[ON] / [OFF]切り換え、撮影の開始 / 終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

❖ カードの記録可能時間

XQDカード、SDカード、CFexpressカードに記録できる動画の時間は下記のとおりです。

- CFexpressカードの記録可能時間は、SanDisk製CFexpressカードを使用した場合の数値です。
- 記録ファイル方式[MOV]の場合(h:時間、m:分、s:秒)

NTSC/PAL切替:[NTSC]							
動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
6K/10bit/200M/24p	20m00s	40m00s	1h20m	2h20m	20m00s	42m00s	1h20m
5.9K/10bit/200M/30p							
5.9K/10bit/200M/24p							
5.4K/10bit/200M/30p	20m00s	40m00s	1h10m	2h20m	20m00s	42m00s	1h20m
C4K/10bit/200M/60p							
4K/10bit/200M/60p							
4K-A/10bit/150M/30p							
4K-A/10bit/150M/24p							
C4K/8bit/150M/60p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
C4K/10bit/150M/30p							
C4K/10bit/150M/24p							
動画画質	CFexpressカードの容量						
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB			
6K/10bit/200M/24p							
5.9K/10bit/200M/30p							
5.9K/10bit/200M/24p							
5.4K/10bit/200M/30p	42m00s	1h20m	2h50m	5h40m			
C4K/10bit/200M/60p							
4K/10bit/200M/60p							
4K-A/10bit/150M/30p							
4K-A/10bit/150M/24p							
C4K/8bit/150M/60p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m			
C4K/10bit/150M/30p							
C4K/10bit/150M/24p							

NTSC/PAL切換:[PAL]							
動画画質	XQDカードの容量				SDカードの容量		
	32 GB	64 GB	120 GB	240 GB	32 GB	64 GB	128 GB
5.9K/10bit/200M/25p 5.4K/10bit/200M/25p C4K/10bit/200M/50p 4K/10bit/200M/50p	20m00s	40m00s	1h10m	2h20m	20m00s	42m00s	1h20m
4K-A/10bit/200M/50p	20m00s	42m00s	1h10m	2h20m	20m00s	42m00s	1h20m
4K-A/8bit/150M/50p	27m00s	56m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
4K-A/10bit/150M/25p C4K/8bit/150M/50p C4K/10bit/150M/25p	27m00s	53m00s	1h35m	3h10m	27m00s	56m00s	1h50m
動画画質	CFexpressカードの容量						
	64 GB	128 GB	256 GB	512 GB			
5.9K/10bit/200M/25p 5.4K/10bit/200M/25p C4K/10bit/200M/50p 4K/10bit/200M/50p	42m00s	1h20m	2h50m	5h40m			
4K-A/10bit/200M/50p	42m00s	1h50m	2h50m	5h40m			
4K-A/8bit/150M/50p 4K-A/10bit/150M/25p C4K/8bit/150M/50p C4K/10bit/150M/25p	56m00s	1h50m	3h45m	7h30m			

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。
- 記載している数値は目安です。

❖ C4K動画をテレビに出力する

[テレビ接続設定]の[HDMI出力解像度(再生時)]に[C4K/60p]、[C4K/30p]を追加しました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [テレビ接続設定] ⇒ [HDMI出力解像度(再生時)] ⇒ [C4K/60p] / [C4K/30p] を選ぶ

アナモフィック撮影機能を追加

❖ 手ブレ補正の設定に[アナモフィック(動画)]を追加

アナモフィック撮影に適した手ブレ補正に切り換えることができます。

 ⇒  ⇒  ⇒ [手ブレ補正] ⇒ [アナモフィック(動画)] を選ぶ

設定: [](2.0×) / [](1.8×) / [](1.5×) / [](1.33×) /
[](1.30×) / [OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。
- [アナモフィック(動画)]が働いているときは、[]や[]のように、設定した倍率が撮影画面の手ブレ補正アイコンに表示されます。



- [手ブレ補正ブースト(動画)]設定時は、[手ブレ補正ブースト(動画)]が優先されます。
- 以下の機能を使用中は、[アナモフィック(動画)]は[OFF]に固定されます。
 - [ボディ/レンズ選択]の[]
- レンズの手ブレ補正機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、レンズの手ブレ補正機能をオフにしてください。

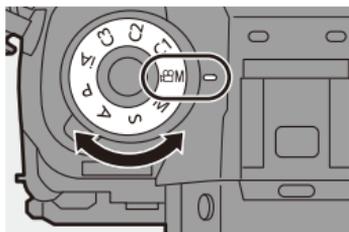
❖ アナモフィック デスクイーズ表示

iA P A S M 



アナモフィックレンズの倍率に合わせてデスクイーズした映像を本機に表示します。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



2 [アナモフィック デスクイーズ表示]を設定する

-  →  →  →

[アナモフィック デスクイーズ表示]

設定: [] (2.0×) / [] (1.8×) /
[] (1.5×) / [] (1.33×) /
[] (1.30×) / [OFF]

- 使用しているアナモフィックレンズの倍率に合わせて設定してください。



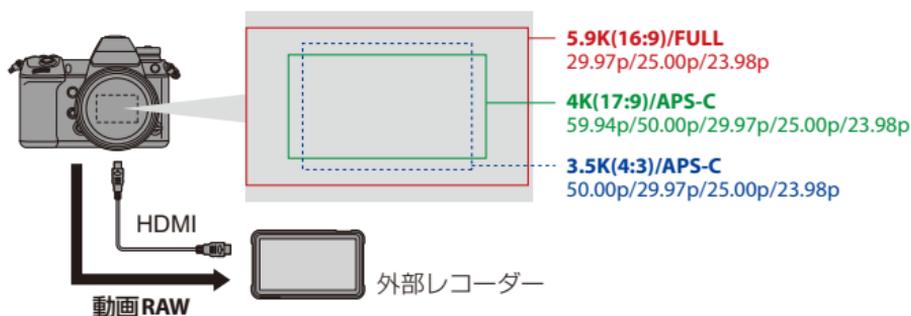
-  HDMI出力する映像はデスクイーズされません。
- 本機は、アナモフィック撮影で記録した動画のデスクイーズ編集に対応していません。対応したソフトウェアをお使いください。

動画RAW データ出力に対応

iA P A S M



最大5.9Kの解像度、12 bitの動画RAWデータを、対応した外部レコーダーにHDMI出力できるようになりました。



- 本機の動画RAWデータの記録は、以下の外部レコーダーで動作確認済みです。
(2021年3月現在)
 - ATOMOS製、HDMIフィールドモニター/レコーダー「Ninja V」(AtomOS 10.63以上)
詳細は、ATOMOSにお問い合わせください。
- 対応する外部レコーダーが持つ、すべての性能を保証するものではありません。
- 外部レコーダーで記録した動画RAWデータの編集には、対応したソフトウェアが必要です。編集時にV-Log/V-Gamutと色合いを合わせるには、下記サポートサイトからLUT(ルックアップテーブル)をダウンロードし、ソフトウェアに読み込んでください。
- LUTデータのダウンロードや、最新のサポート情報は下記サイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>



• 動画RAWデータのHDMI出力中は、カードに動画を記録できません。

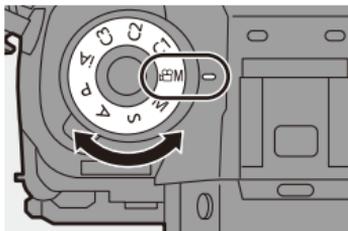
❖ 動画RAWデータをHDMI出力する

動画メニューに[HDMI RAWデータ出力]を追加しました。
出力する映像の画質は[動画画質]で設定します。

準備:

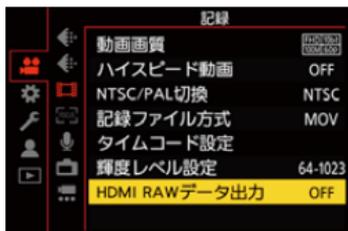
- 1 カメラと外部レコーダーの電源を切る
- 2 市販のHDMIケーブルでカメラと外部レコーダーをつなぐ
 - HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIケーブル(Type A—Type Aプラグ、1.5 mまで)をお使いください。
- 3 カメラと外部レコーダーの電源を入れる

1 モードダイヤルを[M]に合わせる



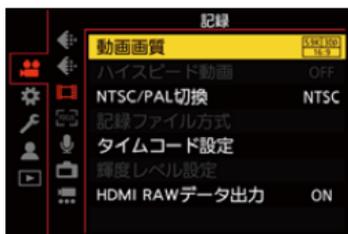
2 [HDMI RAWデータ出力]を設定する

- **MENU/SET** → [カメラアイコン] → [動画アイコン] → [HDMI RAWデータ出力] → [ON]
- 撮影画面に[HDMI RAW]が表示されます。



3 動画画質を選ぶ

- **MENU/SET** → [カメラアイコン] → [動画アイコン] → [動画画質]



4 外部レコーダーでHDMI入力を設定する

- 接続が完了すると、外部レコーダーの画面に映像が表示されます。



HDMI出力の動作が通常時と異なります。

- 動画メニュー(モニター/表示)の[撮影時HDMI出力]
 - [情報表示]は使用できません。HDMI接続した外部レコーダーに、カメラの情報表示を出力できません。

動画画質([HDMI RAWデータ出力]設定時)

動画画質	NTSC/PAL切換	動画撮影範囲	解像度	フレームレート
5.9K/30p/16:9	NTSC	FULL	5888×3312	29.97p
5.9K/24p/16:9		FULL	5888×3312	23.98p
4K/60p/17:9		APS-C	4128×2176	59.94p
4K/30p/17:9		APS-C	4128×2176	29.97p
4K/24p/17:9		APS-C	4128×2176	23.98p
3.5K/30p/4:3*		APS-C	3536×2656	29.97p
3.5K/24p/4:3*		APS-C	3536×2656	23.98p
5.9K/25p/16:9		PAL	FULL	5888×3312
4K/50p/17:9	APS-C		4128×2176	50.00p
4K/25p/17:9	APS-C		4128×2176	25.00p
3.5K/50p/4:3*	APS-C		3536×2656	50.00p
3.5K/25p/4:3*	APS-C		3536×2656	25.00p

* アナモフィック(4:3)動画

- ビット数: 12 bit
- 音声フォーマット: LPCM(2ch)



- [動画撮影範囲]は、[動画画質]の設定に応じた範囲に固定されます。
- XLRマイクロホンアダプター(別売: DMW-XLR1)装着時、[XLRマイクアダプター設定]を[96kHz/24bit]や[48kHz/24bit]に設定できます。

動画RAWデータ出力時のモニター／ファインダー表示

カメラのモニター／ファインダーには、確認用に、V-Log撮影時に相当する映像を表示します。[V-Logビューアシスト]は、プリセットの[Vlog_709]を適用した[LUTビューアシスト(モニター)]が使用できます。

- モニター表示用のLUTは変更できません。
- [LUTビューアシスト(モニター)]を使用したときは、画面に[709]が表示されます。画面の[LUTビューアシスト(HDMI)]の項目には、[RAW]が表示されます。

表示する映像のお知らせ

- カメラが表示する映像は、出力される動画RAWデータには影響しません。
- 外部レコーダーには、外部レコーダーの仕様に応じた映像が表示されます。そのため、カメラと外部レコーダーで表示される映像が異なる場合があります。
- カメラのモニター／ファインダーは、動画RAWデータの画角で映像を表示します。外部レコーダーで記録するデータの画角と異なる場合があります。

HDMIタイムコード出力／HDMI記録制御

カメラのタイムコードを付加して、外部レコーダーにHDMI出力できます。カメラの動画ボタンやシャッターボタンで、外部レコーダーの記録開始、停止を制御することもできます。

① [HDMIタイムコード出力]を[ON]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [タイムコード設定] ⇒ [HDMIタイムコード出力] ⇒ [ON]

② [HDMI記録制御]を[ON]に設定する

-  ⇒  ⇒  ⇒ [撮影時HDMI出力] ⇒ [HDMI記録制御] ⇒ [ON]
- [HDMI記録制御]は、[PM]モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。

❖ 動画RAWデータ出力時のお知らせ

動画RAWデータ出力時は、以下のように動作します。

- 使用できるISO感度の下限は640([拡張ISO感度]設定時:320)、上限は51200までになります。[Dual Native ISO設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
- ホワイトバランスの[AWB]や[AWBc]、[AWBw]、[]は、使用できません。
- [フォトスタイル]は[V-Log]に固定され、画質調整できません。
- AFモードの[+]は使用できません。
- MFアシストを使った拡大表示はできません。
- 以下の機能は使用できません。
 - AFポイントスコープ
 - [iダイナミックレンジ]
 - [周辺光量補正]
 - [回折補正]
 - [フィルター設定]
 - [ハイスピード動画]
 - [記録ファイル方式]
 - [輝度レベル設定]
 - [手ブレ補正]の[電子補正(動画)]

タイムコード機能を追加

iA P A S M



AVCHD動画やMOV形式の動画を撮影すると、時・分・秒・フレーム数の情報（タイムコード）が自動で記録されます。

タイムコードは複数の映像や音声を同期するために使用します。

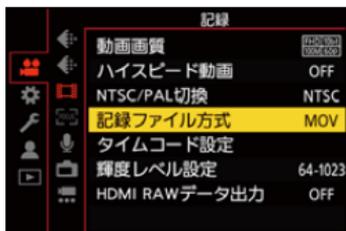
- MP4形式の動画には、タイムコードは記録されません。

❖ タイムコードを設定する

タイムコードの記録や表示、出力を設定します。

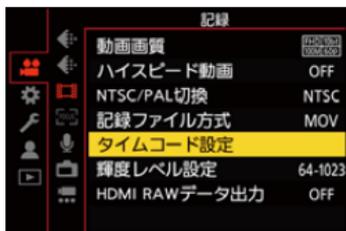
1 [記録ファイル方式]を[AVCHD]または[MOV]に設定する

- → → → [記録ファイル方式] → [AVCHD] / [MOV]



2 [タイムコード設定]を選ぶ

- → → → [タイムコード設定]



タイムコード表示	撮影画面／再生画面にタイムコードを表示します。	
カウントアップ方式	レックラン	動画記録中だけタイムコードをカウントします。
	フリーラン	動画記録停止中や電源OFF中もタイムコードをカウントします。

タイムコード 値設定	リセット	00:00:00:00(時:分:秒:フレーム)に設定します。
	手動入力	時:分:秒:フレームを手動で入力します。
	現時刻	時:分:秒を現在の時刻に設定し、フレームを00に設定します。
タイムコード モード	DF	ドロップフレーム。記録時間とタイムコードの誤差を補正して記録します。 <ul style="list-style-type: none"> 秒とフレームの間が"."で表示されます。 例)00:00:00.00
	NDF	ノンドロップフレーム。ドロップフレームせずにタイムコードを記録します。 <ul style="list-style-type: none"> 秒とフレームの間が":"で表示されます。 例)00:00:00:00
<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を使用中は、[タイムコードモード]は[NDF]に固定されます。 - 50p、50i、25p、24pの[動画画質] 		
HDMIタイム コード出力	<p>[]モードで撮影中に、HDMI出力する映像にタイムコードの情報を付け加えて出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生中も、モードダイヤルを[]に合わせるとタイムコードをHDMI出力できます。セットアップメニュー(IN/OUT)の[テレビ接続設定]の[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。 接続する機器によっては機器の画面が黒くなる場合があります。 	

[撮影時HDMI出力]に[HDMI記録制御]を追加



HDMI 接続した外部レコーダーに、記録開始、停止の制御情報を出力します。

 →  →  → [撮影時HDMI出力] → [HDMI記録制御]を選ぶ

設定: [ON] / [OFF]

- [iA/M]モードで、[HDMIタイムコード出力]が[ON]の場合に設定できます。
- 動画が記録できない状態(本機にカードが入っていない場合など)でも、動画ボタンやシャッターボタンを押すことで、制御情報を出力できます。
- 対応した外部機器だけ制御できます。

Dual Native ISO機能を追加

iA P A S M



ベース感度を切り換えて高感度かつ低ノイズの撮影ができるDual Native ISOに対応しました。明るさに応じて、自動でベース感度を切り換えます。

Dual Native ISO設定

ベース感度を自動切換するか、固定するかを設定します。

→ → → [Dual Native ISO 設定] を選ぶ

自動切換	明るさに応じて、自動でベース感度を切り換えます。
	設定できるISO感度 AUTO / 100～51200 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 50～204800
低感度	ベース感度を低感度用に設定します。
	設定できるISO感度 AUTO / 100～800 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 50～800
高感度	ベース感度を高感度用に設定します。
	設定できるISO感度 AUTO / 640～51200 [拡張ISO感度] 設定時: AUTO / 320～204800



- 以下の場合、[Dual Native ISO 設定]は[自動切換]に固定されます。
 - [フォトスタイル]を[V-Log]にして[ハイレゾモード]設定時
- 以下の機能を設定時は、[Dual Native ISO 設定]の[低感度]や[高感度]で使用できるISO感度の範囲も変化します。
ISO感度が変化する場合は、必要に応じて露出を設定し直してください。
 - [フォトスタイル]の[V-Log]、[2100ライク(HLG)]
 - [フィルター設定]:[ハイダイナミック]
 - [HLG フォト]
- [SS/ゲイン操作]を[秒/dB]に設定したときは、以下のようにメニュー名が切り換わります。
 - [Dual Native ISO 設定]→[Dual Native ゲイン設定]

[フォトスタイル]の画質設定に[**Dual Native ISO設定**]を追加

[フォトスタイル]の画質設定で、[Dual Native ISO設定]を設定できます。

設定項目(画質調整)

DUAL Dual Native ISO 設定*	Dual Native ISOを設定します。
---------------------------------------	------------------------

* [MY PHOTO STYLE 1]～[MY PHOTO STYLE 10]選択中に、以下を設定すると使用できます。

[] ⇒ [] ⇒ [フォトスタイル設定] ⇒ [マイフォトスタイル設定] ⇒
[調整項目の追加] ⇒ [ISO感度] ⇒ [ON]

その他の機能の追加／変更

[動画の縦位置情報]を追加

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する/しないを、メニューで設定できるようになりました。

 ⇒  ⇒  ⇒ [動画の縦位置情報]を選ぶ

ON	縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。
OFF	縦位置情報を記録しません。

ACアダプター使用時の[エコモード]に対応

ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時に、[エコモード]を設定できるようになりました。

Fn ボタン / クイックメニュー

以下の機能が使用できます。

Fn ボタン

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定]

撮影時設定	[1]タブ	 画質	- Dual Native ISO設定
	[2]タブ	 記録	- タイムコード表示*
		 音	- XLRマイクアダプター設定*
		 モニター/表示	- アナモフィック デスクイーズ表示*
再生時設定	[1]タブ	 表示方法	- アナモフィック デスクイーズ表示*

クイックメニュー

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU 設定] ⇒

[表示項目カスタマイズ(静止画)] / [表示項目カスタマイズ(動画)]

[1]タブ	 画質	- Dual Native ISO設定
	 記録	- タイムコード表示*
	 音	- XLRマイクアダプター設定*
[2]タブ	 モニター/表示	- アナモフィック デスクイーズ表示*

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

追加メニュー

ファームウェアアップデートによって追加されるメニューについての仕様情報です。

❖ 初期設定／カスタム保存／設定コピーの一覧

: [設定リセット]で、初期設定に戻る機能

: [カスタムモード登録]で、カスタムモードに設定内容を保存できる機能

: [カメラ設定の保存/読み込み]で、設定内容をコピーできる機能

メニュー		初期設定			
 写真:  画質					
Dual Native ISO 設定		自動切換	✓	✓	✓
 写真:  その他(静止画)					
手ブレ補正	アナモフィック(動画)*	OFF	✓	✓	✓
 動画:  画質					
Dual Native ISO 設定		自動切換	✓	✓	✓
 動画:  記録					
タイムコード設定*	タイムコード表示	OFF	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	レックラン	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	—			
	タイムコードモード	DF	✓	✓	✓
	HDMIタイムコード出力	OFF	✓	✓	✓
HDMI RAW データ出力*		OFF	✓	✓	✓
 動画:  モニター/表示					
アナモフィック デスクイーズ表示*		OFF	✓	✓	✓
撮影時 HDMI 出力	HDMI 記録制御*	OFF	✓	✓	✓
 動画:  その他(動画)					
手ブレ補正	アナモフィック(動画)*	OFF	✓	✓	✓
 カスタム:  レンズ/その他					
動画の縦位置情報		ON	✓	✓	✓

メニュー	初期設定	R	C	
再生メニュー: 表示方法				
アナモフィック デスクイーズ表示*	OFF	✓	✓	✓

❖ 各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー	iA	P	A	S	M	M
写真: 画質						
Dual Native ISO設定		✓	✓	✓	✓	
写真: その他(静止画)						
手ブレ補正	アナモフィック(動画)*	✓	✓	✓	✓	
動画: 画質						
Dual Native ISO設定		✓	✓	✓	✓	✓
動画: 記録						
タイムコード設定*	タイムコード表示	✓	✓	✓	✓	✓
	カウントアップ方式	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコード値設定	✓	✓	✓	✓	✓
	タイムコードモード	✓	✓	✓	✓	✓
HDMIタイムコード出力						✓
HDMI RAWデータ出力*						
動画: モニター/表示						
アナモフィック デスクイーズ表示*						
撮影時HDMI出力	HDMI記録制御*					✓
動画: その他(動画)						
手ブレ補正	アナモフィック(動画)*	✓	✓	✓	✓	✓

* アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)を使ってアクティベーションすると使用できます。

• Ninja V / ATOMOSは、ATOMOS Limitedの登録商標です。

ファームウェアバージョン2.1

アップグレードソフトウェアキーの拡張機能を追加 → F-74

動画RAWデータ出力の対応機種を追加 → F-74

その他の機能の追加 → F-75

[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、[L.モノクロームS]を追加 → F-75

RAW現像の[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、[L.モノクロームS]を追加 → F-77

Fnボタン／Fnレバー／クイックメニュー → F-78

アップグレードソフトウェアキーの 拡張機能を追加

アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)によって使用可能になる、拡張機能を追加しました。



• すでにアクティベーションしている場合、再度アクティベーションする必要はありません。



• アクティベーション方法については、アップグレードソフトウェアキー(別売:DMW-SFU2)に付属の導入ガイドをお読みください。

動画RAWデータ出力の対応機種を追加

本機の動画RAWデータを、Blackmagic Design製の外部レコーダーに記録できるようになりました。

- 本機の動画RAWデータの記録は、以下の外部レコーダーで動作確認済みです。(2021年7月現在)
 - Blackmagic Design製、「Blackmagic Video Assist 5" 12G HDR」および「Blackmagic Video Assist 7" 12G HDR」(Ver. 3.4.3以上)
詳細はBlackmagic Designにお問い合わせください。
- 対応する外部レコーダーが持つ、すべての性能を保証するものではありません。
- 外部レコーダーで記録した動画RAWデータの編集には、対応したソフトウェアが必要です。
- LUTデータのダウンロードや、最新のサポート情報は下記サイトでご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>



• 動画RAWデータのHDMI出力中は、カードに動画を記録できません。



• 動画RAWデータ出力の操作や制限については、「ファームウェアバージョン2.0」の「動画RAWデータをHDMI出力する」をお読みください。

その他の機能の追加

[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、
[L.モノクロームS]を追加

iA P A S M 



[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、[L.モノクロームS]を追加しました。

 → []/[] → [] → [フォトスタイル]を選ぶ

 L.クラシックネオ	ノスタルジックで優しい色合いのフィルム風の設定
 L.モノクロームS	ポートレートに適した柔らかな印象のモノクロ設定

 • [フォトスタイル]を[L.モノクロームS]に設定しているときは、[]は[]の動作になります。

❖ [フォトスタイル]の画質調整に[色ノイズ]を追加

iA P A S M M



[L.クラシックネオ]で撮影した写真に粒状の色ノイズを追加できます。

設定項目(画質調整)

	色ノイズ	ON / OFF	粒状感に色味を追加します。
--	------	----------	---------------

• フォトスタイルの種類により、画質を調整できる項目は変わります。

				(彩度)	(色調)					S	NR
L.CLAS N	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	✓	✓*	✓	✓
L.MONOS	✓	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	—	✓	✓

* [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。



- [色ノイズ]の効果は、撮影画面では確認できません。
- 以下の機能を使用中は、[色ノイズ]は使用できません。
 - 動画撮影、6K/4Kフォト、[フォーカスセレクト]
 - [ハイレゾモード]

RAW現像の[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、 [L.モノクロームS]を追加

RAW現像の[フォトスタイル]に[L.クラシックネオ]、[L.モノクロームS]を追加しました。

また、[L.クラシックネオ]を設定したときは、設定項目で[色ノイズ]を選択できます。

- 選択した[フォトスタイル]により、調整できる項目は変わります。

	WB							 (彩度)
 L.CLAS N	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
 L.MONOS	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—

	 (色調)					NR	
 L.CLAS N	—	✓	—	✓	✓*	✓	✓
 L.MONOS	✓	—	✓	✓	—	✓	✓

* [粒状]が[弱]／[中]／[強]のいずれかの場合に設定できます。

Fn ボタン / Fn レバー / クイックメニュー

以下の機能が使用できます。

Fn ボタン

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn ボタン設定]

撮影時設定	[1]タブ	 画質	フォトスタイル - L.クラシックネオ - L.モノクロームS
-------	-------	--	---------------------------------------

Fn レバー

 ⇒  ⇒  ⇒ [Fn レバー設定]

- [Fnレバーの機能]を[フォトスタイル]に設定時
 - L.クラシックネオ
 - L.モノクロームS

クイックメニュー

 ⇒  ⇒  ⇒ [Q.MENU設定] ⇒

[表示項目カスタマイズ(静止画)] / [表示項目カスタマイズ(動画)]

[1]タブ	 画質	フォトスタイル - 色ノイズ
-------	--	-------------------

- 「Blackmagic Design」は、Blackmagic Design Pty. Ltd.の登録商標です。
その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。